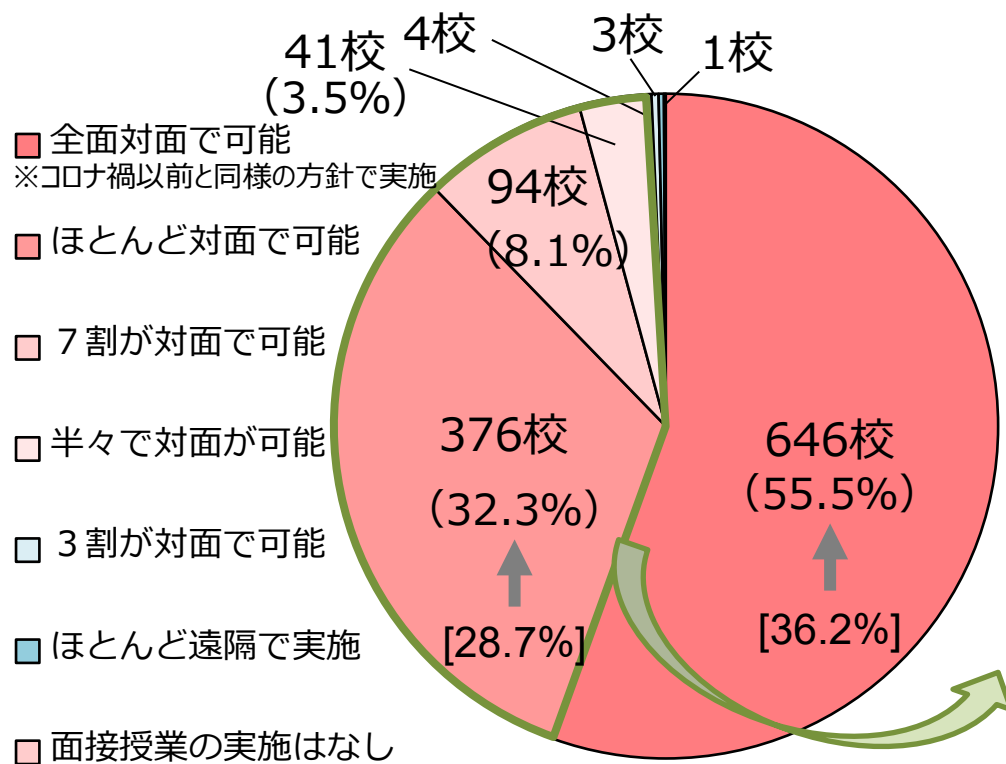


(調査の概要)

- 調査対象：全国の国公立大学（短期大学を含む）及び高等専門学校
- 調査時点：令和4年3月22日（**調査時点での令和4年度前期の授業実施方針**等について質問）
- 調査趣旨：各大学等の令和4年度前期の授業の実施方針等について調査し、全国の状況を把握するもの。

令和4年度前期における対面・遠隔授業の実施方針

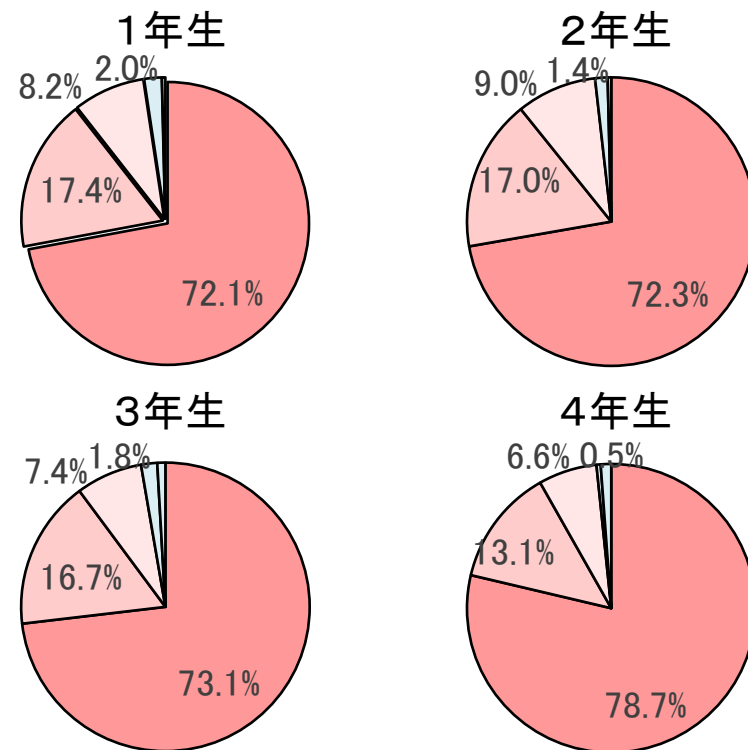
- 半分以上を対面授業とする予定とした大学等**は、1,165校中1,157校（**99.3%**）。
中でも、**7割以上を対面授業とする予定とした大学等**は1,116校と、全体の**95.8%**にのぼる。
- 前回（令和3年度後期）と比べて、**全面対面・ほとんど対面の大学があわせて20ポイント以上上昇**。



N=1,165校

※ []は令和3年度後期の結果

学年別の授業実施方針

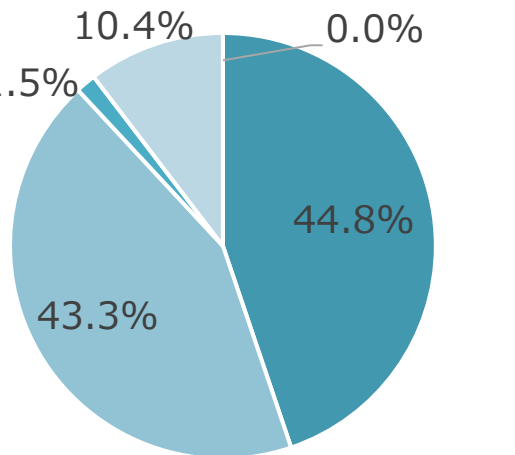


※ 全面対面ではない学校が対象

令和4年度前期の大学等における授業の実施方針等に関する調査（参考データ）

コロナ前と異なる方針の大学における学生の理解納得の状況

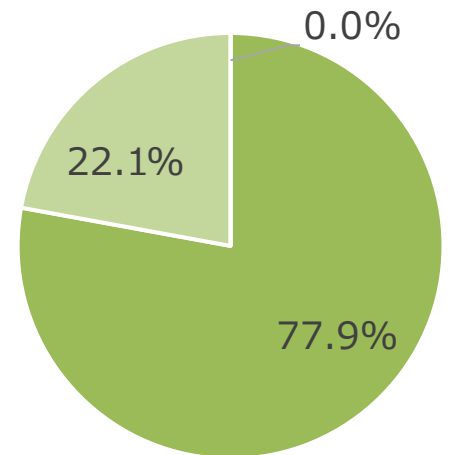
- 全面对面以外の方針をとる大学の内約9割が、大多数以上の学生が方針を理解・納得していると回答
- 「把握していない」と回答した大学においても、方針を丁寧に説明している大学もみられる
- 「把握は必要ない」と回答した大学等はなかった



- ほぼ全員理解
- 大多数が理解
- 大多数とは言えない
- 把握していない
- 把握は必要ない

施設の使用可否の状況

- 約8割の大学が施設の使用を全面的に可能としている
- ほぼすべての大学で一部以上の利用は可能
- 「立ち入り禁止」としている大学等はなかった

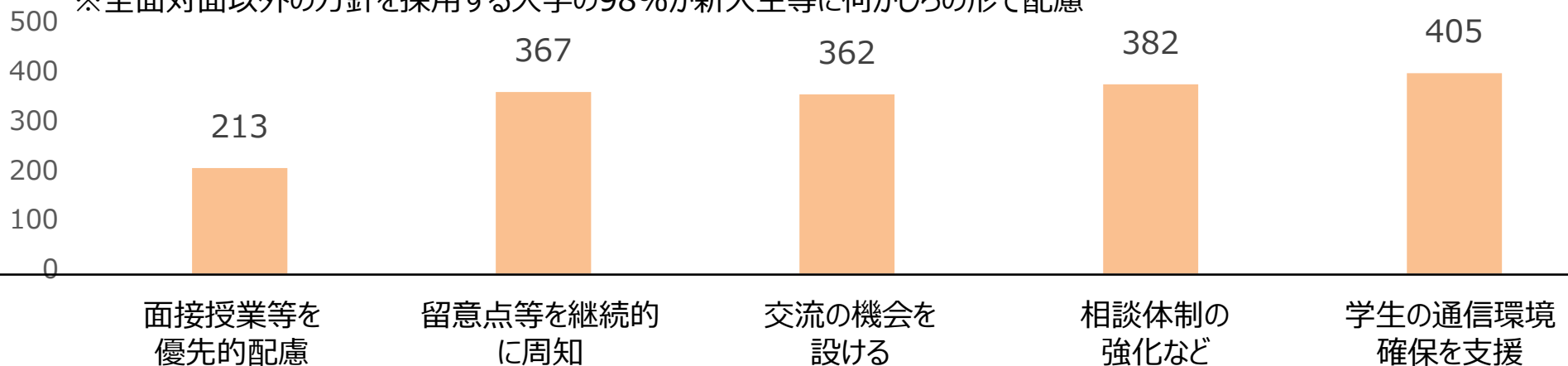


- 全面的に利用可能
- 一部利用可能
- 立ち入り禁止

新入生やこれまで学修に制約があった在学生への配慮の状況

※全面对面以外の方針を採用する大学の98%が新入生等に何かしらの形で配慮

※回答に重複有
※全面对面ではない学校が対象



令和4年度前期の大学等における授業の実施方針に関する調査（各大学等の回答状況）

《記載上の留意事項等》

- ・調査対象：全国の大学及び高等専門学校を対象としているが、通信制課程のみを有する大学及び所属学生がいない大学は調査対象から除外している。
- ・調査時点：令和4年3月22日（調査時点での令和4年度前期の授業実施方針等について質問したもの）。
- ・「所在地」は、「主要なキャンパスが所在する都道府県」として各大学等から回答があった都道府県を記載している。
- ・「授業方針」について「②併用」と回答している大学等に対しては、これに伴う追加的な質問を行っている。
（授業方針を「①全対面で可能」とした大学等は、質問の対象としていないため、該当の欄は灰色にして示している）。
- ・多肢選択式にて回答を得ている項目は、選択肢の文言を便宜的に省略している（調査票上の文言は事項に記載のとおり）。
- ・また、分量の関係上、回答一覧を3つに区分して掲載している。掲載順及び該当ページについては下記のとおり。

① 授業の実施方針・学年別の割合について	……	1頁	～	34頁
② 学生の理解等の状況について	……	35頁	～	68頁
③ 新入生への配慮・施設の利用状況について	……	69頁	～	102頁

《各選択肢の調査票上の文言》

- ・授業状況（令和4年3月22日時点の状況）
 - ① 感染対策を講じつつ、コロナ禍以前と同様の範囲で面接授業を実施する予定。
 - ② 面接授業と遠隔授業を併用して授業を実施する予定。
 - ③ 面接授業は実施せず、遠隔授業を実施する予定。
- ・授業の割合（対面・遠隔授業を併用している大学等における両者の割合）
 - ① ほとんど（8割以上）の授業を面接授業で行う予定である。
 - ② 7割程度を面接授業で行い、残りを遠隔授業とする予定である。
 - ③ 面接授業と遠隔授業は、おおむね半々で行う予定である。
 - ④ 3割程度を面接授業で行い、残りを遠隔授業とする予定である。
 - ⑤ ほとんど遠隔授業を行う予定である（面接授業は2割以下の予定）。
- ・学年別の割合
 - ① ほとんど（8割以上）の授業を面接授業で行う予定である。
 - ② 7割程度を面接授業で行い、残りを遠隔授業とする予定である。
 - ③ 面接授業と遠隔授業は、おおむね半々で行う予定である。
 - ④ 3割程度を面接授業で行い、残りを遠隔授業とする予定である。
 - ⑤ ほとんど遠隔授業を行う予定である（面接授業は2割以下の予定）。
 - ⑥ 該当なし
- ・学生の理解
 - ① ほぼ全ての学生が、授業の形態等について理解・納得している。
 - ② 大多数の学生は、授業の形態等について理解・納得している。
 - ③ 大多数の学生の理解・納得が得られているとまでは言えない。
 - ④ 学生の理解・納得の状況については把握していない。
 - ⑤ 学生の理解・納得を得る必要があるとは考えていない。

《各選択肢の調査票上の文言》（続き）

・新入生等への配慮のために予定している取組

- ① 新入生等の学生が面接授業を受ける機会を確保するため、優先的に面接授業等を行う等の配慮を行う。
- ② 大学における学修に慣れていない新入生等に対して、コロナ禍における学びの際の工夫や留意点等について、継続的・定期的な周知・説明を行う。
- ③ 新入生等が、校内での人的交流を持てるよう、学生間又は教職員とのコミュニケーションの機会を設ける。
- ④ 新たな生活によるものなど新入生等の不安を軽減するため、学生支援に関する情報発信や、生活面に関する相談体制の強化を図る。
- ⑤ 情報通信機器等の貸し出しや校内施設の開放など、学生の通信環境の確保に向けた支援を行う。
- ⑥ その他

・校内施設の利用状況

- ① 学内の施設・設備の利用は全面的に可能としている。
- ② 学内の施設・設備について、一部利用を制限している。
- ③ 学内の施設・設備の利用を含め、キャンパスへの立ち入りを禁止している。

・図書館の対応

- ① アクリル板の設置や換気の励行などによる感染対策を講じる。
- ② 利用人数の制限や、利用時間の短縮等を講じる。
- ③ 座席の利用制限や書架の閲覧制限など、機能の一部を限定する。
- ④ 最終学年のみ利用可能とするなど、学生の属性で利用可否を決める。
- ⑤ 事前許可制・申請制を採るなど、利用に当たっての手続を設ける。
- ⑥ 学内にあるすべての主要図書館について学生の利用を禁止する。
- ⑦ その他

令和4年度前期の大学等における授業の実施方針に関する調査結果（一覧）

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	授業の割合	割合の計算方法	学年別の割合						学年によって割合に差がある場合の理由	
							1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生		
1	北海道大学	北海道	①国立大学	②併用	①ほとんど対面可能	オンライン授業については様々な課題が指摘されており、学生からは対面授業を切望する声が多く寄せられていることに加え、令和4年度における本学の授業実施方針は、感染防止策を講じた上で、対面により実施することを基本としている。本方針では、学部、キャンパス、学年等に問わず、一部のやむを得ない事情があると思われる場合を除いて対面授業を実施することとしているため、ほとんど(8割以上)の科目について対面授業を行う予定である。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	本学の令和4年度前期の授業実施方針は8.のとおりであり、現時点で学年ごとに面接授業の比率に差はないと考えている。
2	北海道教育大学	北海道	①国立大学	②併用	②7割が対面可能	基本的に授業担当者による申請により対面授業を行う科目を決定することとしており、授業全体に対する対面授業の科目数を基に算出している。	②7割が対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	実技や実習の増える高学年ほど、面接授業の機会が多くなっている	
3	室積工業大学	北海道	①国立大学	②併用	②7割が対面可能	受講者数80名を超える大規模授業については、大学から担当教員へ遠隔授業を実施するよう依頼しており、また、時間前作成の際に授業の実施形態(面授・遠隔)について教員へ聞き取りしている。大規模授業・教員への聞き取りの内容を反映させた時間前を作成した結果、面接授業は大学学部全体で約76%となった。	②7割が対面可能	③半々で対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	1年次・2年次(前期)生は教養教育・国学を主とする基礎的な専門教育(学部・学科共通科目)が中心で同一クラス・大規模人数の授業が多くなっていることから、2-3で回答した決定方針に基づき、面接授業実施による感染リスクを考慮し、ある程度は遠隔授業で実施となる。対して、2年次(後期)・3年次・4年次生については演習・実験科目が中心となっているため、大多数の科目で面接授業を実施している。	
4	小樽商科大学	北海道	①国立大学	②併用	③半々で対面可能	令和4年度前期の授業の実施方法については、非常勤講師を含む全教員を対象に調査した結果による。以下の①~⑤の回答のうち、①を「面接授業」、②~⑤を「遠隔授業」として計算した。ただし、面接授業は、4月の感染状況を踏まえ遠隔授業に切り替え可能性がある。 ① 対面授業 ② 時間前を指定しないオンデマンド型の遠隔授業※ ③ 時間前を指定するオンデマンド型の遠隔授業 ④ ZOOM等によるリアルタイム配信の遠隔授業 ⑤ その他	③半々で対面可能	③半々で対面可能	③半々で対面可能	③半々で対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	大学での学修に慣れていない1年次学生が多く履修する科目(基礎ゼミナール、外国語科目)については、特に対面授業の拡大を推進している。ただし、1年次学生が履修可能な科目は、2年次以上の学生も履修は可能となっているため、学年ごとの比率として集計しても、大きな差異は生じにくい。また、3-4年次学生は、少人数で実施(出席で受講しやすい)している研究指導(ゼミ)が原則、必修となっており、この研究指導の多くが対面で開催しやすいことから、結果的に学年ごとの差が生じにくい。	
5	帯広畜産大学	北海道	①国立大学	②併用	①ほとんど対面可能	1・2年次は、半数対面・半数オンラインで受講する。そのため、ほぼ全科目において対面受講となる。(語学を除く)3年次以上は、全て対面受講とする。以上のような方針としたため。	②7割が対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	語学の科目は、半数オンライン受講としている。その他の科目は、半数対面・半数オンライン受講もしくは、全面对面受講としている。
6	北見工業大学	北海道	①国立大学	②併用	②7割が対面可能	前期の学部・大学院の全授業のうち、面接+併用科目273科目、面接授業の比率 約78%	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	1・2年次は必修科目や国学の講義形式の授業が多い。また、コロナ対策で教室の定員を通常半分の半としているため、全員が収容できる教室の確保が難しい。そのため、3・4年生に比べて面接授業の割合が低い傾向にある。3・4年生はコース移行後のため、受講人数がある程度限られていることから、受講者全員を収容できる教室の確保が比較的容易であり、また、実験・演習等の対面での実施が望ましい専門科目が多いため面接授業の割合が高くなっている。	
7	旭川医科大学	北海道	①国立大学	②併用	③半々で対面可能	本学の授業方針は、学年を2つのグループに分けて、半数が登校して授業を受けるグループ、残り半数が自宅でZOOM配信される授業を受けるグループとする分散登校を基本としていたため。 ※ 登校グループ、自宅グループは1週毎に交代する。	③半々で対面可能	③半々で対面可能	③半々で対面可能	③半々で対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	講義科目、実習・演習科目では、2-3回分のとおり分散登校で実施することを基本としている。4年次生は学業で比率が異なり、医学科は概ね半々だが、看護学科は1割程度面接授業の予定である。医学科4年次後期、看護学科3年後期以降から始まる病院実習では、面接授業を基本に実施している。	
8	札幌医科大学	北海道	②公立大学	①全面对面可能	①全面对面可能									
9	公はこたて未来大学	北海道	②公立大学	②併用	①ほとんど対面可能	令和4年度前期時間前授業コマより算出	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし		
10	網走公立大学	北海道	②公立大学	②併用	①ほとんど対面可能	遠隔授業の数(※1) ÷ 面接授業の総数(※2) によって判断。 ※1=教室定員上限との兼ね合いから、全員を同時に収容できない科目など、感染対策を講じていても対面授業の実施が困難と判断される科目 ※2=体育実技科目、演習科目、教職科目を除いた講義科目	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし		
11	名寄市立大学	北海道	②公立大学	②併用	①ほとんど対面可能	前期の時間前を基に算出	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし		
12	札幌市立大学	北海道	②公立大学	②併用	②7割が対面可能	コマ数を問わず、時間前に配置されている科目単位(複数クラス開講科目はクラス単位)で数えた。ハイブリッド形式などの科目は遠隔授業とした。	②7割が対面可能	②7割が対面可能	③半々で対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	遠隔形式授業の教育効果が高いと判断した科目を遠隔形式とした結果である。	
13	公立千歳科学技術大学	北海道	②公立大学	①全面对面可能	①全面对面可能									
14	星城短期大学	北海道	③私立大学	①全面对面可能	①全面对面可能									
15	網走短期大学	北海道	③私立大学	①全面对面可能	①全面对面可能									
16	札幌大学	北海道	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	令和4年度前期の全ての開設、開講予定科目のうち、例外的にごく少数の授業科目のみ遠隔対応とするため。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	なし。	
17	札幌学院大学	北海道	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	大学として遠隔授業を行う科目を把握しているため(約20科目)	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし		
18	国経大学	北海道	③私立大学	①全面对面可能	①全面对面可能									
19	藤女子大学	北海道	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	すでに実施が決定している非対面授業の回数から計算	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし		
20	北星学園大学	北海道	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	遠隔授業は、①予め申し出のあった一部の科目、②教室収容人数の制限により、教室の割当ができなかった科目を実施することとしている。申し出のあった一部の科目は会議で確認をしている。教室稼働作業の結果、開講科目全体の割以上のクラスにつき教室の割当を行うことができたため。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	
21	北海学園大学	北海道	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	以下の方針で授業形態を決定し、過去の履修者数をもとに面接・遠隔授業科目数を計算し回答した。 ①講義科目については、履修者数が定期試験定員(座席一つ置きを基準、教室定員のほぼ3分の2)以内の場合は対面授業を実施し、それ以外は遠隔授業を実施する。 ②実習が考慮される少人数科目(演習、外国語など)については、履修者数が教室定員の3分の1以内となるよう教室数を調整する。 ③実験・実習科目については、履修者同士が一定距離をとれる場合は、教室定員で対面授業を実施し、それ以外は、②に準じる。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし		
22	北海道科学大学	北海道	③私立大学	②併用	②7割が対面可能	時間前上の科目について、実際に面接・遠隔授業をそれぞれカウントし、計算した。	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	①ほとんど対面可能	②7割が対面可能	なし	
23	酪農学園大学	北海道	③私立大学	①全面对面可能	①全面对面可能									
24	旭川大学	北海道	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	原則としては対面授業を実施するが、地域での感染状況や学内で陽性者が発生した場合などは遠隔授業に切り替える予定である。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし		
25	北海道医療大学	北海道	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	6学期のうち3学期では「前年度を面接授業とし、遠隔授業と併用しているため。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能		
26	北星学院大学	北海道	③私立大学	①全面对面可能	①全面对面可能									
27	北海道情報大学	北海道	③私立大学	①全面对面可能	①全面对面可能									
28	札幌国際大学	北海道	③私立大学	②併用	②7割が対面可能	履修者数が教室のキャパ(通常の1/2)を超えると思われる授業及び入居できない留学生が多く履修する授業の割合に準じる。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	比率に差はない。	
29	北洋大学	北海道	③私立大学	①全面对面可能	①全面对面可能									
30	日本赤十字北海道看護大学	北海道	③私立大学	①全面对面可能	①全面对面可能									
31	北海道文教大学	北海道	③私立大学	①全面对面可能	①全面对面可能									

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	授業の割合	割合の計算方法	学年別の割合						学年によって割合に差がある場合の理由
							1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	
32	天徳大学	北海道	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	授業予定表などからおおむねの割合で回答	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
33	青英館大学	北海道	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	授業の2/3以上が面接で行うか遠隔で行うかで判断	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	該当なし
34	札幌大谷大学	北海道	③私立大学	②併用	②7割が対面可能	時間割ベースで算出	①ほとんど対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	該当なし
35	札幌保健医療大学	北海道	③私立大学	①全面対面可能									
36	日本医療大学	北海道	③私立大学	①全面対面可能									
37	北海道千歳リハビリテーション大学	北海道	③私立大学	①全面対面可能									
38	北翔大学	北海道	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	面接授業と遠隔授業の科目数を出して計算した。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
39	旭川大学短期大学部	北海道	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	原則としては対面授業を実施するが、地域の感染状況や学内で陽性者が発生した場合などは遠隔授業に切り替える予定である。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	
40	帯広大谷短期大学	北海道	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	一度に授業を行う人数の多い科目について、遠隔講義を取り入れて実施する見込みであり、時間割上の科目数から比率を把握した。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	
41	光塩学園女子短期大学	北海道	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	週に1日遠隔授業を実施し、その他は対面授業とするため。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	学年による差はない。
42	札幌大谷大学短期大学部	北海道	③私立大学	①全面対面可能									
43	函館大谷短期大学	北海道	③私立大学	①全面対面可能									
44	函館短期大学	北海道	③私立大学	①全面対面可能									
45	北星学園大学短期大学部	北海道	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	遠隔授業は、①予め申し出のあった一部の科目、②教室収容人数の制限により、教室の割当ができなかった科目を実施することとしている。申し出のあった一部の科目は会議で確認をしている。教室配座作業の結果、開講科目全体の別期以上のクラスにつき教室の割当を行うことができたため。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能
46	北翔大学短期大学部	北海道	③私立大学	①全面対面可能									
47	拓殖大学北海道短期大学	北海道	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	学生数を履修数で割った数	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	
48	北海道武蔵女子短期大学	北海道	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	感染拡大を防ぐため、教室等の収容人数に制限を設けた。教員の授業計画を学生に提示し、履修予定人数がその制限を上回るものについて遠隔授業とした。その結果、全科目に占める遠隔授業の割合が2割を下回った。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	
49	札幌大学女子短期大学部	北海道	③私立大学	①全面対面可能									
50	札幌国際大学短期大学部	北海道	③私立大学	①全面対面可能									
51	開学院大専北北海道短期大学部	北海道	③私立大学	①全面対面可能									
52	函館工業高等専門学校	北海道	④高等専門学校	①全面対面可能									
53	苫小牧工業高等専門学校	北海道	④高等専門学校	①全面対面可能									
54	釧路工業高等専門学校	北海道	④高等専門学校	①全面対面可能									
55	旭川工業高等専門学校	北海道	④高等専門学校	①全面対面可能									
56	弘前大学	青森県	①国立大学	①全面対面可能									
57	青森公立大学	青森県	②公立大学	①全面対面可能									
58	青森県立保健大学	青森県	②公立大学	①全面対面可能									
59	青森大学	青森県	③私立大学	①全面対面可能									
60	東田学園大学	青森県	③私立大学	①全面対面可能									
61	弘前学院大学	青森県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	令和3年度の講義実績から試算したものである。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
62	八戸工業大学	青森県	③私立大学	①全面対面可能									
63	八戸学院大学	青森県	③私立大学	①全面対面可能									
64	青森中央学院大学	青森県	③私立大学	①全面対面可能									
65	弘前医療福祉大学	青森県	③私立大学	①全面対面可能									
66	青森明の星短期大学	青森県	③私立大学	①全面対面可能									
67	東田学園大学短期大学部	青森県	③私立大学	①全面対面可能									
68	青森中央短期大学	青森県	③私立大学	①全面対面可能									
69	八戸学院大学短期大学部	青森県	③私立大学	①全面対面可能									
70	弘前医療福祉大学短期大学部	青森県	③私立大学	①全面対面可能									
71	八戸工業高等専門学校	青森県	④高等専門学校	①全面対面可能									
72	岩手大学	岩手県	①国立大学	①全面対面可能									
73	岩手県立大学	岩手県	②公立大学	①全面対面可能									
74	岩手県立大学盛岡短期大学部	岩手県	②公立大学	①全面対面可能									
75	岩手県立大学宮古短期大学部	岩手県	②公立大学	①全面対面可能									
76	岩手医科大学	岩手県	③私立大学	①全面対面可能									
77	富士大学	岩手県	③私立大学	①全面対面可能									
78	盛岡大学	岩手県	③私立大学	①全面対面可能									
79	岩手保健医療大学	岩手県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	県外在住の非常勤講師の担当コマ数÷全授業コマ数	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
80	修紅短期大学	岩手県	③私立大学	①全面対面可能									
81	盛岡大学短期大学部	岩手県	③私立大学	①全面対面可能									
82	一関工業高等専門学校	岩手県	④高等専門学校	①全面対面可能									
83	東北大学	宮城県	①国立大学	②併用	①ほとんど対面可能	本学では、各授業科目で修める内容・特性に合わせ、キャンパスで行う面接授業と遠隔授業を効果的に併用した授業を実施している。令和3年度は、遠隔授業として大人数の授業、高年次教養教育科目や国際共修科目の授業等を対象として実施する方針であり、昨年度よりさらに面接授業の比率が上がると理解している。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能
84	宮城教育大学	宮城県	①国立大学	①全面対面可能									
85	宮城大学	宮城県	②公立大学	①全面対面可能									
86	仙台大学	宮城県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	「令和4年度の授業は原則、面接授業とする。」方針であるが、宮城県のコロナ感染状況を踏まえ、5月9日までの授業は遠隔授業(但し、導入演習等は面接授業)とすることを決めている。従って、授業回数15回中、遠隔授業3回、面接授業12回の比率を予定している。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	授業の割合	割合の計算方法	学年別の割合						学年によって割合に差がある場合の理由
							1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	
87	東北学院大学	宮城県	③私立大学	②併用	③半々で対面が可能	ゴールデンウィークまで受講者数50人以下、その後は受講者数が100人以下の講義・演習・実験・実習等を対面で行うが、(学期によって)個々の学生にとっておおよそ半半程度の授業が対面となっている。	④3割が対面が可能	③半々で対面が可能	③半々で対面が可能	③半々で対面が可能	⑤該当なし	⑤該当なし	演習・実験・実習等の専門分野の授業が、学年が進むのにしたがって増えてくるため
88	東北工業大学	宮城県	③私立大学	②併用	②7割が対面が可能	適当なりのコマ数により計算	②7割が対面が可能	②7割が対面が可能	②7割が対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑤該当なし	⑤該当なし	概ね全学年同一の考え方に基づくが、4年生は研修科目(対面)が割合的に多く、結果的に8割以上となる。
89	東北福祉大学	宮城県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	受講者数が教室収容人数(感染対策をした状態)に収まる授業については、面接授業を予定しており、面接授業で実施できる科目が8割を超えるため。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑤該当なし	⑤該当なし	
90	東北医科薬科大学	宮城県	③私立大学	②併用	②7割が対面が可能	令和4年度前期の授業日数に対する面接授業日数の割合を、各学部・学科・学年の入学生員数により加重平均し、大学全体の面接授業割合を算出している。	②7割が対面が可能	②7割が対面が可能	②7割が対面が可能	②7割が対面が可能	②7割が対面が可能	①ほとんど対面が可能	国家試験を控えている最終学年は、優先して面接授業の比率を高くしている。
91	東北生活文化大学	宮城県	③私立大学	①全面対面が可能									
92	宮城学院女子大学	宮城県	③私立大学	①全面対面が可能									
93	石巻専修大学	宮城県	③私立大学	①全面対面が可能									
94	仙台白百合女子大学	宮城県	③私立大学	①全面対面が可能									
95	東北化学園大学	宮城県	③私立大学	①全面対面が可能									
96	尚絅学院大学	宮城県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	基本対面。受講生が100名以上や対面型授業と同等、またはそれ以上の効果が期待できる科目のみ非対面型とし、その割合は1割におさえた。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑤該当なし	⑤該当なし	
97	宮城県短期大学	宮城県	③私立大学	①全面対面が可能									
98	聖和学園短期大学	宮城県	③私立大学	①全面対面が可能									
99	東北生活文化大学短期大学部	宮城県	③私立大学	①全面対面が可能									
100	仙台青葉学院短期大学	宮城県	③私立大学	②併用	②7割が対面が可能	各学科に調査を依頼し、集計した。	②7割が対面が可能	②7割が対面が可能	②7割が対面が可能	⑤該当なし	⑤該当なし	⑤該当なし	
101	仙台赤門短期大学	宮城県	③私立大学	①全面対面が可能									
102	仙台高等専門学校	宮城県	④高等専門学校	②併用	①ほとんど対面が可能	時間割上のコマ数により計算	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑤該当なし	
103	秋田大学	秋田県	①国立大学	②併用	③半々で対面が可能	令和4年度前期開始当初(4/7(月)～4/22(金))は、人の移動の時期であり感染リスクが高まると考えられることから原則として遠隔授業で実施し、それ以降の授業方法は地域の感染警戒等を総合的に勘案し改めて検討することとしている。産学連携2か所で対面授業の場合は、これまでの実施から対面・遠隔比率は概ね対面が、遠隔になる見込み、産学連携1mの場合、対面・遠隔比率は、対面4・遠隔6になる見込み。	③半々で対面が可能	③半々で対面が可能	③半々で対面が可能	③半々で対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	具体的な科目数等は検討中のため上記回答には反映していないが、全学部の新入生について、教員と学生又は学生同士のコミュニケーションを通じて「人材形成」や「人間力の成長」を図るため、遠隔授業期間中であっても対面授業の機会を設け、新入生を大学に定着させる機会を確保することとしている。 医学部医学科の5～6年次についてはPCR検査の実施など感染対策を徹底の上で対面の臨床実習を行う予定であり、面接授業の機会が多くなっている。
104	秋田県立大学	秋田県	②公立大学	①全面対面が可能									
105	国際教養大学	秋田県	②公立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	開講する全ての授業を対象に算出。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑤該当なし	⑤該当なし	基本的にはすべての授業を対面で実施する計画だったが、コロナ禍のオンライン授業の経験に基づき、オンライン授業の教育的効果が高いと認められた科目の遠隔授業や海外から事情により滞日が多い学生へ履修機会を提供するために遠隔で行うこととした結果であり、学年により差を設けるために計画したということではない。
106	秋田公立美術大学	秋田県	②公立大学	①全面対面が可能									
107	ノースアジア大学	秋田県	③私立大学	①全面対面が可能									
108	秋田看護福祉大学	秋田県	③私立大学	①全面対面が可能									
109	日本赤十字秋田看護大学	秋田県	③私立大学	②併用	③半々で対面が可能	1年生は全て面接授業、2年生は半々、3年生は3割程度面接授業、4年生は全て遠隔授業と予定していることから、全体とすればおおむね半々の比率であると計算した。	①ほとんど対面が可能	③半々で対面が可能	④3割が対面が可能	⑤ほとんど遠隔で実施	⑤該当なし	⑤該当なし	講義室の収容人数の都合により学年ごとに差があるが、1年生については大学生活への適応を優先して面接授業とする。
110	秋田産業短期大学	秋田県	③私立大学	①全面対面が可能									
111	聖学院短期大学	秋田県	③私立大学	①全面対面が可能									
112	聖妻女子短期大学	秋田県	③私立大学	①全面対面が可能									
113	日本赤十字秋田短期大学	秋田県	③私立大学	①全面対面が可能									
114	秋田工業高等専門学校	秋田県	④高等専門学校	①全面対面が可能									
115	山形大学	山形県	①国立大学	①全面対面が可能									
116	山形県立保健医療大学	山形県	②公立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	学部が授業計画としては、すべて面接授業とし、大学院の授業計画としては、一部遠隔授業としていることから、見込みによる計算	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑤該当なし	⑤該当なし	
117	山形県立米沢産業大学	山形県	②公立大学	①全面対面が可能									
118	山形県立米沢女子短期大学	山形県	②公立大学	①全面対面が可能									
119	東北芸術工科大学	山形県	③私立大学	②併用	②7割が対面が可能	必修となる演習の時間が1週あたり授業時間の6～7割を占めるため	②7割が対面が可能	②7割が対面が可能	②7割が対面が可能	②7割が対面が可能	⑤該当なし	⑤該当なし	
120	東北公益文科大学	山形県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	原則として面接授業とし、特に効果が認められる授業についてのみ遠隔授業とする。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑤該当なし	⑤該当なし	
121	東北文科大学	山形県	③私立大学	①全面対面が可能									
122	羽根学園短期大学	山形県	③私立大学	①全面対面が可能									
123	東北文科大学短期大学部	山形県	③私立大学	①全面対面が可能									
124	鶴岡工業高等専門学校	山形県	④高等専門学校	①全面対面が可能									
125	福島大学	福島県	①国立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	・教室収容数を超える大人数講義科目については、遠隔オンデマンド型授業で実施する。 ・講義科目については、全学的に履修登録者数に応じて収容人数教室へ交換・調整し、対面授業で実施する。 ・演習科目については、全学的に演習教室を確保し、講義科目に優先して対面授業を実施する。 ・数値調整の結果、殆どの授業が対面授業で実施しており、遠隔授業科目は全科目の5%程度となっている。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑤該当なし	⑤該当なし	
126	福島県立医科大学	福島県	②公立大学	①全面対面が可能									
127	会津大学	福島県	②公立大学	①全面対面が可能									
128	会津大学短期大学部	福島県	②公立大学	①全面対面が可能									
129	郡山女子大学	福島県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	大学としては感染症対策を講じつつ、面接授業を行いたいのが、感染症対策としての授業分割による対応の限界(教室の不足、時間割の過密、担当教員の負担増)により数科目遠隔授業となる可能性がある。 また、学外の実習を予定している学科・学年では、実習の受け入れ先からの強い要請により、実習前2週間～実習予定者の行動規制が求められるため、その対応として、当該期間を遠隔授業で対応せざるを得ない。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑤該当なし	⑤該当なし	
130	奥羽大学	福島県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	一部科目でのみ遠隔授業を行うため。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	
131	医療衛生大学	福島県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	基本方針として対面での授業を主としているが、東京から来学する非常勤講師などにおいて遠隔授業を取り入れていることから、今年度の実績に基づき、来年度の予定について担当教員に確認し、該当授業数を割り出している。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	
132	東日本国際大学	福島県	③私立大学	①全面対面が可能									
133	福島学院大学	福島県	③私立大学	①全面対面が可能									
134	郡山女子大学短期大学部	福島県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	大学としては感染症対策を講じつつ、面接授業を行いたいのが、感染症対策としての授業分割による対応の限界(教室の不足、時間割の過密、担当教員の負担増)により数科目遠隔授業となる可能性がある。 また、学外の実習を予定している学科・学年では、実習の受け入れ先からの強い要請により、実習前2週間～実習予定者の行動規制が求められるため、その対応として、当該期間を遠隔授業で対応せざるを得ない。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑤該当なし	⑤該当なし	⑤該当なし	⑤該当なし	
135	桜の聖母短期大学	福島県	③私立大学	①全面対面が可能									
136	いわき短期大学	福島県	③私立大学	①全面対面が可能									

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	授業の割合	割合の計算方法	学年別の割合						学年によって割合に差がある場合の理由			
							1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生				
137	福島学院大学短期大学部	福島県	③私立大学	①全面対面可能												
138	福島工業高等専門学校	福島県	④高等専門学校	①全面対面可能												
139	茨城大学	茨城県	①国立大学	②併用	①ほとんど対面可能	シラバスにおいて、面接授業（全授業回が対面であるものに加え、対面とオンラインが混在する授業科目のうち面接授業が全授業の実施時間の半数以上であるものを含む。）を予定している授業の割合を算出した。	②7割が対面可能	②7割が対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	低学年は基礎教育（共通教育）や基礎的科目が中心となり、比較的大人数の講義科目が開講されるため、感染拡大防止の観点からオンライン授業の比率が高いためと考えられる。			
140	筑波大学	茨城県	①国立大学	②併用	③半々で対面可能	令和3年度10月時点で本学の教育課程編成システムに登録されていた科目情報（ただし、学期別対面科目のみ）をもとに算出した結果、令和3年度学期別の面接授業実施率は約5割であった。また令和年度の教室定員等の授業実施方針は令和3年度と変わらないため、令和4年度春学期の面接授業実施率は許年度とほぼ同様の5割程度と推測される。	③半々で対面可能	③半々で対面可能	③半々で対面可能	③半々で対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	低学年では総論を多く履修するが、こうした科目はおおむね受講者が100人を超えるためオンライン実施率が高く、結果的に低学年のオンライン授業実施率が比較的高くなっている。高学年では実習、演習、研究等が増えるため、面接授業実施率が比較的高くなっている。			
141	筑波技術大学	茨城県	①国立大学	①全面対面可能												
142	茨城県立医療大学	茨城県	②公立大学	①全面対面可能												
143	茨城キリスト教大学	茨城県	③私立大学	①全面対面可能												
144	つくば国際大学	茨城県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	基礎科目（一般教養科目）の選択科目の一部のみオンライン授業とした。該当科目数が10程度であり、総科目数は100程度あるため、80%（概ね90%程度）以上	②7割が対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	項目8の通り基礎科目（選択）の一部のみオンラインとしたが、これは1学年に集中している。そのため、1学年のみオンライン授業の比率が高くなっている。			
145	筑波学院大学	茨城県	③私立大学	①全面対面可能												
146	日本ウェルネススポーツ大学	茨城県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	各科目の履修者数を参照	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし				
147	常盤大学	茨城県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	遠隔授業を実施する授業時数が半数を超えない範囲で行われる授業科目については、面接授業の授業科目として算定した。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	該当なし			
148	アール医療専門学校	茨城県	③私立大学	①全面対面可能												
149	茨城女子短期大学	茨城県	③私立大学	①全面対面可能												
150	つくば国際短期大学	茨城県	③私立大学	①全面対面可能												
151	常盤短期大学	茨城県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	遠隔授業を実施する授業時数が半数を超えない範囲で行われる授業科目については、面接授業の授業科目として算定した。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	該当なし			
152	茨城工業高等専門学校	茨城県	④高等専門学校	①全面対面可能												
153	宇都宮大学	栃木県	①国立大学	①全面対面可能												
154	足利大学	栃木県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	各科目の授業実施回数に占める面接授業の割合です。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし				
155	白鷲大学	栃木県	③私立大学	①全面対面可能												
156	作新学院大学	栃木県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	令和3年7月の学内調査による（令和4年大幅に変更の見込みはない）	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし				
157	国際医療福祉大学	栃木県	③私立大学	①全面対面可能												
158	宇都宮共和大学	栃木県	③私立大学	①全面対面可能												
159	文星芸術大学	栃木県	③私立大学	①全面対面可能												
160	自治医科大学	栃木県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	医学部についてはおおよその計算で8割以上。看護学部については原則的にすべての授業を対面で運用している。（遠隔授業は、新型コロナウイルス陽性・濃厚接触者・PCR検査待ち等で自宅待機を命じられた学生のみが対象）	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能			
161	徳信医科大学	栃木県	③私立大学	①全面対面可能												
162	佐野日本大学短期大学	栃木県	③私立大学	①全面対面可能												
163	宇都宮短期大学	栃木県	③私立大学	①全面対面可能												
164	国際医療福祉大学短期大学部	栃木県	③私立大学	①全面対面可能												
165	作新学院大学女子短期大学部	栃木県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	令和3年7月の学内調査による（令和4年大幅に変更の見込みはない）	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	該当なし			
166	足利短期大学	栃木県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	前期開講授業科目数に対して、対面授業科目数の実数で割合を計算し決定した。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	該当なし			
167	宇都宮文星短期大学	栃木県	③私立大学	①全面対面可能												
168	小山工業高等専門学校	栃木県	④高等専門学校	①全面対面可能												
169	群馬大学	群馬県	①国立大学	②併用	②7割が対面可能	2022年度当初の大学の方針は、各学部等が感染拡大防止に最大限に配慮しつつ、学生のキャンパスの人員割合を決定することとし、また、初年次の教養教育科目については対面によるコミュニケーション、学生同士の交流の重要性を鑑み、可能な限りキャンパスでの学修機会を創出し提供する方針とした。なお、英語の授業は非接触講師の確保のため事前にオンライン授業と決定したほか、感染防止対策のための面接授業教室の配当の工夫をすることにより、7割程度が面接授業であると推測した。	②7割が対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	初年次については対面によるコミュニケーション、学生同士の交流の重要性を鑑み、できる限りキャンパス内での学修機会を設けるよう配慮していること及び高学年等については実習・実習など、特に対面による指導が不可欠と判断される授業や少人数での対話を中心とする演習（ゼミナール）等の授業が多く配置されていることにより、学年ごとに比率が異なる。	
170	高崎経済大学	群馬県	②公立大学	①全面対面可能												
171	群馬大学	群馬県	②公立大学	①全面対面可能												
172	群馬県立女子大学	群馬県	②公立大学	①全面対面可能												
173	群馬県立県民健康科学大学	群馬県	②公立大学	①全面対面可能												
174	群英大学	群馬県	③私立大学	①全面対面可能												
175	相生大学	群馬県	③私立大学	①全面対面可能												
176	群馬パース大学	群馬県	③私立大学	①全面対面可能												
177	群馬医療福祉大学	群馬県	③私立大学	①全面対面可能												
178	高崎商科大学	群馬県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	月～木を対面授業、金を遠隔授業にて実施予定の為。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能			
179	上武大学	群馬県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	実際に履修登録が済んだから受講者が確定するが、ソーシャルディスタンスが確保できる教室の最大受講数が100名程度のため100名以上の授業については遠隔とすることになった。例年の受講数から100名以上の授業は全体の割合を切るため、①と見込みをたてました。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	該当なし			
180	関東学園大学	群馬県	③私立大学	①全面対面可能												
181	共愛学園前橋国際大学	群馬県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	必修科目を除く履修者数が76名以上の授業は遠隔授業とする。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし				
182	高崎商科大学短期大学部	群馬県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	月～木曜日が面接授業、金曜日は遠隔授業にて実施予定のため。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能			
183	群馬医療福祉大学短期大学部	群馬県	③私立大学	①全面対面可能												
184	短島学園短期大学	群馬県	③私立大学	①全面対面可能												

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	授業の割合	割合の計算方法	学年別の割合						学年によって割合に差がある場合の理由			
							1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生				
185	高崎健康福祉大学	群馬県	③私立大学	①全面対面可能												
186	桐生大学短期大学部	群馬県	③私立大学	①全面対面可能												
187	共愛学園前橋国際大学短期大学部	群馬県	③私立大学	①全面対面可能												
188	青英短期大学	群馬県	③私立大学	①全面対面可能												
189	群馬工業高等専門学校	群馬県	④高等専門学校	①全面対面可能												
190	人間総合科学大学	埼玉県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	実際の時間割の設定状況を見て回答。	①ほとんど対面可能	②7割が対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	初年度、ならびに実習が増える3、4年で面接授業の比率を比較的高めている。			
191	埼玉大学	埼玉県	①国立大学	②併用	①ほとんど対面可能	学生本人又は同居家族に基礎疾患がある場合、来日出来ない留学生、教員に基礎疾患がある場合（教室での対面授業をリアルタイムで配信する方式）での受講などを行うもの。ほとんどが対面授業での実施となる。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし				
192	埼玉県立大学	埼玉県	②公立大学	②併用	①ほとんど対面可能	本学は2020年度前期授業について、保健医療福祉系の教育を主体とする本学の教育特性を考慮した教育の質保証のため、また学生の学習コミュニティ再建のため、感染予防行動を徹底した上で原則対面授業を実施する。遠隔授業は、それを実施することが学習効果の向上につながるなど、より効果的な教育ができる場合に限定して行う。そのため、全体の対面授業比率は8割以上になると考えている。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし				
193	埼玉医科大学短期大学	埼玉県	③私立大学	①全面対面可能												
194	ものつくり大学	埼玉県	③私立大学	②併用	②7割が対面可能	開講授業数に対する、遠隔授業数（遠隔・面接授業×1/2）を除いた授業を面接授業数とし、比率を算出	①ほとんど対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	1年生の授業は、できるだけ対面授業で実施するよう会議の場で依頼している。大学全体の授業科目の構成が実習系が約割であり、コロナ対策を講じながら面接授業を実施してきた経緯があり、講義科目について受講者数が多い科目を遠隔授業で提供しているため、面接授業の比率が高くなっている。			
195	日本医療科学大学	埼玉県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	原則対面授業としているが、学科・専攻をまたぐ人数が多い授業や、教職員で学修効果を確認して一部オンライン化している	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし				
196	日本薬科大学	埼玉県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	原則面接授業とし、感染リスクがあるグループ討議を併用しヒューマニティ科目を一部遠隔授業とした結果、一割強の授業が遠隔授業となった。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	①ほとんど対面可能	1～4年生、6年生の差はなし。（5年生は実務実習及び卒業研究の他、講義等の授業はなし。）			
197	武蔵野学院大学	埼玉県	③私立大学	①全面対面可能												
198	浦和大学	埼玉県	③私立大学	①全面対面可能												
199	共栄大学	埼玉県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	開講授業数に対する授業回数の半数以上で面接授業を実施する授業の割合	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	②7割が対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	大学に慣れていない低学年の学生に対し、面接授業の機会を増やすようにした。入学した年からコロナの影響が大きくなり遠隔授業が主であった新3年生に対し、2021年度に比べ面接授業の機会が増えるように配慮した。			
200	埼玉学園大学	埼玉県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	令和3年度春期の履修者数を参考に、464コマのうち112コマが面接授業と遠隔授業の併用となるため。（遠隔授業を行う授業の割合） 112÷464×100÷2=12.1%	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし				
201	尚美学園大学	埼玉県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	感染対策が徹底されにくい危機が残る語学、（教室の定員を減らした関係で）教室に入りきれない履修者の多い授業科目を遠隔授業としたため、その数を計算すると上記数値となった。	②7割が対面可能	②7割が対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	考え方に差はないが、必修語学の履修科目数が多い1・2年生が、やや遠隔授業の割合が多くなる。			
202	西武文理大学	埼玉県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	コロナウイルス感染症を配慮しながら	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし				
203	十文字学園女子大学	埼玉県	③私立大学	①全面対面可能												
204	平成国際大学	埼玉県	③私立大学	①全面対面可能												
205	東京国際大学	埼玉県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	実施される全ての授業回数を分母とし、対面授業回数、遠隔授業（オンデマンド授業）回数、それ以外の割合を算出している。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	大学での学びの導入およびサポートが必要な1年生、専門教育が始まる2年生に対しては、対面授業が有効と思われるため、対面授業の比率が高くなっている。			
206	城西大学	埼玉県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	全授業科目の内、面接授業を実施する科目数を算出した。 ○授業科目数：3,384コマ ○内 面接授業：3,157コマ	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	学年によって、面接授業の比率が異なることはない。基本的には、履修者数100名以上の科目は遠隔授業を推奨している。			
207	東邦音楽大学	埼玉県	③私立大学	①全面対面可能												
208	獨協大学	埼玉県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	令和4年度春学期の授業実施方針は、対面授業を中心としつつ、一部は新型コロナ感染症拡大状況並びに教員、学生の基礎疾患などの事情にも配慮しながら遠隔授業を併用することを可能として実施することしており、全ての学部学科の教員に周知して授業計画を進めていることによるものです。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	該当なし			
209	日本工業大学	埼玉県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	全授業科目のうち、遠隔授業科目がどれくらいかを計算。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし				
210	埼玉医科大学	埼玉県	③私立大学	②併用	③半々で対面可能	1学期授業実施コマ数に対する実習等対面授業予定コマ数。	③半々で対面可能	③半々で対面可能	⑤ほとんど遠隔で実施	⑤ほとんど遠隔で実施	①ほとんど対面可能	②7割が対面可能	・1年生は大学での学修や人間関係の構築のため、対面の機会を増やしている。 ・5年生および6年生は対面での臨床実習を行っている。			
211	埼玉工業大学	埼玉県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	講義授業で200名以上の履修希望者が見込まれる授業を遠隔授業とし、面接授業は、本学の教室収容定員の7割程度とし、感染状況を講じつつ、面接授業で実施する。実施の履修者数が教室収容定員の7割程度を超えてしまった時は、教室変更を行い対応が難しい場合には、面接授業からハイフレックス型授業又は分散型授業に変更する。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	実際の履修者数者が教室収容定員の7割程度を超えてしまった時に、教室変更等での対応、難しい場合には、面接授業から分散型授業に変更し、行う予定。現在のところ教室収容定員の7割程度を超えてしまう授業は1割程度である予定。			
212	駿河台大学	埼玉県	③私立大学	②併用	②7割が対面可能	令和4年度春学期の授業については、定員60名未満の教室を使用する必修演習科目、必修もしくは選択必修外国語科目、必修基礎情報処理科目等の授業種別については面接授業を実施することとし、感染症対策の観点から、教室の規模や定員に鑑みて新型コロナウイルス以前の定員で実施することに制約がある連年3か年の受講者数の平均がらるるを超える授業については、遠隔授業又は面接授業と遠隔授業を組み合わせたハイブリッド型の授業を行うこととしている	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	4年生にについては、面接授業で行う必修演習科目以外の選択科目の数が少ないことによる。			
213	女子栄養大学	埼玉県	③私立大学	①全面対面可能												
214	日本保健医療大学	埼玉県	③私立大学	①全面対面可能												

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	授業の割合	割合の計算方法	学年別の割合						学年によって割合に差がある場合の理由		
							1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生			
215	聖学院大学	埼玉県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	<p>大学の2022年度授業方針は下記である。</p> <p>①対面授業を基本とし、通学を前提とした授業運営を行う。</p> <p>②感染症予防対策に則った教室環境を整え、対面授業を実施する。ただし、履修者数および授業内容に鑑み、一部の科目についてはオンライン授業とする。</p> <p>上記方針に則り、2021年度に引き続き、2022年度の学内の施設使用状況および感染予防対策を踏まえ、各授業の授業形態を決定、各授業担当者に出張依頼を行った。上記により、大学として全ての授業の授業形態（対面授業とオンライン授業）を把握しており、結果、8割以上が対面授業を実施することとなった。</p>	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし			
216	文教大学	埼玉県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	<p>分母：全授業 分子：授業単位の半数以上をオンラインで実施する科目</p>	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし			
217	大東文化大学	埼玉県	③私立大学	①全面対面可能											
218	武蔵野短期大学	埼玉県	③私立大学	①全面対面可能											
219	埼玉純真短期大学	埼玉県	③私立大学	①全面対面可能											
220	城西短期大学	埼玉県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	<p>全授業科目の内、対面授業を実施する科目数を算出した。</p> <p>○授業科目数：215コマ ○内 対面授業：214コマ</p>	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	学年によって、対面授業の比率が異なることはない。基本的には、履修者数100名以上の科目は対面授業を推奨している。		
221	国際学院埼玉短期大学	埼玉県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	<p>大学の新型コロナウイルス感染症に対する指針により教育活動を実施している。</p>	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	学年によって、対面授業の比率が異なることはない。基本的には、履修者数100名以上の科目は対面授業を推奨している。		
222	秋草学園短期大学	埼玉県	③私立大学	①全面対面可能											
223	川口短期大学	埼玉県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	<p>令和3年度前期の履修者数を参考に、153コマのうち46コマが対面授業と対面授業の併用となるため。</p> <p>(対面授業を行う授業の割合) $46 \div 153 \times 100 \approx 30.1\%$</p>	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし			
224	埼玉女子短期大学	埼玉県	③私立大学	①全面対面可能											
225	山村学園短期大学	埼玉県	③私立大学	①全面対面可能											
226	武蔵丘短期大学	埼玉県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	<p>前期は全体で125コマのうち、5時間の3コマのみオンデマンドの授業</p>	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし			
227	埼玉東萌短期大学	埼玉県	③私立大学	①全面対面可能											
228	千葉大学	千葉県	①国立大学	②併用	②7割が対面可能	<p>令和4年度前期開講授業のシラバスに記載されている内容を集計し、上記の回答とした。</p>	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	学年ごとの対面率は、教室の収容人数や教育効果を踏まえて選択されるものとしているため、学年ごとの比率には差はない。	
229	千葉県立保健医療大学	千葉県	②公立大学	②併用	①ほとんど対面可能	<p>全科目から対面授業科目を割ったことによる。</p>	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし			
230	流通経済大学	千葉県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	<p>学部 2,904コマの内オンライン授業208コマ $208 \div 2,904 \approx 7\%$</p>	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	学年ごとに差はありません		
231	明海大学	千葉県	③私立大学	①全面対面可能											
232	東都大学	千葉県	③私立大学	①全面対面可能											
233	千葉科学大学	千葉県	③私立大学	①全面対面可能											
234	愛国学院大学	千葉県	③私立大学	①全面対面可能											
235	開智国際大学	千葉県	③私立大学	①全面対面可能											
236	清和大学	千葉県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	<p>学費支援を第一に考え、開設口数と学年ごとの学生数及び履修可能な定員数から導き出した。</p>	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	学年ごとの差はない	
237	城西国際大学	千葉県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	<p>全学的に対面授業を実施するが、2022年度より「全学部共通基礎科目」を導入する。「全学部共通基礎科目」は総合大学ならではの文理融合型ペララーズ教育科目で、主に1、2年生が履修する対面授業で実施する。また千葉商業キャンパス、東葛尾井町キャンパスで同時に開講する対面授業もあるが、対面授業は全体の2割に満たない。</p>	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	全学的に対面授業を実施するが、2022年度より「全学部共通基礎科目」を導入する。「全学部共通基礎科目」は総合大学ならではの文理融合型ペララーズ教育科目で、主に1、2年生が履修する対面授業で実施する。そのため、学年間でも対面率に大きな差はありません。特に1年生は人間関係構築の科目を多く配当しており、入学初期段階におけるチーム形成、コミュニケーション形成など非常に重要な期間と認識しているため、必然的に対面率は最も高くなっています。
238	淑徳大学	千葉県	③私立大学	①全面対面可能											
239	敬愛大学	千葉県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	<p>半期約500科目を開講。うち、約100科目を対面授業（オンデマンド）として開講。対面授業と対面授業として開講。</p>	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	差はない		
240	千葉工業大学	千葉県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	<p>令和4年度前期開講の全授業科目について、授業開講形態のヒアリング調査を行っています。その結果に基づいて、対面形式とオンライン形式を整理し、それぞれの開講割合を算出しています。（各授業科目の開講形態は、全ての在学学生に記憶しています。）</p>	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	本学では、工系系大学として、知識の応用や実践的な技術の体得にはオンラインによる教育だけでは不十分と考えているため、対面形式による開講を基本方針としています。そのため、学年間でも対面率に大きな差はありません。特に1年生は人間関係構築の科目を多く配当しており、入学初期段階におけるチーム形成、コミュニケーション形成など非常に重要な期間と認識しているため、必然的に対面率は最も高くなっています。		
241	千葉商科大学	千葉県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	<p>全ての科目（授業）で対面授業か対面授業かを決定し、比率を算出している。</p>	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	全学年比率には差はない		
242	中央学院大学	千葉県	③私立大学	①全面対面可能											
243	麗澤大学	千葉県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	<p>ソーシャルディスタンスを確保した上で教室定員を設定し、収容人数を超過する科目については、対面授業または対面と対面を併用するハイフレックス授業を実施する。</p>	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能		
244	和洋女子大学	千葉県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	<p>2022年度の大学の授業運営・時間割作成の指針として、8割の授業を対面で行うことを定めている。</p> <p>対面授業として設定している科目の中で、一部対面形式やハイフレックス形式を取り入れる科目は限られている。履修人数の多い科目については対面授業とするよう指針で定めているため、対面授業8割を達成できると見込んでいる。</p>	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし			
245	国際武道大学	千葉県	③私立大学	①全面対面可能											
246	神田外語大学	千葉県	③私立大学	①全面対面可能											
247	千葉経済大学	千葉県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	<p>前年度の実績をもとに計算</p>	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし			
248	秀明大学	千葉県	③私立大学	①全面対面可能											
249	川村学園女子大学	千葉県	③私立大学	①全面対面可能											
250	東京情報大学	千葉県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	<p>対面・ハイブリッド授業配当数÷全授業数</p>	②7割が対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	一部の授業をオンライン授業にしたことで、結果的に学年ごとに差異が生じただけであり、意図的なものではない。		
251	東京基督教大学	千葉県	③私立大学	①全面対面可能											
252	聖徳大学	千葉県	③私立大学	②併用	②7割が対面可能	<p>各学部・学科の在籍者数、各科目の履修者数、授業の方法等を勘案して、各科目の授業については対面授業を中心に実施し、かつ対面授業の併用を基本として進めていく。基本的に対面授業のみで行う科目についても新型コロナウイルス感染症に係る健康上の理由等により出席できない事情のある学生に対しては、対面授業の同時中継またはオンデマンド配信などにより内容をフォローする。</p>	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし			
253	江戸川大学	千葉県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	<p>オンライン授業科目39コマ / 総授業コマ1098コマ = 3.5% オンライン率</p>	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし			

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	授業の割合	割合の計算方法	学年別の割合						学年によって割合に差がある場合の理由				
							1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生					
254	了徳寺大学	千葉県	③私立大学	①全面対面可能													
255	橘草学園大学	千葉県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	全授業科目における、対面授業の割合。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	演習や実習の増える高学年ほど、面接授業の機会が多くなっている	
256	亀田医療大学	千葉県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	令和4年度の前期授業のすべての授業コマについて、面接授業と遠隔授業のいずれで実施するかを調査し、比率を計算した。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	③半々で対面可能	②7割が対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	本学では基本的に対面授業を行っているが、感染症対策のため1教室で授業を実施した際に密になってしまう場合は、2教室に分かれて1教室を遠隔授業で実施している。最大限対面授業で実施できるように教室を配分した結果、1・2年生については、1つの教室で実施ができた。3・4年生の一部の科目については、2教室での分散授業となった。	
257	東邦大学	千葉県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	(全授業科目一遠隔形式での実施を予定している科目) / 全授業科目	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能		
258	千葉明德短期大学	千葉県	③私立大学	①全面対面可能													
259	昭和学院短期大学	千葉県	③私立大学	①全面対面可能													
260	聖徳大学短期大学部	千葉県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	各科目の在籍者数、各科目の履修者数、授業の方法等を勘案して、各科目の授業については面接授業を中心に実施し、かつ遠隔授業の併用を適度として進めいく。基本的に面接授業のみで行う科目についても新型コロナウイルス感染症に係る健康上の理由等により出席できない事情のある学生に対しては、面接授業の同時中継またはオンデマンド配信などにより内容をフォローする。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし		
261	清和大学短期大学部	千葉県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	学修支援の効果をもより層高めるために、講座開設数と学生数・履修者の割合を勘案して、決定した。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	なし		
262	千葉敬愛短期大学	千葉県	③私立大学	①全面対面可能													
263	千葉経済大学短期大学部	千葉県	③私立大学	①全面対面可能													
264	東京経営短期大学	千葉県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	大人数(100人以上)の授業のみを対面とオンライン授業の併用と考えているため、割合としては8割以上は対面授業となります。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	学年ごとの差はない	
265	橘草学園短期大学	千葉県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	全授業科目における面接授業の割合	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし		
266	木更津工業高等専門学校	千葉県	④高等専門学校	①全面対面可能													
267	東京学芸大学	東京都	①国立大学	②併用	①ほとんど対面可能	授業総数1,489件のうち1,374件、概ね9割を面接授業で実施する予定のため。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし		
268	東京大学	東京都	①国立大学	②併用	①ほとんど対面可能	大学の今年度前期開講予定科目について授業実施方法の調査を行い、その集計により回答した。なお、視察等で授業実施方法が未定の一部の科目については、集計には含まれていない。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	
269	東京医科歯科大学	東京都	①国立大学	②併用	③半々で対面可能	対面授業とオンライン授業とを授業内容により適切に使い分けて活用し、対面授業の実施による学生あたりの登校頻度は週2-3日程度を目安としていることから、面接授業と遠隔授業は、おおむね半々で行う予定である。	①ほとんど対面可能	③半々で対面可能	③半々で対面可能	③半々で対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	大学の学修に慣れていない1年生には、面接授業の機会を増やすよう配慮している。また、臨床実習を行う高学年においては、面接授業の機会が多くなっている。
270	東京外国語大学	東京都	①国立大学	②併用	②7割が対面可能	新型コロナウイルス感染症の感染リスクを避けるために、学生が来学するに際して交通機関の混雑が予想される時期(1期)や、大人数の履修者が集まれる授業については、可能な限り遠隔により行うこととしている。また、特定の曜日(水曜日)は遠隔(オンライン)授業日として、時限(6・7限)を新設のうえ、遠隔授業を行う時限としている(海外認定校との連携授業等の実施が予定されている)上記のとおり、曜日時限により、面接(対面)と遠隔(オンライン)で行いうる時限等を設定し、授業科目の性質や教員(非常勤講師を含む)の都合に応じて、授業編成を行った結果、このような比率となった。	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	該当なし
271	東京芸術大学	東京都	①国立大学	②併用	②7割が対面可能	令和4年度の授業について、実技・レッスン等は感染防止対策を講じた上で学内で対面形式で実施する。講義等はオンラインによる遠隔授業を継続するが、可能な範囲で対面形式を取り入れて実施する方針である。以上より回答を決定した。	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	学年ごとの比率に差はない。	
272	東京工業大学	東京都	①国立大学	②併用	③半々で対面可能	前期(第10、第20)の面接授業数÷全科目数を面接授業の割合とした。	②7割が対面可能	④3割が対面可能	③半々で対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	(1年生) 新入生の入学当初の不安感や孤独感を軽減し、円滑な学修の開始、大学生活全般へのスムーズな適応に資するため、コロナ感染拡大のリスクが低い時期は、講義室、実教室の密を避け、感染防止に最大限配慮した上で、原則、面接にて実施する。(2年生、3年生) 入学してから登校機会が全体的に乏しかった2020年度、2021年度入学者に配慮し、当該学生になるべく多くの登校機会を提供するため、可能な範囲において面接またはハイブリックス(面接とオンラインの同時配信)も実施する。ただし、感染対策を講じながらの授業運営においては講義室の密や履修、履修者数の制約があることなどから、すべての授業科目を対面授業にはできない。実技等科目等は、講義室、実教室等の密を避け、感染防止に最大限配慮した上で、原則面接で実施する。(4年生) 研究室での活動が中心となる学生に対しては、コロナ感染拡大のリスクが低い時期は、できる限り面接で実施する。	
273	お茶の水女子大学	東京都	①国立大学	②併用	①ほとんど対面可能	原則、教員へはなるべく対面授業を実施するよう依頼している。ただし、やむを得ないと思われる場合に限り遠隔授業の実施を認めている。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし		
274	東京農工大学	東京都	①国立大学	①全面対面可能													
275	電気通信大学	東京都	①国立大学	②併用	①ほとんど対面可能	5/18授業のうち、少なくとも4/23授業において面接授業を実施することが決定している。またその方が多い理由で遠隔授業をするものが9/2、まだ決まっていないものが4/3という状況である。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	本学においては、教育効果を考慮して原則として面接授業を実施することにしており、その結果2年生以外には8割以上が面接授業となっている。2年生については、類に分かれて大人数(80名以上)による履修科目等が計画されており、この場合には授業対策の観点から例外的に遠隔授業としている。	
276	一橋大学	東京都	①国立大学	②併用	①ほとんど対面可能	シラバスに登録・公開されている各科目の開講形態を集計して算出した。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし		

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	授業の割合	割合の計算方法	学年別の割合						学年によって割合に差がある場合の理由
							1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	
277	政策研究大学院大学	東京都	①国立大学	②併用	②7割が対面が可能	依頼文が届いておらず回答が遅くなったので4/18現在の数字で回答	②7割が対面が可能	②7割が対面が可能	②7割が対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	
278	東京海洋大学	東京都	①国立大学	①全面対面が可能									
279	東京都立大学	東京都	②公立大学	①全面対面が可能									
280	東京都立産業技術大学院大学	東京都	②公立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	大学院大学である本学は、ハイフレックスでの授業形態を原則としているため。	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	
281	ルーテル学院大学	東京都	③私立大学	②併用	③半々で対面が可能	大人数のクラスを主に、午前中、遠隔授業を実施し、午後は、対面授業としたことにより、ほぼ、半々の割合となった。	④3割が対面が可能	③半々で対面が可能	③半々で対面が可能	③半々で対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	1年次は、コース共通のクラスが多く、大人数となるため、遠隔授業の割合が多くなる傾向がある。
282	東京富士大学	東京都	③私立大学	①全面対面が可能									
283	三育学院大学	東京都	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	千葉県のキャンパスは学内寮のため基本対面授業。東京校舎は実習中心の学年が対面。その他の学年が授業内容により対面と遠隔およびハイブリッド授業とすることから面接授業の割合を算出した。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	③半々で対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	看護学のため学年により実習が増えることにより対面での授業割合が増える
284	東京福祉大学短期大学部	東京都	③私立大学	②併用	③半々で対面が可能	クラスを2分してオンラインと対面を交互にしているため。	③半々で対面が可能	③半々で対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	
285	跡見学園女子大学	東京都	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	1年次の2科目を除く全ての授業で面接授業を実施。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
286	文芸学院大学	東京都	③私立大学	①全面対面が可能									
287	目白大学	東京都	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	全科目が、シラバスに授業形態（対面か、遠隔か、一部遠隔か等）を掲載しているため、集計が可能であり、そこから算出した。また、1コマごとの授業形態も「遠隔授業情報閲覧」として学生へ公開しているため、コマごとの集計が可能な状況である。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能
288	東京成徳大学	東京都	③私立大学	①全面対面が可能									
289	東洋学園大学	東京都	③私立大学	②併用	②7割が対面が可能	開講クラス数と全体の比率により	②7割が対面が可能	②7割が対面が可能	③半々で対面が可能	③半々で対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	必修科目を主に面接授業で行い、選択科目を遠隔で行う方針のため
290	帝京平成大学	東京都	③私立大学	①全面対面が可能									
291	青山学院大学	東京都	③私立大学	①全面対面が可能									
292	上野学園大学	東京都	③私立大学	①全面対面が可能									
293	大妻女子大学	東京都	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部特殊教室を除き教習室を50%として教室での密接をできるだけ回避することを基本方針とし、全学共通科目など受講対象者が多くオンライン授業のメリットが生かせるかと判断された科目（全体の2割程度）を、オンライン授業とした。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	④3割が対面が可能	
294	学習院大学	東京都	③私立大学	②併用	②7割が対面が可能	令和4年度の開講科目3700科目中、面接授業が2416科目となり、遠隔授業が1284科目となっている。（令和4年3月25日時点）	②7割が対面が可能	②7割が対面が可能	②7割が対面が可能	②7割が対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
295	共立女子大学	東京都	③私立大学	①全面対面が可能									
296	慶應義塾大学	東京都	③私立大学	①全面対面が可能									
297	工学院大学	東京都	③私立大学	②併用	②7割が対面が可能	時間割編成時に各授業の実施形態を確認。	②7割が対面が可能	②7割が対面が可能	②7割が対面が可能	②7割が対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
298	國學院大学	東京都	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	開講授業数の比率で回答を決定しました。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
299	国士館大学	東京都	③私立大学	①全面対面が可能									
300	駒澤大学	東京都	③私立大学	①全面対面が可能									
301	栄光女子大学	東京都	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	本学では、学生および教職員の生命の安全確保と健康維持に配慮した上で、昨年度から引き続き、原則として対面授業を実施することを2022年度の授業実施の基本方針としています。ただし、教習室を感染症対策に配慮した人数にするために、一部の授業は遠隔授業（オンデマンド型）で実施することとしました。遠隔授業は、履修者・履修定員が多い講義科目を中心に行うこととし、感染症対策に配慮した上でなるべく多くの授業を対面で実施できるようにしました。この方針に基づき、各学部・学科において、教育内容や授業形態、効果等を踏まえて対象科目を決定しました。これらの計画に基づき割合を算出し回答しました。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
302	芝浦工業大学	東京都	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	原則全授業を対面授業を行う予定としており、オンラインにより十分な教育効果が認められる科目についてはオンライン授業を実施する旨学生に案内している。このため、8割以上も見込んでいる。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	授業の割合	割合の計算方法	学年別の割合						学年によって割合に差がある場合の理由
							1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	
303	順天堂大学	東京都	③私立大学	②併用	②7割が対面可能	【医学部】6年生は医師国家試験に向けた自己学習期間が長期にわたるため算出対象外としたうえで、4、5年生は臨床実習（おおよそ面接9割：遠隔1割）、1、2、3年生は講義を面接と遠隔の併用、実習は面接で行う予定（おおよそ面接6割：遠隔4割）をしていることから全体で7割程度の見込みとした。 【スポーツ健康科学部】各科目の履修人数（予測値）、教室キャパシティ（コロナ対策のため人数制限あり）などを勘案し回答（医療看護学部）教室内での密を避けるため、対面授業は複数教室でのキャンパス内LIVE配信を併用して実施するが、構内の学生数を一定に保つため学年別に曜日分散型の登校とし、両陣営方向性・オンラインでの遠隔授業も継続して実施する。 【国際教養学部】原則として、全ての授業において対面授業（ハイフレックス型）を基本方針としているため。	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	①ほとんど対面可能	②7割が対面可能	【医学部】6年生は医師国家試験に向けた自己学習期間が長期にわたるため算出対象外としたうえで、4、5年生は臨床実習（おおよそ面接9割：遠隔1割）、1、2、3年生は講義を面接と遠隔の併用、実習は面接で行う予定（おおよそ面接6割：遠隔4割）であることから回答。
304	上智大学	東京都	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	キャンパス内の感染対策を講じた上で、2019年度以前と同レベルで対面授業を行うことは問題ないと判断し、原則は対面授業とした。ただし、オンラインで行うことで、より教育効果が向上し判断される科目についてはオンラインでの開講も可能として授業実施形態を検討した結果、おおよそ2割がオンライン授業となる見込み。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	学年による差異はない。
305	昭和薬科大学	東京都	③私立大学	②併用	③半々で対面可能	ソーシャルディスタンスを確保するため、前後左右の座席を空けた際、最大の登校可能数が、学生数の約50%であるため。	③半々で対面可能	③半々で対面可能	③半々で対面可能	③半々で対面可能	①ほとんど対面可能	③半々で対面可能	5年生は実習がほとんどのため
306	昭和女子大学	東京都	③私立大学	①全面対面可能									
307	杉野服飾大学	東京都	③私立大学	①全面対面可能									
308	成城大学	東京都	③私立大学	①全面対面可能									
309	聖心女子大学	東京都	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	シラバスにて、学生に、①対面授業、②一部対面授業（授業回数の大半は対面だが、数回をオンラインにて実施する授業）、③オンライン授業、の別を示している。その内の②オンライン授業の授業数をカウントし比率を計算して回答しました。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
310	清泉女子大学	東京都	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	全開講科目数（約1500）に対する遠隔授業数（68）の割合（約4.5%）	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
311	聖路加国際大学	東京都	③私立大学	②併用	②7割が対面可能	全体の授業コマのうち、対面が望ましいものを、遠隔で対応できるものを過去実績をふまえて算出し決定した。	①ほとんど対面可能	②7割が対面可能	③半々で対面可能	③半々で対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	低学年では大学における学習習慣の形成期にあるため、対面コミュニケーションを中心としたきめ細やかな指導が必要と考え、自律的学習態度を身に付けた高学年では、科目の特性により面接・遠隔授業を併用し学習成果と効率性の両立を図る。
312	大正大学	東京都	③私立大学	①全面対面可能									
313	高千穂大学	東京都	③私立大学	①全面対面可能									
314	拓殖大学	東京都	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	全開講科目からオンデマンド型授業を除いた科目の割合を算出した	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
315	多摩美術大学	東京都	③私立大学	②併用	③半々で対面可能	本学においては主に実技・実習系は面接、講義系は遠隔に行っている。カリフォルニアの構成上、学科により偏りがあるものの概ね上記のような比率となります。	③半々で対面可能	③半々で対面可能	③半々で対面可能	③半々で対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	該当なし
316	中央大学	東京都	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	面接授業と遠隔授業の比率については、令和4年度に開講される各学部の全授業科目数に対して、各学部教授会が遠隔授業科目として開講することを決定した授業科目数の割合を差し引いて算出した割合を基礎として回答している。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能
317	東京医科大学	東京都	③私立大学	②併用	②7割が対面可能	医学科：1年面接授業、2年面接授業、3年オンライン授業、4年オンライン授業、5年実習、6年実習 看護学科：1年面接授業、2年面接授業、3年実習、4年実習 臨床形式実施学年6学年中、4学年が対面（4+6=68.7%→1割程度）	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑤ほとんど対面可能	⑤ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	大学の学修に慣れていない低学年の学生に対して学習機会の確保と学生同士や教職員との間の人的交流を深めるため。
318	東京家政大学	東京都	③私立大学	①全面対面可能									
319	東京家政学院大学	東京都	③私立大学	②併用	②7割が対面可能	ある1日で本学学生全員が授業を受けている状態が、そのうち遠隔授業を受講しているはずの人数を算出し、割合を出した。	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
320	東京歯科大学	東京都	③私立大学	①全面対面可能									
321	東京慈恵会医科大学	東京都	③私立大学	②併用	③半々で対面可能	講義形式の授業に遠隔授業の利点を活かし、学内施設のキャパシティを面談が必要な演習・実習に優先活用することとしているため。	①ほとんど対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	③半々で対面可能	高学年では、実習が中心となるため面接比率が高くて高く、低学年では講義形式の授業比率が比較的に高いことから遠隔比率がやや高くなる。
322	東京女子大学	東京都	③私立大学	②併用	②7割が対面可能	2022年度開講クラス数約1100クラスのうち300クラスを遠隔授業として開始することに決定したため。	②7割が対面可能	②7割が対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	3、4年次学生の必修科目は対面として開始することを決定したため。
323	東京女子医科大学	東京都	③私立大学	②併用	③半々で対面可能	面接授業数と遠隔授業数の比率から算出	③半々で対面可能	③半々で対面可能	③半々で対面可能	③半々で対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	5、6年生は臨床実習がほとんどであるため、対面にて実習を行うことが必須である
324	東京電機大学	東京都	③私立大学	①全面対面可能									
325	東京農業大学	東京都	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	遠隔授業で実施する場合は、一定条件を定めた申請による許可制としており、学科・学年ごとに遠隔授業で実施する授業科目を具体的に把握している。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
326	東京薬科大学	東京都	③私立大学	②併用	③半々で対面可能	各日登校する学生が全体のおおよそ半数になるよう調整。	②7割が対面可能	③半々で対面可能	③半々で対面可能	③半々で対面可能	③半々で対面可能	③半々で対面可能	大学の学習に慣れていない1年生は面接授業の機会を多く設けている。学年毎に開講する科目数や種類（必修・選択）が異なる為。
327	東京理科大学	東京都	③私立大学	①全面対面可能									

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	授業の割合	割合の計算方法	学年別の割合						学年によって割合に差がある場合の理由
							1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	
328	東洋大学	東京都	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	<p>大学の令和4年度春学期（前期）の授業運営については、各科目の学習内容などを踏まえて、対面授業科目としての単位認定をする科目と非対面授業科目としての単位認定をする科目を事前に区分したうえで、対面授業（面接授業）については、対面での実施を基本とすることと学期後半に、研究科委員会議で決定した。</p> <p>なお、非対面授業科目としての単位認定をする非対面授業（遠隔授業）科目については、教育担当副学長より非対面単位認定科目の定義や選定方法を記した「非対面単位認定科目の教育課程及び授業運営上の取り扱いの手引きについて」を各学部等に示しており、そのうえで、各学部等が教育課程上の実態等・必要性等に基づいて非対面授業（遠隔授業）を行う科目の選定を行うとともに、学生が履修登録に当たってどちらのタイプの科目であるかを正確に確認できるように、シラバスにも当該区分を明記しているものである。また、各学部等が選定した非対面授業（遠隔授業）を行う科目については、各学部等から教育担当副学長へ報告することとしており、教育担当副学長のもと非対面授業（遠隔授業）科目の集約・把握を行っている。</p>	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
329	東京音楽大学	東京都	③私立大学	①全面対面可能									
330	二松学舎大学	東京都	③私立大学	①全面対面可能									
331	日本大学	東京都	③私立大学	②併用		シラバスより面接授業及び遠隔授業のコマ比率を算出した。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	なし
332	日本医科大学	東京都	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	対面での授業を行うが、対面での授業を希望しない学生はWebを選択可である。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	なし
333	日本歯科大学	東京都	③私立大学	②併用	④3割が対面可能	全科目を母体として、科目ごとに面接授業と遠隔授業を振り分けた	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	原則、講義を遠隔、実習等を面接授業として考えている。学年が上がるにしたがって、面接授業の比率が増えるのは、対面実施が不可避の内容が増えるためである。
334	日本社会事業大学	東京都	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	全15科目を対面で行う授業科目・クラス数を10、4割に1割の対面授業を行う授業科目・クラス数を5、5割に1割の対面授業とする予定の授業科目・クラス数を2として集計した数値を前期開講科目・クラス数で除して計算を行った。	①ほとんど対面可能	②7割が対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	大きな比率の違いはない。
335	日本女子大学	東京都	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	感染予防対策のため受講者数が多い科目等はオンライン遠隔授業形態とするが、対面授業中心の授業実施を原則として、コロナ禍前の授業運用へ戻す方向をめざした。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	差はなし
336	日本女子体育大学	東京都	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	原則面接授業を実施するが、教育の質が高められる講義科目においては、計算ではなく履修をし、オンライン授業を可とした。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
337	文化学園大学	東京都	③私立大学	①全面対面可能									
338	法政大学	東京都	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	全ての学生が半数以上の授業時数を対面で受講する機会を設ける授業科目は面接授業、半数未満となる授業を遠隔授業として集計し回答を決定した。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
339	星薬科大学	東京都	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	1~4年の授業、5年生の実務実習及び卒業研究、6年生の卒業研究は原則として面接授業で実施する予定であり、5年生・6年生で行う選択科目は、原則オンライン授業とする予定であるため、上記の割合とした。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	③半々で対面可能	④3割が対面可能	大学生生活は授業だけでなく、特に、この2年間は大学に入学して大学生生活を経験できているとは言えない状況であるため、1~4年生は、原則面接授業とする予定である。5・6年生においても必修科目は原則として面接授業とし、キャンパス内における密を避けることを考慮して、選択科目はオンラインを活用して実施することとしている。
340	武蔵大学	東京都	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	遠隔授業を実施する授業のコマ数（面接授業を基本とするが一部を遠隔授業（予定）するコマ数を含む）も総授業コマ数の比率を計算して決定した。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
341	東京都立大学	東京都	③私立大学	①全面対面可能									
342	武蔵野音楽大学	東京都	③私立大学	②併用	②7割が対面可能	開講科目中、面接授業科目が占める割合	③半々で対面可能	③半々で対面可能	②7割が対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	実技や実習の増える高学年ほど、面接授業の機会が多くなっている
343	明治大学	東京都	③私立大学	①全面対面可能									
344	明治学院大学	東京都	③私立大学	②併用	②7割が対面可能	当初は、1/1定員のつもりで授業計画を立てていました。しかし2月にいっても東京都の新型コロナウイルス感染者が2万人程度に高止まりしていたため、その感染状況を踏まえ、1/2定員に切り替えました。そのうえで増強した7割まで面接授業を行うことができます。学期初めには感染拡大の恐れを踏まえ、面接授業を実施する予定ですが、感染状況に応じて遠隔授業を面接授業に切り替える予定のため、最終的には7割（場合によっては8割）超の授業が面接授業になる見込みです。	③半々で対面可能	③半々で対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	適切な感染対策を講じるため、教習定員を通常の1/2で運用します。そのため大人数で実施する授業は教習での実施が困難です。また、発注の機会が多い授業（語学系）は遠隔授業中心としており、大人数授業や語学系授業が多い低学年では面接授業の割合が低くなっています。
345	明治薬科大学	東京都	③私立大学	①全面対面可能									
346	立教大学	東京都	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	当初より遠隔授業で実施予定の科目は、2.281科目中61科目（2.6%）である。令和4年度においては、現在のところ、面接授業で実施する科目は、感染対策に充分に備じて当初の予定どおり実施する予定である。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	学年による差はない。
347	立正大学	東京都	③私立大学	①全面対面可能									
348	早稲田大学	東京都	③私立大学	②併用	②7割が対面可能	面接授業と遠隔授業の選択は、カリキュラム上の必要性に応じて科目ごとあるいは科目ごとに設定しているが、学生に対するオンライン授業アンケートの結果から、ポストコロナであっても3割程度の遠隔授業を希望する学生が最も多かったことも視野に入れて授業方法を設定している。	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	(上記9-15補足) 入国できない留学生が多い英語学位プログラム生や、学生が自分で選択する科目の状況（科目登録結果）によって、面接授業と遠隔授業の受講比率は変わる可能性がある。
349	国際仏教大学院大学	東京都	③私立大学	①全面対面可能									
350	学習院女子大学	東京都	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	令和4年度春学期について、遠隔授業として実施するのは、産前産後期を1年以上履修することを前提とした教室配分を行い、履修が不可能な科目が中心となることをアナウンスしている。具体的な数字は、4月の履修登録の結果を持つ必要があるものの、より強い傾向（11科目中9科目を遠隔授業とするなど）を踏まえ令和3年度春学期が7割以上対面であったことに鑑みれば、8割以上が対面実施となることが見込まれる。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
351	東京国際理工科専門職大学	東京都	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	面接3/30時点で面接授業か遠隔授業かが決定したので、それに基づき、全学年全クラスを全て授業回数も考慮して算出した。学科毎、学年毎を全て算出して大学全体も算出した。なお、計算した結果、大学全体で86%の面接授業を実施、遠隔授業も全て双方向での実施となる。	②7割が対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	東京都の感染者が増加傾向のため、全学生が週4登校とすることで学生の集中的な登校を考慮したためである。面接授業か遠隔授業かは授業の性質上、面接授業を必須とする授業がある曜日を登校日とし、かつ、複数教員が入ることによって80名や120名で実施を予定している授業は、感染対策の困難さを考慮して遠隔授業とすることとした。その結果、1年生だけが9割を超える形となったが、計算した結果、76%の授業で面接授業を実施としている。ただし、1年生には入学時の学力差を担保するために補講授業も用意しており、上記の算出結果は補講の対面実施はカウントしていない。かつ、オンライン授業の内、大学教室内でオンライン授業を実施するものもあるため、学生が集うという観点でいえば76%以上の授業で学生が集まる機会を設けている。

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	授業の割合	割合の計算方法	学年別の割合						学年によって割合に差がある場合の理由		
							1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生			
352	東京保健医療専門学校	東京都	③私立大学	①全面対面可能											
353	情報経営イノベーション専門学校	東京都	③私立大学	①全面対面可能											
354	大学院大学至善館	東京都	③私立大学	②併用	④3割が対面可能	全体として、学習効果に影響を与えるクラスノームの構成、また、各科目の特色、各回の授業の内容、および感染対策について、2020年5月に遠隔授業を取り入れて以降の経緯を踏まえ、総合的に判断したものである。なお、本学は社会人を対象とした大学院だが、緊急事態宣言が解除された後も、所属企業の指示で、対面授業への参加を禁止されている学生もいる。こうした学生へのフォローも必要となっている。	④3割が対面可能	⑤ほとんど遠隔で実施	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	学習効果に影響を与えるクラスノームの構成という観点から1年次は面接授業の実施比率を高めている。	
355	国際ファッション専門学校	東京都	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	遠隔授業の授業時間を東京キャンパスの4年全体授業時間割で割った。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	学年ごとに面接授業の比率に差はない。	
356	駒沢女子大学	東京都	③私立大学	①全面対面可能											
357	薬師薬科大学	東京都	③私立大学	①全面対面可能											
358	桜美林大学	東京都	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	入国不可及び基礎疾患のある学生のオンライン受講、基礎疾患のある教員の授業において、遠隔授業を実施する予定であり、大半の授業は面接で実施するため、概算で回答。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし			
359	国立音楽大学	東京都	③私立大学	①全面対面可能											
360	国際基督教大学	東京都	③私立大学	②併用	②7割が対面可能	科目数より換算。	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	該当なし		
361	白百合女子大学	東京都	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	遠隔授業に該当する科目数は3月中旬までに確認し、正確な科目数・科目名を学生に周知している。全て一部の一般科目であるため授業比率を把握している。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	学生ごとに比率の差はない。	
362	成蹊大学	東京都	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	科目(講義)数で計算	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし			
363	玉川大学	東京都	③私立大学	①全面対面可能											
364	津田塾大学	東京都	③私立大学	①全面対面可能											
365	帝京大学	東京都	③私立大学	①全面対面可能											
366	東京経済大学	東京都	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	開講授業科目数(卒業論文等一部の科目を除く)に対する遠隔授業の開講科目数の割合で回答を決定した。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし			
367	東京女子体育大学	東京都	③私立大学	①全面対面可能											
368	東京神学大学	東京都	③私立大学	①全面対面可能											
369	東京造形大学	東京都	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	原則、面接授業とし、遠隔でも高い教育効果が得られる科目のみ遠隔授業とした結果、上記②-2の比率となった。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	ご質問の状況にない。	
370	桐朋学園大学	東京都	③私立大学	①全面対面可能											
371	日本獣医生命科学大学	東京都	③私立大学	②併用	②7割が対面可能	前期に開講される資格課程(教職・学生員)を含めて、前期授業期間のうち、一度でも面接授業により実施した科目は、面接授業として扱い計算した。	①ほとんど対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	④3割が対面可能	③半々で対面可能	面接授業を実施できる教室の数や、特に獣医学科においては実習科目について午前後に分散実施により、面接授業が実施できない学年があることから、比率に差が生じる。		
372	武蔵野大学	東京都	③私立大学	②併用	②7割が対面可能	各学科・学年を合わせた全体の開講科目(クラス単位)について、対面授業(面接授業)とオンライン授業(遠隔授業)の割合を算出している。対面授業には、授業の一部をオンライン授業により実施するハイブリッド型を含んでいる。	③半々で対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	各学年で面接授業の比率に大きな差異が生じないように調整しているが、1年生は学科によってはクラスサイズの大きい必修の基礎科目が多く、4年生以上は面接授業で実施することの多いゼミ科目や実習が中心となるため、面接授業の比率が高い傾向にある。	
373	武蔵野美術大学	東京都	③私立大学	②併用	②7割が対面可能	授業科目数から試算見込み	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし			
374	明星大学	東京都	③私立大学	①全面対面可能											
375	和光大学	東京都	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	本学の行動制限施設使用コードによる	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能		
376	杏林大学	東京都	③私立大学	①全面対面可能											
377	創価大学	東京都	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	原則対面授業で実施することを前提としたうえで、やむを得ない理由(教員の体調・履修者数が200名以上に増えるなどコロナ対応履修者数・人数を超えるなど)がある授業のみを学部長、学士課程機構長、学長の決裁を経てオンライン授業の実施を許可している。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	学年で比率に差はない。	
378	日本文化大学	東京都	③私立大学	①全面対面可能											
379	東京工科大学	東京都	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	時間割からオンラインで実施する授業科目を数えた。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし			
380	日本赤十字看護大学	東京都	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	教室を密を避ける座席配置で運用するため面接授業を100%というわけにはいきませんが、可能な限り面接授業を行うこととして面接授業日を選4日から3日を(目安)に設定し、前期は対面授業の実施80%を目標にしています。	②7割が対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	②7割が対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	基本方針として「学年では1年生及び2年生」、「科目種別では演習科目(技術演習や語学など)」を優先することを定めています。この方針をもとに教室と科目、学年を総合的に勘案して各学年の専攻科目を採択しました。本学は看護大学のため技術演習を重視していることから、令和4年度前期は回答のとおり概ね各学年に差が無い状況になっています。	
381	恵泉女子学園大学	東京都	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	基本的には面接授業であるが、教員に基礎疾患がある場合や、履修者数の多い科目に限定し、3教科のみ予定しているため。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	大学での学修に慣れていない点や、必修の実習授業がある点で、低学年の学生ほど面接授業の機会を増やす配慮をしている。	
382	多摩大学	東京都	③私立大学	①全面対面可能											
383	東京純心大学	東京都	③私立大学	①全面対面可能											
384	嘉悦大学	東京都	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	「対面授業」を原則としつつ、履修者数の多い授業を中心に一部の授業を「オンライン授業」として実施予定であり、1年の履修者数のアークより、教室定員を超える見込みがある科目数を算出し、計算。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし			
385	LEO東京リーガルマインド大学院大学	東京都	③私立大学	③ほとんど遠隔で実施											
386	デジタルハリウッド大学	東京都	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	開講する全授業から、面接授業と遠隔授業の割合を計算した。	⑤ほとんど遠隔で実施	⑤ほとんど遠隔で実施	⑤ほとんど遠隔で実施	⑤ほとんど遠隔で実施	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	学年では特に差はない。	
387	白梅学園大学	東京都	③私立大学	①全面対面可能											

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	授業の割合	割合の計算方法	学年別の割合						学年によって割合に差がある場合の理由	
							1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生		
388	東京医療保健大学	東京都	③私立大学	②併用	③半々で対面が可能	本学COVID-19対策本部が決定する下記の対面授業制限レベルの基本方針に則した運用としている。 各学期における「①人口10万人あたりの新規陽性者数」及び「②感染経路不明割合(7リンク割合)」を基本的な指標として、1都府県における感染状況を、①②⑤の場合には段階的に緩和し、①②⑤の場合には段階的に厳格化することを原則として、②も総合的に勘案して検討。	③半々で対面が可能	③半々で対面が可能	③半々で対面が可能	③半々で対面が可能	⑤該当なし	⑤該当なし	演習・実習の有無により多少の差がある。	
389	東京聖栄大学	東京都	③私立大学	①全面対面が可能										
390	グローバル経営大学院大学	東京都	③私立大学	①全面対面が可能										
391	文化ファッション大学院大学	東京都	③私立大学	②併用	②7割が対面が可能	演習科目が多く、学校の施設を使用しないと実施できないため	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	
392	大原大学院大学	東京都	③私立大学	①全面対面が可能										
393	東京未来大学	東京都	③私立大学	①全面対面が可能										
394	ハリウッド大学院大学	東京都	③私立大学	①全面対面が可能										
395	こども教育宝仙大学	東京都	③私立大学	②併用	③半々で対面が可能	2022年度春学期に開講する全科目において、全回数授業とする科目の割合、全回数遠隔授業とする科目をそれぞれ全回数授業と遠隔授業と定直し、その割合を算出している。またコロナ感染状況に応じて全回数授業に切り替えることがいつでも可能なように教室空間、時間割を予め設定している。	②7割が対面が可能	②7割が対面が可能	④3割が対面が可能	④3割が対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	基本的には面接授業の方がより学習効果が高いと思われる科目は優先し面接授業としているが、このほかに1年生は初年度教育に重きを置き、また学生・教職員間の関係強化を念頭に面接授業割合を高くしている。また2年生は実習に備える観点から面接授業割合を高く設定している。	
396	東京有明医療大学	東京都	③私立大学	①全面対面が可能										
397	東京工芸大学	東京都	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	一部の例外を除き、原則として面接授業を実施するため。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし		
398	産業能率大学	東京都	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	全開講クラスを対面授業とオンライン授業(LIVE型、w/FHD型)の各クラス数で計算して比率を算出	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	学年ごとに面接授業の比率に差はない	
399	ヤマザキ動物看護大学	東京都	③私立大学	①全面対面が可能										
400	東京医療学院大学	東京都	③私立大学	②併用	②7割が対面が可能	授業時間割を元に計算した。面接授業を前提に前期授業の実施を計画していたが、新型コロナウイルスが収束しない状況であることから、講義科目を中心に遠隔授業に振り替えるようにしている。	②7割が対面が可能	②7割が対面が可能	②7割が対面が可能	②7割が対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし		
401	事業構想大学院大学	東京都	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	基本的に面接授業を実施しており、学生が希望する場合は遠隔でも受講できるようほとんどの授業でオンライン配信を並行して行っているため。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし		
402	社会構想大学院大学	東京都	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	すべての授業でオンラインと対面のハイフレックス授業を行う(教員に特別の事情がない限り)、参加形態はその日の学生の希望により決定してよい。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし		
403	帝京科学大学	東京都	③私立大学	①全面対面が可能										
404	昭和大学	東京都	③私立大学	②併用	③半々で対面が可能	時間割に記載されている授業形式を確認し、算出した。	①ほとんど対面が可能	③半々で対面が可能	③半々で対面が可能	③半々で対面が可能	②7割が対面が可能	③半々で対面が可能	2年生・3年生は実習・演習等が多く含まれるため、4年生と比較して面接授業が多い。5年生・6年生はほとんどが実習となるため比率として面接授業の割合が高くなっている。	
405	宝塚大学	東京都	③私立大学	①全面対面が可能										
406	東京福祉大学	東京都	③私立大学	②併用	③半々で対面が可能	クラスを2分してオンラインと対面を交互にしているため。	③半々で対面が可能	③半々で対面が可能	③半々で対面が可能	③半々で対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし		
407	愛国学院短期大学	東京都	③私立大学	①全面対面が可能										
408	上野学園大学短期大学部	東京都	③私立大学	①全面対面が可能										
409	大妻女子大学短期大学部	東京都	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部特殊教室を除き教室定員を50%として教室での感染防止ができるだけ配慮することを基本方針とし、全学共通科目など受講対象者が多くオンライン授業のメリットが生かされると判断された科目(全体の2割程度)を、オンライン授業とした。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし		
410	共立女子短期大学	東京都	③私立大学	①全面対面が可能										
411	国際短期大学	東京都	③私立大学	①全面対面が可能										
412	駒沢女子短期大学	東京都	③私立大学	①全面対面が可能										
413	実践女子大学短期大学部	東京都	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	本学では、学生および教職員の生命の安全確保と健康維持に配慮した上で、昨年度から引き続き、原則として対面授業を実施することを2022年度の授業実施の基本方針としています。ただし、教室定員を感染症対策に配慮した人数にするために、一部の授業は遠隔授業(オンデマンド)で実施することとしました。遠隔授業は、履修者・修習定員が多い講義科目を中心に行うこととし、感染症対策に配慮した上でなるべく多くの授業を対面で実施できるようにしました。この方針に基づき、各学科において、教育内容や授業形態、効果等を踏まえて対象科目を設定しました。これらの計画に基づき割合を算出し回答しました。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし		
414	淑徳大学短期大学部	東京都	③私立大学	①全面対面が可能										
415	女子栄養大学短期大学部	東京都	③私立大学	①全面対面が可能										
416	女子美術大学短期大学部	東京都	③私立大学	②併用	③半々で対面が可能	令和4年度の授業方針は、実技・実習授業は授業性質上、原則対面授業にて、また講義授業は教育効果及び教員のキャパシティ等考慮し、遠隔授業でも実施する。従来、本学の授業形態は1日の授業の中で半日を実技・実習授業、半日を講義授業にあてているため、面接・遠隔授業は、おおむね半々の割合で行うこととなる。	③半々で対面が可能	③半々で対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし		
417	杉野服飾大学短期大学部	東京都	③私立大学	①全面対面が可能										
418	星美学院短期大学	東京都	③私立大学	①全面対面が可能										
419	帝京大学短期大学	東京都	③私立大学	①全面対面が可能										
420	帝京短期大学	東京都	③私立大学	①全面対面が可能										
421	戸板女子短期大学	東京都	③私立大学	②併用	③半々で対面が可能	学籍番号末尾15と60に分け、昼校、オンライン授業を週ごとに交互にかえるため、比率は半々となる。ただし、5月申請順にすべて対面授業に切り替えることを計画之中である。	③半々で対面が可能	③半々で対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	食物栄養科の栄養士必修科目の実習については、すべて対面授業とするため、基本的に1年生全員が登校する曜日は、2年生は授業がなく、2年生全員が登校する場合は1年生が授業がないようにしている。従って、平均して面接授業と遠隔授業の比率は半々としている。	
422	東京家政大学短期大学部	東京都	③私立大学	①全面対面が可能										
423	東京交通短期大学	東京都	③私立大学	①全面対面が可能										
424	東京成徳短期大学	東京都	③私立大学	①全面対面が可能										
425	新渡戸文化短期大学	東京都	③私立大学	①全面対面が可能										
426	東京立正短期大学	東京都	③私立大学	①全面対面が可能										
427	東邦音楽短期大学	東京都	③私立大学	①全面対面が可能										

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	授業の割合	割合の計算方法	学年別の割合						学年によって割合に差がある場合の理由	
							1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生		
428	目白大学短期大学部	東京都	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	全科目について、シラバスで授業形態が確認できるので、そのデータから集計した。さらに、「遠隔授業情報閲覧」に、各コマごとの授業形態を科目担当者が入力し、公開しているため、コマごとの集計も可能になっている。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能		
429	創価女子短期大学	東京都	③私立大学	①全面対面が可能										
430	白梅学園短期大学	東京都	③私立大学	①全面対面が可能										
431	東京女子体育短期大学	東京都	③私立大学	①全面対面が可能										
432	フェリス学院短期大学	東京都	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	指定の授業科目について対面と遠隔のハイブリッド授業を行うことを決定しており、その比率による。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	該当なし	
433	桐朋学園芸術短期大学	東京都	③私立大学	①全面対面が可能										
434	山形美術芸術短期大学	東京都	③私立大学	①全面対面が可能										
435	日本歯科大学東京短期大学	東京都	③私立大学	②併用	③半々で対面が可能	1週間の登校する日と遠隔授業の日の比率から決定した	③半々で対面が可能	③半々で対面が可能	③半々で対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし		
436	東京歯科大学短期大学	東京都	③私立大学	①全面対面が可能										
437	ヤマザキ動物看護専門学校短期大学	東京都	③私立大学	①全面対面が可能										
438	有明教育芸術短期大学	東京都	③私立大学	②併用	②7割が対面が可能	実技系の演習授業は、対面を基本として行い、講義系授業については、対面と遠隔を概ね半々で行う予定	②7割が対面が可能	②7割が対面が可能	②7割が対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし		
439	貞野学園短期大学	東京都	③私立大学	①全面対面が可能										
440	東京工業高等専門学校	東京都	④高等専門学校	②併用	①ほとんど対面が可能	本科1～3年生、専攻科1、2年生については、すべての授業を面接授業で行う見込みである。本科4、5年生については、1週間のうち定められた曜日1日のみすべての授業を遠隔で行うが、全体としてはほとんど(8割以上)の授業を面接授業で行う予定となる。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	令和4年度前期より全学年面接授業を基本方針としている。しかし、第4、5学年の学科横断科目の一部は、受講人数の多さから十分な広さの教室を確保することが困難であるため、実施曜日を1日にまとめた遠隔授業としている。
441	東京都立産業技術高等専門学校	東京都	④高等専門学校	①全面対面が可能										
442	サレジオ工業高等専門学校	東京都	④高等専門学校	①全面対面が可能										
443	横浜国立大学	神奈川県	①国立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	学務情報システムに保存されている令和4年度春季開講の授業科目においては、その科目ごとに「対面授業」や「遠隔授業」のデータが蓄積されているので、それをデータ集計した結果である。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし		
444	川崎市立看護大学	神奈川県	②公立大学	①全面対面が可能										
445	横浜市立大学	神奈川県	②公立大学	②併用	②7割が対面が可能	本学、金沢八景キャンパスにて行われる学部の授業科目数(共通教養科目及び専門科目)を母数とし、その中で面接・遠隔授業の比率を算出。	①ほとんど対面が可能	③半々で対面が可能	②7割が対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	②7割が対面が可能	学生士士のつながりや人間形成を育むことを目的として、主に1年次が履修する科目を優先的に面接授業としているため、1年次生での面接授業実施比率が高くなっている。また、卒業論文の指導等については概ね面接授業を行うため、4年次生での面接授業実施比率が高くなっている。	
446	神奈川県立保健福祉大学	神奈川県	②公立大学	①全面対面が可能										
447	川崎市立看護短期大学	神奈川県	②公立大学	①全面対面が可能										
448	北里大学	神奈川県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	各学部から2022年度の遠隔授業の実施予定を調査し、そのうち、遠隔授業の実施割合が全体の50%以上の科目を抽出して計算した。なお、面接授業と遠隔授業の比率の計算にあたっては、回答時点で2022年度の全体の科目数が不明であったため、2021年度前期実施分を分子として算出している。	②7割が対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	2年生以上になると実習が多くなるが、1年生については実習科目が少なく、大講義室で授業を行う文系科目が多いため、遠隔授業が多くなっている。特に5、6年生については、ほとんどが臨床実習となり、遠隔での実施は適していないため、すべて面接での授業を予定している。
449	女子美術大学	神奈川県	③私立大学	②併用	③半々で対面が可能	令和4年度の授業方針は、実技・実習授業は授業性上、原則対面授業にて、また講義授業は教育効果及び教室のキャパシティ等考慮し、遠隔授業でも実施する。従来、本学の授業運営形態は1日の授業の中で半日を実技・実習授業、半日を講義授業にあてているため、面接・遠隔授業は、おおむね半々の割合で行うこととなる。	③半々で対面が可能	③半々で対面が可能	②7割が対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	カリキュラムを反映し、学年ごとに面接授業と遠隔授業の実施比率が異なることが差の理由である。1、2年次は講義授業の比率が高く割合も高くなり、3、4年次は専門分野である実技授業の比率が高くなるため面接授業の比率が高くなる。	
450	専修大学	神奈川県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	全授業科目から面接授業を実施する科目の比率から算出した	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能		
451	東海大学	神奈川県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	2022年度春学期の時間割編成の際に、併せて授業毎の実施形態の調査も実施していたので、そのデータを基に面接授業と遠隔授業の比率見込みを算出した。ただし、現時点で実施形態が未定の授業は対象外とした。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能		
452	日本体育大学	神奈川県	③私立大学	①全面対面が可能										
453	神奈川大学	神奈川県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	教務システム「Web Station」の2022年度 時間割データからコマ数を算出	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	全学年8割以上面接(対面)であるが、その中でも1年次は遠隔の割合が高い。これは全学期開講の共通教養科目等は最低年次で集計しているためである。また、例があるように、上位年次ほど実習や実験など少人数の対面科目が増えるため、面接授業の割合が高くなっている。	
454	関東学院大学	神奈川県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	全科目の時間割データをもとに集計。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし		
455	鶴見大学	神奈川県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	文学部では、令和4年度の通年、前期開講科目386科目のうち7科目を遠隔授業とする。遠隔授業の占める割合は約1.8%である。歯学部では、(2-1)での該当する回答が①であるため、(2-2~2-7)については無回答とさせていただきます。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	無回答	
456	フェリス学院大学	神奈川県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	2022年度前期開講科目880科目のうち、56科目が遠隔授業。それ以外の科目は150回授業のうち、13~15回：面接授業/0~2回：遠隔授業を実施する予定をもとに算出した。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし		

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	授業の割合	割合の計算方法	学年別の割合						学年によって割合に差がある場合の理由			
							1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生				
457	横浜商科大学	神奈川県	③私立大学	①全面対面が可能												
458	情報セキュリティ大学院大学	神奈川県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	遠隔授業予定科目9科目÷全開講予定科目50科目×100	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし				
459	横浜薬科大学	神奈川県	③私立大学	②併用	③半々で対面が可能	各講義室におけるソーシャルディスタンスを確保するため、半々の比率とした。	③半々で対面が可能	③半々で対面が可能	③半々で対面が可能	③半々で対面が可能	⑥該当なし	③半々で対面が可能	5年生は、主として実務実習を行う期間であり、実習先の計画によるため、該当なしとした。			
460	麻布大学	神奈川県	③私立大学	①全面対面が可能												
461	神奈川歯科大学	神奈川県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	ハイブリッド講義を実施	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能				
462	鎌倉女子大学	神奈川県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	各学年1～2科目を遠隔授業としたため、比率は8割以上になると計算した。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし			
463	湘南工科大学	神奈川県	③私立大学	①全面対面が可能												
464	相模女子大学	神奈川県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	15回すべて直接授業を実施する授業の割合で回答	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし				
465	洗足学園音楽大学	神奈川県	③私立大学	①全面対面が可能												
466	神奈川工科大学	神奈川県	③私立大学	②併用	②7割が対面が可能	2022年度前期開講予定全科目を対象に授業形態別に科目数を列挙し、比率を算出した。	②7割が対面が可能	②7割が対面が可能	②7割が対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑤ほとんど遠隔実施	実験・実習・研究活動の増える高学年ほど、直接授業の機会が多くなるように授業形態を設定しているため。			
467	昭和音楽大学	神奈川県	③私立大学	①全面対面が可能												
468	桐蔭横浜大学	神奈川県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	原則対面授業を行う方針を定めた。通学困難な学生への対応など一部、遠隔授業を用いる科目を除き、ほとんどが対面で行われると判断した。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし				
469	東洋英和女学院大学	神奈川県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	総授業科目数735科目の内、遠隔授業は計77科目で、比率が約11.84%であるから、直接授業の比率は88.16%となる。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	なし。			
470	松蔭大学	神奈川県	③私立大学	①全面対面が可能												
471	田園調布学園大学	神奈川県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	全開講講座の中で直接授業の講座数の割合	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし				
472	横浜芸術大学	神奈川県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	遠隔授業科目数/教職科目を除く全開講科目数=13/215=6% (遠隔授業の割合)	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし				
473	日本映画大学	神奈川県	③私立大学	①全面対面が可能												
474	横浜新晃大学	神奈川県	③私立大学	①全面対面が可能												
475	湘南医科大学	神奈川県	③私立大学	①全面対面が可能												
476	湘南鎌倉音楽大学	神奈川県	③私立大学	①全面対面が可能												
477	和泉短期大学	神奈川県	③私立大学	①全面対面が可能												
478	鶴見大学短期大学部	神奈川県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	遠隔授業科目数÷直接授業科目	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	無回答			
479	横浜女子短期大学	神奈川県	③私立大学	①全面対面が可能												
480	昭和音楽大学短期大学部	神奈川県	③私立大学	①全面対面が可能												
481	小田原短期大学	神奈川県	③私立大学	②併用	③半々で対面が可能	講義科目を遠隔授業とし、それ以外を直接授業にて実施する予定。	③3割が対面が可能	②7割が対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	実技や実習の増える高学年ほど、直接授業の機会が多くなっている。			
482	鎌倉女子大学短期大学部	神奈川県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	各学年1～2科目を遠隔授業としたため、比率は8割以上になると計算した。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし				
483	相模女子大学短期大学部	神奈川県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	15回全ての授業を直接授業で実施する割合から算出	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし				
484	洗足こども短期大学	神奈川県	③私立大学	①全面対面が可能												
485	神奈川歯科大学短期大学部	神奈川県	③私立大学	②併用	③半々で対面が可能	行事予定表にて確認	③半々で対面が可能	③半々で対面が可能	②7割が対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	3年生は実習科目が多い為			
486	湘北短期大学	神奈川県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	時間割表において、遠隔で授業を実施する記載がある科目をカウントし、総コマ数で除した。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし				
487	聖マリアンナ医科大学	神奈川県	③私立大学	①全面対面が可能												
488	上智大学短期大学部	神奈川県	④高等専門学校	①全面対面が可能												
489	新潟大学	新潟県	①国立大学	②併用	②7割が対面が可能	令和4年度前期の開講予定科目について各学部に関した結果の集計による。 なお、本学では、全科目自化を導入しており、授業教育に関しては、本学で開講される授業科目の中から選択し、所属学部の当該分野の科目以外に、他学部の開設する授業科目も履修できるようになっていることから、明確に学年で授業を区分することができない事情もあります。	②7割が対面が可能	③半々で対面が可能	②7割が対面が可能	②7割が対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	直接授業の割合は5年生、6年生が相対的に高い。これは医学系において臨床実習等の直接授業によって教育効果が確保される科目が多いことによる。			
490	長岡技術科学大学	新潟県	①国立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	令和4年度授業の実施に関する基本方針として、入国できない留学生が履修する科目については、ハイブリッド方式での実施としているが、それ以外の科目については、対面を基本としているため。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし				
491	上越教育大学	新潟県	①国立大学	①全面対面が可能												

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	授業の割合	割合の計算方法	学年別の割合						学年によって割合に差がある場合の理由
							1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	
492	新潟県立看護大学	新潟県	②公立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	県外の非常勤講師の授業は遠隔で実施している。非常勤講師の授業の割合は全体の約1割である。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
493	新潟県立大学	新潟県	②公立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	前期の科目数におけるオンライン授業の割合	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
494	長岡造形大学	新潟県	②公立大学	②併用	②7割が対面が可能	感染力の強い変異株の影響、自治体での感染状況、本学でのワクチン接種の進展等を総合的に考慮し、感染症対策を緩めることなく引き続き実施する旨の本学の授業実施方針に基づき、各授業の担当教員が授業計画を立て、それを策定し、算出した。	②7割が対面が可能	②7割が対面が可能	②7割が対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
495	三上市立大学	新潟県	②公立大学	①全面対面が可能									
496	長岡大学	新潟県	③私立大学	①全面対面が可能									
497	新潟医療福祉大学	新潟県	③私立大学	②併用	③半々で対面が可能	本学は、6学部13学科の医療系総合大学であり、シラバスに記載されている授業形態を基に算出をしている。	④3割が対面が可能	③半々で対面が可能	②7割が対面が可能	②7割が対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	実技や実習の増える高学年ほど、面接授業の機会が多くなっている。
498	新潟青陵大学	新潟県	③私立大学	②併用	②7割が対面が可能	本学では、感染状況に応じて、①全面対面、②半数に分けて対面と遠隔の併用、③全面遠隔の3通りの授業形態を計画している。前期開始は②でスタートする予定であるが、学期中に感染状況が今より収まり、①で授業を実施できる時期が、全体の半分程度はあると考えている。したがって、②の場合、対面授業の割合は50%、①の場合は100%であるので、トータルでは75%になる。しかし、感染状況が今よりも悪化して③の状態が始まると対面授業の割合は下がるが、現状では分からない。	②7割が対面が可能	②7割が対面が可能	②7割が対面が可能	②7割が対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
499	新潟工科大学	新潟県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	本来授業計画において面接授業の実施を予定していた授業科目に係る授業を予定通り実施することと困難な場合であっても、十分な感染症対策を講じても面接授業を実施することが困難である場合に限り遠隔授業を実施するものとする。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	比率に差を設けていない
500	新潟経営大学	新潟県	③私立大学	①全面対面が可能									
501	新潟国際情報大学	新潟県	③私立大学	①全面対面が可能									
502	敬和学園大学	新潟県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	ほとんどの授業を対面で行うが、教室の収容定員を上回る授業や、基礎的疾患を持つ教員が担当する授業等を遠隔授業で行う。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
503	新潟薬科大学	新潟県	③私立大学	①全面対面が可能									
504	国際大学	新潟県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	原則として対面。ただし未入国留学生等の履修のため限定的に遠隔授業を行う。	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	
505	新潟産業大学	新潟県	③私立大学	①全面対面が可能									
506	事業創造大学院大学	新潟県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	留学生は対面授業、留学生以外は対面かオンラインかを選択できるハイフレックス授業を行っており、文科系の方に偏強いため、①割合が良いと判断もったため。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	
507	新潟リハビリテーション大学	新潟県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	開講授業コマ数	②7割が対面が可能	②7割が対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	高学年の主要科目、実技・実習を伴う科目は、国家試験取得のために重要であることから、面接授業を基本としている。一方、遠方から来られる非常勤講師の授業が多い低学年は、感染対策の観点から遠隔授業での対応が多くなっている。
508	新潟食料農業大学	新潟県	③私立大学	①全面対面が可能									
509	開志専門職大学	新潟県	③私立大学	①全面対面が可能									
510	長岡東徳大学	新潟県	③私立大学	①全面対面が可能									
511	新潟青陵大学短期大学部	新潟県	③私立大学	②併用	②7割が対面が可能	本学では、感染状況に応じて、①全面対面、②半数に分けて対面と遠隔の併用、③全面遠隔の3通りの授業形態を計画している。前期開始は②でスタートする予定であるが、学期中に感染状況が今より収まり、①で授業を実施できる時期が、全体の半分はあると考えている。したがって、②の場合、対面授業の割合は50%、①の場合は100%であるので、トータルでは75%になる。しかし、感染状況が悪化して③の状態になる可能性もあり、現段階では分からない。	②7割が対面が可能	②7割が対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	
512	新潟工業短期大学	新潟県	③私立大学	①全面対面が可能									
513	新潟中央短期大学	新潟県	③私立大学	①全面対面が可能									
514	日本歯科大学新潟短期大学	新潟県	③私立大学	②併用	②7割が対面が可能	対面授業数÷総授業数	③半々で対面が可能	②7割が対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	実習が多い学年ほど、面接授業の機会が多くなっている
515	明倫短期大学	新潟県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	面接授業科目数を総科目数により除して計算	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	
516	長岡工業高等専門学校	新潟県	④高等専門学校	①全面対面が可能									
517	富山大学	富山県	①国立大学	①全面対面が可能									
518	富山県立大学	富山県	②公立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	現在と同様の感染状況においては授業は感染防止対策を行ったうえで対面を実施するが、通常、対面では実施できない遠隔地の著名な講師によるZoom形式の講義など、一部の授業を遠隔で実施	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
519	高岡法科大学	富山県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	現在は、新型コロナウイルスの感染の数が落ち着きつつあり、例年より4月より対面授業を実施する予定である。しかし、富山県独自の対策方針がステージ3になった時は、本学が警戒レベルの判断基準と掲げ、遠隔授業を実施する	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	比率に差はない
520	富山国際大学	富山県	③私立大学	①全面対面が可能									
521	明朋学園大学院大学	富山県	③私立大学	①全面対面が可能									
522	富山短期大学	富山県	③私立大学	②併用	②7割が対面が可能	事前に作成している対面版時間割表と遠隔授業併用版時間割表より算出し、決定	②7割が対面が可能	②7割が対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	
523	富山福祉短期大学	富山県	③私立大学	①全面対面が可能									
524	富山高等専門学校	富山県	④高等専門学校	①全面対面が可能									
525	金沢大学	石川県	①国立大学	①全面対面が可能									
526	北陸先端科学技術大学院大学	石川県	①国立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	本学では、対面授業、オンライン授業、または、ハイフレックス授業（対面またはオンラインのどちらかで実施する）を学年が違っても、科目により授業形態を決定しており、いずれの実施形態で実施するかは、授業担当教員が授業内容等に応じて判断することとしている	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	該当なし
527	公立小松大学	石川県	②公立大学	①全面対面が可能									
528	石川県立大学	石川県	②公立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	令和4年度前期に開講する全授業のうち、約8割を面接授業、約2割を遠隔授業で実施することとしているため。	①ほとんど対面が可能	②7割が対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	令和4年度は学年による面接授業の比率にほとんど差はないが、教室の使用度などによる2年生の面接授業の比率が他学年と比べて若干低くなっている。

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	授業の割合	割合の計算方法	学年別の割合						学年によって割合に差がある場合の理由
							1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	
529	金沢美術工芸大学	石川県	②公立大学	②併用	①ほとんど対面で可能	週に2コマの授業の一部のみを遠隔授業とするため	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	⑤該当なし	⑤該当なし	
530	石川県立看護大学	石川県	②公立大学	②併用	③半々で対面が可能	一度に全学年が構内に入って密になるのをさけるため、2学年ずつ対面と遠隔を交互に行っている。	③半々で対面が可能	③半々で対面が可能	③半々で対面が可能	①ほとんど対面で可能	⑤該当なし	⑤該当なし	4年生は実習が主体であるため
531	金沢星稜大学	石川県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面で可能	前期の開講科目数のうち、前年度の開講科目の履修者数を参考に、履修者150人以下を対面・以上を遠隔として計算した。	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	⑤該当なし	⑤該当なし	
532	金沢工科大学	石川県	③私立大学	①全面対面で可能									
533	金沢医科大学	石川県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面で可能	学期休み明けや罹患発生状況に応じて、短い期間のみ遠隔授業を利用する予定です。	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	
534	北陸大学	石川県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面で可能	原則、全学部で直接授業を実施することを想定している。	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	
535	金沢学院大学	石川県	③私立大学	①全面対面で可能									
536	金城大学	石川県	③私立大学	①全面対面で可能									
537	北陸学院大学	石川県	③私立大学	①全面対面で可能									
538	かなざわ看護マネジメント専門学校	石川県	③私立大学	①全面対面で可能									
539	金沢学院短期大学	石川県	③私立大学	①全面対面で可能									
540	北陸学院大学短期大学部	石川県	③私立大学	①全面対面で可能									
541	金城大学短期大学部	石川県	③私立大学	①全面対面で可能									
542	金沢星稜大学女子短期大学部	石川県	③私立大学	①全面対面で可能									
543	石川工業高等専門学校	石川県	④高等専門学校	①全面対面で可能									
544	国際高等専門学校	石川県	④高等専門学校	①全面対面で可能									
545	福井大学	福井県	①国立大学	②併用	①ほとんど対面で可能	時間割作成時に授業実施方法について調査し、直接授業と遠隔授業の割合を算出した。	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	
546	福井県立大学	福井県	②公立大学	②併用	①ほとんど対面で可能	遠隔授業を実施するものについては時間割に明記しており、当該時間割に記載した授業数から比率を算出	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	
547	敦賀市立看護大学	福井県	②公立大学	①全面対面で可能									
548	福井工業大学	福井県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面で可能	システムの講義データから直接授業と遠隔授業の比率を算出した。	②7割が対面で可能	②7割が対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	⑤該当なし	⑤該当なし	本学では教養科目の一部を遠隔授業としており、教養科目の開講数が多い1年生と2年生については、遠隔授業の比率が高くなる。
549	仁愛大学	福井県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面で可能	直接授業数/全授業数	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	⑤該当なし	⑤該当なし	
550	福井医療大学	福井県	③私立大学	①全面対面で可能									
551	仁愛女子短期大学	福井県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面で可能	開講科目数における直接授業科目数と遠隔授業科目数の割合	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	⑤該当なし	⑤該当なし	⑤該当なし	⑤該当なし	
552	福井工業高等専門学校	福井県	④高等専門学校	①全面対面で可能									
553	山梨大学	山梨県	①国立大学	②併用	②7割が対面で可能	実験・実習・実技・演習を兼ねた講義科目はオンラインを推奨とするが、新型コロナウイルス感染症対策として設けた臨時定員の履修者の場合は、対面授業の実施も可能としているため。	②7割が対面で可能	③半々で対面が可能	③半々で対面が可能	②7割が対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	5,6年生については、実習が多いため
554	都留文科大学	山梨県	②公立大学	②併用	①ほとんど対面で可能	遠隔授業/全科目	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	⑤該当なし	⑤該当なし	
555	山梨県立大学	山梨県	②公立大学	②併用	①ほとんど対面で可能	全体の科目数に対して原則として遠隔授業で実施する科目を抽出した。	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	⑤該当なし	⑤該当なし	
556	大月短期大学	山梨県	②公立大学	①全面対面で可能									
557	山梨学院大学	山梨県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面で可能	シラバス作成に合わせて確認した、授業実施方法に基づき、計算した。	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	⑤該当なし	⑤該当なし	
558	身延山大学	山梨県	③私立大学	①全面対面で可能									
559	山梨英和大学	山梨県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面で可能	2022年度の開講科目数に対しての直接授業科目数の割合を算出	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	⑤該当なし	⑤該当なし	学年ごとに大きな差はない
560	健康科学大学	山梨県	③私立大学	②併用	②7割が対面で可能	教室の使用制限人数（収容定員の50%）の可能な範囲で学年別に登校する曜日を振り分け	②7割が対面で可能	②7割が対面で可能	②7割が対面で可能	②7割が対面で可能	⑤該当なし	⑤該当なし	
561	山梨学院短期大学	山梨県	③私立大学	①全面対面で可能									
562	常葉学園短期大学	山梨県	③私立大学	①全面対面で可能									
563	信州大学	長野県	①国立大学	②併用	①ほとんど対面で可能	本学の方針（R4.3.7現在）として、感染防止対策を講じた上で、授業は原則対面で実施（感染リスクの高い内容の授業を除く）としているため。	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	該当なし。

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	授業の割合	割合の計算方法	学年別の割合						学年によって割合に差がある場合の理由
							1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	
564	公立諏訪東京理科大学	長野県	②公立大学	②併用	①ほとんど対面で可能	全ての授業数に対して、遠隔授業で実施する授業がいくつあるかの比率を計算した。	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	⑥該当なし	⑥該当なし	2022年度より、新たに2年生以上を対象とする授業の一部(21授業)について、遠隔授業実施を決定している。これはコロナ禍以降の大学における「学びを得ない遠隔授業実施」の状況から、「より高い学習効果を得るための遠隔授業実施」を考えられるようになったことによる。対象を2年生以上の授業としている理由は、1年生については学修効果以上に人間関係のつながりによる「人間関係のつながり」こそが重要であると考えたことによる。ただし、年度当初1ヶ月間については、新規感染数の高止まり又は本学のある長野県では感染の再拡大傾向も見られることから、感染対策の強化のため講義科目を遠隔授業を実施するため、当初予定よりも多くの遠隔授業が必要となっている。これについても、1年生の遠隔授業を最優先として考え、2・3年生の授業の一部を遠隔に切り替えることとしている。
565	長野県立大学	長野県	②公立大学	②併用	①ほとんど対面で可能	全授業に対する遠隔授業の割合。	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
566	長野県看護大学	長野県	②公立大学	②併用	①ほとんど対面で可能	新1年は全授業を、2～4年は全ての授業を遠隔とオンラインとのハイブリッド方式で実施する。	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
567	長野大学	長野県	②公立大学	②併用	②7割が対面で可能	地域の感染状況や警戒レベルを基に、本学の教育活動基準を決定しており、受講生が100名以上の科目(概ね3割程度)は可能な限りオンライン授業で実施するため。	②7割が対面で可能	②7割が対面で可能	②7割が対面で可能	②7割が対面で可能	⑥該当なし	⑥該当なし	該当なし
568	松本畜科大学	長野県	③私立大学	①全面対面で可能									
569	松本大学	長野県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面で可能	授業担当者が、未学而して遠隔授業を実施できない事由(県外在住等)がある科目を、遠隔授業としてカウントした。	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
570	清泉女子学院大学	長野県	③私立大学	①全面対面で可能									
571	佐久大学	長野県	③私立大学	①全面対面で可能									
572	長野保健医療大学	長野県	③私立大学	①全面対面で可能									
573	松本看護大学	長野県	③私立大学	①全面対面で可能									
574	飯田女子短期大学	長野県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面で可能	授業の形態や教員の所在地から科目ごとに決定している	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	差はありません
575	長野女子短期大学	長野県	③私立大学	①全面対面で可能									
576	上田女子短期大学	長野県	③私立大学	①全面対面で可能									
577	松本大学松高短期大学部	長野県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面で可能	授業担当者が、未学而して遠隔授業を実施できない事由(県外在住等)がある科目を、遠隔授業としてカウントした。	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	
578	松本短期大学	長野県	③私立大学	①全面対面で可能									
579	清泉女子短期大学	長野県	③私立大学	①全面対面で可能									
580	信州豊南短期大学	長野県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面で可能	対面授業科目(開講科目数)を前期開講科目で割った数字(123/134となっており91.8%)	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	
581	佐久大学信州短期大学部	長野県	③私立大学	①全面対面で可能									
582	長野工業高等専門学校	長野県	④高等専門学校	①全面対面で可能									
583	岐阜保健大学短期大学部	岐阜県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面で可能	実習前は、自宅特権にしオンライン授業のみになりました。	⑥該当なし	⑥該当なし	⑤ほとんど遠隔で実施	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	特に比率は設けておりません。実習前は、オンライン授業による実習オリエンテーションを行っています。
584	岐阜大学	岐阜県	①国立大学	②併用	①ほとんど対面で可能	授業実施方針において、「原則として対面形式で授業を実施する」としているため、ほとんどの授業が対面形式で行われることを想定している。	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	差を設ける考えは特になし。
585	岐阜薬科大学	岐阜県	②公立大学	①全面対面で可能									
586	岐阜県立看護大学	岐阜県	②公立大学	②併用	①ほとんど対面で可能	1年次(100%)・2年次(100%)・3年次(100%)・4年次(50%) / 4=87.5%	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	③半々で対面が対面	⑥該当なし	⑥該当なし	原則として対面授業だが、4年次生の授業については使用教室の都合上、対面と遠隔に分けて行う。
587	情報科学芸術大学院大学	岐阜県	②公立大学	②併用	②7割が対面で可能	年間授業計画の中でオンライン授業を予定している部分を計算した	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	②7割が対面で可能	②7割が対面で可能	特になし
588	岐阜市立女子短期大学	岐阜県	②公立大学	②併用	①ほとんど対面で可能	各学科・学年において、概ね週1回程度遠隔授業となるよう配慮した。	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	
589	岐阜聖徳学園大学	岐阜県	③私立大学	①全面対面で可能									
590	中京学院大学	岐阜県	③私立大学	②併用	③半々で対面が対面	令和4年度前期の時間割から開講科目数における割合で算出	③半々で対面が対面	④3割が対面で可能	③半々で対面が対面	③半々で対面が対面	⑥該当なし	⑥該当なし	演習科目及び実習科目は対面授業で、そのほかはオンライン授業で行う予定であるため、2年生において実習科目が少なかったことにより若干の差が生じている
591	岐阜協立大学	岐阜県	③私立大学	①全面対面で可能									
592	岐阜女子大学	岐阜県	③私立大学	①全面対面で可能									
593	新庄大学	岐阜県	③私立大学	①全面対面で可能									
594	岐阜聖徳学園大学	岐阜県	③私立大学	①全面対面で可能									
595	東海学院大学	岐阜県	③私立大学	①全面対面で可能									
596	中部学院大学	岐阜県	③私立大学	①全面対面で可能									
597	岐阜保健大学	岐阜県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面で可能	各学年1回から週2回は遠隔授業を行うように調整しました。	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	⑥該当なし	⑥該当なし	特に比率の差は設けておりません。
598	中部学院大学短期大学部	岐阜県	③私立大学	①全面対面で可能									
599	岐阜聖徳学園大学短期大学部	岐阜県	③私立大学	①全面対面で可能									
600	正殿短期大学	岐阜県	③私立大学	①全面対面で可能									
601	中京学院大学短期大学部	岐阜県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面で可能	令和4年度前期の時間割から開講科目数における割合で算出	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	
602	東海学院大学短期大学部	岐阜県	③私立大学	①全面対面で可能									

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	授業の割合	割合の計算方法	学年別の割合						学年によって割合に差がある場合の理由		
							1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生			
603	中日本自動車短期大学	岐阜県	③私立大学	①全面対面可能											
604	大垣女子短期大学	岐阜県	③私立大学	①全面対面可能											
605	高山自動車短期大学	岐阜県	③私立大学	①全面対面可能											
606	平成医療短期大学	岐阜県	③私立大学	②併用	②7割が対面可能	本学は3年制であるが、可能な限り3学年すべてが登校しないよう調整している。	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし			
607	岐阜工業高等専門学校	岐阜県	④高等専門学校	①全面対面可能											
608	静岡社会健康医学大学院大学	静岡県	②公立大学	①全面対面可能											
609	静岡大学	静岡県	①国立大学	②併用	①ほとんど対面可能	令和4年度前期の授業の実施方針は以下のとおりとしている。 【基本方針】 可能な限り対面授業を実施するが、面接（対面）授業と遠隔（オンライン）授業を適宜併用する。 【面接（対面）授業の実施方針】 ①1つの授業の学生数は各教室の従来の収容定員以下とすること。 ②授業時のマスク着用を必須（運動時を除く。）とし、教室では各自間隔を空けて着席すること。教員や学生間の距離の確保に努めること。 【授業実施に当たっての留意事項】 各科目の面接（対面）授業又は遠隔（オンライン）授業の実施については、令和3年度と同様、部局長の判断によるものとするが、各部署長においては、教育の質保証及び学生の健康の確保の観点から、可能な限り面接（対面）授業を実施する方針を堅持するものとする。 各部署長は、令和4年度前期（通年を含む。）に開講する授業科目の授業形態（オンライン授業科目と対面授業科目の別）を決定のうえ、令和4年4月7日を期日として遠隔（オンライン）授業を実施する授業科目名等を報告するよう依頼しているため、面接（対面）授業と遠隔（オンライン）授業比率は、上記期日以降に判明する見込みである。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし			
610	浜松医科大学	静岡県	①国立大学	②併用	②7割が対面可能	前期開講科目のうち、1年生の科目と講義以外の形態の科目を面接授業として計算した。	①ほとんど対面可能	④3割が対面可能	④3割が対面可能	③半々で対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	大学での学修に慣れていない1年生は面接授業の機会を増やしている他、実習・演習の増える高学年ほど面接授業の機会が多くなっている。		
611	静岡県立森林環境専門職大学	静岡県	②公立大学	①全面対面可能											
612	静岡県立大学	静岡県	②公立大学	②併用	①ほとんど対面可能	R4開始にあたって、全学として方針（教室座席数を考慮し、各教室収容人数の目安を定めた）を定めた上で、時間前作成、教室配分を定めるため学部教務ごとで聞き取りを行った。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	特になし		
613	静岡文化芸術大学	静岡県	②公立大学	①全面対面可能											
614	静岡県立森林環境専門職大学短期大学部	静岡県	②公立大学	①全面対面可能											
615	静岡県立大学短期大学部	静岡県	②公立大学	②併用	①ほとんど対面可能	令和4年度中に教員に調査し、令和4年3月30日付けで学生に配布した授業形態一覧をもとに集計した。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし			
616	光産業創成大学院大学	静岡県	③私立大学	①全面対面可能											
617	静岡福祉大学	静岡県	③私立大学	①全面対面可能											
618	浜松学院大学	静岡県	③私立大学	①全面対面可能											
619	静岡英和学院大学	静岡県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能		④3割が対面可能	③半々で対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	受講者が100名以上となる講義科目についてはオンラインで実施する。		
620	常葉大学	静岡県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	令和4年度の前期授業の準備として、対面授業を実施しない科目を調査した。その結果と開講科目数から計算し、回答を決定したい。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし			
621	静岡理工科大学	静岡県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	遠隔授業の割合(A) = (2022年度前期時間割表における遠隔授業数) / (2022年度前期時間割表における全授業数) 対面授業の割合(B) = (2022年度前期時間割表における対面授業数) / (2022年度前期時間割表における全授業数) 以上から(A) : (B)を算出	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	全学統一して基準を設けているため該当なし		
622	聖隷クリストファー大学	静岡県	③私立大学	①全面対面可能											
623	静岡産業大学	静岡県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	「面接授業」設定の授業科目数と「遠隔授業」設定の授業科目数の比率（同一の授業科目を複数開講（例えば2つ）する場合、複数（2つ）としてカウントした。）	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	該当なし。（学年ごとに差を設けたいため。）		
624	日本大学短期大学部	静岡県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	履修者数に応じて遠隔授業とするか判断するため、令和3年度後学期実績に基づき遠隔授業の見込みを算出し決定した。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	なし		
625	静岡英和学院大学短期大学部	静岡県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能		①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	受講者が100名以上となる講義科目についてはオンラインで実施する。		
626	常葉大学短期大学部	静岡県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	令和4年度の前期授業の準備として、対面授業を実施しない科目を調査した。その結果と開講科目数から計算し、回答を決定したい。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし			
627	浜松学院大学短期大学部	静岡県	③私立大学	①全面対面可能											
628	沼津工業高等専門学校	静岡県	④高等専門学校	①全面対面可能											
629	総合研究大学院大学	愛知県	①国立大学	②併用	③半々で対面可能	キャンパス毎に対応が異なるため、平均を取った。	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし			
630	名古屋大学	愛知県	①国立大学	②併用	②7割が対面可能	履修登録開始時点の状況から判断した。調査時点では、実施方法を未定としている授業があるため、面接授業の割合はさらに増える見込みである。	②7割が対面可能	②7割が対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	学年ごとに面接授業の比率に差を設ける方針は定めていないが、受講学生数に比べて、感染対策を行った上で面接授業を実施する講義室が十分でないため、結果として、大人数講義の多い低学年の比率が低下した。 なお、大学としては、原則対面としつつ、遠隔授業ならではの高い教育効果を併せた授業形態への移行に向け、ハイフレックス対応の講義室を増やすなどのデジタル技術の導入を積極的に図っている。		
631	名古屋工業大学	愛知県	①国立大学	②併用	②7割が対面可能	講義科目については、感染状況が落ち着くまでの間、原則としてハイブリッド型による実施形態をとっている。また、特に対面による指図が不可欠とされる実験・実習科目や1学年の定員が20名の夜間部（基礎工学教課程、第二部）については、原則として対面授業を実施しており、関連の授業科目のコマ数を考慮して算出したもの。	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	夜間部である第二部や基礎工学教育課程では、1学年の定員が20名と少数であるため、感染リスクが小さいことから、ほとんどの授業を面接授業で行っているため。		

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	授業の割合	割合の計算方法	学年別の割合						学年によって割合に差がある場合の理由	
							1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生		
632	愛知教育大学	愛知県	①国立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	本学は、令和3年度、遠隔授業を実施する授業時数が半数を超える授業を「メディア授業」と定義することとした。本学が令和4年度に「メディア授業」として開講する授業科目は、全ての授業科目（約1,300科目）のうち13科目であることから、「① ほとんど（8割以上）の授業を面接授業で行う予定である。」とした。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし		
633	豊橋技術科学大学	愛知県	①国立大学	②併用	②7割が対面が可能	令和4年度前期に開講される授業科目のシラバスに記載されている授業実施形態を集計したところ、対面授業にて実施する比率が、7割を超えていたため。	②7割が対面が可能	②7割が対面が可能	②7割が対面が可能	②7割が対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし		
634	名古屋市立大学	愛知県	②公立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	4月以降全ての授業について対面を原則とする全学の授業実施方針を掲げており、直近の感染状況に照らして、当該方針通りの対応となります。しかし、直近の感染状況が基本的な感染防止対策を引き続き行う必要があり、受講者数を教員定員の一定割合に制限するなど、措置を継続予定で、学内施設のカンパシティ等を理由として一部において遠隔授業が継続することになると考えています。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	
635	愛知県立芸術大学	愛知県	②公立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	対面授業でしか高い教育効果が望めない実技系授業が多いため。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし		
636	愛知県立大学	愛知県	②公立大学	②併用	②7割が対面が可能	基本的に学科ごとに、登校しない曜日（週に1日、2日程度）を決めて、分散登校をおこなうことで、大学校内にいる学生の人数を抑制している。そのため、登校しない曜日の授業を中心に遠隔授業を行っている。ただし、受講者数の関係で、教室が密になる可能性が高い授業や教育効果や教授者の希望など総合的に判断で、対面授業を遠隔授業に切り替える場合がある。	②7割が対面が可能	②7割が対面が可能	②7割が対面が可能	②7割が対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	特に学年ごとに遠隔と対面の比率を変えることはしていない	
637	愛知工科大学	愛知県	③私立大学	①全面対面が可能										
638	名古屋産業大学	愛知県	③私立大学	①全面対面が可能										
639	人間環境大学	愛知県	③私立大学	①全面対面が可能										
640	名古屋文理大学	愛知県	③私立大学	①全面対面が可能										
641	愛知みずほ大学	愛知県	③私立大学	①全面対面が可能										
642	愛知学院大学	愛知県	③私立大学	①全面対面が可能										
643	愛知工業大学	愛知県	③私立大学	①全面対面が可能										
644	金城学院大学	愛知県	③私立大学	①全面対面が可能										
645	椙山女子園大学	愛知県	③私立大学	①全面対面が可能										
646	大同大学	愛知県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	前期の開講科目のうち、遠隔にて実施予定の科目をパーセントで計算した。（54科目/345科目が遠隔、全体の16%）	②7割が対面が可能	②7割が対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	学科の科目は原則対面として、教養科目は対面または遠隔での実施となっている。1、2年次は教養科目が多い為、3、4年次に比べ若干遠隔の割合が多くなる。	
647	中央大学	愛知県	③私立大学	②併用	②7割が対面が可能	授業担当教員から令和4年度の各授業の授業実施方法（面接もしくは遠隔）を確認しており、その数値をもとに算出。	①ほとんど対面が可能	②7割が対面が可能	②7割が対面が可能	②7割が対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	大学での学習に慣れていない1年生について、必修科目は履修者数に関わらず面接授業を基本とし、面接授業の機会を増やす配慮をしている。	
648	同朋大学	愛知県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	原則、全科目を面接授業にて実施。一部、感染対策に配慮した教室配置の都合上、面接授業が困難と判断された科目のみ、遠隔授業を実施。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし		
649	名古屋学院大学	愛知県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	8学部中2学部はすべて対面授業にて実施し、残りの6学部においては、15週のうち13週の授業が対面授業を実施します。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	学年ごとに差異はありません。	
650	名古屋商科大学	愛知県	③私立大学	①全面対面が可能										
651	名古屋女子大学	愛知県	③私立大学	①全面対面が可能										
652	南山大学	愛知県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	第1クォーターの授業数に占める面接授業数の比率を算出した結果、約95%の授業が面接授業となった。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし		
653	日本福祉大学	愛知県	③私立大学	①全面対面が可能										
654	名城大学	愛知県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	一部の面接・遠隔併用授業を面接授業と換算して面接授業数・全体授業数として計算した。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	大学生活の基礎をつくるため、1年生の教養科目等から、面接授業とするようにしているが、原則、面接授業としているため、学年ごとの差はほぼない。	
655	名古屋音楽大学	愛知県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	開講科目のうちオンラインで実施する科目数をもとに算出。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし		
656	豊田工科大学	愛知県	③私立大学	①全面対面が可能										

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	授業の割合	割合の計算方法	学年別の割合						学年によって割合に差がある場合の理由
							1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	
657	名古屋外国語大学	愛知県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	履修人数が多数となり教室内で密を避けられない状態となりうる授業、遠隔地の教員による授業など、すべての授業について遠隔授業とすることが適切と考えられるものを精査し決定した。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
658	名古屋造形大学	愛知県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	遠隔授業科目数+面接授業科目数	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
659	愛知産業大学	愛知県	③私立大学	①全面対面が可能			①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
660	東海学園大学	愛知県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	授業数(クラス数)をベースにして、前期開始時の授業実施形態の比率を計算した。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
661	豊橋創造大学	愛知県	③私立大学	①全面対面が可能			①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
662	愛知東邦大学	愛知県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	「前期開講科目」539科目、その内「遠隔授業科目」4科目のため。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	該当なし
663	星城大学	愛知県	③私立大学	①全面対面が可能			①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
664	愛知文教大学	愛知県	③私立大学	①全面対面が可能			①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
665	桜花学園大学	愛知県	③私立大学	①全面対面が可能			①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
666	愛知大学	愛知県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	開講時点で全ての授業の実施形態(対面授業で実施するか遠隔授業で実施するか)を決定しており、それに基づいて比率を算出しております。同一科目名で複数クラス開講している科目については、開講クラス毎に対面授業か遠隔授業かを定めておりますが、全開講クラス数に対する対面授業数の割合を算出しております。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能
667	愛知学泉大学	愛知県	③私立大学	①全面対面が可能			①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
668	聖学院大学	愛知県	③私立大学	①全面対面が可能			①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
669	中部大学	愛知県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	各講義において通常定員の3分の2を上限とした上で可能な限り講義室を確保し、新付可能な講義室は遠隔、不可の講義室は遠隔で実施することとし、その比率を算出した。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
670	藤田医科大学	愛知県	③私立大学	②併用	②7割が対面が可能	科目の授業コマ数の半分以上を面接で実施するものを面接授業として計上	③半々で対面が可能	③半々で対面が可能	③半々で対面が可能	②7割が対面が可能	①ほとんど対面が可能	②7割が対面が可能	本学は医療系大学であり、4年以上には実習科目(卒業研究を含む)が多く配置されている。その実習科目は専門機器を用いた実験系や臨床での実習が多くを占めているため面接授業を行うこと必要がある。
671	名古屋芸術大学	愛知県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	教員の面接授業において実施するコマ数と、遠隔授業において実施するコマ数の比率	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
672	愛知淑徳大学	愛知県	③私立大学	①全面対面が可能			①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
673	名古屋経済大学	愛知県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	原則、全ての授業を対面で行う。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
674	名古屋学芸大学	愛知県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	教室定員に対して受講者数が多い授業や遠隔授業の方が教育的効果の高い一部の授業は遠隔形式としており、他は対面形式での実施。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	学年により差は設けていない。
675	日本赤十字豊田看護大学	愛知県	③私立大学	①全面対面が可能			①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
676	修文大学	愛知県	③私立大学	①全面対面が可能			①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
677	岡崎女子大学	愛知県	③私立大学	①全面対面が可能			①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
678	一宮神科大学	愛知県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	76科目/77科目	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
679	名古屋柳城女子大学	愛知県	③私立大学	②併用	③半々で対面が可能	感染防止のために昼休憩を避ける形で午前の部と午後の部を分けているため。	③半々で対面が可能	③半々で対面が可能	③半々で対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	
680	愛知医科大学	愛知県	③私立大学	②併用	③半々で対面が可能	学生を2つのグループに分けて、出欠人数の調整を行っており、おおむね半々程度である。	③半々で対面が可能	③半々で対面が可能	②7割が対面が可能	③半々で対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	本学は医療系大学で、医学部と看護学部しかありません。いずれの質問においても、学部毎に割合に多少差があるものの、高学年ほど実技や実習のために面接授業の割合が多くなっています。5年生、6年生については医学部のみ該当します。
681	名古屋国際工科専門職大学	愛知県	③私立大学	①全面対面が可能			①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
682	聖徳総合大学短期大学部	愛知県	③私立大学	①全面対面が可能			①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
683	愛知学院大学短期大学部	愛知県	③私立大学	①全面対面が可能			①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
684	名古屋文理大学短期大学部	愛知県	③私立大学	①全面対面が可能			①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
685	名古屋女子大学短期大学部	愛知県	③私立大学	①全面対面が可能			①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
686	名古屋短期大学	愛知県	③私立大学	①全面対面が可能			①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
687	愛知みずほ短期大学	愛知県	③私立大学	①全面対面が可能			①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
688	名古屋柳城短期大学	愛知県	③私立大学	②併用	③半々で対面が可能	感染防止のために昼休憩を挟まずに午前と午後の部を授業を分けて実施する。	③半々で対面が可能	③半々で対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	
689	名古屋文化短期大学	愛知県	③私立大学	①全面対面が可能			①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
690	愛知工科大学自動車短期大学	愛知県	③私立大学	①全面対面が可能			①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
691	愛知大学短期大学部	愛知県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	開講時点で全ての授業の実施形態(対面授業で実施するか遠隔授業で実施するか)を決定しており、それに基づいて比率を算出しております。同一科目名で複数クラス開講している科目については、開講クラス毎に対面授業か遠隔授業かを定めておりますが、全開講クラス数に対する対面授業数の割合を算出しております。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	差はない。
692	愛知学泉短期大学	愛知県	③私立大学	①全面対面が可能			①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
693	修文大学短期大学部	愛知県	③私立大学	①全面対面が可能			①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
694	愛知文教女子短期大学	愛知県	③私立大学	①全面対面が可能			①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
695	岡崎女子短期大学	愛知県	③私立大学	①全面対面が可能			①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
696	聖学院大学短期大学部	愛知県	③私立大学	①全面対面が可能			①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
697	名古屋経営短期大学	愛知県	③私立大学	①全面対面が可能			①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
698	愛知江南短期大学	愛知県	③私立大学	①全面対面が可能			①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
699	愛知医療学院短期大学	愛知県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	基本的に面接授業を行っているが、感染防止に対処した教室の収容人数に収容できない場合に限り遠隔授業を併用している。また、各授業科目目的に応じて判断している。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	該当なし
700	豊田工業高等専門学校	愛知県	④高等専門学校	①全面対面が可能			①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
701	三重大学	三重県	①国立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	全授業数に占める面接授業数の割合より算出。面接授業数に占める、全ての学生が半分以上の授業時数を対面で受講する機会を設けている授業にて算出。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	全ての学年で8割以上の授業を面接授業で行う予定である。
702	三重県立看護大学	三重県	②公立大学	①全面対面が可能			①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
703	三重短期大学	三重県	②公立大学	①全面対面が可能			①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
704	四日市大学	三重県	③私立大学	①全面対面が可能			①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	授業の割合	割合の計算方法	学年別の割合						学年によって割合に差がある場合の理由			
							1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生				
705	皇学館大学	三重県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	基本的には全授業対面でいたい。教室を収容定員の半分で運用しており、教室が不足していることから、一部遠隔授業を取り入れているため。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能		
706	鈴鹿医療科学大学	三重県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	全科目中、教室明記が「遠隔授業」になっている割合	②7割が対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	合同授業が多めの1年生は、教室の収容定員を感染対策用に減らしているため、150人を超える履修者の講義形式の科目について、遠隔授業における教育の質を担保できるようにLearning20K(University Passport)などを活用する工夫が、この2年間で構築できたため、1年生は、遠隔授業が他の学年に比べると多いです。その他の学年は、実習や実験科目が多いため、面接授業となります。	
707	鈴鹿大学	三重県	③私立大学	①全面対面が可能												
708	四日市看護医療大学	三重県	③私立大学	①全面対面が可能												
709	鈴鹿大学短期大学部	三重県	③私立大学	①全面対面が可能												
710	高田短期大学	三重県	③私立大学	①全面対面が可能												
711	ユマニティ短期大学	三重県	③私立大学	①全面対面が可能												
712	鈴鹿工業高等専門学校	三重県	④高等専門学校	①全面対面が可能												
713	鳥羽商船高等専門学校	三重県	④高等専門学校	①全面対面が可能												
714	近畿大学工業高等専門学校	三重県	④高等専門学校	①全面対面が可能												
715	滋賀大学	滋賀県	①国立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	前期開講前に実施した授業形態調査の結果による。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	
716	滋賀医科大学	滋賀県	①国立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	完全に遠隔形式で実施する科目はら科目のみであり、その他の授業は全て原則対面（新型コロナウイルス感染症を理由として学習機会を逃さないための、個別の事情がある場合には遠隔形式での受講を許可）で実施するため。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	特に学年ごとの比率の差はない。
717	滋賀県立大学	滋賀県	②公立大学	①全面対面が可能												
718	成安造形大学	滋賀県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	遠隔で実施する科目の確認をしたため。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	
719	聖泉大学	滋賀県	③私立大学	①全面対面が可能												
720	長浜バイオ大学	滋賀県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	全開講科目の中2科目のみ遠隔授業	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	
721	びわこ成蹊スポーツ大学	滋賀県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	開講科目に対する割合	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	比率に差はない
722	びわこ学院大学	滋賀県	③私立大学	①全面対面が可能												
723	びわこリハビリテーション専門職大学	滋賀県	③私立大学	①全面対面が可能												
724	滋賀文教短期大学	滋賀県	③私立大学	①全面対面が可能												
725	滋賀短期大学	滋賀県	③私立大学	①全面対面が可能												
726	びわこ学院大学短期大学部	滋賀県	③私立大学	①全面対面が可能												
727	京都大学	京都府	①国立大学	①全面対面が可能												
728	京都教育大学	京都府	①国立大学	①全面対面が可能												
729	京都工芸繊維大学	京都府	①国立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	学部においては、原則対面授業としているが、持病等があり感染した場合に重症化するリスクの高い教育が担当する科目など、一く一部の科目でオンライン授業とすることを認めていることから、大学院においては、原則対面授業としているが、対面授業に相当する教育効果を有すると判断できる場合はハイフレックスまたはオンラインで授業を実施することを可能としていることから。	②7割が対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	本学では、主に1年生を対象とした教養科目の大部分を、他の2大学との共同により三大学共同教養科目として開講しています。通常であれば、共同化施設を利用して授業を行います。受講生を収容できる教室を確保することが困難であるため、令和4年度前期学、三大学共同教養科目は、原則オンラインで授業を実施します。このため、1年生については、他の学年に比べ対面授業の割合が低くなっています。
730	京都市立芸術大学	京都府	②公立大学	②併用	③半々で対面が可能	※上記回答（美術学部）③、（音楽学部）② 開講される全科目数に対する実技科目（すべて面接授業として実施予定）並びに面接授業として実施予定の演習科目及び講義科目の割合を算出	③半々で対面が可能	③半々で対面が可能	③半々で対面が可能	③半々で対面が可能	③半々で対面が可能	③半々で対面が可能	③半々で対面が可能	③半々で対面が可能	③半々で対面が可能	回答なし
731	京都府立大学	京都府	②公立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	「面接授業」及び「ハイブリッド型授業」の授業形態の開講科目を「面接授業」とし、「オンライン授業」及び「オンデマンド授業」の授業形態の開講科目を「遠隔授業」として、比率を計算した。	②7割が対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	担任教員が開講している授業形態別の科目数の比率で例示のような学年別に特別な取り扱いをしていない。
732	京都府立医科大学	京都府	②公立大学	②併用	②7割が対面が可能	基本的には、実習及び演習は面接授業として実施する。また、講義については、オンラインやハイブリッド、あるいは、選択科目で人数の少ない科目は面接で実施している。	④3割が対面が可能	③半々で対面が可能	④3割が対面が可能	②7割が対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	実習や演習の時間数が多い学年ほど、面接授業の割合が高くなっている。
733	福知山公立大学	京都府	②公立大学	①全面対面が可能												
734	平安女学院大学	京都府	③私立大学	①全面対面が可能												
735	大谷大学	京都府	③私立大学	①全面対面が可能												
736	京都外国語大学	京都府	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	2022年度春学期の授業は、昨年度に引き続き、感染拡大防止対策を講じたうえで、原則として「対面授業」とし、教室の収容人数に限りがある中で授業を取り組んでらるる一部の授業科目を「遠隔授業（オンデマンド・ビデオ型）」として実施する。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	学年ごとに面接（対面）授業の比率に差はない。
春学期開講科目数に対する面接授業と遠隔授業の割合																
737	京都産業大学	京都府	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能		①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	
738	京都女子大学	京都府	③私立大学	①全面対面が可能												

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	授業の割合	割合の計算方法	学年別の割合						学年によって割合に差がある場合の理由
							1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	
739	京都薬科大学	京都府	③私立大学	②併用	①ほとんど対面で可能	大学の授業方針として示した。1年次は原則対面授業、2年次以降は、通常講義は対面と遠隔授業の併用（50%）、実習、演習、研究は原則対面での実施の方針を基本とし、個別対応する科目の講義を加えた計算を行っている。	①ほとんど対面で可能	②7割が対面で可能	②7割が対面で可能	②7割が対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	大学の学修方法を身に付けることを目指す1年次は全面的に対面での授業としている。また、研究活動や実習は対面での実施としているため、学年ごとのカリキュラム内の研究や実習の比率により差が出ている。
740	京都光華女子大学	京都府	③私立大学	②併用	①ほとんど対面で可能	全開講科目に対する全オンデマンド授業の比率を算出している。	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
741	種智院大学	京都府	③私立大学	①全面対面で可能									
742	京都橋大学	京都府	③私立大学	②併用	①ほとんど対面で可能	2022年度開講方針に沿って定めた各授業の開講形態によって算出した。履修者数の確定に伴って若干の変更は見込まれる。	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	⑥該当なし	⑥該当なし	原則、面接授業での実施としているが、一定以上（80名を基準）の履修者数の授業は遠隔授業での実施としている。1年生配当の教養教育科目において遠隔授業が多いため、全学年において「ほとんどの授業を面接授業で行う予定である」が、やや1年生の遠隔授業比率が高い。
743	同志社大学	京都府	③私立大学	②併用	①ほとんど対面で可能	「全授業科目・クラス数」に対する「面接授業及び面接授業と遠隔授業を併用する授業科目・クラス数」の割合	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
744	同志社女子大学	京都府	③私立大学	②併用	①ほとんど対面で可能	2022年度春学期（いわゆる前期）に開講する全てのクラスの数の合計を分母とし、授業回数の半数以上の回を「遠隔授業」として実施する授業科目のクラス数を分子として計算	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	
745	京都ノートルダム女子大学	京都府	③私立大学	①全面対面で可能									
746	花園大学	京都府	③私立大学	①全面対面で可能									
747	佛教大学	京都府	③私立大学	②併用	①ほとんど対面で可能	全体の開講講座数と面接授業の講座数の比率により算出	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
748	立命館大学	京都府	③私立大学	①全面対面で可能									
749	龍谷大学	京都府	③私立大学	②併用	①ほとんど対面で可能	本学では、「新型コロナウイルス感染防止のための行動指針」を策定し、感染状況に応じた授業実施の活動制限レベルを設定している。令和4年度前期の面接授業と遠隔授業の比率については、2022年度の開講コマ数を基に同活動制限レベルにおける授業実施形態（面接・遠隔）の比率を計算している。	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	
750	京都先端科学大学	京都府	③私立大学	②併用	①ほとんど対面で可能	教室定員50%程度を遵守し、全開講授業に対して教室を最大限活用した場合、対面で実施できる授業数の割合	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	
751	京都精華大学	京都府	③私立大学	②併用	②7割が対面で可能	2022年度シラバスに「授業実施形態」の項目を設けている。前期開講科目（本学はクォーター制を導入しているため10・20開講科目含む）より面接/遠隔授業の比率を算出した。	④9割が対面で可能	③半々で対面が可能	②7割が対面で可能	①ほとんど対面で可能	⑥該当なし	⑥該当なし	1・2年次に履修する全学部共通の必修科目はほとんどが遠隔授業のため、低学年の学生ほど遠隔授業の比率が高い。
752	明治国際医療大学	京都府	③私立大学	②併用	②7割が対面で可能	週5日閉（1日4限）の授業に対して、1日程度（4限）の遠隔授業を実施する。	②7割が対面で可能	②7割が対面で可能	②7割が対面で可能	②7割が対面で可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
753	京都芸術大学	京都府	③私立大学	②併用	②7割が対面で可能	開講計画の実施形態データから算出	②7割が対面で可能	②7割が対面で可能	②7割が対面で可能	②7割が対面で可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
754	京都文教大学	京都府	③私立大学	②併用	①ほとんど対面で可能	全科目を分母として計算している。	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
755	嵯峨美術大学	京都府	③私立大学	②併用	②7割が対面で可能	全科目からオンデマンド科目を引いて計算	②7割が対面で可能	②7割が対面で可能	②7割が対面で可能	②7割が対面で可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
756	京都情報大学院大学	京都府	③私立大学	②併用	①ほとんど対面で可能	原則として、対面授業と遠隔授業を併用するハイブリッド形式で授業を行う計画としている。対面が遠隔かという二択対応ではなく、対面での受講を希望する学生と、何らかの事情で登校に不安を感じる学生や一時的に体調不良の学生の双方に対し、同じように受講の機会を提供する。また、感染状況等に関わらず、学びの多様性などを考慮すると、遠隔授業の授業も大きいことから、併用して実施する。	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	
757	京都医療科学大学	京都府	③私立大学	②併用	①ほとんど対面で可能	実習など医療系職種を目指す学科である為、病院へ赴くとか、講師が赴任するとかの接触・頻度の観点から	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	①ほとんど対面で可能	②7割が対面で可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
758	京都華頂大学	京都府	③私立大学	①全面対面で可能									

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	授業の割合	割合の計算方法	学年別の割合						学年によって割合に差がある場合の理由		
							1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生			
759	京都美術工芸大学	京都府	③私立大学	①全面対面可能											
760	京都看護大学	京都府	③私立大学	②併用	②7割が対面可能	時間に基づき	②7割が対面可能	②7割が対面可能	①ほとんど対面可能	②7割が対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	3年次は臨床実習がメインであるため対面が9割以上で、他の学年は同等になるように設定	
761	池坊短期大学	京都府	③私立大学	①全面対面可能											
762	京都経済短期大学	京都府	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	履修人数が一定人数を超えた科目について遠隔授業とし、現時点では科目が遠隔授業となることが決まっている。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし			
763	華頂短期大学	京都府	③私立大学	①全面対面可能											
764	京都外国語短期大学	京都府	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	2022年度春学期の授業は、昨年度に引き続き、感染拡大防止を講じたうえで、原則として「対面授業」とし、教室の収容人数に限りがある中で教室を割り当てられなかった一部の授業科目を「遠隔授業（オンライン・ビデオ）」として実施する。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	学年ごとに面接（対面）授業の比率に差はない。	
765	京都光華女子大学短期大学部	京都府	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	全開講科目数に対する全回オンデマンド授業の比率で算出	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし			
766	龍谷大学短期大学部	京都府	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	本学では、「新型コロナウイルス感染防止のための行動指針」を策定し、感染状況に応じた授業実施の活動制限レベルを設定している。令和4年度前期の面接授業と遠隔授業の比率については、2022年度の開講コマ数を基に同活動制限レベルにおける授業実施形態（面接・遠隔）の比率を計算している。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能
767	京都文教短期大学	京都府	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	前期に開講する全科目についての遠隔授業の比率	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし			
768	京都西山短期大学	京都府	③私立大学	①全面対面可能											
769	嵯峨美術短期大学	京都府	③私立大学	②併用	②7割が対面可能	全科目からオンデマンド科目を引いて計算	②7割が対面可能	②7割が対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし			
770	舞鶴工業高等専門学校	京都府	④高等専門学校	①全面対面可能											
771	大阪電気通信大学	大阪府	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	全体の授業科目のうち遠隔授業を実施する科目で算出した	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし			
772	大阪大学	大阪府	①国立大学	②併用	②7割が対面可能	教育効果を最優先に、対面授業が必要なものについては、十分な感染拡大防止策を講じたうえで実施する。また、学内での教育活動における安全・安心・健康を守ることを基盤とし、急激な状況に際しても教育・学習の機会と質の保証をする「対面授業とメディア7稼働を併用するフレンド教育」を推進していく予定である。なお、回教員の割合は前年度学内調査を行った結果によるものであり、方針は大きく変更されていない。	③半々が対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	本学は研究開発総合大学として、理工系の場合には修士課程までの進学者が多く、学部によっては制約程度の高さもあり、6年一貫に近い教育体制になっている。学部1-3年生は主として授業を中心としているが、4年次以降の3年間は、研究室における研究活動が行いながらマンツーマンに近い形の対面指導となり、修学期間中の中心的指導形態となっている。一方、学部低学年の場合は大人数で受講する授業科目が多くなっている。本学では感染拡大防止のため講義室等定員に対して参加人数に制限を設けている。これによりやむを得ず遠隔授業となっている場合がある。
773	大阪教育大学	大阪府	①国立大学	②併用	①ほとんど対面可能	令和4年度授業実施方針では、感染防止対策を講じた上で、すべての授業（一部のオンライン授業を除く。）を対面により実施することとしている。感染拡大防止対策上、すべての授業回又は半数以上の授業回をオンラインで実施する科目はわずかにあり、それを遠隔授業として実施する。なお、「一部遠隔授業を併用する対面授業科目」として、全授業回数の半数を超えない範囲において遠隔授業をどの科目でも実施可能としている。これは大学設置基準に照らし、面接授業とする。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし		
774	大阪市立大学	大阪府	②公立大学	②併用	①ほとんど対面可能	学生と大学との、また学生同士の結びつきの確保や教育効果の観点から、感染防止対策を徹底したうえで面接授業を基本とする。ただし、1) 受講人数が100名程度以上の規模の授業、2) 試験定員（通常定員の2/3程度）を上限としても受講者を収容できない授業、については、原則遠隔授業とする。その他、教員に基礎疾患等の事由がある場合、面接授業に比して高い教育効果が見込まれる場合は、遠隔授業を許可する。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	
775	大阪府立大学	大阪府	②公立大学	②併用	①ほとんど対面可能	学生と大学との、また学生同士の結びつきの確保や教育効果の観点から、感染防止対策を徹底したうえで面接授業を基本とする。ただし、1) 受講人数が100名程度以上の規模の授業、2) 試験定員（通常定員の2/3程度）を上限としても受講者を収容できない授業、については、原則遠隔授業とする。その他、教員に基礎疾患等の事由がある場合、面接授業に比して高い教育効果が見込まれる場合は、遠隔授業を許可する。	⑥該当なし	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	
776	大阪公立大学	大阪府	②公立大学	②併用	①ほとんど対面可能	学生と大学との、また学生同士の結びつきの確保や教育効果の観点から、感染防止対策を徹底したうえで面接授業を基本とする。ただし、1) 受講人数が100名程度以上の規模の授業、2) 試験定員（通常定員の2/3程度）を上限としても受講者を収容できない授業、については、原則遠隔授業とする。その他、教員に基礎疾患等の事由がある場合、面接授業に比して高い教育効果が見込まれる場合は、遠隔授業を許可する。	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	本学は令和4年4月開校のため、2022年度の在籍は1年生のみ。(2-6年生については開校方法指針に従い⑥「該当なし」を選択している)	
777	常盤短期大学	大阪府	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	半期15回授業の内、2回程度の遠隔授業を想定している。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし			
778	大阪経済大学	大阪府	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	併年の履修者が150名以上となる科目ならびに基礎疾患等を有する等の事情を持つ教員の科目について遠隔授業として、それ以外を面接授業として学期初めにあらかじめ設定し、その数値をもって回答を決定した。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし			
779	大阪工業大学	大阪府	③私立大学	①全面対面可能											
780	大阪歯科大学	大阪府	③私立大学	①全面対面可能											
781	相愛大学	大阪府	③私立大学	①全面対面可能											
782	桃山学院大学	大阪府	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	授業に関する事前シミュレーションと過去の登録状況から算出	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	比率に差はありません。
783	摂南大学	大阪府	③私立大学	①全面対面可能											
784	桃山学院教育大学	大阪府	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	予め履修人数が予測でき、感染予防のための十分な身体的距離を保つことができる環境を確保することで、面接授業が可能な授業が8割以上あるため。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし			
785	大阪医療科学大学	大阪府	③私立大学	①全面対面可能											
786	大阪音楽大学	大阪府	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	開講クラスの一覧表より計算	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	(比率に差なし)		

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	授業の割合	割合の計算方法	学年別の割合						学年によって割合に差がある場合の理由			
							1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生				
787	大阪学院大学	大阪府	③私立大学	①全面対面可能												
788	大阪芸術大学	大阪府	③私立大学	①全面対面可能												
789	大阪産業大学	大阪府	③私立大学	①全面対面可能												
790	大阪経済女子大学	大阪府	③私立大学	②併用	②7割が対面可能	面接授業科目数、遠隔授業科目数を全体の授業科目数で割り算	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし				
791	大阪商業大学	大阪府	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	感染症対策を考慮した教室定員に対し、履修希望者を収容できる科目割合	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし				
792	大阪体育大学	大阪府	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	全科目数と遠隔授業申請科目数で計算	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	比較的差はなし			
793	大阪大谷大学	大阪府	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	対面授業 1989/2117=94% 遠隔授業 129/2117= 6%	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	③半々で対面可能	実学部6年生では、研究テーマが異なる学生個々の卒業研究のタイムスケジュールが一定ではないため、6年生全員が無理なく科目（必修・選択）履修することができる様に一部オンデマンド授業で開講。卒業研究および履修科目の学習を効果的に進めていく措置である。			
794	追手門学院大学	大阪府	③私立大学	①全面対面可能												
795	関西大学	大阪府	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	遠隔授業の対象となる科目は、開講科目、クラス数の状況から履修者数250名以上を目安として設定し、比率を計算している。 なお、その基準は「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～」で定められた「密集」の回避（身体的距離の確保）の考え方に準拠し、設定していることから、マニュアルの内容に変更が生じた場合にはその基準も見直す予定である。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし				
796	関西医科大学	大阪府	③私立大学	①全面対面可能												
797	関西外国語大学	大阪府	③私立大学	①全面対面可能												
798	近畿大学	大阪府	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	全キャンパス全学部について本調査項目「面接授業と遠隔授業の比率」について集計を行った。主要キャンパスの東大阪キャンパスにおいて10学部中、8学部が8割以上、1学部が7割程度、1学部が5割程度と回答。5割程度と比率の低い学部は令和4年度開校の情報学部で1学年のみとなるため、ほとんどの学部の授業が8割以上面接授業であるとした。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	なし			
799	西天寺大学	大阪府	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	夏学期に開講する科目数のうち、基礎・共通の受講生が多い講義科目と学科で選定された科目以外は面接授業としています。全科目数（夏学期のみ）537件中オンデマンド授業33件。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし				
800	帝塚山学院大学	大阪府	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	本学の授業方針として、集合授業の実施を原則としながら、新型コロナウイルス感染症拡大状況により、大阪府の次期モデル「グリーン」「イエロー」時を面接授業中心の授業形態、「レッド」時を遠隔授業中心の授業形態として教育活動を行うとしている。夏学期の授業を面接授業中心で行う場合でも、全体の10%程度、感染症の状況に関わらずオンデマンド授業を行う科目があるため、①と回答した。なお、感染状況が悪化し、遠隔授業中心の授業形態となった場合には、面接授業の割合は3割程度となる。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	2-4は、面接授業中心（大阪モデル「グリーン」「イエロー」）時の割合を回答している。いずれの学年も面接授業の割合が90%以上となっているが、オンデマンド授業科目を採計する際、大学の学報に掲載していない年度配当科目においてはその数を開示しているため、面接授業の割合は1年生が最も多く94.5%となっている。なお、遠隔授業中心時の面接授業の割合は1年生で23%、2年生で28%、3年生で39%、4年生で36%となるが、これは高学年の科目において、遠隔授業中心時においても面接授業を実施する実験・実習科目の比率が高いためである。			
801	梅花女子大学	大阪府	③私立大学	①全面対面可能												
802	阪南大学	大阪府	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	面接予定科目・クラス数/全開講科目・クラス数	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	全学年とも面接授業の比率は同じです。		
803	大阪経済法科大学	大阪府	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	面接授業と遠隔授業の開講割合	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	学年ごとに面接授業の比率に差がない。			
804	大阪国際大学	大阪府	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	大人数となる講義科目の一部を遠隔で実施することとした。これにより1割強が遠隔授業となる。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	各学科等において、学年ごとの格差が出ないように大人数講義の遠隔化を検討した。			
805	関西福祉科学大学	大阪府	③私立大学	①全面対面可能												
806	太成学院大学	大阪府	③私立大学	②併用	②7割が対面可能	教員への授業実施形態のアンケート調査による	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし				
807	常盤大学	大阪府	③私立大学	①全面対面可能												
808	大阪観光大学	大阪府	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	履修者が多い科目のみ遠隔授業	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし				
809	大阪人間科学大学	大阪府	③私立大学	①全面対面可能												
810	羽衣国際大学	大阪府	③私立大学	①全面対面可能												
811	大阪成蹊大学	大阪府	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	大学全体で共通に関講している大規模授業（全体の5%）に限定	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし				
812	関西医科大学	大阪府	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	各科目の担当者に授業形態についての調査を行い計算した。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	1年生に対しては、大学生活及び学修に慣れる為、面接授業の機会を増やす配慮を行った。			
813	千里金蘭大学	大阪府	③私立大学	①全面対面可能												
814	東大阪大学	大阪府	③私立大学	①全面対面可能												
815	大阪学院大学	大阪府	③私立大学	①全面対面可能												
816	豊野大学	大阪府	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	前期開講科目218科目のうち、現時点で面接授業は181科目、遠隔授業は37科目のため。	②7割が対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	実技や実習の増える高学年ほど、面接授業の機会が多くなっている。			
817	大阪青山大学	大阪府	③私立大学	①全面対面可能												
818	西條学園大学	大阪府	③私立大学	①全面対面可能												

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	授業の割合	割合の計算方法	学年別の割合						学年によって割合に差がある場合の理由	
							1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生		
819	大阪総合保育大学	大阪府	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	一部の科目以外はすべてのコマで対面授業を行っている。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし		
820	森ノ宮医療大学	大阪府	③私立大学	①全面対面可能										
821	大阪保健医療大学	大阪府	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	全面遠隔授業の科目の比率 前期全科目数：9科目 全面遠隔授業の科目数：1科目 一部遠隔授業の科目の比率 前期全科目数：52科目 一部遠隔授業の科目数：10科目	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし		
822	大阪府立大学	大阪府	③私立大学	①全面対面可能										
823	滋慶医療科学大学	大阪府	③私立大学	①全面対面可能										
824	大阪行田医療大学	大阪府	③私立大学	①全面対面可能										
825	大和大学	大阪府	③私立大学	①全面対面可能										
826	大阪国際工科専門職大学	大阪府	③私立大学	①全面対面可能										
827	大阪信愛学院大学	大阪府	③私立大学	①全面対面可能										
828	大阪河崎リハビリテーション大学	大阪府	③私立大学	①全面対面可能										
829	大阪キリスト教短期大学	大阪府	③私立大学	①全面対面可能										
830	大阪城南女子短期大学	大阪府	③私立大学	①全面対面可能										
831	大阪夕陽丘学園短期大学	大阪府	③私立大学	①全面対面可能										
832	大阪信愛学院短期大学	大阪府	③私立大学	①全面対面可能										
833	大阪成珠短期大学	大阪府	③私立大学	①全面対面可能										
834	大阪女子学院短期大学	大阪府	③私立大学	①全面対面可能										
835	関西外国語大学短期大学部	大阪府	③私立大学	①全面対面可能										
836	堺女子短期大学	大阪府	③私立大学	①全面対面可能										
837	大阪音楽大学短期大学部	大阪府	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	開講クラスの一覧表により計算	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	(比率に差なし)	
838	大阪学院大学短期大学部	大阪府	③私立大学	①全面対面可能										
839	大阪千代田短期大学	大阪府	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	遠隔授業の回数/全授業回数	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし		
840	関西女子短期大学	大阪府	③私立大学	①全面対面可能										
841	近畿大学短期大学部	大阪府	③私立大学	①全面対面可能										
842	西條学園短期大学	大阪府	③私立大学	①全面対面可能										
843	四天王寺大学短期大学部	大阪府	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	夏学期に開講する科目のうち基礎共通の受講生の多い講義科目と学科で選定された科目以外は面接授業として開講。全科目数(夏学期のみ)19科目中オンライン授業38件。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし		
844	大阪国際大学短期大学部	大阪府	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	大人数となる講義科目の一部を遠隔で実施することとした。これにより約1割強の遠隔授業を開講する。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	各学科において、学年ごとに格差がないよう大人数講義の遠隔化を決定した。	
845	東大阪大学短期大学部	大阪府	③私立大学	①全面対面可能										
846	鹿野大学短期大学部	大阪府	③私立大学	①全面対面可能										
847	大阪健康福祉短期大学	大阪府	③私立大学	①全面対面可能										
848	大阪公立大学工業高等専門学校	大阪府	④高等専門学校	①全面対面可能										
849	神戸大学	兵庫県	①国立大学	②併用	①ほとんど対面可能	本学では令和4年度の授業実施方針で「対面による授業を中心に行うこと」を基本としている。また、第1期中期計画における指標として、デジタル技術等を積極的に活用したいという方針のもと、授業科目を精選して10%開講することを目標としているため、ほとんど(8割以上)の授業を対面により実施する予定である。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能
850	兵庫教育大学	兵庫県	①国立大学	②併用	①ほとんど対面可能	大学設置基準により定められた卒業の要件として修得すべき単位数のうち、「多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所でも履修させることができる」60単位分までの授業を履修規程で指定し、それ以外は原則として面接授業(主として面接授業を含む)で実施予定とする計算	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし		
851	神戸市外国語大学	兵庫県	②公立大学	②併用	①ほとんど対面可能	全体の授業から、対面授業を求めている授業の割合を計算(本学においては、原則対面が過半数が選択して授業に参加する方式を採用しており、対面不実施の授業は一部のみのみ)	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし		
852	神戸市看護大学	兵庫県	②公立大学	①全面対面可能										
853	兵庫県立大学	兵庫県	②公立大学	①全面対面可能										
854	芸術文化観光専門職大学	兵庫県	②公立大学	①全面対面可能										
855	甲南大学	兵庫県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	履修者数150名以下の授業は感染対策のもとで対面実施をしており、明年の実績から8割以上が対面で授業を実施することが可能であると判断した。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	特に差はない。	
856	甲南女子大学	兵庫県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	時間割のデータベースから面接、遠隔授業をそれぞれ抽出、カウントし、比率を算出した。	①ほとんど対面可能	②7割が対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	意図して差を付けている訳ではなく、感染対策を十分に講じたため、履修者が多くなることが想定される講義科目等を、遠隔授業に設定している。その結果、学年ごとの比率に差が生じている。	
857	神戸海星女子学院大学	兵庫県	③私立大学	①全面対面可能										
858	神戸学院大学	兵庫県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	感染症対策として学生の収容定員を抑えるため、2022年度前期の授業については、前年度の履修者が15名以上の科目を遠隔授業で実施すると本学で決定した。該当科目は39科目となり、面接授業の比率は約97%となるため①と回答した。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	④3割が対面可能	②7割が対面可能	5、6年生は薬学部生についての回答となる。5年生は病院・薬局実習を行う学年となり、前期に実施する科目が少数、且つ実習的な日程で授業を実施しているため、他の学部より遠隔授業の割合が多く映る。6年生については、3、4年生の面接授業数を確保するため、時間割や学年毎の登学日を調整した結果、遠隔授業が若干多くなっている。	
859	神戸女子大学	兵庫県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	メディア授業として申請された授業のみ遠隔授業で実施する。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	なし	
860	神戸薬科大学	兵庫県	③私立大学	①全面対面可能										
861	神戸松蔭女子学院大学	兵庫県	③私立大学	①全面対面可能										
862	神戸親和女子大学	兵庫県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	オンライン授業数+全授業数	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	なし	

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	授業の割合	割合の計算方法	学年別の割合						学年によって割合に差がある場合の理由
							1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	
863	神戸国際大学	兵庫県	③私立大学	②併用	②7割が対面可能	開講授業数比	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	
864	兵庫大学	兵庫県	③私立大学	①全面対面可能									
865	神戸常盤大学	兵庫県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	開講科目総数から遠隔授業科目数を減じて算出した。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	学年ごとに面接授業の比率に差はない。
866	宝塚医療大学	兵庫県	③私立大学	①全面対面可能									
867	芦屋大学	兵庫県	③私立大学	①全面対面可能									
868	大手前大学	兵庫県	③私立大学	①全面対面可能									
869	関西学院大学	兵庫県	③私立大学	①全面対面可能									
870	甲子園大学	兵庫県	③私立大学	①全面対面可能									
871	神戸女学院大学	兵庫県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	全授業数のうち、面接授業と遠隔授業の数の比率（1065：115）。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
872	園田学園女子大学	兵庫県	③私立大学	①全面対面可能									
873	武庫川女子大学	兵庫県	③私立大学	②併用	②7割が対面可能	令和4年度前期開講予定の科目について、各学科・学年ごとに授業実施方法別に開講コマ数を集計して算出しました。	①ほとんど対面可能	②7割が対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	③半々で対面可能	令和4年度前期は新型コロナウイルス感染症感染予防対策のため、多人数の講義科目を遠隔授業としています。2年生は一部の学科において授業形態が講義の科目が多いことにより差が生じています。薬学科6年生はカリキュラム上の科目数が少なく講義科目が半数のため全体とは異なる比率となっています。
874	兵庫医科大学	兵庫県	③私立大学	①全面対面可能									
875	姫路獨協大学	兵庫県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	専任教員は対面授業を実施、非常勤講師は、リモート以外の授業を実施できない方（医療関係系、高齢者）以外は対面授業。面接授業を原則とし、基礎疾患を持つ学生・教員については申請制により、遠隔授業の実施を把握している。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能
876	流通科学大学	兵庫県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能		①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	
877	神戸芸術工科大学	兵庫県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	対面授業を基本とするが、大学及び学科等が定めた方針に基づき、遠隔授業の実施も可能としている。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	学年ごとに面接授業の比率に差はない。
878	関西福祉大学	兵庫県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	科目数のうち遠隔授業の比率	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	無し
879	関西国際大学	兵庫県	③私立大学	①全面対面可能									
880	神戸医療未来大学	兵庫県	③私立大学	②併用	②7割が対面可能	授業の開講形態（講義・実習・実技・演習等）と受講者の見込み数によって、授業の実施形態（面接で実施するか遠隔で実施するか）を決定している。	③半々で対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	学年によって実技科目や演習科目、実習科目の配当割合が異なることにより、結果として学年ごとに面接授業の比率が異なる。また、高学年次では少人数による授業が増えることで、面接による授業の割合が高くなる。
881	神戸情報大学院大学	兵庫県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	特に決めていない	⑤ほとんど遠隔で実施	⑤ほとんど遠隔で実施	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	
882	関西看護医療大学	兵庫県	③私立大学	①全面対面可能									
883	神戸大学	兵庫県	③私立大学	①全面対面可能									
884	大阪芸術大学短期大学部	兵庫県	③私立大学	①全面対面可能									
885	大手前短期大学	兵庫県	③私立大学	①全面対面可能									
886	神戸女子短期大学	兵庫県	③私立大学	①全面対面可能									
887	神戸常盤大学短期大学部	兵庫県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	開講科目総数から遠隔授業科目数を減じて算出した。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	学年ごとに面接授業の比率に差はない。
888	近畿短期大学	兵庫県	③私立大学	①全面対面可能									
889	豊田短期大学	兵庫県	③私立大学	①全面対面可能									
890	甲子園短期大学	兵庫県	③私立大学	①全面対面可能									
891	神戸教育短期大学	兵庫県	③私立大学	①全面対面可能									
892	聖和短期大学	兵庫県	③私立大学	①全面対面可能									
893	園田学園女子大学短期大学部	兵庫県	③私立大学	①全面対面可能									
894	産業技術短期大学	兵庫県	③私立大学	①全面対面可能									
895	東洋食品工業短期大学	兵庫県	③私立大学	①全面対面可能									
896	兵庫大学短期大学部	兵庫県	③私立大学	①全面対面可能									
897	淡川短期大学	兵庫県	③私立大学	①全面対面可能									
898	武庫川女子大学短期大学部	兵庫県	③私立大学	②併用	②7割が対面可能	令和4年度前期開講予定の科目について、各学科・学年ごとに授業実施方法別に開講コマ数を集計して算出しました。	①ほとんど対面可能	②7割が対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	令和4年度前期は新型コロナウイルス感染症感染予防対策のため、多人数の講義科目を遠隔授業としています。2年生は一部の学科において授業形態が講義の科目が多いことにより差が生じています。
899	姫路日ノ本短期大学	兵庫県	③私立大学	①全面対面可能									
900	明石工業高等専門学校	兵庫県	④高等専門学校	①全面対面可能									
901	神戸市立工業高等専門学校	兵庫県	④高等専門学校	①全面対面可能									
902	奈良教育大学	奈良県	①国立大学	②併用	①ほとんど対面可能	原則、対面授業として開始することとしているから	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
903	奈良女子大学	奈良県	①国立大学	②併用	②7割が対面可能	学期開始前に調査した教員授業実施意向調査を基に割合を算出したもの	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
904	奈良先端科学技術大学院大学	奈良県	①国立大学	①全面対面可能									
905	奈良県立医科大学	奈良県	②公立大学	②併用	②7割が対面可能	講義は四方を空けた起座にて行うため、講義室のキャパシティを考慮すると6割程度の対面授業となっている。実習はほぼ対面で行っているため、全体として7割程度を対面授業で行っている。	③半々で対面可能	③半々で対面可能	③半々で対面可能	③半々で対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	実習は原則対面で行っており、医学科・看護学科ともに学年が上がるにつれ、実習の授業が増えるため。
906	奈良県立大学	奈良県	②公立大学	①全面対面可能									
907	奈良山大学	奈良県	③私立大学	①全面対面可能									
908	天理大学	奈良県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	令和3年度秋学期の比率より試算。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	特になし
909	奈良大学	奈良県	③私立大学	②併用	②7割が対面可能	必修科目を中心に面接授業を実施する科目を定め、全開講科目より比率を算出しました。	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	4年生以上は、演習科目など少人数科目（面接授業）の受講機会が多くなっています。

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	授業の割合	割合の計算方法	学年別の割合						学年によって割合に差がある場合の理由	
							1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生		
910	奈良学園大学	奈良県	③私立大学	②併用	②7割が対面可能	教室の収容定員及び受講者数を基に、時間割上面接授業が実施できないものについては遠隔授業をとるため、その比率で算出。	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	⑤該当なし	⑤該当なし		
911	畿央大学	奈良県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	次年度授業運営方針において、教養科目など一部領域については遠隔授業での実施を前提としたため、全授業数からそれらの授業数を減じたものを面接授業実施数とし、割合を算出した。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑤該当なし	⑤該当なし		
912	天理医科大学	奈良県	③私立大学	②併用	③半々で対面可能	大学の規模が小さく、分散して授業を行うのに必要な大教室が足りないという事情があるため、実習・演習科目は対面で、講義科目は遠隔(zoomによるlive)授業を基本としている。結果的に、学年によって面接授業と遠隔授業の比率には差が生じるが、全学年を均すと半々となっているが実情である。	④3割が対面可能	④3割が対面可能	③半々で対面可能	①ほとんど対面可能	⑤該当なし	⑤該当なし	大学の規模が小さく、分散して授業を行うのに必要な大教室が足りないという事情があるため、実習・演習科目は対面で、講義科目は遠隔(zoomによるlive)授業を基本としている。結果的に、学年によって面接授業と遠隔授業の比率には差が生じるが、全学年を均すと半々となっているが実情である。1年生は講義が主で面接授業が稀に少ない1年生については、教室の使用状況を調節して、意図的に面接授業を組んでいる。	
913	奈良芸術短期大学	奈良県	③私立大学	①全面対面可能										
914	奈良佐保短期大学	奈良県	③私立大学	①全面対面可能										
915	白鳳短期大学	奈良県	③私立大学	①全面対面可能										
916	奈良工業高等専門学校	奈良県	④高等専門学校	①全面対面可能										
917	和歌山大学	和歌山県	①国立大学	②併用	①ほとんど対面可能	令和4年度の授業は、面接授業を中心に行うことを決定していますが、遠隔授業で学修効果が期待される科目、感染予防で遠隔授業にする科目については、教育担当理事の許可を得ることになっているため把握できていません。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑤該当なし	⑤該当なし	各学年ごとに差はありません。	
918	和歌山県立医科大学	和歌山県	②公立大学	②併用	①ほとんど対面可能	他学部と合同で行う授業はキャンパスが分かれていることから遠隔授業とし、それ以外の授業は面接授業を原則とする。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑤該当なし	⑤該当なし	⑤該当なし	⑤該当なし		
919	高野山大学	和歌山県	③私立大学	①全面対面可能										
920	和歌山信愛大学	和歌山県	③私立大学	①全面対面可能										
921	和歌山リハビリテーション専門学校	和歌山県	③私立大学	①全面対面可能										
922	和歌山信愛女子短期大学	和歌山県	③私立大学	①全面対面可能										
923	和歌山工業高等専門学校	和歌山県	④高等専門学校	①全面対面可能										
924	鳥取大学	鳥取県	①国立大学	②併用	①ほとんど対面可能	原則面接授業の期間であるので、オンラインで行うものを見込み上記割合を決定した。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能		
925	公立鳥取環境大学	鳥取県	②公立大学	②併用	①ほとんど対面可能	選ありの授業コマ数に対する遠隔授業のコマ数で判断しています。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑤該当なし	⑤該当なし		
926	鳥取看護大学	鳥取県	③私立大学	①全面対面可能										
927	鳥取短期大学	鳥取県	③私立大学	①全面対面可能										
928	米子工業高等専門学校	鳥取県	④高等専門学校	①全面対面可能										
929	鳥根大学	鳥取県	①国立大学	②併用	②7割が対面可能	遠隔授業を行う場合は学期開始前に事前許可制をとっており、各学部・研究科とも4年度前期の全体の授業に対する遠隔授業の実施割合は10%未満であるが、現状の感染症拡大状況を鑑み、R3後期の実施状況(対面授業割合77%)を参考とした。	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	差異はない。
930	鳥根県立大学	鳥取県	②公立大学	②併用	①ほとんど対面可能	全科目のうち、教員の希望や教室の収容定員等により遠隔授業となる科目を除いた割合および、教員が示している実施形態をもとに算出。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑤該当なし	⑤該当なし		
931	鳥根県立大学短期大学部	鳥取県	②公立大学	②併用	①ほとんど対面可能	全科目のうち、教員の希望や、教室の収容定員等により遠隔授業となる科目を除いた割合。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑤該当なし	⑤該当なし	⑤該当なし	⑤該当なし		
932	松江工業高等専門学校	鳥取県	④高等専門学校	①全面対面可能										
933	岡山大学	岡山県	①国立大学	②併用	③半々で対面可能	各学部からの回答	③半々で対面可能	③半々で対面可能	②7割が対面可能	①ほとんど対面可能	②7割が対面可能	①ほとんど対面可能	実技や実習の増える高学年ほど、面接授業の機会が多くなっている	
934	岡山県立大学	岡山県	②公立大学	②併用	②7割が対面可能	令和4年度前期の授業一覧の授業方式を集計して算出した	③半々で対面可能	②7割が対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑤該当なし	⑤該当なし	演習、実習科目の増える高学年ほど面接授業の機会が多くなるため	
935	新見公立大学	岡山県	②公立大学	①全面対面可能										
936	倉敷市立短期大学	岡山県	②公立大学	①全面対面可能										
937	吉備国際大学	岡山県	③私立大学	①全面対面可能										
938	岡山商科大学	岡山県	③私立大学	①全面対面可能										
939	岡山理科大学	岡山県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	2022年度に遠隔授業を実施する授業について調査を行った。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑤該当なし	⑤該当なし		
940	くらしき作陽大学	岡山県	③私立大学	①全面対面可能										
941	ノートルダム清心女子大学	岡山県	③私立大学	①全面対面可能										
942	川崎医科大学	岡山県	③私立大学	①全面対面可能										

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	授業の割合	割合の計算方法	学年別の割合						学年によって割合に差がある場合の理由	
							1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生		
943	就実大学	岡山県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	昨年度の実績を参考に、履修者数が多いと見込まれる科目を、あらかじめオンデマンド型オンライン科目として選定しており、当該科目の前期科目に対する比率により回答した。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能		
944	川崎医療福祉大学	岡山県	③私立大学	①全面対面可能										
945	山陽学園大学	岡山県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	オンライン授業は2割以下とする方針のため。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし		
946	倉敷芸術科学大学	岡山県	③私立大学	①全面対面可能										
947	岡山学院大学	岡山県	③私立大学	①全面対面可能										
948	中国学園大学	岡山県	③私立大学	①全面対面可能										
949	理化学工学大学	岡山県	③私立大学	①全面対面可能										
950	岡山医療専門学校	岡山県	③私立大学	①全面対面可能										
951	美作大学	岡山県	③私立大学	①全面対面可能										
952	就実短期大学	岡山県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	昨年度の実績を参考に、履修者数が多いと見込まれる科目を、あらかじめオンデマンド型オンライン科目として選定しており、当該科目の前期科目に対する比率により回答した。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし		
953	岡山短期大学	岡山県	③私立大学	①全面対面可能										
954	作陽短期大学	岡山県	③私立大学	①全面対面可能										
955	中国短期大学	岡山県	③私立大学	①全面対面可能										
956	美作大学短期大学部	岡山県	③私立大学	①全面対面可能										
957	山陽学園短期大学	岡山県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	オンライン授業は2割以下とする方針のため。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし		
958	川崎医療短期大学	岡山県	③私立大学	①全面対面可能										
959	津山工業高等専門学校	岡山県	④高等専門学校	①全面対面可能										
960	広島大学	広島県	①国立大学	②併用	①ほとんど対面可能	現時点でシラバスが入力されている科目(12,474科目)のうち、「授業の実施方法」で対面を含む科目(対面のみ、対面・オンラインの併用)が10,921科目あり、全体の67.6%であった。	③半々で対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	教養教育科目と専門教育科目の合計で、1年次生対象の科目における対面授業の実施率を算出すると54.5%になる。教養教育科目については、感染防止や教育効果等の観点から、一部の科目区分(外国語科目、情報・データサイエンス科目など)においてオンラインで実施するものがあり、当該科目区分のクラス数(科目数)が極めて多いことから実施率自体は低くなるが、それ以外の科目については原則として対面で実施する。なお、授業等の実施方針において「1年次生対象の科目を優先して対面授業を実施」することとしており、教養教育科目の外国語科目及び情報・データサイエンス科目を除くと、1年次生対象の科目(教養教育科目・専門教育科目)における対面授業の実施率は90.7%である。
961	県立広島大学	広島県	②公立大学	②併用	①ほとんど対面可能	大学の令和4年度授業の方針は「原則対面授業」であり、一部他キャンパスと同時に通開講数もしくはオンラインを利用して行う科目数を算定して回答を決定した。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし		
962	尾道市立大学	広島県	②公立大学	②併用	②7割が対面可能	大学独自の活動制限指針レベル(6段階)を設定し、感染状況に応じて変更・周知しており、現在のレベルでの対面授業と遠隔授業の比率を算出した。	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし		
963	広島市立大学	広島県	②公立大学	②併用	①ほとんど対面可能	講義室収容定員の5割超の履修者数が見込まれる講義科目以外の科目(演習・実習・実験・実技科目を含む)は対面授業とすることを基本として、2021年度以前3年間の履修者数データに基づきシミュレーションしました。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	
964	福山市立大学	広島県	②公立大学	②併用	②7割が対面可能	授業科目数ベースで計算	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし		
965	観音大学	広島県	②公立大学	①全面対面可能										
966	エリザベト音楽大学	広島県	③私立大学	①全面対面可能										
967	広島経済大学	広島県	③私立大学	①全面対面可能										
968	広島工業大学	広島県	③私立大学	①全面対面可能										
969	広島修道大学	広島県	③私立大学	①全面対面可能										
970	広島女学院大学	広島県	③私立大学	①全面対面可能										
971	広島国際学院大学	広島県	③私立大学	①全面対面可能										
972	広島文教大学	広島県	③私立大学	①全面対面可能										
973	安田女子大学	広島県	③私立大学	①全面対面可能										
974	福山大学	広島県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能		①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能		
975	比治山大学	広島県	③私立大学	①全面対面可能										
976	福山平成大学	広島県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	令和4年度の履修者数は確定していませんが、令和3年度の実績から判断すると、教室の雇用人数を通常の1/4〜1/2に縮小し、受講者同士の間隔を十分に確保した状態で、6割以上の授業は対面授業が実施可能です。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	コロナ感染対策を講じたうえで、出来る限り対面授業を実施することを原則としているが、学年別の配慮は行っていません。	
977	広島文化学園大学	広島県	③私立大学	①全面対面可能										
978	広島国際大学	広島県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	授業形態について時間前に明記している。対面授業と遠隔授業を併用する授業については、半分以上を対面で実施するものは遠隔授業で算出した。半分以上を遠隔で実施するものは遠隔授業で算出した。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	学年ごとの比率の差はなし。	
979	日本赤十字広島看護大学	広島県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	講義科目のうち面接と遠隔の併用授業を行う科目は全体の約3割割です。その併用授業科目が遠隔授業を行う割合を約3分の1以内としております。また、講義科目以外の看護演習及び実習の科目は面接授業(臨地または校内)を予定しているため、本学の面接授業の割合を9割以上としました。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	該当なし	
980	広島都市学園大学	広島県	③私立大学	②併用	②7割が対面可能	演習授業は対面で行い、産学授業で多人数科目は場合により遠隔授業としています。	①ほとんど対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし		
981	山陽女子短期大学	広島県	③私立大学	①全面対面可能										
982	比治山大学短期大学部	広島県	③私立大学	①全面対面可能										
983	広島文化学園短期大学	広島県	③私立大学	①全面対面可能										
984	安田女子短期大学	広島県	③私立大学	①全面対面可能										
985	呉工業高等専門学校	広島県	④高等専門学校	①全面対面可能										

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	授業の割合	割合の計算方法	学年別の割合						学年によって割合に差がある場合の理由			
							1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生				
986	広島商船高等専門学校	広島県	④高等専門学校	①全面対面可能												
987	山口大学	山口県	①国立大学	②併用	①ほとんど対面可能	原則、対面授業を実施することとしているため。また、昨年度の実績も①に該当する。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	該当なし
988	下関市立大学	山口県	②公立大学	②併用	①ほとんど対面可能	令和4年度前期開講の160科目のうち、遠隔授業は23科目(14.4%)である。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし
989	山口県立大学	山口県	②公立大学	②併用	①ほとんど対面可能	ワクチンの接種接種が終了した後の感染拡大状況を勘案した適切な時期(5月中旬を予定)までは対面と遠隔を併用(昨年度実績よりその割合は半々)、それ以降は原則全面的に対面とすることから、以下の計算によって回答を決定した。 (5回×50%+10回×100%)÷15回=83.3%	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし
990	山形小野田市立山口東京理科大学	山口県	②公立大学	①全面対面可能												
991	周南公立大学	山口県	②公立大学	①全面対面可能												
992	旭光学院大学	山口県	③私立大学	①全面対面可能												
993	東亜大学	山口県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	専門科目は対面授業、共通教育科目は原則遠隔授業としている。	③半々で対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	実技や実習の増える高学年ほど、面接授業の機会が多くなっていることと、1年生は共通教育科目が多数の為
994	聖徳大学	山口県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	本学の新型コロナウイルス対策W6の定めたルールのに基づき、受講生人数と教室の規模のもとに計算し見込んだもの。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	学年ごとの比率の差は現状設けていない。
995	宇部フロンティア大学	山口県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	令和3年度から8割以上の授業を面接授業で行っている。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし
996	山口学芸大学	山口県	③私立大学	①全面対面可能												
997	宇部フロンティア大学短期大学部	山口県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	令和3年度から8割以上の授業を面接授業で行っている。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし
998	下関短期大学	山口県	③私立大学	①全面対面可能												
999	山口短期大学	山口県	③私立大学	①全面対面可能												
1000	山口芸術短期大学	山口県	③私立大学	①全面対面可能												
1001	岩国短期大学	山口県	③私立大学	①全面対面可能												
1002	徳山工業高等専門学校	山口県	④高等専門学校	①全面対面可能												
1003	宇部工業高等専門学校	山口県	④高等専門学校	①全面対面可能												
1004	大島商船高等専門学校	山口県	④高等専門学校	①全面対面可能												
1005	徳島大学	徳島県	①国立大学	②併用	③半々で対面可能	本学における新型コロナウイルス感染症に対する事業継続計画(BCP)及び感染状況等を鑑み決定した。	③半々で対面可能	③半々で対面可能	③半々で対面可能	③半々で対面可能	③半々で対面可能	③半々で対面可能	③半々で対面可能	③半々で対面可能	③半々で対面可能	③半々で対面可能
1006	鳴門教育大学	徳島県	①国立大学	②併用	①ほとんど対面可能	令和3年度に面接授業と遠隔授業を併用した場合の面接授業の比率を基に算出。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし
1007	四国大学	徳島県	③私立大学	①全面対面可能												
1008	徳島文理大学	徳島県	③私立大学	①全面対面可能												
1009	四国大学短期大学部	徳島県	③私立大学	①全面対面可能												
1010	徳島文理大学短期大学部	徳島県	③私立大学	①全面対面可能												
1011	徳島工業短期大学	徳島県	③私立大学	①全面対面可能												
1012	阿南工業高等専門学校	徳島県	④高等専門学校	①全面対面可能												
1013	香川大学	香川県	①国立大学	②併用	①ほとんど対面可能	履修者が大人数になることにより、感染対策用の教室定員を超過する科目や感染リスクが高いとされる科目(体育、グループワーク、音楽等)で十分な感染防止対策が取れない場合が少なからず存在すると考えられるため。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能
1014	香川県立保健医療大学	香川県	②公立大学	②併用	①ほとんど対面可能	令和4年度前期開講前表で設定されている面接授業と遠隔授業のコマ数から計算。	②7割が対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	高学年になると実習・演習が多くなり、面接授業の割合が多くなる。
1015	四国学院大学	香川県	③私立大学	①全面対面可能												
1016	高松大学	香川県	③私立大学	①全面対面可能												
1017	香川短期大学	香川県	③私立大学	①全面対面可能												
1018	高松短期大学	香川県	③私立大学	①全面対面可能												
1019	せとうち観光専門職短期大学	香川県	③私立大学	①全面対面可能												
1020	香川高等専門学校	香川県	④高等専門学校	①全面対面可能												
1021	愛媛大学	愛媛県	①国立大学	①全面対面可能												
1022	愛媛県立医療技術大学	愛媛県	②公立大学	②併用	②7割が対面可能	4/6(水)～5/6(金)は遠隔授業(1ヶ月)その後については来定(3ヶ月)～1/4(29%)程度遠隔授業提供予定。	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能
1023	松山大学	愛媛県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	遠隔授業(メディア授業)は申請により許可している。前期及び遠年7科目がメディア授業科目として承認されているため、前期及び遠年の開講科目数(1266科目)から比率を計算した。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	特に差はない。

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	授業の割合	割合の計算方法	学年別の割合						学年によって割合に差がある場合の理由
							1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	
1024	聖カタリナ大学	愛媛県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	面接授業を原則としている。遠隔授業を可能としているのは以下の場合に限っているため、格わずかと考えている。 ・履修者数により教室が確保できない場合 ・非常勤講師が、本務の都合等により面接授業が困難な場合	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
1025	松山東雲女子大学	愛媛県	③私立大学	①全面対面可能									
1026	今治明德短期大学	愛媛県	③私立大学	①全面対面可能									
1027	聖カタリナ大学短期大学部	愛媛県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	面接授業を原則としている。遠隔授業を可能としているのは以下の場合に限っているため、格わずかと考えている。 ・履修者数により教室が確保できない場合 ・非常勤講師が、本務の都合等により面接授業が困難な場合	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	
1028	松山東雲短期大学	愛媛県	③私立大学	①全面対面可能									
1029	松山短期大学	愛媛県	③私立大学	①全面対面可能									
1030	新居浜工業高等専門学校	愛媛県	④高等専門学校	①全面対面可能									
1031	弓削高輪高等専門学校	愛媛県	④高等専門学校	①全面対面可能									
1032	高知大学	高知県	①国立大学	②併用	②7割が対面可能	各授業担当教員がシラバスに登録した「授業実施方式」の集計により算出している。なお、教室での登壇を避けるため、教室収容定員を削減している関係で、共通教育などの大人数講義は遠隔授業を基本とし、それ以外はすべて面接授業により実施する方針としている。また、上記の基本方針により、当初遠隔とした授業であっても教室が確保できた場合には面接授業を行う方針に定めている。	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	①ほとんど対面可能	②7割が対面可能	5年生（医学部医学科）は、前期の授業が病院実習（面接授業）のみであるため。
1033	高知県立大学	高知県	②公立大学	①全面対面可能									
1034	高知工科大学	高知県	②公立大学	②併用	①ほとんど対面可能	本学では、授業等において感染者が発生した事例がほとんどないことから、令和4年度前期からは原則対面授業とし、科目の特性上オンライン形式の方が高い教育効果が期待できると判断する科目についてのみ、オンラインでの実施を可能とする。ただし、今後の感染状況によっては、全ての科目をオンラインに切り替えることもあり得る。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
1035	高知リハビリテーション専門職大学	高知県	③私立大学	①全面対面可能									
1036	高知学園大学	高知県	③私立大学	①全面対面可能									
1037	高知学園短期大学	高知県	③私立大学	①全面対面可能									
1038	高知工業高等専門学校	高知県	④高等専門学校	②併用	②7割が対面可能	令和3年度べースからの推定。正確には、年度初めに全教員に授業形態（対面、遠隔、両方の併用等）調査を行う予定。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	⑥該当なし	低学年（1,2年）では自分で勉強時間、方法をうまくコントロールできないので、対面授業の方が授業効果が期待されるため、対面授業の実施比率が高くなる傾向がある。一方、高学年（3年生以上）では専門科目が多くなり、自主的に勉強する意識が高くなっているため、遠隔授業での授業効果が期待されるため、遠隔授業の実施比率が高くなる傾向がある。
1039	九州工業大学	福岡県	①国立大学	②併用	①ほとんど対面可能	本学の令和4年度前期の授業方針は、感染防止対策に配慮しつつ面接授業での実施を基本方針としたため。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	本学では、学年ごとの差異は設けていないので、該当しない。
1040	福岡教育大学	福岡県	①国立大学	②併用	②7割が対面可能	令和3年度前期の授業開講状況を参考に算出した。全て遠隔授業72科目（11%）、遠隔と面接（ハイブリッド）216科目（33%）、全て面接授業370科目（56%）※ハイブリッド授業の半分を面接授業にカウントした。	②7割が対面可能	②7割が対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	1年生や2年生は必修科目が多く、感染対策を講じた教室収容数では収まらない受講者の多いクラスがあるため。また、実技や実習の増える高学年ほど、面接授業の機会が多くなっているため。
1041	九州大学	福岡県	①国立大学	②併用	①ほとんど対面可能	令和4年度の授業については、新型コロナウイルス感染症をはじめとした様々な感染症への対策に十分な配慮を行うことを前提に、原則として対面での授業を実施することとしている。ただし、基礎疾患等により通学が困難な学生や、水際対策等で入国できない留学生等への配慮も確保していく必要があることなどから、一部、遠隔での授業も実施するが、ほとんどの授業は対面で行う予定である。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	ほとんども対面で行う予定のため、特に、学年ごとの比率に差はない。
1042	北九州市立大学	福岡県	②公立大学	②併用	①ほとんど対面可能	面接授業コマ数（1,133）÷全開講コマ数（1,170）＝96.8%	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	遠隔授業を予定している人数の授業は、主に教養科目が含まれており、教養科目の受講比率の高い1年生では遠隔授業の比率が高くなる傾向があるが、ほとんどの授業を対面で実施するため、全体的に見ると大きな差は見られない。
1043	九州歯科大学	福岡県	②公立大学	②併用	①ほとんど対面可能	面接と遠隔を併用して実施する授業は面接授業とした。その前提で遠隔授業の比率を見れば、5%程度であった。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	
1044	福岡女子大学	福岡県	②公立大学	②併用	①ほとんど対面可能	原則対面授業を実施するが、教室定員や留学生の入国状況、教育効果の観点より遠隔授業を行うことを一部予定している。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
1045	福岡県立大学	福岡県	②公立大学	①全面対面可能									
1046	中科学園大学短期大学部	福岡県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	授業の実施方法や教室担当の状況により集計している。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	差はありません。
1047	九州共立大学	福岡県	③私立大学	①全面対面可能									
1048	九州女子大学	福岡県	③私立大学	①全面対面可能									
1049	九州国際大学	福岡県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	履修定員を試験収容の概ね5割を目途に設定し、前年度の履修人数により多数の授業科目を遠隔授業としている。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
1050	福岡歯科大学	福岡県	③私立大学	①全面対面可能									

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	授業の割合	割合の計算方法	学年別の割合						学年によって割合に差がある場合の理由
							1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	
1051	九州産業大学	福岡県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	「可能な限り対面の機会を取り入れて授業を実施する」ことを原則としている。また、学生を複数のグループに分け、対面出席と遠隔出席を併用することで、感染防止対策との両立を行う。そのため、教員は教室で対面授業を行い、一部の学生のみを遠隔出席とするため、「②ほとんどの授業を面接授業で行う予定である。」を選択した。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
1052	久留米大学	福岡県	③私立大学	①全面対面が可能									
1053	西南学院大学	福岡県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	本学独自に本年度の「2022年度授業実施方針」を定めており、2022年度4月における授業実施レベルに基づき計算をしている。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	特になし
1054	第一薬科大学	福岡県	③私立大学	①全面対面が可能									
1055	中学園大学	福岡県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	授業毎の実施方法や教室の配当状況により集計	②7割が対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	実技や実習、実習科目が多い高学年ほど面接授業の機会が多くなっている。また、初年次は学修に慣れる環境を整えるため、特に初年次教育科目等を中心に面接授業を実施している。
1056	西日本工業大学	福岡県	③私立大学	①全面対面が可能									
1057	福岡大学	福岡県	③私立大学	①全面対面が可能									
1058	福岡工業大学	福岡県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	分母：全開講授業科目 分子：授業開講数のうち過半数が対面の授業	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
1059	日本経済大学	福岡県	③私立大学	②併用	④3割が対面が可能	面接しか対応できない授業数を考慮した。	④3割が対面が可能	④3割が対面が可能	④3割が対面が可能	④3割が対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
1060	久留米工業大学	福岡県	③私立大学	②併用	②7割が対面が可能	講義室の収容定員2/3を基準として、面接が遠隔を決定	②7割が対面が可能	②7割が対面が可能	②7割が対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	4年生については、卒業研究を中心とした履修となる為
1061	産業医科大学	福岡県	③私立大学	②併用	②7割が対面が可能	1・2年生についてはすべて面接授業。3・4年生についてはハイブリット型授業。5年生については1年間実習。6年生についてはすべて遠隔授業という形態で実施を予定しているため。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑤ほとんど遠隔授業	大学の講義については、基本的に面接授業とするが、講義室数に限りがあるなどにより感染状況によっては、学年ごと（科目ごと）に異なる対応をとっている。
1062	筑紫学園大学	福岡県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	開講される授業から割合を算出した	②7割が対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	遠隔授業となっている授業（共通科目）が、1・2年生にのみ設定されているため
1063	福岡女子学院大学	福岡県	③私立大学	①全面対面が可能									
1064	西南女子学院大学	福岡県	③私立大学	①全面対面が可能									
1065	九州情報大学	福岡県	③私立大学	①全面対面が可能									
1066	九州栄養福祉大学	福岡県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	感染症対策を講じた上での教室当たり収容人数と受講見込者を勘案し、面接授業が優先される実験実習等から教室を確定していた。	②7割が対面が可能	②7割が対面が可能	②7割が対面が可能	③半々で対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	1～3年次は感染症対策を講じた上で教室を確保できる限り面接授業を行っている。4年次は単位数の多い実験実習が主軸で、他学年に比べて開講科目も少ないことから比率が低下している。
1067	日本赤十字九州国際看護大学	福岡県	③私立大学	①全面対面が可能									
1068	聖マリア学院大学	福岡県	③私立大学	②併用	③半々で対面が可能	三密を避ける環境で授業を行うためには、大学施設のキャパシティを考慮すると半々程度が妥当であると判断したことに拠る。	③半々で対面が可能	④3割が対面が可能	④3割が対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	大学の学修に慣れていない1年生に面接授業の機会を増やす配慮をしている。高学年の4年生の面接授業が高くなっている理由は、臨地実習の時間が長いことによるものであり、本学は、臨地実習は可能な限り面接授業で実施することとしている。
1069	福岡学院看護大学	福岡県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	授業は基本的に面接授業としており、授業の実施状況を日ごとに時期割で把握している。比率の算出については、面接授業の回数を全部の総授業回数で割って計算した。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	該当なし
1070	保健医療経営大学	福岡県	③私立大学	①全面対面が可能									
1071	純真学園大学	福岡県	③私立大学	①全面対面が可能									
1072	福岡看護大学	福岡県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	PC等の操作を行う情報処理教育に限って、遠隔授業を予定している。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	
1073	福岡国際医療福祉大学	福岡県	③私立大学	①全面対面が可能									
1074	折尾愛真短期大学	福岡県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	ソーシャルディスタンスを確保できない大人数の授業を遠隔授業の科目としてカウントした。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	
1075	九州女子短期大学	福岡県	③私立大学	①全面対面が可能									
1076	西南学院大学短期大学部	福岡県	③私立大学	①全面対面が可能									
1077	東京紫短期大学	福岡県	③私立大学	①全面対面が可能									
1078	福岡女子短期大学	福岡県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	ほぼ通常授業を実施する予定だが、一部の授業は、遠隔授業にて実施予定	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	2年制の短期大学のため、学年ごとの面接授業の比率に差が付けられない
1079	近畿大学九州短期大学	福岡県	③私立大学	①全面対面が可能									
1080	久留米信愛短期大学	福岡県	③私立大学	①全面対面が可能									
1081	香蘭女子短期大学	福岡県	③私立大学	①全面対面が可能									
1082	純真短期大学	福岡県	③私立大学	①全面対面が可能									
1083	精華女子短期大学	福岡県	③私立大学	①全面対面が可能									
1084	西日本短期大学	福岡県	③私立大学	①全面対面が可能									

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	授業の割合	割合の計算方法	学年別の割合						学年によって割合に差がある場合の理由	
							1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生		
1120	尚絅大学短期大学部	熊本県	③私立大学	①全面対面可能										
1121	中九州短期大学	熊本県	③私立大学	①全面対面可能										
1122	熊本高等専門学校	熊本県	④高等専門学校	①全面対面可能										
1123	大分大学	大分県	①国立大学	②併用	①ほとんど対面可能	本学の令和4年度前期授業実施方針を決定した後、改めて授業担当教員への調査を行い、その結果を基に、開講予定の対面授業を含む科目数を開講予定の開講科目数で除して算出した。 ※履修登録前であるため、履修登録の結果、不開講となる科目を含む。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能
1124	大分県立看護科学大学	大分県	②公立大学	②併用	④3割が対面可能	4月以降のコロナ感染状況により決定するため現時点では未定だが、面接授業のほうが遠隔授業より多くと見込まれるため④を選択。	③半々で対面可能	③3割が対面可能	③3割が対面可能	⑤ほとんど遠隔実施	⑥該当なし	⑥該当なし	各学年の履修する科目の特性（演習科目、面接が必要な語学、実技科目など）が多い学年は面接授業を多く実施する予定である。	
1125	大分県立芸術文化短期大学	大分県	②公立大学	②併用	①ほとんど対面可能	原則対面での授業を実施する方針としているため	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	⑥該当なし	原則対面での授業を実施する方針としているため	
1126	日本文理大学	大分県	③私立大学	②併用	②7割が対面可能	令和4年度前期開講前の時点で授業の実施方針に調査し算出	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	大学での学修に慣れていない低学年の学生ほど面接授業の機会を増やす配慮と同時に英検や実習の増える高学年ほど面接授業の機会が多くなっている	
1127	別府大学	大分県	③私立大学	①全面対面可能										
1128	立命館アジア太平洋大学	大分県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	学生の約半数が国際学生である立命館アジア太平洋大学（APU）ではそもそも入国制限下の学生が一定数存在するため全学生に対して通学できない背景がある。日本国内へ入国できない学生に対して、一定数の科目は面接授業のみならず遠隔にて受講可能な授業を展開させるを得ない。令和4年度は入国制限下にあるもしくは基礎疾患のある学生を除き面接授業を必須としている科目（60科目）を面接授業と定義し、その他の科目（115科目）を遠隔授業と定めた。上記算出根拠の結果、全体の科目の中で面接授業の割合は約7%となる。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能
1129	大分短期大学	大分県	③私立大学	①全面対面可能										
1130	東九州短期大学	大分県	③私立大学	①全面対面可能										
1131	別府清道学園短期大学	大分県	③私立大学	①全面対面可能										
1132	別府大学短期大学部	大分県	③私立大学	①全面対面可能										
1133	大分工業高等専門学校	大分県	④高等専門学校	①全面対面可能										
1134	宮崎大学	宮崎県	①国立大学	①全面対面可能										
1135	宮崎公立大学	宮崎県	②公立大学	②併用	①ほとんど対面可能	前期に開講予定である科目数を母数とし、そのうち、対面で行う方針となった科目数を分子として計算し、回答を決定した。	②7割が対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	令和4年度前期は、原則、対面授業としており、学年毎に差を付けている訳ではないが、感染状況、感染拡大防止の観点から、やむを得ず、教室の収容人数の半数程度を上限としていることから、履修人数の多い一部の科目についてはオンデマンドにて行う予定。	
1136	宮崎県立看護大学	宮崎県	②公立大学	①全面対面可能										
1137	南九州大学	宮崎県	③私立大学	①全面対面可能										
1138	宮崎産業経営大学	宮崎県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	基本的に面接授業を行う。面接授業が受けられない場合に配慮して遠隔授業を補完的に併用する予定である。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能
1139	宮崎国際大学	宮崎県	③私立大学	①全面対面可能										
1140	九州保健福祉大学	宮崎県	③私立大学	①全面対面可能										
1141	南九州短期大学	宮崎県	③私立大学	①全面対面可能										
1142	宮崎学園短期大学	宮崎県	③私立大学	①全面対面可能										
1143	都城工業高等専門学校	宮崎県	④高等専門学校	①全面対面可能										
1144	鹿児島大学	鹿児島県	①国立大学	②併用	②7割が対面可能	令和3年度の卒業状況等の結果を基にした。	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能	②7割が対面可能
1145	鹿児島体育大学	鹿児島県	①国立大学	②併用	①ほとんど対面可能	原則対面を実施するが、3密を避ける環境が確保できない等、対面授業を行うにそぐわない状況がある場合に限り、遠隔授業またはハイフレックス授業を行うことができることとしていることから、遠隔授業の割合は限定的なものとなると考えられるため。	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし		
1146	鹿児島県立短期大学	鹿児島県	②公立大学	①全面対面可能										
1147	鹿児島国際大学	鹿児島県	③私立大学	①全面対面可能										
1148	第一工科大学	鹿児島県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面可能	週1回、遠隔授業の曜日を設定	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	⑥該当なし	⑥該当なし	なし	
1149	志摩館大学	鹿児島県	③私立大学	①全面対面可能										
1150	鹿児島純心女子大学	鹿児島県	③私立大学	①全面対面可能										
1151	鹿児島純心女子短期大学	鹿児島県	③私立大学	①全面対面可能										
1152	鹿児島女子短期大学	鹿児島県	③私立大学	①全面対面可能										
1153	第一幼児教育短期大学	鹿児島県	③私立大学	①全面対面可能										
1154	鹿児島工業高等専門学校	鹿児島県	④高等専門学校	①全面対面可能										
1155	琉球大学	沖縄県	①国立大学	②併用	③半々で対面可能	本学では、面接授業と遠隔授業の比率の見込みを「シラバス登録数（開講科目）による対面授業単位数（単位数）の割合」で算出している。令和4年度前期学部の各授業科目の実施方法は「感染拡大防止の措置を講じた上で、対面の実施を基本とする。対面での実施が難しい場合には、遠隔で実施する。」としているところ。しかしながら、沖縄県内では感染拡大抑制に向けた取り組みも継続して実施しており、半席を許さない状況であることから、引き続き令和3年度と同程度の割合で実施されると見込んだ。	③半々で対面可能	③半々で対面可能	③半々で対面可能	③半々で対面可能	①ほとんど対面可能	①ほとんど対面可能	1~4年生は令和4年度前期の各授業科目の実施方法（感染拡大防止の措置を講じた上で、対面の実施を基本とする。対面での実施が難しい場合には、遠隔で実施する。）に基づき実施することから、対面と遠隔の併用により③と見込んだ。5~6年生は、実習が主となるため①と見込んだ。	

No.	学校名	所在地	設置種	授業状況	授業の割合	割合の計算方法	学年別の割合						学年によって割合に差がある場合の理由
							1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	
1156	名桜大学	沖縄県	②公立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	特に計算方法はありません。令和2年度遠隔授業受講に関する実態調査のアンケート結果を参考にしました。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑤該当なし	⑤該当なし	
1157	沖縄県立芸術大学	沖縄県	②公立大学	②併用	②7割が対面が可能	原則として、少人数教育の専門科目は面接授業、多数数の全学教育科目は遠隔授業とし、各得単位数の平均比率は概ね2対1である。	④3割が対面が可能	③半々で対面が可能	②7割が対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	低学年は全学教育科目が多く、高学年になるほど専門科目が多くなるため。
1158	沖縄県立看護大学	沖縄県	②公立大学	①全面対面が可能									
1159	沖縄科学技術大学院大学	沖縄県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	教員の裁量に基づいて決定	⑤該当なし	⑤該当なし	⑤該当なし	⑤該当なし	⑤該当なし	⑤該当なし	
1160	沖縄国際大学	沖縄県	③私立大学	①全面対面が可能									
1161	沖縄大学	沖縄県	③私立大学	②併用	①ほとんど対面が可能	昨年度のを参考に、遠隔授業実施予定科目を予想し、計算した。	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	①ほとんど対面が可能	⑤該当なし	⑤該当なし	比率に差なし
1162	沖縄キリスト教学院大学	沖縄県	③私立大学	①全面対面が可能									
1163	沖縄キリスト教短期大学	沖縄県	③私立大学	①全面対面が可能									
1164	沖縄女子短期大学	沖縄県	③私立大学	①全面対面が可能									
1165	沖縄工業高等専門学校	沖縄県	④高等専門学校	①全面対面が可能									

No.	学校名	学部・キャンパスによって割合に差がある場合の理由	学部・キャンパスによって割合に差がある場合の今後の対応策	学生の理解	学生の理解状況について調査理由	学生の理解状況について一部の機関で異なる状況となっている場合があればその状況・理由	学生の理解・納得を得るために予定している取組
1	北海道大学	本学の令和4年度前期の授業実施方針は8.のとおりであり、現時点で特定の学部等やキャンパスにおいて異なる状況となっているケースはないと考えている。	本学の令和4年度前期の授業実施方針は8.のとおりであり、現時点で特定の学部等やキャンパスにおいて、面接授業の比率が少なくない状況にはないと考えている。	②大多数が理解	令和4年度の授業実施方針はすでに本学ホームページで公表しているため、学生は本学の方針を理解していると考えている。また、本学ホームページ上で学生から広く意見を受け付けている「学生の声 on Web」には当該授業実施方針に関する意見投稿は届いていないことから、大多数の学生は納得していると考えている。	本学では20.のとおり実施方針等について学生に周知しており、現時点で、特定の学部等や学部、キャンパスにおいて理解・納得の度合いが異なる状況にはなっていないと考えている。	本学では、学生の理解や納得を得るために、令和2年度から継続して「コロナ禍における学生生活をテーマにした総長と学生との懇談会」、「オンライン授業についての学生アンケート」、「オンライン授業をテーマとした学生参加型FDの実施」、「学生からの意見や質問を広く受け付けるための相談窓口の確保」、「ラーニングサポート室による学習支援」など、様々な取組を行っており、令和3年度には、学生の家族からの理解を得るため、「学部1年次の保護者を対象とした部長とのオンライン懇談会」を新たに実施した。今後も引き続き、学生等の意見を聞く様々な取り組みやサポートを行いながら、学生の理解・納得が得られるよう努めている。
2	北海道教育大学	北海道内5都市（札幌市・旭川市・釧路市・函館市・岩見沢市）にキャンパスが所在しており、各キャンパスのカリキュラムが異なっていること、並びに各地域における新型コロナウイルス感染症状況及び対策が異なることから、授業の実施方法の比率に差異が生じている。		②大多数が理解	毎学期の授業開始前に、全学生に対しその学期の授業実施方針を示すしるしうえで、対面授業を実施する一覧表を示し、授業の実施形態等について事前に周知している。		特になし
3	室積工業大学	特になし（単科大学のため該当なし）		②大多数が理解	大学HP等で授業形態について通知しているが、特に不満や意見等は寄せられていない。	特になし	特になし
4	小樽商科大学	該当なし	該当なし	②大多数が理解	2021年11月22日から2月13日にかけて「学生生活・遠隔授業に関するアンケート」を実施した結果、「他の学生・友人との繋がりが希薄になっている」と回答した学生が、6割を超えているものの、「遠隔授業で効果的に学べているか」との質問に対し、「大いにそう思う」、「ややそう思う」が5割となっており、「どちらでもない」を占めると7割以上を占めている。	該当なし	該当なし
5	帯広畜産大学	特にありません。	特にありません。	④把握していない	令和3年度までの授業評価アンケート回答により、在学生から概ね良好な結果が得られている。そのため今年度についても、授業実施方法については理解が得られていると思われるため。	特にありません。	特にありません。
6	北見工業大学			②大多数が理解	新型コロナウイルス感染症防止対策と学生の学習機会確保の両立のため、本学では対面でも実施する方が高い教育効果が得られる実務や演習科目は直接授業、対面だけでなく実施方法によって高い教育効果が得られる座学形式の講義科目は遠隔授業を中心に実施した。		特になし。
7	旭川医科大学			②大多数が理解	令和3年度後期の授業アンケートでは、大半の学生がコロナ禍における授業の実施方法・内容に理解を示していた。また、授業の実施方針に関して学生から寄せられた反対意見もほぼなかった。		感染状況が変化する都度、授業方針を急変する。授業形態は、半数登校を基本としているが、全員登校を実施する授業科目については、感染対策等を担当教員から学生に説明している。
8	札幌医科大学						
9	公立ほこだて未来大学			②大多数が理解	令和4年度前期の授業実施の方針について全学生へ学長メッセージを配信したが、この方針について学生から異議等の意見が出ていないため。		オンラインの長所を適宜取り入れつつ、対面授業を基本とし学習効果を高められるようにすること。
10	釧路公立大学			②大多数が理解	大学全体の授業実施方針については、メール配信により周知を行っている。		これまでと同様、適宜メール等により授業方針等の周知を行う。
11	名寄市立大学			②大多数が理解	感染対策として教室の収容人数を設定しており、一部遠隔授業となっていることについて、地域の感染状況も鑑みて、多くの学生は理解・納得していると考えております。		引き続き、適宜環境のない学生に対する支援や新型コロナウイルス感染症の職域接種の実施などを行っていく。
12	札幌市立大学	演習・実習科目の差による	新型コロナウイルス感染症の拡大状況に応じて対応する。	②大多数が理解	大学の方針や時間割を開示後に、学生からの意見、問い合わせがない。		継続して学生に対して授業形態等についての情報提供を行う。
13	公立千歳科学技術大学						
14	星城大学						
15	駒橋短期大学						
16	札幌大学	なし。	なし。	④把握していない	新型コロナウイルスの感染状況や自治体、国の方針等を踏まえながら感染対策を講じ、面接授業実施を重視しているため、学生に対し、アンケート調査等を実施していない。	なし。	ホームページやガイダンス等で大学の方針について、丁寧な説明に努める。
17	札幌学院大学			②大多数が理解	2022年度授業の方針として面接授業を基本とすることは、大学のホームページやポータル機能を利用して周知を図っている。これについて、特段の意見が出されていないため、大多数の学生は理解していたと考えている。		現段階ではないが、個別に意見が出されれば丁寧な対応を行っていききたい。
18	国経大学						
19	藤女子大学			④把握していない	特になし		検討中
20	北星学園大学			①ほぼ全員理解	授業実施方針等については、メールやポータルサイト等を通じて発信している。また、2022年度は2021年度と同じ方針で実施するため、理解・納得を得られていると認識する。		予定・計画はありません。
21	北海道学園大学			②大多数が理解	本学では、令和2年度から対面授業と学生の学習機会の確保を重視し、教室の感染防止対策も、可能な限り対策授業を実施してきた。同時に、遠隔授業についても、学生アンケートをもとに課題を検討して質の向上に努めてきた。こうした方針や問題への対応については、学期ごとに対象本部から詳しく発信し、加えて授業や感染対策、指導された問題解決方法などについて、即座に随時返信を行っているため、多くの学生が授業形態について理解・納得していると判断する。		適宜見直しを図りながら20.の取り組みを継続的に実施する予定。
22	北海道科学大学	なし	なし	①ほぼ全員理解	なし	なし	なし
23	藤原学園大学						
24	旭川大学			②大多数が理解	授業評価、学生満足度調査等のアンケートの結果		オリエンテーション等で説明
25	北海道医療大学			①ほぼ全員理解	ガイダンス等で説明を行っているため。		今後もガイダンス等で丁寧な説明・周知に努める。
26	北海道商科大学						
27	北海道情報大学						
28	札幌国際大学	留学生の多い学部については比率が高いと思われる。	特記事項なし	②大多数が理解	アンケートによる。	特になし	アンケートによる意見聴取とフィードバック。
29	北洋大学						
30	日本赤十字北海道看護大学						
31	北海道文教大学						

No.	学校名	学部・キャンパスによって割合に差がある場合の理由	学部・キャンパスによって割合に差がある場合の今後の対応策	学生の理解	学生の理解状況について調査理由	学生の理解状況について一部の理由で異なる状況となっている場合があればその状況・理由	学生の理解・納得を得るために予定している取組
32	天徳大学			④把握していない	公式な調査は行っていない。		今後を検討する。
33	南英館大学	該当なし	該当なし	①ほぼ全員理解	授業評価アンケートや学生生活満足度調査などの結果などをもとに回答	該当なし	特になし
34	札幌大谷大学	特になし	特になし	②大多数が理解	アンケート調査	特になし	オンライン授業についてはあらかじめシラバスでその旨を記載しています。
35	札幌保健医療大学						
36	日本医療大学						
37	北海道千歳リハビリテーション大学						
38	北翔大学			②大多数が理解	令和3年度は可能な限り面接授業を実施していること。また、学生にも都度説明を行いながら進めているため。		入学後のオリエンテーション時の説明及びホームページやポータルサイトによる周知など。
39	旭川大学短期大学部			②大多数が理解	学生へのアンケート調査等への結果から		オリエンテーション等で説明
40	帯広大谷短期大学	1授業当たりの人数が多くなる学科・専攻については遠隔授業の割合を多くしている。	感染状況を見ながらではあるが、これまで蓄積してきた感染予防ノウハウを活かして、可能な限り面接授業を実施したいと考えている。	④把握していない	授業内や個別の学生からの聴取によって状況把握を行っているが、理解・納得を正確に把握するためのアンケート等は実施していないため、上記の回答とした。		引き続き、学生や保護者に対して丁寧な説明を実施する。
41	光塩学園女子短期大学	なし	学部等の差はない。	④把握していない	新年度（4月）に入ってからオリエンテーションで周知する。	学部等による理解・納得の差はないものと考えている。	オリエンテーション等で説明する。
42	札幌大谷大学短期大学部						
43	函館大谷短期大学						
44	函館短期大学						
45	北星学園大学短期大学部			①ほぼ全員理解	授業実施方針等については、メールやポータルサイト等を通じて発信している。また、2022年度は2021年度と同じ方針で実施するため、理解・納得を得られていると認識する。		予定・計画はありません。
46	北翔大学短期大学部						
47	拓殖大学北海道短期大学			①ほぼ全員理解	要件の要望が見受けられる程度だったため		アンケート調査
48	北海道武蔵女子短期大学	感染拡大を防ぐため、教室等の収容人数に制限を設けたことと、教員の事情（持病がある）により遠隔授業を設定しているため、履修希望が多い講義科目を有する学科は遠隔授業となる場合もあるが、複数回展開する等、できるだけ面接授業を行えるようにしている。		①ほぼ全員理解	学期前に遠隔授業を含む全ての開講科目を学生へ周知し、仮の履修登録を行わせているため。		コロナ禍で得た知恵として、ICTを活用して学生へ周知していく。そのICTの活用に戸惑わないために、入学時のオリエンテーションを充実させる。学生が所属するゼミナールや授業で使うICTツールなどを活用して学生と教員のコミュニケーションを密に取れるようにする。
49	札幌大学女子短期大学部						
50	札幌国際大学短期大学部						
51	開学院大早北海道短期大学部						
52	函館工業高等専門学校						
53	苫小牧工業高等専門学校						
54	釧路工業高等専門学校						
55	旭川工業高等専門学校						
56	弘前大学						
57	青森立正大学						
58	青森県立保健大学						
59	青森大学						
60	東田学園大学						
61	弘前学院大学			②大多数が理解	これまで、コロナ感染防止対策を講じて面接授業を主にしている。大学から学生に対して全範囲リモート授業に切り替えることを公示しない限り、学生は面接授業を実施することを理解している。		新年度の在学生・入学生オリエンテーション等において、講義形式等について説明し、学生の理解を図る予定である。
62	八戸工業大学						
63	八戸学院大学						
64	青森中央学院大学						
65	弘前医療福祉大学						
66	青森朝の星短期大学						
67	東田学園大学短期大学部						
68	青森中央短期大学						
69	八戸学院大学短期大学部						
70	弘前医療福祉大学短期大学部						
71	八戸工業高等専門学校						
72	岩手大学						
73	岩手県立大学						
74	岩手県立大学盛岡短期大学部						
75	岩手県立大学宮古短期大学部						
76	岩手医科大学						
77	富士大学						
78	盛岡大学						
79	岩手保健医療大学			①ほぼ全員理解	遠隔授業を実施する理由、必要性について学生に十分納得出来るよう説明、周知しており、この方針を令和2年度から示している。		引き続き、学生及び保護者に本学の取組を説明、不安等がある場合は個別に対応することを改めて周知予定。
80	修紅短期大学						
81	盛岡大学短期大学部						
82	一関工業高等専門学校						
83	東北大学			①ほぼ全員理解	本学Webサイトに「ニューノーマルに対応した新しい授業形態について」「令和4(2022)年度の授業実施について」を掲載し、各授業科目で学修する内容・特性に合わせ、キャンパスで行う対面授業とオンライン授業を効果的に併用した授業を実施していくことを周知している。 また、2月に学生モニターとの意見交換において、学生の理解度を確認している。		新学期オリエンテーション、ガイダンス及びシラバスを通じて周知を行う。
84	宮城教育大学						
85	宮城大学						
86	仙台大学			④把握していない	令和4年度の前期の授業実施方針を3/24に新2～4年生宛てに通知したばかりであり、学生の理解・納得度の把握までには至っていない。今後、村ワナリ等の機会等に把握に努める。		令和2年度からコロナ感染対策として行ってきた情報通信機器（iPad）の貸与を、令和5年度から情報通信機器の個人準備に移行する為の説明を行う予定である。

No.	学校名	学部・キャンパスによって割合に差がある場合の理由	学部・キャンパスによって割合に差がある場合の今後の対応策	学生の理解	学生の理解状況について連絡理由	学生の理解状況について一部の理由で異なる状況となっている場合があればその状況・理由	学生の理解・納得を得るために予定している取組
87	東北学院大学	学部間での相違は多少あるが、キャンパス間での相違はほとんど見られない	経済学部、経営学部、法学部で対面授業が相対的に少なくなっているが、演習等での対面を確実に実施することとしている	①ほぼ全員理解	各学生にメールによって連絡をしている（一斉メール）ほか、大学HPで掲示している。4月には言うてからは各授業担当者からの連絡を行うようにしている	理解等に相違があるとはみられない	個々の問い合わせに対しても事務サイド、教員がそれぞれ対応することとしている
88	東北工業大学			①ほぼ全員理解	令和4年度の授業実施方針については、早期に、また繰り返し学生に対し周知しており、特段の苦情等もないことから、ほぼ全ての学生に理解していただいていると判断している。		引き続き、授業評価アンケート等により、学生の声に耳を傾け、取り組んでいくこととする。
89	東北福祉大学	学部やキャンパスによっての比率の差はありません。	特定の学部等やキャンパスにおいて、面接授業の比率が少なくなっている状況にあります。	②大多数が理解	学内ポータルサイトにて全学生に対して授業方針を配信しており、大多数の学生が閲覧し、特段意見や質問等はないため。		検討中です。
90	東北医科薬科大学	小松島キャンパスで開講される薬学部薬学科1～4年次及び医学部医学科1、2年次においては、感染対策として講義室の収容定員が制限されているため、遠隔授業を併用せざるを得ない状況である。そのため、他の学科・学年と比較して面接授業の実施比率が低くなっている。	新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら、面接授業の比率を高める方を検討する予定である。	②大多数が理解	令和4年度の授業実施方針については、ホームページに掲載するとともに、文書を送達することにより、学生及び保証人への周知を徹底している。学生の理解・納得に関するアンケートは実施しているが、学生及び保証人からの問い合わせについては、個別に対応している。	令和4年3月末時点において、学部・学年による理解・納得の度合いに差は発生していない。	令和4年4月に実施するオリエンテーション等にて説明を行い、周知徹底を図る。また、学生からの問い合わせに対しては、引き続き丁寧な説明を行い、理解・納得が得られるよう努める。
91	東北生活文化大学						
92	宮城学院女子大学						
93	石巻専修大学						
94	仙台白百合女子大学						
95	東北化学園大学						
96	尚絅学院大学			④把握していない	学生への公表については、本学のホームページ及びポータルサイトにおいて3月上旬に公表しており、反対はないが、アンケート等を実施したわけではないので、十分に把握しているとは言えない。		3月下旬からスタートする新年度オリエンテーションにおいて周知を図る。
97	宮城誠真短期大学						
98	聖和学園短期大学						
99	東北生活文化大学短期学部						
100	仙台青葉学院短期大学			②大多数が理解	令和3年度の学生アンケート調査結果に基づく。		新年度当初のオリエンテーションの際に、丁寧な説明を心がける。
101	仙台赤門短期大学						
102	仙台高等専門学校			②大多数が理解	アンケート結果等により把握		教員からの説明を随時行っていく
103	秋田大学			②大多数が理解	授業の形態等について、学内ポータルサイトへの掲載により全学生向けに周知徹底しており、その際に授業等について何があれば所属の学部担当へ連絡するよう周知しているが、授業の形態等への意見はほとんどなかったことから、大多数の学生は理解・納得していると認識している。		【自由記述】特なし
104	秋田県立大学						
105	国際教養大学			②大多数が理解	学長をはじめ副学長、学部長より、適宜、新学期の授業形態、学生の受け入れ方針、感染対策等について全学へメッセージを配信したほか、授業実施ガイドラインを作成するなど、学生に対して丁寧な説明と情報提供を行った。また、学生から意見や質問を随時受け付け、問い合わせが多い項目については迅速に取り組み、学内で共有している。現時点では質問は少数にとどまり、苦情等の意見は寄せられていないことから、大学の方針と取組みに対して概ね理解が得られていると考ええる。		学生からの問い合わせを受け付け、Q&Aにまとめて公表するとともに、学生による授業評価で継続して意見を聴取する。
106	秋田公立美術大学						
107	ノースアジア大学						
108	秋田看護福祉大学						
109	日本赤十字秋田看護大学			④把握していない	学生の理解が得られるよう丁寧な説明に努めている。		無し
110	秋田東洋短期大学						
111	聖学院短期大学						
112	聖愛女子短期大学						
113	日本赤十字秋田短期大学						
114	秋田工業高等専門学校						
115	山形大学						
116	山形県立保健医療大学	該当なし	該当なし	①ほぼ全員理解	学生は、本学の指示に従って行動しており、苦情等も寄せられていないため	該当なし	特なし
117	山形県立米沢薬業大学						
118	山形県立米沢女子短期大学						
119	東北芸術工科大学			①ほぼ全員理解	2020年後期から同様としており、対面となっている必修演習が少なくとも週2日以上あるため。		学部・学科を超えた正課での学内イベントも対面でも実施する機会を増やす予定
120	東北公益文科大学			①ほぼ全員理解	各学期末に実施している学生による授業評価アンケートの回答や教育改善意見交換会等により、学生の状況を把握している。		各学期前に実施している履修ガイダンスや学生への一斉メールなどにより、適宜説明を行う。
121	東北文科大学						
122	羽根学園短期大学						
123	東北文科大学短期大学部						
124	鶴岡工業高等専門学校						
125	福島大学	・教室収容数を超える大人数講義科目を多く開講する学期は相対的に遠隔授業比率が高い傾向にある。 ・演習科目については全学的に演習教室を確保して講義科目に優先して遠隔授業を実施する。 ・基本的には面接授業で実施する方針であり、遠隔授業科目は全科目の5%程度となっていることから、令和4年度前期の授業運営に大きな問題はないと考えている。		①ほぼ全員理解	・休学者数・退学者数は例年と変わらず、今のところコロナ禍による増加の兆候は見られない。 ・本学では全学的な新型コロナウイルス感染対策を講じるため「危機対策本部」を設置し、毎週情報交換している。同会議では昨年度の授業運営・課外活動の諸注意事項を整理し、学生向けに「学生生活ガイドライン2022」を編纂し、令和4年度の新入生ガイダンスで説明するほか、全学生に周知を徹底する。 ・これらを活用して学生には感染防止対策を周知徹底するとともに、令和2年度に実施した遠隔授業学生アンケート回答やPD研究会の意見交換等を踏まえ、令和4年度の授業運営を進めている。		・毎年、学生団体代表と学長との懇談会を開催し、意見交換を行っている。今年も開催する予定であり、学生側の意見や要望などを直接聞く機会を設けることとしている。 ・授業期間中は、昼休みに放送型学習によるマスク・手洗い・距離・換気等の感染予防メッセージを流している。また、授業時間中は役員・教職員によるキャンパス内巡回視察活動を行っており、学生にマスク着用や昼食時に換気を心がけるよう、声掛けしている。
126	福島県立医科大学						
127	会津大学						
128	会津大学短期大学部						
129	郡山女子大学			④把握していない	別目的で行った学生アンケートの回答を確認すると、遠隔授業について全く反対の意見がみられ、学生個々の状況による要請に応じることが困難と思われる。	別目的で行った学生アンケートの回答を確認すると、遠隔授業について全く反対の意見がみられ、学生個々の状況による要請に応じることが困難と思われる。	特記なし
130	奥羽大学	なし	なし	①ほぼ全員理解	弊学は可能な限り面接での講義を行ってきた。また遠隔講義の場合は事前に連絡している。	なし	なし
131	医療衛生大学			①ほぼ全員理解	遠隔授業の実施についてシラバスに記述している		遠隔での授業はごく少数であるが、遠隔で行う必要がある場合は理由を授業毎にLearning Management Systemにて明示する。
132	東日本国際大学						
133	福島学院大学						
134	郡山女子大学短期大学部			④把握していない	別目的で行った学生アンケートの回答を確認すると、遠隔授業について全く反対の意見がみられ、学生個々の状況による要請に応じることが困難と思われる。		特記なし
135	桜の聖母短期大学						
136	いわき短期大学						

No.	学校名	学部・キャンパスによって割合に差がある場合の理由	学部・キャンパスによって割合に差がある場合の今後の対応策	学生の理解	学生の理解状況について調査理由	学生の理解状況について一部の範囲で異なる状況となっている場合があればその状況・理由	学生の理解・納得を得るために予定している取組
137	福島学院大学短期大学部						
138	福島工業高等専門学校						
139	茨城大学			④把握していない	令和4年2月に令和4年度の授業実施方針を周知後、全体的な把握を目的とした調査を実施できていないため。		学年開始時のガイダンス等で周知するほか、学長や学部長と学生との懇談会で説明する予定である。
140	筑波大学	実験や実習科目の多い学部（医学部、芸術専門学群、体育専門学群、生命環境学群、人間学群）は比較的に授業の実施率が高い傾向にある。逆に低い傾向にあるのは、講義主体の学部である。	感染対策上、座席の間隔を1m以上とすると、受講者全員を収容できる教室は限られてくるため、オンライン化せざるを得ない状況の学部もある。今後とも感染状況を注視し、制限の緩和が可能と判断できれば教室の取組態様を増やし、面授授業のほうが教育効果が高いと思われる科目については面授授業の割合を高めたい。	②大多数が理解	大学ホームページにおいて学生に向けて定期的に公表しており、関心の高い事柄なので大多数の学生は情報を得ていると思われる。	特になし	状況に変更等あれば、こまめに情報を発信する。
141	筑波技術大学						
142	茨城県立医療大学						
143	茨城キリスト教大学						
144	つくば国際大学	該当なし	該当なし	④把握していない	授業形態設定を授業開始直前までコロナ禍状況を踏まえて設定調整を行い、現在設定が終わったばかりで、令和4年度授業開始後、学生の理解を得るところである。		授業形態変更条件の詳細設定についての明確な表示した対応表を提示し、コロナ禍の変遷（本学では都道府県のコロナ対策tagoの変遷）に沿った基準を告知する。
145	筑波学院大学						
146	日本ウェルネススポーツ大学			①ほぼ全員理解	新年度オリエンテーションにおいて説明済みのため		スポーツ大学として部活動を中心とした課外活動は感染対策を十分に講じた上で継続的に実施していく。また、授業についてもクラスを分散する等の配慮をした上で、可能な限り対面授業を実施する予定としている。
147	常盤大学	面授授業と遠隔授業の比率にも配慮しつつ、学期に定める「授業の方法」等に応じて授業の実施方法を定めているため、全体の傾向として「ほとんど（8割以上）の授業を面授授業で行う予定であるが、特定の学部等では、教育課程の特性等との関係から、面授授業の割合が7割程度になる予定である。	全体の傾向としては、ほとんど（8割以上）の授業を面授授業で行う予定であることから、現在の方針を継続しつつ、コロナ禍における学部の間の工夫や留意点等について、継続的・定期的な確認、説明を行うとともに、情報通信機器等の貸し出しや学内施設の開放など、学生の通信環境の確保に向けた支援を行う。	②大多数が理解	2021（令和3）年度に実施した「授業アンケート」（全学生対象）において、授業に対する総合的な満足度について質問したところ、「非常に思う（非常に満足している）」または「ある程度思う（ある程度満足している）」と回答した学生の割合は、回答者全体の93.2%であったことから、大多数の学生が授業の形態等について理解・納得しているものと認識している。	該当なし	遠隔授業を実施する理由や必要性等について、学生が十分に納得できるよう、丁寧な説明・情報提供に努める。また、学生の要望や意見を聞き入れながら、学内における遠隔授業の留意点や工夫すべき事項について整理し、教員等に対して周知を行う。
148	アール英徳専門学校						
149	茨城女子短期大学						
150	つくば国際短期大学						
151	常盤短期大学	面授授業と遠隔授業の比率にも配慮しつつ、学期に定める「授業の方法」等に応じて授業の実施方法を定めているため、全体の傾向として「ほとんど（8割以上）の授業を面授授業で行う予定であるが、特定の学部等では、教育課程の特性等との関係から、面授授業の割合が7割程度になる予定である。	全体の傾向としては、ほとんど（8割以上）の授業を面授授業で行う予定であることから、現在の方針を継続しつつ、コロナ禍における学部の間の工夫や留意点等について、継続的・定期的な確認、説明を行うとともに、情報通信機器等の貸し出しや学内施設の開放など、学生の通信環境の確保に向けた支援を行う。	②大多数が理解	2021（令和3）年度に実施した「授業アンケート」（全学生対象）において、「自分にとっての」授業の意義について質問したところ、「強く思う（非常に意義があった）」または「やや思う（ある程度意義があった）」と回答した学生の割合は、回答者全体の92.9%であったことから、大多数の学生が授業の形態等について理解・納得しているものと認識している。	該当なし	遠隔授業を実施する理由や必要性等について、学生が十分に納得できるよう、丁寧な説明・情報提供に努める。また、学生の要望や意見を聞き入れながら、学内における遠隔授業の留意点や工夫すべき事項について整理し、教員等に対して周知を行う。
152	茨城工業高等専門学校						
153	宇都宮大学						
154	足利大学			②大多数が理解	昨年12月に令和4年度の授業方針を学部長メッセージと併せて発信しましたが、そのことに対する学生や保護者からの問い合わせが極めて少ないことが回答理由です。		令和4年度における学生の授業方針についてのアンケートを実施してその集計結果をもとに、FD或いはSDを行い情報の共有を図るとともに必要とあらば適宜学部長メッセージを発信して学生の理解や納得を得ている。
155	白鷺大学						
156	作新学院大学			②大多数が理解	大学の方針（周知事項）に対しての質問状況から理解、納得していると受け止めている。	特になし	履修にあたっての重要な事項については、継続的に学生への周知をはかっている
157	国際医療福祉大学						
158	宇都宮共和大学						
159	文星芸術大学						
160	自治医科大学			②大多数が理解	各学年で実施したオリエンテーションにて周知（医学部） 学生から授業方針の再検討等の要望が出ていないため（看護学部）		各学年で実施するオリエンテーションにて周知（医学部）
161	徳島医科大学						
162	佐野日本大学短期大学						
163	宇都宮短期大学						
164	国際学院大学栃木短期大学						
165	作新学院大学女子短期大学部			①ほぼ全員理解	大学の方針（周知事項）に対しての質問状況から理解、納得していると受け止めている。	特になし	質問があった際、随時対応する。
166	足利短期大学	該当なし	該当なし	①ほぼ全員理解	対面で説明を行なうと共に、質疑応答の時間を設け対応した。	該当なし	該当なし
167	宇都宮文星短期大学						
168	小山工業高等専門学校						
169	群馬大学	該当なし	該当なし	①ほぼ全員理解	学長メッセージ、教務システム、大学ホームページにより学生全員に理解と協力を求めている。	該当なし	引き続き、学長メッセージ、教務システム、大学ホームページにより学生全員に理解と協力を求めていく。
170	高崎経済大学						
171	群馬工業短期大学						
172	群馬県立女子大学						
173	群馬県立県民健康科学大学						
174	育英大学						
175	桐生大学						
176	群馬パース大学						
177	群馬医療福祉大学						
178	高崎医科大学			②大多数が理解	3月上旬に、入学予定者と新入生へ向け実施方針については通知しており、通知以降に関し問い合わせや意見は受けていない。		授業・課外活動に関する学校の実施方針を随時通知する。
179	上武大学			④把握していない	3月の教授会において決定したため学生にはまだ周知していないため。		年度初めガイダンスにおいて、学生に理解を求めるとの予定である。
180	関東学園大学						
181	共愛学園前橋国際大学			①ほぼ全員理解	危機対応レベルに沿っての方針が大学として一貫しており、危機対応レベルに合わせて、学生にメールやSNSで周知している。		オリエンテーションで再周知する。
182	高崎医科大学短期大学部			②大多数が理解	3月上旬（入学予定者は3月中旬）に、全学生に向けて新学期からの授業実施方針を通知しており、通知後の問い合わせ等は受けていない。		授業・課外活動に関する学校の実施方針を、随時通知する。
183	群馬医療福祉大学短期大学部						
184	新島学園短期大学						

No.	学校名	学部・キャンパスによって割合に差がある場合の理由	学部・キャンパスによって割合に差がある場合の今後の対応策	学生の理解	学生の理解状況について回答理由	学生の理解状況について一部の理由で異なる状況となっている場合があればその状況・理由	学生の理解・納得を得るために予定している取組
185	高崎健康福祉大学						
186	桐生大学短期大学部						
187	共愛学園前橋国際大学短期大学部						
188	青英短期大学						
189	群馬工業高等専門学校						
190	人間総合科学大学	全学部ともほぼ同じ状況である。		②大多数が理解	既に2年間、同様な形式で授業を実施してきたため、学生アンケート、インタビューでも遠隔授業に対する肯定的な意見はそれほど多くない。	特に学部等で異なる傾向はない。	4月に行われる履修ガイダンス等で十分に説明していく。
191	埼玉大学			①ほぼ全員理解	大学のHPやWeb学生システムにて、令和4年度の授業方針について予告及び本通知にて周知しており、現在まで特級の問い合わせがないため。		特になし
192	埼玉県立大学			①ほぼ全員理解	授業方針について、学長からのメッセージ発信や学生への通知（メール、ホームページ等）で広く周知している。また、個別の問い合わせがあった場合も、丁寧に説明することで理解を得ている。		引き続きホームページとメールでの周知、学生と教員の面接時の情報提供を行い、あらゆる機会を用いて学生の理解が得られるように取り組んでいく。
193	埼玉医科大学短期大学						
194	ものつくり大学	単独キャンパスの単科大学である。		②大多数が理解	「新型コロナウイルス感染症に対する活動制限に関する判断基準」を定めホームページへ掲載している。在学生へは、昨年度のコロナ禍での授業実施に関して、講義科目は遠隔授業を導入することを学生メッセージとして掲載し、その後はほぼ同じく判断基準に示す授業の在り方をホームページに公表しており、大多数の学生が認識していると考えている。		学生との意見交換の場を設ける予定で、意見交換の場では遠隔授業に関する大学の方針や取組について説明の上理解を求めている。
195	日本医療科学大学			①ほぼ全員理解	令和3年度もほとんどの授業で対面を行い、専門科目、実習も対面で行ってきたため		シラバスに授業の実施方法の記載や迅速なコロナ対応
196	日本薬科大学	主要キャンパスであるさいたまキャンパスはほとんど直接授業であるが、もう一つのお茶の水キャンパスは施設面積が小さいため直接授業と遠隔授業はおおむね半々となる。	お茶の水キャンパス（医療ビジネス薬科学科ビジネス薬学2系、情報薬学2系）において遠隔授業の工夫により、同時に、双方向性、対話性の向上を図る。	②大多数が理解	全学生を対象に年2回のキャンパスライフアンケートを行い、方針への理解・納得を確	特になし	特になし
197	武蔵野学院大学						
198	浦和大学						
199	共栄大学			②大多数が理解	オリエンテーションやポータルサイト等で授業形態について説明しており、混乱なく面接・遠隔授業が実施できている。遠隔授業に関するアンケート調査での遠隔授業の満足度、理解度からも、学生は適切な授業形態を受け入れられていると思われる。		引き続きオリエンテーションやポータルサイト等で丁寧に説明していく。
200	埼玉学園大学			①ほぼ全員理解	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策を講じていることを学生に周知し、面接授業を全とし、一部遠隔授業を行っているが、学生が不満、不安の声は特に上がっていない。		遠隔授業について、学生が十分に納得できるよう、丁寧な説明・情報提供に努める。
201	尚美学園大学	(該当なし)	(該当なし)	②大多数が理解	これまでと異なり、年度初めのアドバイザー教員によるオリエンテーションを対面実施に改したので、直接教員に質問できる分、学生の理解が増した。	(特になし)	特に変更点はなく、これまでの施策を踏襲し徹底する。
202	西武文理大学			①ほぼ全員理解	コロナウイルス感染症の状況により、臨機応変に学校が遠隔授業も対応するため		特に今は考えていません
203	十文字学園女子大学						
204	平成国際大学						
205	東京国際大学	医療健康学部においては、実習科目が多く学修の特性上、感染対策を十分行なった上で、すべての科目を対面授業で実施することとしている。		②大多数が理解	学生全員に対し、令和4年4月からの開講について、新型コロナウイルス感染症拡大状況を踏まえて、授業形態の見直しや変更の必要に当たり、学生本人の健康上の問題や、同居している家族に重症化リスクが懸念されるなどの特段の事情がある学生については、学生本人からの申し出により、講義系直接授業のオンライン形式での在宅受講の対応を認める。1年生に対しては、担任制を設け教員を配置するとともに、新入生と面談を実施する予定。		授業に関する案内やサポート情報を必要にし、学生に案内をしている。
206	城西大学	学部等またはキャンパスによって、面接授業の比率が異なることはない。基本的には、履修者数100名以上の科目は遠隔授業を推奨している。	学部等またはキャンパスによって、面接授業の比率が異なることはない。	④把握していない	来年度の授業方針については、学生の理解・納得状況を把握する取り組みを行っている。地域の感染状況と教育的効果を考え、まずは、面接授業を基本とした体制をとつた上、学生は面接授業であっても、個々の事情により遠隔授業に切り替える等の措置が行えるよう、教員、事務室で検討、申し出を受けている。	来年度の授業方針については、学生の理解・納得状況を把握する取り組みを行っている。	授業期間の半ばに実施する授業アンケートにおいて、授業形態について確認を行う。また、後学期については、授業アンケートの結果と地域の感染状況等を踏まえて、授業形態を切り替えることを、すでに周知している。
207	東邦音楽大学						
208	獨協大学	該当なし	該当なし	①ほぼ全員理解	学生に対しての大学の授業実施方針の周知は、新入生並びに在学生に対してこれまでも適切な方法で行っている。基本的には学生一人ひとりのポータルサイトを利用したメール通知、及び年度末年度始の初入学クラスガイダンスや在学学生ガイダンスの実施による対応でコミュニケーションが取れる周知を行います。その間も職員とのセミナーなどでも丁寧に説明を行っています。	該当なし	上記でも回答していますが、ポータルサイトを利用した学生個人へのメール通知、新入生クラスガイダンス、在学生履修ガイダンス、ゼミナールなどでの説明のほか、適宜アンケートを実施する予定。
209	日本工業大学			④把握していない	過去の学内アンケートの回答結果から、大多数の学生の理解は得られていると判断している。		具体的には決まっていない
210	埼玉医科大学			①ほぼ全員理解	予め授業ごとの実施形態について周知を行っている。また、遠隔授業において、対面での受講希望者には各校を認める等の配慮ももっている。		該当なし
211	埼玉工業大学	なし	なし	①ほぼ全員理解	・学生の悩みや不安に対し、必要に応じ、カウンセラーとも連携した対応を行っている。 ・学内の相談窓口について、対面に限らない体制（電話、メール等）を整備している。 ・講義系の面接形式での授業を受講するにあたり、学生本人の健康上の問題や、同居している家族に重症化リスクが懸念されるなどの特段の事情がある学生については、学生本人からの申し出により、講義系直接授業のオンライン形式での在宅受講の対応を認める。1年生に対しては、担任制を設け教員を配置するとともに、新入生と面談を実施する予定。 ・授業に関する詳しい情報や最新情報は、臨機応変に対応することとし、大学HPや大学ポータルサイトを通して連絡していく。	なし	・学生の悩みや不安に対し、必要に応じ、カウンセラーとも連携した対応を行っている。 ・学内の相談窓口について、対面に限らない体制（電話、メール等）を整備している。 ・講義系の対面形式での授業を受講するにあたり、学生本人の健康上の問題や、同居している家族に重症化リスクが懸念されるなどの特段の事情がある学生については、学生本人からの申し出により、講義系対面授業のオンライン形式での在宅受講の対応を認める。 ・1年生に対しては、担任制を設け教員を配置するとともに、新たな生活による新入生等の不安を軽減するため、生活面に関する相談体制の強化を図り、情報連携機器等の貸し出しなど、学生の遠征環境の確保に向けた支援を行う。
212	駿河台大学	学部における差異については、法学部や経済経営学部、心理学部のように講義科目の比率が高い学部、メディア情報学部やスポーツ科学部2年次生担当の授業を例にとると、大学全体（全学部共通科目及び学前期の通り学部定員や開設授業の規模や形態に差があることによる範囲科目の計）では298授業・4,470授業回のうち面接授業が、各授業の形態に応じて、授業種別、教室の態様、受講者数等に依り、135授業回（7.0、1%）に当たるが、法学前期講義の2年次生として、感染症対策の観点から、教室の配当科目では1106授業・1,599授業回のうち面接授業は924授業回（8.4、0.6%）に当たる。また、スポーツ科学前期講義の2年次生担当科目に制約がある授業については、遠隔授業又は面接授業と遠隔授業を組では74授業・1,110授業回のうち面接授業は829授業回・7み合わせるハイブリッド型の授業を行うよう努める。4、7%に当たる。なお、本学は単一キャンパスであり、キャンパスにおける差は該当しない。		②大多数が理解	令和3年度授業アンケートの付帯設問として、授業に関する設問を設けており、資料やフィードバック等改善すべき点や複数回答の11選択肢のうち、春学期においては67.0%、秋学期においては69.8%、合計では67.9%が「改善する必要がある」と回答しており、多くの学生は授業の形態等について理解・納得していると思われている。一方、本年では基礎疾患を有する等の理由により、面接授業の実施において不安を有する学生に対して「対面授業の特例措置」を設け、自らの遠隔授業の受講を認めており、令和3年5月1日現在在学部生男女4,243名と比べ、春学期においては、8.8%（学期終了時点で7.7%）に当たる327名が、秋学期においては11.3%（学期終了時点で10.0%）に当たる492名が特例措置を申請しており、一定数の学生が面接授業やキャンパスへの来校等に対して不安を有しており、「対面授業の特例措置」申請を行ったと認識している。	学生ガイダンス等により、本学における授業の実施方針や感染症対策等の措置について周知し、相談等があった場合には本学における感染症対策措置の必要性等について丁寧に説明をしていくことを継続する。各授業の実施に関して、授業種別、教室の態様、受講者数等に応じて、面接授業を実施するとともに、感染症対策の観点から、教室の規模や定員に鑑みて新型コロナウイルス前の教室定員で実施することに制約がある授業については、遠隔授業又は面接授業と遠隔授業を組み合わせるハイブリッド型の授業を行う。また、基礎疾患を有している学生等に対しては「対面授業における特例措置」制度についても継続して実施する。	
213	女子栄養大学						
214	日本保健医療大学						

No.	学校名	学部・キャンパスによって割合に差がある場合の理由	学部・キャンパスによって割合に差がある場合の今後の対応策	学生の理解	学生の理解状況について調査理由	学生の理解状況について一部の理由で異なる状況となっている場合があればその状況・理由	学生の理解・納得を得るために予定している取組
215	聖学院大学			①ほぼ全員理解	<p>本学ホームページ上で「2022年度授業方針」として、「対面授業を基本」とする旨、周知を行った。</p> <p>他方で、3月末時の履修登録に於いて、履修登録関係資料に面接授業実施を記すと共に、各学科/課程によるガイダンスを開催し、重ねて授業実施方法の周知を行っている。</p> <p>また、「2-3」で記したように、本学では2022年度に開講する科目全ての授業形態を決定しており、既に時間割とシラバスが確定しているため、結果として、学生はWeb上の履修登録時に面接授業が主体であることと認識し受講準備を進めている。</p>		<p>履修事項の更なる徹底を図るとともに、学生、保護者の問い合わせについて、丁寧に対応している。</p>
216	文教大学			②大多数が理解	<p>学長で授業実施方針を公開し、各教員において学修支援システム（manaba）上で授業形態を公開している。</p>	<p>学部、学科による差異などを客観的に把握し、判断できる材料はない。</p>	特になし
217	大東文化大学						
218	武蔵野短期大学						
219	埼玉純真短期大学						
220	城西短期大学	<p>学期等またはキャンパスによって、面接授業の比率が異なることはない。基本的には、履修者数100名以上の科目は遠隔授業を推奨している。</p>	<p>学期等またはキャンパスによって、面接授業の比率が異なることはない。</p>	④把握していない	<p>去年度の授業方針については、学生の理解・納得状況を把握する取り組みを行っていない。地域の感染状況と教員の勤務を考慮し、まずは、面接授業を基本とした体制をとった。ただし、学生は面接授業であっても、個々の事情により遠隔授業に切り替える等の措置が行えるよう、教員、専任室で働き、申し立てを行っている。</p>	<p>去年度の授業方針については、学生の理解・納得状況を把握する取り組みを行っていない。</p>	<p>授業期間の半ばに実施する授業アンケートにおいて、授業形態について確認を行う。また、後期授業については、授業アンケートの結果と地域の感染状況等を踏まえて、授業形態を切り替えることを、すでに周知している。</p>
221	国際学院埼玉短期大学	<p>特に異なる状況はない</p>		①ほぼ全員理解	<p>本学の授業の考え方や安全対策を学生に説明した結果、不安などを訴える声はなかった。</p>	<p>特に異なっていない。</p>	<p>ガイダンス等において不安を払拭するようさらに説明を行っていく。</p>
222	秋草学園短期大学						
223	川口短期大学			①ほぼ全員理解	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策を講じていることを学生に周知し、面接授業を主とし、一部遠隔授業を行っているが、学生から不満、不安の声は特に上がっていない。</p>		<p>遠隔授業について、学生が十分に納得できるよう、丁寧な説明・情報提供に努める。</p>
224	埼玉女子短期大学						
225	山村学園短期大学						
226	武蔵丘短期大学			①ほぼ全員理解	<p>4月のオリエンテーションで面接授業をする旨の説明をし、特にリモート授業の要望がないため。</p>		<p>後期のオリエンテーションで授業方針について説明を行う予定。</p>
227	埼玉東萌短期大学						
228	千葉大学	<p>演習、実験、実習が多い学部は面接授業が多く、講義型授業が中心であった学部は相対的に遠隔授業が多い傾向にある。</p>	<p>授業の実施形態の変更について検討することとしている。</p>	②大多数が理解	<p>令和4年度の授業方針をホームページやメディア授業サイト等で周知を行い、またガイダンス等を通じて、学生に対し丁寧な説明を行う予定である。</p>	<p>特定の学部等において理解・納得の度合いには差はない。</p>	<p>引き続き、ホームページやメディア授業サイト、各科目のシラバス等を通じて、授業の実施方法等について適切に情報発信を行うべくほか、必要な者については、通信環境の改善のためにモバイルルーターの貸出を継続して行うこととしている。</p>
229	千葉県立保健医療大学			④把握していない	<p>アンケートをとっていない。</p>		<p>現時点で特ありません。</p>
230	流通経済大学	<p>特になし</p>	<p>特になし</p>	②大多数が理解	<p>学生に対して、授業方針を提示しているが、現時点では苦情などは特ありません。</p>	<p>個別に調査はしていません。</p>	<p>特になし</p>
231	明海大学						
232	東都大学						
233	千葉科学大学						
234	愛国学院大学						
235	開智国際大学						
236	清和大学	<p>なし</p>		①ほぼ全員理解	<p>履修ガイダンスの際に、実施形態についての説明を行った。登録の際に、学生からの質問・苦情等は寄せられなかったため、理解されたものと判断した。</p>	<p>なし</p>	<p>特になし</p>
237	城西国際大学	<p>全学的に面接授業を実施するが、履修人数の多い講義は、教室の新型コロナウイルス対策の取組を踏まえ、ハイフレックス授業、遠隔授業になる場合がある。</p>	<p>全学的に面接授業を実施する。</p>	②大多数が理解	<p>2021年度より、全学生が対面授業の受講機会を得られるようにするため、対面授業を基本とし、遠学を前提とした授業運営を行っている。対面授業の機会をできるだけ確保するよう努めている。</p>	<p>養学部、看護学部、福祉総合学部は実験、実習、実技が多く、遠隔授業で対応できないため、面接授業の実施が多い。東京紀尾井町キャンパスを使用する経営情報学部、メディア学部は、大人数を収容できる教室が少ないため、ハイフレックス授業や遠隔授業を利用する機会がある。</p>	<p>全学的に面接授業を実施する方針だが、日本に入国できない留学生や、基礎疾患を抱えるなど、特別な事情で対面型の授業に出場できない学生に配慮した授業、サポートを継続する。</p>
238	淑徳大学						
239	敬愛大学	<p>なし</p>	<p>なし</p>	④把握していない	<p>既にメールにて通知済み。また、4月上旬に実施するガイダンス（学年別、オンデマンド）にて資料配布により説明する。現時点では把握状況にはない。</p>	<p>なし</p>	<p>4月に実施するガイダンス（学年別、オンデマンド）にて資料を配布することで、学生の理解と納得を十分に得ることとしている。</p>
240	千葉工業大学	<p>本学では、工科大として、知識の応用や実践的な技術の体得にはオンラインによる教育だけでは不十分と考えており、対面形式による開講を基本方針としています。そのため、学部間でも比率に差異はありません。</p>		①ほぼ全員理解	<p>本学では、令和2年度の前期から工科大系大学として、対面による授業の重要性を認識し、多様な工夫を取り入れて、いかに早く対面形式の開講を行ってきました。そのため、授業科目を対面で行っている授業アンケートでは、コロナ禍以前よりも授業満足度は上昇しています。また、対面率を増加することに授業理解度も上昇しており、本学の理解が学生に入られています。更に、令和4年度前期授業に向けて、既に3箇目のワクチン接種接種を行っており、学生が安心して修学できる環境整備に努めています。</p>	<p>本学では、学生の修学や生活の支援に対して、教職員により全学的体制で取り組んでいます。そのため、学生の理解や納得の状況に学部間の差異はありません。</p>	<p>本学は遠学制であるため、学生の成長は、授業に限らず大学のキャンパス内にある多様な交流や体験を通して育まれるものと認識しています。今後も学生が安心してキャンパス内での修学や生活を継続できるよう、徹底した感染防止対策とワクチンの接種接種を進めたいと考えています。</p>
241	千葉商科大学	<p>ありません</p>	<p>ありません</p>	①ほぼ全員理解	<p>本学Webサイト、本学ポータルサイト等で周知しており、問い合わせがないため。</p>	<p>なし</p>	<p>新入生にはオリエンテーション時に説明、他学年には本学Webサイト、本学ポータルサイトで周知予定。</p>
242	中央学院大学						
243	麗澤大学			②大多数が理解	<p>令和3年度に実施した「授業アンケート」において、授業形態についての肯定的な意見が多かった。</p>		<p>メスターごとに「授業アンケート」を実施し、授業に対する学生の意見を確認する。</p>
244	和洋女子大学	<p>特定の学部学科による偏りは無い。会話やディスカッション、グループワークのある科目や、受講生が多い科目など一部の科目が遠隔授業に振り当てられている。</p>		①ほぼ全員理解	<p>2021年12月1日付で、「次年度の授業について」と題し2022年度の授業方針を全在生に周知開示している。また、2022年2月1日付でより詳細な情報を追加掲載した。入学予定生に対しては2022年3月18日付で「大学での学びと授業について」と題し掲載している。（いずれも、クラウド型教育支援サービス「manaba course」を用いている。）さらに、在学生に対しては3月10日～3月11日にかけて対面での履修ガイダンスを行い、2022年度の授業方針についてもあらためて案内した。</p>		
245	国際武道大学						
246	神田外語大学						
247	千葉経済大学			①ほぼ全員理解	<p>ガイダンス等で周知しており学生からの不満の声が寄せられていないため。</p>		<p>ガイダンス等で説明理解を求める</p>
248	秀明大学						
249	川科学園女子大学						
250	東京情報大学			②大多数が理解	<p>令和4年度の授業実施方針については、学生用ポータルサイトを利用して既に周知している。本人や同級生からの理由等から対面での授業の受講が難しい学生については、学生からの情報に基づき個別に対応している。</p>		<p>大学として、新型コロナウイルス感染症の流行状況に応じた警戒カテゴリーと活動項目別の活動レベルを定めている。感染状況の変化に伴いレベルの変動があった場合は、学生に対し速やかに周知する。</p>
251	東京基督教大学						
252	聖徳大学			②大多数が理解	<p>コロナ禍以前と比較して、中途退学者が減少している。遠隔授業に関する学生からの意見では「履修し授業の進捗がわかること」「自分のペースで進められること」「実技について教室で受講するよりも細かい動きを把握できて分かりやすい」等、多くの学生から肯定的な意見が出されている。</p>		<p>新入生に対しては、感染防止対策を講じたうえで、従前から本学独自の取り組みとして実施している学外研修を、今年度も日帰りで実施する。この研修では「チームワーク力」「コミュニケーション力」「企画力」「課題解決力」「自己管理能力」「達成感」を得ることができると実施する方向で進めている。授業開始前にはオリエンテーションを対面で開催し、学部ごとに詳しく説明するとともに、学生同士及び教員との交流と機会としても活用する。</p>
253	江戸川大学			②大多数が理解	<p>令和4年前期の授業方法について周知しているが、質問や意見などが少ない状況にあるため。</p>		<p>理解を得られていると考えているため、特に予定はありません。</p>

No.	学校名	学部・キャンパスによって割合に差がある場合の理由	学部・キャンパスによって割合に差がある場合の今後の対応策	学生の理解	学生の理解状況について調査理由	学生の理解状況について一部の理由で異なる状況となっている場合があればその状況・理由	学生の理解・納得を得るために予定している取組
254	了徳寺大学						
255	橘草学園大学			①ほぼ全員理解	年度当初の在学生ガイダンス及び新入生オリエンテーションにおいて周知・説明を行っている。		学生満足度アンケート及び授業アンケートの実施
256	亀田医療大学	該当なし	該当なし	③大多数とは言えない	学生の満足度調査を実施し、良かった点と改善が必要な点について多数の意見があったため。	特になし	学生満足度調査を実施予定
257	東邦大学			②大多数が理解	学生に対して大学ウェブサイトや学内ポータルサイト等を通じて丁寧な説明を行っている。また、学生からの相談体制も設け、丁寧な体制構築、対応に努めており、授業形態などに関する不賛同の意向や苦情などはほぼなく、また、あった場合も説明の上、納得をいただいている。		授業の方針については年度・学期の開始前に公表・明示し、方針を設定した根拠・意図についても丁寧に説明する。引き続き相談体制を置くとともに、アンケート等から学生の意見や理解の程度を確認し、必要に応じてさらなる説明を行う等の対応をとる。
258	千葉明德短期大学						
259	昭和学院短期大学						
260	聖徳大学短期大学部			②大多数が理解	コロナ禍以前と比較して、中途退学者が減少している。遠隔授業に関する学生からの意見では、「繰り返し授業のやり取りができること」「自分のペースで進められること」「柔軟に授業で変換するよりも細かい動きを把握できて分かりやすい」等、多くの学生から肯定的な反応が聞かれている。	新入生に対しては、感染防止対策を講じたうえで、従前から本学独自の取り組みとして実施している学外研修を、今年度も白旗で実施する。この研修では「チームワーク力」「コミュニケーション力」「企画力」「課題解決力」「自己管理能力」「達成感」を得ることができると実施する方向で進めている。授業開始前にはオリエンテーションを対面で開催し、学部ごとに詳しく説明するとともに、学生同士及び教員との交流と機会としても活用する。	
261	清和大学短期大学部	なし	なし	①ほぼ全員理解	ガイダンスの際に実施形態について説明した。履修登録の際に質問や苦情等は寄せられなかったため、理解されたものと判断した。	なし	なし
262	千葉敬愛短期大学						
263	千葉経済大学短期大学部						
264	東京経営短期大学	差はない		①ほぼ全員理解	新学期前のオリエンテーション等で学生に説明をしている	特になし	感染状況に留意しながら定期的に学生に対して説明をしていく予定です。
265	橘草学園短期大学			①ほぼ全員理解	年度当初の在学生ガイダンス及び新入生オリエンテーションにおいて周知・説明を行っている。		学生満足度アンケート及び授業アンケートを実施
266	木更津工業高等専門学校						
267	東京学芸大学			②大多数が理解	大学HP、学内連絡ツールで周知、また、オリエンテーションで説明するなど、様々な機会でも伝えており、理解されている。		大学HP、学内連絡ツールで周知、また、オリエンテーションで説明するなど、様々な機会でも伝えていく。
268	東京大学	特定の学部等やキャンパスにおいて面接授業の比率が少なくなっている状況にはない。		②大多数が理解	令和3（2021）年度から総長に就任した藤井総長の下で、本学が目指すべき理念や方向性をめぐる基本方針として「U Tokyo Compass 多様性の海へ：対話が創造する未来」が、2021年10月に策定された。以降、総長自ら学生との対話の機会を設けるなど、学生の意見を聞き出す対応が行われ、学部学生からはこの2年間少なかった対面授業について、その実施を要望する意見が少なからず出されている。そのような意見の状況を踏まえて、令和4（2022）年度の授業実施方針の基本方針として、学部科目については、対面を主体として実施することを2022年7月に決定した。そのほか、各学部の専攻科目のうち、4月からの対面授業の実施について各学部における準備が順調に進み、学務システムにおけるシラバスの項目として授業の実施形態（対面授業、オンライン授業等の別）が公開されることにより、その周知が既に行われている。学生も来年度の授業内容について各自が確認し、対面授業の履修に向けた準備を進めているところから、本学の基本方針については理解を得ているものと考えている。		面接授業と遠隔授業を併用する予定ではあるが、ほとんど（8割以上）の授業を面接授業で行う予定であるため、特段の予定はない。
269	東京医科歯科大学	各学部学科・専攻の1年生が在籍する国府台キャンパスの教養部については、学生に大学での学修に慣れてもらうとともに、入学後に新たな人間関係を構築するための、感染予防に十分留意した上で、面接授業の割合を増やしている。また、各学部学科・専攻の属学年については、臨床実習など対面で実施する必要があるため、面接授業の実施比率が高まっている。		②大多数が理解	学内外の仲への掲載や全学メール等で、新入生及び在学生に対して、授業方針を周知しており、大多数の学生が授業の形態等について理解している。	特になし	
270	東京外国語大学	該当なし	該当なし	②大多数が理解	ホームページに学長メッセージ及び教務関連まとめページを掲載し、令和4年度の授業形態を案内している（特設の問い合わせも理解を得ていると判断する）。	該当なし	・ホームページに掲載している教務関連まとめページを更新し、充実させる。 ・学修相談相談窓口として設置しているアカデミック・サポート・センターを活用する。
271	東京芸術大学	特定の学部等やキャンパスにおいて異なる状況とはなっていない。	面接授業の比率は少なくなっていない。	②大多数が理解	定期的に学生へ向けアンケート調査を行っている。その回答から大多数の学生が理解しているとの判断に繋がった。	大多数の学生は、授業の形態等について理解・納得している。	特に予定していない。
272	東京工業大学	—	—	②大多数が理解	「2022年度前期（第10・第20）の授業について」、ホームページで在学生及び保護者へ周知した。	—	新入生へは、新入生オリエンテーションで説明する。
273	お茶の水女子大学			①ほぼ全員理解	授業の実施方針については、学生アンケートを採り要望を蒐集した上で決定している。また、その結果については学生向けのメールマガジンやホームページにおいて周知しており、学生の理解は得られている。		授業の実施方針については、学生アンケートを採り要望を蒐集した上で決定している。また、その結果については学生向けのメールマガジンやホームページにおいて周知しており、学生の理解は得られている。
274	東京農工大学						
275	電気通信大学	該当なし	該当なし	②大多数が理解	学生には令和4年度前期は原則面接授業となることを周知しており、理解はしているはずである。一方、納得しているかどうかに関しては、そもそも様々な理由があることは承知しており、全員の完全な納得を得ることは難しいし、そこを目指すよりも大学としてきちんとした方針を打ち出して徹底よく説明していくことが大切だと感じている。たは、現時点で全学不満足率の取組一環としてであることから感懐すると、多くの学生は納得しているのではないだろうか。	該当なし	現在検討中
276	一橋大学			②大多数が理解	令和3年度から引き続き、令和4年度も、感染拡大防止に万全を期しつつ、可能な限り数多くの科目を対面授業とする方針について、令和3年9月に学内ポータル・メール・大学HPサイト上で周知をし、感染拡大防止と学務機会の確保の両立に向けた取り組みへの協力案をしている。その結果、これまでどのよう、学生からの苦情等はあておらず、現方針を維持することができている。 また、令和3年度中には、学生・教職員における感染拡大防止の取組（「3つの密（密接・密接・密閉）」の回避や感染リスクが低減する「5つの場面」の徹底、検温結果記録表作成、マスクの着用、適度な換気、石けんによる手洗いや手指消毒用アルコールによる消毒の励行など）を徹底してきた。このため、令和3年度中には、授業自体を縮小する感染事例は確認されていない。引き続き感染対策を講じたうえでの対面授業の機会を確保することに努め、状況を注視しながらこの方針を継続する予定である。		令和4年度の授業方針について、令和3年9月に学内ポータル・メール・大学HPサイト上に掲載しており、引き続き周知を徹底する。 新入生に対しては、副学長からのメッセージで授業方針等について周知している。

No.	学校名	学部・キャンパスによって割合に差がある場合の理由	学部・キャンパスによって割合に差がある場合の今後の対応策	学生の理解	学生の理解状況について調査理由	学生の理解状況について一部の理由で異なる状況となっている場合があればその状況・理由	学生の理解・納得を得るために予定している取組
277	政策研究大学院大学			②大多数が理解	新入学生に向けては、入学ガイダンス、在学生についてはメール等で本学のコロナ禍における対応の説明を行っている		教員向けにオンライン講義の習熟度を高めるためマニュアルの更新や、学生向けには通常実施している授業アンケートからオンライン講義に対する意見を拾い上げるなど、学生の意見を聞き取り組みを引き続き実施する。また、ハイブリッド講義を確実に実施するために、機器等を購入するなど講義環境を整える
278	東京海洋大学						
279	東京都立大学						
280	東京都立産業技術大学院大学			④把握していない	現段階で授業の方針（ハイフレックス型授業）について、学生から意見を把握する機会を設けていないため。		授業評価アンケート等で学生からの意見を随時確認し、必要に応じて授業方針の改善を検討していく。
281	ルーテル学院大学	1学部、1キャンパスのため該当せず	1学部、1キャンパスのため該当せず	①ほぼ全員理解	昨年度後期と同じ対応で、その時点と比較して新型コロナウイルスの影響が改善されていない状況下で、学生向けには、学長名で大学の方針を伝え理解していただいている。		後期に向けて、全面対面での授業が可能か学内で検討している。
282	東京富士大学						
283	三育学院大学	千葉県キャンパスは学内寮にすべての学生が居住しているため、コロナ感染のリスクが確認された後は、対面授業を基本としている。東京校舎は各住居からの通学のため、感染予防と密を避けるため対面と遠隔授業を組み合わせて実施している。ワフアンの回線容量が90%以上であることも対面授業を行える判断している		②大多数が理解	密を避けるために学外の大きな教室を借りているので、そこへの通学に対して該当学年に学生に不満がある。		コロナ禍により遠隔授業も認められたので授業内容により、それぞれを組み合わせた授業形態を構築していくことになる。
284	東京福祉大学短期大学部			②大多数が理解	オンライン、対面を半々に行っているがオンライン授業にもきっちりご出席いただけているため。		対面授業への参加制限の緩和
285	跡見学園女子大学	該当する状況なし。		②大多数が理解	学生アンケートの結果による。	該当する状況なし。	なし。
286	文京学院大学						
287	目白大学			①ほぼ全員理解	3月に授業方針の告知を大学ホームページで行い、授業開始前にシラバスにて、全科目の授業形態の情報発信、及び「遠隔授業情報閲覧」でコマごとの対応について学生へ情報発信しており、特に学生から授業に対する意見や不満は出ていない。		学生に授業評価アンケートを実施し、結果を公開すること、教員による自己点検から、授業の質の改善に努める
288	東京成徳大学						
289	東洋学園大学	学部やキャンパスによる違いはなし	学部やキャンパスによる違いはなし	④把握していない	面接の授業を望む声も聞くとオンラインにせざるをえない部分があるため	特になし	以下2つの件について学生へ発信していきたい。 ・本学のキャンパス立地から、大人数科目の授業はオンライン授業で開講することにより履修者人数を制限することなく受講できるメリットがある。 ・1限や6限など教室の空き時間が多い時間帯の授業を中心にオンライン授業から対面授業に変更していくことで対面授業が少なくなると感じている学生の希望に応えていきたい。
290	帝京平成大学						
291	青山学院大学						
292	上野学園大学						
293	大妻女子大学			①ほぼ全員理解	令和3年度から継続した方針であることもあり学生からの問合せ等もなく、また令和3年度に実施した授業アンケートにおいても学生から異論を唱える意見はほとんど寄せられていないため。		令和3年度同様対面授業が主体のため、クラス指導主任やゼミ担当教員との対話、また大学からの積極的な情報発信の継続により、学生の理解・納得、安心感を深めていきたいと考えている。
294	学習院大学			②大多数が理解	令和3年度に実施した授業評価アンケートにて、実施方法（遠隔、対面、併用）についての意見を問う項目を設けた。アンケートに回答した大半の学生(約76%)が現行の実施方法のままでよいと回答している。令和4年度は、対面授業を増やす方針へと変更（対面、比率を約7割〜7割とする予定）であるため、より学生の理解、納得が得られるのではないかと考える。		授業方針等の変更を行う際には、引き続き大学HPや学内ポータルサイト上にその内容を随時公開し、学生や保護人への周知を図る。
295	共立女子大学						
296	慶應義塾大学						
297	工学院大学			②大多数が理解	授業の形態等について全学生へ通知と説明を尽くしており、新入生へ向けとも入学早々に説明を行うなどを経て、ほぼ全ての学生が理解と納得をしている。		繰り返し説明。
298	國學院大			②大多数が理解	学内システムやホームページ等として繰り返し学生に周知・徹底をしているため。		学内システムやホームページ等とおして繰り返し学生に周知・徹底はしておりますが、アンケートを実施することによって学生の理解や納得の度合いを確認し、改善に努めたいと思います。
299	国士館大学						
300	駒澤大学						
301	栄光女子大学			①ほぼ全員理解	学生・保護者に対しては、3月1日に、2022年度の授業については原則として対面授業を実施する方針とし、ただし3密を避けるために一部の授業は遠隔授業とする旨のメッセージを事前に送っています。これらのメッセージに対し、学生及び保護者からの問い合わせはほとんどありません。そのため、ほぼ全ての学生が、授業の形態等について理解・納得しているのではないかと考えております。		授業アンケート等により、学生の状況や意見を把握すると共に、カリキュラムアドバイザー等による履修相談等で丁寧に説明を行います。また適切に情報を発信し、学生の理解を得るよう努めます。
302	芝浦工業大学			①ほぼ全員理解	授業方針を全学生へ案内しているが、特段反対意見などは、あがっていない。		学生上層団体との意見交換会の実施、2020年度から継続して実施している遠隔授業に関するアンケートの実施

No.	学校名	学部・キャンパスによって割合に差がある場合の理由	学部・キャンパスによって割合に差がある場合の今後の対応策	学生の理解	学生の理解状況について調査理由	学生の理解状況について一部の理由で異なる状況となっている場合があればその状況・理由	学生の理解・納得を得るために予定している取組
303	順天堂大学	キャンパス所在地における感染拡大状況により異なる。	特になし。	②大多数が理解	【医学部】 ・各学年の新年度オリエンテーションにおいて説明しており、否定的な質問や苦情等が寄せられていないこと。 ・オンライン授業に関する学生アンケート等において、産学講義のオンデマンド配信授業が肯定的（自分のペースで学習できる、繰り返し復習もできるなど）に受け入れられていること。 【スポーツ健康学部】 ・授業方針などは、年度学生に周知しているため。 【国際教養学部】 ・授業形態等については学生用HP、学生用ポータルサイト（Juntendo Passport）、メールで配信し、周知が徹底されているため。 【国際教養学部】 ・1月から、学級HP上で、次年度授業方針を学生向けに公開し、説明している。 ・新年度オリエンテーションの機会を通じ、方針を説明する。	【医学部】 ・知識の伝達が中心の産学講義についてはオンデマンド配信型の授業が肯定的に受け入れられているが、一方で、実習（自然科学実習、基礎医学実習、体験実習、臨床実習）に関しては対面を望む声が多いことから、COVID-19の流行状況により、やむを得ない場合を除いては、対面授業での実習を原則としている。	【医学部】 ・産学講義のオンデマンド配信については、学習効果の向上を目的としたコンテンツを作成するなど、質の向上に取り組み予定である。 【スポーツ健康学部】 ・新学期ガイダンスで説明。 【国際教養学部】 ・継続して、学部HPや教学システム、メール配信等を活用していく。
304	上智大学	特定の学部において異なる状況はない。	該当なし。	②大多数が理解	方針決定、公表の後、特に問題となる問い合わせやご意見等が寄せられておらず、在学生、新入生ともに新学期の準備を進めている様子が見受けられるため、②と判断した。	該当なし。	特に予定なし。
305	昭和薬科大学			④把握していない	このことに特化した調査などは実施していないが、授業方針に関するクレームや要望事項もほぼないため、概ね理解していると考えております。		オリエンテーション、ガイダンス時に説明
306	昭和女子大学						
307	杉野服飾大学						
308	成城大学						
309	聖心女子大学			①ほぼ全員理解	大学公式WEBサイトにて公表するとともに、学内の教学支援システム「Sophie」（ソフィー）にて公表し、学生全員に周知しました。また、本学では遠方地区在住の学生の確保・確保などに対応し、授業形態の変更といった重要事項の公表時は3週間前を目安としております。そのため、4月1日の3週間前（3月10日）に公開するなど、十分な告知期間を待ちました。	特にありません。	コロナウイルスを含む学校保健安全法に定められた感染症に罹患したりワクチン接種日で欠席せざるを得ない（出席停止（公欠）にらざるを得ない）学生に対しては、授業については可能であればハイブリッドやオンデマンドの対応を授業担当者に依頼しています。学期初めのガイダンスや各種の説明会などの資料等についてはオンデマンドで提供するなどしています。また、学生からの質問・疑問はフォームに寄せてもらい個別に回答するなど、一人も取り残さない体制で丁寧に対応しています。
310	清泉女子大学			①ほぼ全員理解	授業の実施方法について明確な方針を定め、大学公式Webサイト、学生ポータル等を通じて繰り返し周知している。		今後も授業の実施方法に係る方針について、大学公式Webサイト、学生ポータル等を通じて丁寧に説明する。
311	聖隷加国際大学	該当なし	該当なし	②大多数が理解	学期ごとに授業方針について学生へメール配信し、これに対する個別の要望が学生より出された場合には内容に応じ全て回答し理解を得ている。	2020年度入学生について、大学の方針へ理解は得られているが、過去2年間コロナ禍で登校機会が少ない大学生活となったことを残念に感じる声も寄せられている。	大学の方針を都度説明し、これに対する学生の反応に細やかに耳を傾ける。
312	大正大学						
313	高千穂大学						
314	拓殖大学	外国語学部・工学部は、オーラルコミュニケーション関係授業、演習・実験を伴う科目が多いことから、他学部 비해 対面授業の比率が高い。	該当なし	②大多数が理解	理解していなければ履修登録できないが、殆どの学生は履修登録を行っている。そのため新入生・在学生对し、それぞれガイダンスも実施している。また、履修登録していない学生の多くは、理解していないことが原因で登録していないわけではない。	特になし	特になし
315	多摩美術大学	該当なし	該当なし	②大多数が理解	HP、印刷物（提示物）及び、研究室からの働きかけを通じて十分な理解を得られていると考えております。	該当なし	問の取り組みを継続して続けていく予定です。
316	中央大学			④把握していない	本学の授業実施方針については、全学生に対するメール等での周知に加え、公式Webサイトにも公表しているが、その内容に対して個々の学生がどこまで理解・納得しているかについては、具体的な把握は行っていない。ただし、学生に対するアンケート調査の結果における各授業形態に対する満足度や要望等を確認する限りにおいては、今後における改善点も見受けられるもの、学生の認識と授業方針自体の大きな齟齬は見受けられないものと見られる。		学生の理解や納得を得るためには、授業の形態の知照を問わず、教育の質の担保がなされていることが極めて重要であることから、まずもって提供する授業の質的向上に取り組みしつつ、各種アンケート結果等から確認できる改善点について全学で共有し、学生の理解に係る状況の把握を行いつつ、学生の声を踏まえながら可能な限り授業の改善に取り組みしていく予定である。
317	東京医科大学	臨床実習または臨床実習においては、感染対策を十分に確保したうえで、医学・医療の知識・技能の習得を行うため。		②大多数が理解	オンライン、またはオンデマンド授業は、学生アンケートからみても公表であるため。		オンデマンド授業においても質問時間のようなオンライン講義を導入する。
318	東京家政大学						
319	東京家政学院大学	栄養系の学部では、実験・実習について対面で行うため、遠隔での授業の割合は低くなる。		②大多数が理解	在学生については事情を理解していると考え、新1年生に対してはより説明が必要と考え、	新1年生に対しては、遠隔授業受講の方法や本学の事情などの理解が促しと考えられるため、	オリエンテーション期間中は全面的に対面とし、遠隔授業に関する説明を強化している。
320	東京歯科大学						
321	東京慈恵会医科大学	全学共通の状況となっている	面授授業の比率が少なくなっている状況はない	②大多数が理解	週に1回以上の情報発信を行いつつ、個々の学生アンケートで寄せられた意見を教員にフィードバックし上で回答し、その回答に対する学生のさらなる意見を求める対話を繰り返し対話を継続しているから。	全学共通の状況となっている	現在の取組を継続的に行い、学生の意見だけでなく、教員の意見も踏まえて改善を行っていく
322	東京女子大学			②大多数が理解	本学では遠隔授業とすることよりも対面授業とすることへの問い合わせが目立つ。現在の実際の感染状況下で対面授業とすることに対して、学生の一部から不安を抱いている旨の問い合わせが寄せられている。		一つ一つの問い合わせに丁寧に対応する。
323	東京女子医科大学	異なる状況なし		①ほぼ全員理解	学年提示板（ポータルサイト）にて、新年度のスケジュールを周知することに加えて、登校初日のオリエンテーションで詳しく説明をしている。	異なる状況なし	学年提示板（ポータルサイト）にて、新年度のスケジュールを周知することに加えて、登校初日のオリエンテーションで詳しく説明をしていく
324	東京電機大学						
325	東京農業大学			①ほぼ全員理解	次年度の授業方針は、多くの学生が要望している対面授業を基本としていること、また学生用ポータルサイトにおいて、授業方針や授業形態等について丁寧に周知しており、これに対する要望等はほとんど無いことから、ほぼ全ての学生が理解・納得していると判断した。		今後も授業方針等を学生に連絡する際は、結果のみを連絡するのではなく、決定に至った背景や状況、理由等を丁寧に説明していく。
326	東京薬科大学			②大多数が理解	コロナ禍における授業の実施方針については、3月に次期HPにて公開しており、大きな反対意見は出ていない。		大学としての方針を継続して大学HPを通じて公表していく。
327	東京理科大学						

No.	学校名	学部・キャンパスによって割合に差がある場合の理由	学部・キャンパスによって割合に差がある場合の今後の対応策	学生の理解	学生の理解状況について調査理由	学生の理解状況について一部の理由で異なる状況となっている場合があればその状況・理由	学生の理解・納得を得るために予定している取組
328	東洋大学			①ほぼ全員理解	本学ホームページにおいて「新型コロナウイルス感染症に際する対応について」という特設ページを設け、大学全体の方針を中心に情報発信をしている。さらに、各学部、キャンパスの特性に応じた汎用的な対応を認めていることから、その主体学部等や事務局で適切なアナウンスを随時に行っている。その結果、学生からの問い合わせ状況もごく少数にとどまっております。またその問い合わせ内容にも、ほぼすべての学生が、授業の形態等について理解、納得していると考えて良いと判断する。		「開20」で示したホームページでの発信を継続的に行うことにはまず主眼を置いた対応を続ける。各学部、キャンパスにおいても、きめ細かい対応を行うことで、引き続き学生の理解や納得を促していきたい。
329	東京音楽大学						
330	二松学舎大学						
331	日本大学	学内施設のキャパシティや授業形態により感染防止対策がとり難い一部の学部では、遠隔授業の割合が多くなっている。	感染状況に応じて、教室での密を避けるための制限等を見直し、対面授業を優先していく予定。	②大多数が理解	早期に学生ポータル及びホームページを通じて説明を行っており、方針に対する学生からの意見は挙がっていないため。	なし	学部長から学生へのメッセージ配信、満足度調査の実施。
332	日本医科大学			②大多数が理解	学生へのアンケートの結果を踏まえたの回答です。		学生アンケートの継続と、学生へのフィードバック。
333	日本歯科大学			①ほぼ全員理解	オリエンテーション等で趣旨を説明しているため		オリエンテーションや保護者説明会で、継続的に丁寧に説明していく。
334	日本社会事業大学	非該当	非該当	②大多数が理解	①在学生には学部長名の授業実施方針をWEBポータルで配信し、②授業形態を示した時間割を在学生にWEBポータルで配信しているため。	非該当	在学生オリエンテーション時に改めて資料を提示し説明を行う。
335	日本女子大学	異なる状況とはなっていない	特定の学部等やキャンパスにおいて、面接授業の比率が少なくなっている状況はない	②大多数が理解	2021年12月に2022年度授業実施方針についてホームページに掲載された。3月下旬には学生向けにシラバス等が公開されるとともに、4月から対面授業である旨が重ねて周知されている。特に問い合わせはない。	なし	4月履修ガイダンスにおいて周知を行う予定
336	日本女子体育大学			③大多数とは言いえない	大学IPでは事前公表しているが、4月のオリエンテーション時に説明するため		4月にオリエンテーションを行う
337	文化学園大学						
338	法政大学			④把握していない	令和4年度前期の授業方針については、学生に対してメール・ポータルサイト・HP等を通じて理解をしてもらえるように丁寧に説明を行っている。ただし、現在までに学生の理解・納得の状況調査については、おこなっていない。今後、学生へのアンケートなどを進めて把握をしていく必要があると判断している。		引き続き、メール・ポータルサイト・HP等を通じて理解・納得をしてもらえるように丁寧に説明をおこなっていく予定である。
339	星薬科大学	本学は薬学部のみで、キャンパスは1つである。		③大多数とは言いえない	1/6(5)で回答したように、大学において学生生活を送ることを配慮した決定であるため、そのことについての調査やアンケートは実施していない。		学生により新型コロナウイルスに関する意識や大学生活の捉え方が異なるため、令和4年度の授業が進んでいく中で、学生の考えを確認したいと考えている。
340	武蔵大学			②大多数が理解	学生ポータルサイトや大学公式Webサイトで周知している。		現状の取組み内容を継続する。
341	東京都立大学						
342	武蔵野音楽大学			①ほぼ全員理解	ポータルサイトにより周知しているが不安や疑問等の問い合わせはない。		感染状況が好転した場合には、面接授業の拡大について、あらためて検討する
343	明治大学						
344	明治学院大学	3、4年次（ゼミなどの少人数授業が多くなる学年）と、1、2年次（初習語等の語学授業が多い学年）でキャンパスが分かれているため	対面授業が教育の基本であるという大学の方針を踏まえ、感染状況を注視しながら、1/2定員のもとで、遠隔授業から面接授業へ切り替えるなどして面接授業の割合を高めていきます。これは、状況をこまめに確認しながらできる対応と考えています。	①ほぼ全員理解	2021年12月19日付けで、当時の新型コロナウイルス感染者数等を踏まえ「2022年度の授業について」(https://www.meiji.ac.jp/news/archive/2021/EnEoJsk.html) という文章を大学ホームページで公開し「2022年度の授業を、原則として対面形式で実施します。」と、在学生・保護人・学域生に向けて案内いたしました。これは、なるべく早く、対面で実施することを伝え、安心して新学期を迎えて欲しいという意図によるもので、感染状況によっては、今後この方式の変更があり得ることを周知するとともに、「新型コロナウイルス感染症に対する事業運営の改善」(https://www.meiji.ac.jp/covid-19/mg_BP.pdf) を設定・公開し、感染状況によって制限レベルを設定し、制限レベルによっては、授業形態における対面と遠隔の併用を行うことを告知しています。しかしながら、その後のオミクロン株の感染拡大を踏まえ、制限の撤廃は困難であると判断し、2022年3月4日付けで「2022年度春学期の授業について」(https://www.meiji.ac.jp/news/archive/2022/p110320.html) という文書を大学ホームページで公開し「2022年度春学期の授業は、対面授業と遠隔授業の併用」ということを伝えることとなりました。一方で、対面授業が教育の基本という本学の考え方には変わりはないが、「今後コロナ禍が収まっていく場合を想定し、一部の授業を学期途中で遠隔から対面へと切り替えることができるように準備を進めている」ことも伝えていきます。上記の学長からのメッセージ、ホームページ掲載とあわせてポータルサイトや学生への個別通知にもお伝えされており、これまでの掲載とあわせてポータルサイトにおいて丁寧に説明を重ね、それに対する問い合わせが増えるようなこともなかったため、ほぼすべての学生が理解・納得していると考えております。	学部・学年において理解・納得の違いがあるとは考えておりません。	前述の通り、最新の案内では「2022年度春学期の授業は、対面授業と遠隔授業の併用」となっておりますが、新型コロナウイルスの感染状況が好転している場合には、少しでも多くの授業を、学期途中であっても遠隔から対面へと切り替える予定です。その際は、学生教員への情報伝達をなるべく早く、両面的な配慮を持って通知をし、授業に混乱をおきないように細心の注意を払います。
345	明治薬科大学						
346	立教大学	特になし	特になし	①ほぼ全員理解	定時的に大学の方針を学生に周知するとともに、学部や事務局において、様々な場面で大学の考え方を説明している。	特になし	今後も継続して、大学方針の周知、説明に取り組む。
347	立正大学						
348	早稲田大学			④把握していない	現時点では、各学生、保護者からの問い合わせベースでのみ把握している状況であり、今後学生アンケート等を通じて把握に努めていく。		今後学生アンケート等を通じて把握に努めていく。
349	国際仏教教学大学院大学						
350	学習院女子大学			②大多数が理解	授業形態に関して、学生に対しては本学ウェブサイトや学内ポータルシステムなどで、予告も含め複数回、方針を伝えている。また、学期初めガイダンスなどにおいても、授業形態を詳しく説明しており、対面と遠隔の利点を提示する中で、履修上の留意点も説明している。また、履修上の理由から対面参加が困難な学生に対しては、遠隔で授業を受ける選択肢も与えており、個々の状況に合わせた学修が可能となるように設計している。		必要に応じて学生アンケートを実施する。
351	東京国際専門職大学	該当しない。	該当しない。	①ほぼ全員理解	本学では Slack というコミュニケーションツールを導入しているため、授業形態（面接型オンラインのみ）について事前から授業形態についてその旨を伝えたうえで全体に告知しているのはもとより、授業形態（時間割）について学生からの質問を逐次受けられるようになっている。なお、過去に質問や要望を受けたこともあり、全学生・全教職員が専らこのツールに固執したわけではない。加えて、全学生に担任という学生の生活をサポートする教員を置いており、全体で質問が詰まらずに済んでいない。学生についても、担任を通じて面談等のコミュニケーションを取るといった配慮を行っている。よって、「ほぼ全ての学生が、授業形態について理解・納得している」と考えられる。	該当しない。	引き続きコミュニケーションツールを用いて学生と密に連絡を取り合うことで、学生個々の理解・納得を得られるように精進する。

No.	学校名	学師・キャンパスによって割合に差がある場合の理由	学師・キャンパスによって割合に差がある場合の今後の対応策	学生の理解	学生の理解状況について調査理由	学生の理解状況について一部の範囲で異なる状況となっている場合があればその状況・理由	学生の理解・納得を得るために予定している取組
352	東京保健医療専門学校						
353	情報経営イノベーション専門学校						
354	大学院大学至善館			①ほぼ全員理解	適宜、クラスレップ(クラス代表)とのミーティングを実施し、彼らの学修の進捗状況や本学に対する意見を聞いているが進捗授業について、とても好意的に受け止めてもらっている。		本件に限らず、本学では定期的にクラスレップ(クラス代表)とのミーティングを実施しており、学生の抱える疑問や大学に対する要望を後い上げる役割を果たしている。本件についても、このミーティングにより学生の理解や納得感において課題を把握した場合には、追加の説明を行うなどして適切に対応している。
355	国際ファッション専門学校	特定の学部等や特定のキャンパスにおいて異なる状況となっている場合はない。	該当なし。	①ほぼ全員理解	期初のオリエンテーションにおいて進捗授業の方針について学生に説明している。その際に特に学生からの質問がなく、納得しているものと考えている。	一部の範囲で異なる状況となっていないので該当しない。	学生の理解を得るために折に懇話説明をしていくこと、学生から質問、意見があった場合にはすくなくに対応を検討することを予定している。
356	駒沢女子大学						
357	薬師学院大学						
358	桜美林大学			②大多数が理解	事前に全学生に授業形態について周知をおこなっており、授業形態に対する問い合わせやクレーム等は発生していないため。		学生に対する授業評価アンケートを継続的に行う。
359	国立音楽大学						
360	国際基督教大学	該当なし	該当なし	④把握していない	該当なし	該当なし	特になし
361	白百合女子大学			①ほぼ全員理解	学長、担当副学長からの状況説明メッセージを大学HP等で周知している。また、本学における行動指針レベルを設置しており、状況に異変がある毎に学生へのレベル周知を行っている。その為、学生の混乱も起こっていない。	特になし。	現状の方法以外に取り組む予定の事項は特になし。
362	成蹊大学			③大多数とは言えない	令和4年度前期の授業の形態については、まだ学生へ周知をして間もないため、客観的に把握していると言えない。しかしながら、令和4年度の授業形態を検討する際は、これまでの学生アンケートを十分考慮して決定している。		令和4年度前期の授業形態について、学生が十分に納得できるよう、丁寧な説明・情報提供に努める。また、実施を予定している学生調査(アンケート)において、授業形態に関する事項を分析し、必要に応じて学執行動で対策を検討する。
363	玉川大学						
364	津田塾大学						
365	帝京大学						
366	東京経済大学			②大多数が理解	授業の方針については、2021年1年度1期、2期と同様の扱いとしており、本学ホームページ、TKUポータルで授業方針・授業受講について通知しているため。		引き続き 本学ホームページ、TKUポータルで周知していく
367	東京女子体育大学						
368	東京神学大学						
369	東京造形大学	ご質問の状況にない。	ご質問の状況にない。	④把握していない	授業運営方針について、2021年12月より複数回に分けて通知しており、学生からの問い合わせ件数が少ないことから、概ね理解を得ていると推測できるが、実際にアンケートなどで状況を検証していないため④と回答した。	ご質問の状況にない。	ガイダンスや個別に説明するなどの対応を行う予定
370	桐朋学園大学						
371	日本獣医生命科学大学	-	-	①ほぼ全員理解	現在までに混乱なく授業の運営ができていたため。	-	カリキュラムガイダンスやポータルで周知する。
372	武蔵野大学	クラスサイズの小さい語学科目や演習科目の多い学科、あるいは対面実施の必要性の高い実習科目の多い学科では直接授業の比率が高くなる。一方、クラスサイズの大きい科目では、教室の二番対策(定員の制限)の影響により、オンライン授業を併用する必要性が高くなり、オンライン授業の比率が高くなる傾向にある。	教室の授業をオンラインで同時配信するなどのハイフレックス型授業を実施することを基本方針とし、大規模な改修を進めている。クラスサイズの大きい科目についても、オンラインツールを活用しながら教室での直接授業を中核(定員の制限)の影響により、オンライン授業を併用する必要性が高くなり、オンライン授業の比率が高くなる傾向にある。	②大多数が理解	令和4年度は、感染防止策を継続しながらも、キャンパスでの学びを中心とする教育を実施することを基本方針とし、大規模な改修を進めている。また、学生が履修計画を立てやすいように、シラバスに授業の実施形態(対面・オンライン)を明示している。	特になし	本学ホームページ等を通じて引き続き授業方針を周知・説明していく。また、継続的な授業改善を図るための授業アンケートを実施予定である。さらに、BPOに対応するための教室内の電源設備の拡充や、ハイフレックス型授業に対応するための教室機器の改修を行い、オンラインツールを活用した学修環境の整備を進めている。
373	武蔵野美術大学			②大多数が理解	大学の公式方針として大学Webサイトへ公開しているほか、学生ポータルサイトにて周知もおこなっている。		全体および学科ごとのオリエンテーションでの説明
374	明星大学						
375	和光大学			④把握していない	アンケート等は実施していない		オリエンテーション等の実施
376	杏林大学						
377	創価大学	大きく異なる学部はない。		①ほぼ全員理解	授業方針を決定する前に学生代表との協議の場を設けている。また、全学生にポータルサイトで周知するとともに、オンライン受講を希望する学生には申請をさせており、すでに申請受付を実施している。	オンライン受講希望の申請者の状況を見る限り、異なる状況はないと考えている。	常に授業実施方針を変更する前には、必ず学生代表の意見を聴く場を設けてから発表を行う。
378	日本文化大学						
379	東京工科大学	特定の学部等において直接授業の比率が少なくなっている状況はない。		①ほぼ全員理解	令和3年度も原則対面授業の方針のもと実施したため。	3月上旬に2022年度前期は原則対面授業、一部進捗授業と周知し、学生、保護者から特段意見が来ていないため。	大学で実施している感染対策の説明や学長名のメッセージの発信
380	日本赤十字看護大学	さいたま看護学部(埼玉県・大宮キャンパス)では令和4年度は全ての授業を対面授業で実施する予定です。これは同学部が開学3年目であり学生数が完成年度よりも少ないこと、令和3年9月に別館が完成し、大教室として運用できる教室が増えたことによります。		②大多数が理解	令和4年度の授業方針について、在学生に対しては新学期の始まる前(2・3月)に質問時間を設けて4月のイタダキに先回りして実施しています。新入生に対しては4月のガイダンスでも対面により丁寧な説明を行うこととしています。また、本学では学生の疑問や質問を誰でも発信できる方法として「WEB目安箱」を設置して、メールで意見や質問ができる体制としています。		現在の取り組みを引き続き継続し、必要な情報をできるだけ早く学生に周知できるようにすることとしています。また、本学は看護学大学院のため学生やその保護者におかれても実習についての情報に大きなニーズがあると認識しています。特にワクチン接種の有無による取り扱いなど不安を有している場合がありますので、接種の有無に伴う利益・不利益の無いことや臨地での実習の実施など、学生の不安を解消できるように取り組んでいくこととしています。
381	恵泉女学園大学	該当なし		②大多数が理解	事情によりオンライン授業の受講を申請することは可能であり、申請している学生がある。(基礎疾患のある学生へは申請の承認を検討する)	特定の学部学年の状況はない。	教室定員に対して、7~8割までの履修人数で教室を設定。
382	多摩大学						
383	東京純心大学						
384	嘉悦大学			②大多数が理解	オンラインへの変更によって教室定員による履修制限が緩和されたことにより、学修行動比較調査のアンケート結果において「履修しなかった授業を登録できなかった」という回答が大幅に削減されており、希望に見合った履修の機会提供に寄与したと考えられるため。		都度の情勢に沿った対応方針の臨機応変な対応策と、こまめな学生への周知
385	LEO東京リーガルマインド大学院大学			①ほぼ全員理解	ホームページやパンフレットで授業の形態等について事前に公表したうえで、新入生には入試説明会で、在学生にはオリエンテーションで説明を行っているため。		特ありません。
386	デジタルハリウッド大学	特別異ならない。	特になし	②大多数が理解	対面授業・オンライン授業それぞれの学修状況を、毎回の授業アンケートとクォーター毎に期末アンケートを配信し統計として把握しているため。	対面授業・オンライン授業それぞれの学修状況を、毎回の授業アンケートとクォーター毎に期末アンケートを配信し統計として把握しているため。	引き続き、アンケート等にて学生の状況を把握してゆく。
387	白梅学園大学						

No.	学校名	学部・キャンパスによって割合に差がある場合の理由	学部・キャンパスによって割合に差がある場合の今後の対応策	学生の理解	学生の理解状況について調査理由	学生の理解状況について一部の理由と異なる状況となっている場合があればその状況・理由	学生の理解・納得を得るために予定している取組
388	東京医療保健大学			①ほぼ全員理解	学生向けに、学長メッセージ動画の配信及び授業運営の状況について機関紙「遠隔授業だより」を提供し、学生による授業評価アンケート等で学生の意見をまとめて、次期学長の運営に反映している。		新入生に対してのガイダンスを対面で実施し、授業方法、遠隔授業でのPC操作などの説明を行う。
389	東京聖栄大学						
390	グロービス経営大学院大学						
391	文化ファッション大学院大学			④把握していない	調査を行っていないため。		特になし
392	大原大学院大学						
393	東京未来大学						
394	ハリウッド大学院大学						
395	こども教育宝仙大学	本学は1学部1学科の大学であり、一律である。	上記の通り該当しない。	①ほぼ全員理解	面接授業の選定にあたっては、授業アンケートにもとに学生の声も勘案し決定している。さらにその後の授業アンケートでも、学生の理解・納得が得られた結果を得ている。	本学は1学部1学科の大学である。	引き続き日頃のゼミ授業における学生の声の取上げや授業アンケートを行い、確認していく。
396	東京有明医療大学						
397	東京工芸大学			①ほぼ全員理解	昨年末より数度に渡り、令和4年度前期の授業方針を学生等に向けて発信しており、丁寧な説明を行ってきた。当該方針について、強い反対意見は届いていない。		緊急事態宣言が発出される等、状況が変わった折には速やかに大学として情報発信を行う。
398	産業能率大学	特定の学部/系において異なる状況になっていない。	特になし	①ほぼ全員理解	授業運営方針をHP等で告知し、学期初めのガイダンスの中でも説明している。	特になし	特になし
399	ヤマザキ動物看護大学						
400	東京医療学院大学			①ほぼ全員理解	ホームルーム等やWebシステムによって、全学生への通知連絡を実施している。(学校に対する不満等について、匿名で連絡できる仕組みがあるが、不満等は寄せられていない。)		さらに学生の意見を受けられるような機会を増やしていければと考えています。
401	事業構想大学院大学			①ほぼ全員理解	1年次生においては入学時に説明し、オリエンテーションから実施している。また、個人の希望に応じ学修方法を選択できることで、助かっているという声も届いている。2年次生は昨年度より継続している取り組みであり、要望に応じ改善している。		授業評価アンケートや個別面談で要望を収集予定
402	社会構想大学院大学			①ほぼ全員理解	入学前の説明会や個別面談で詳細を説明している。本学は少人数制の独立大学院のため、説明会を終ずに入学申し込みをする学生はいない。また、入学後も授業前の導入集に授業にて、くり返し説明をしている。		オンライン環境及び機器操作に不安を覚える学生には適宜サポートを行う。
403	帝京科学大学						
404	昭和大学			②大多数が理解	・遠隔授業の学修効果が高いと感じる学生も多く、一方で面接授業を実施している科目・シラバスおよび時間割の公開やオリエンテーション等の説明にて、令和4年度の授業の方針を学生が確認する機会を設けたため、理解していると考えられる。また、方針について学生からの意見がないことから、納得していると考えられる。		・年度始めのオリエンテーションで、その年の学修についての説明。 ・教育委員会への各学年学生・教育委員の参加。 ・年2回学生懇談会にて教員が学生と対面で意見交換。
405	宝塚大学						
406	東京福祉大学			②大多数が理解	オンライン、対面を半々に行っているがオンライン授業にもきっちり出席いただけているため。		対面授業への参加制限の緩和
407	愛国学院短期大学						
408	上野学園大学短期大学部						
409	大妻女子大学短期大学部			①ほぼ全員理解	令和3年度から継続した方針であることもあり学生からの問合せもなく、また令和3年度に実施した授業アンケートにおいても学生から異論を唱える意見はほとんど寄せられていないため。		令和2年度同様対面授業が主体のため、クラス指導主任やゼミ担当教員との対話、また大学からの積極的な情報発信の継続により、学生の理解・納得、安心感を深めていきたいと考えている。
410	共立女子短期大学						
411	国際短期大学						
412	駒沢女子短期大学						
413	栄誠女子大学短期大学部			①ほぼ全員理解	学生・保護者に対しては、3月1日に、2022年度の授業については原則として対面授業を実施する方針とし、ただし3密を避けるために一部の授業は遠隔授業とする旨のメッセージを事前に送っています。これらのメッセージに対し、学生及び保護者からの問い合わせはほぼありません。そのため、ほぼ全ての学生が、授業の形態等について理解・納得しているのではないかと考えております。		授業アンケート等により、学生の状況や意見を把握すると共に、カリキュラムアドバイザー等による履修相談等で丁寧に説明を行います。また適切に情報を発信し、学生の理解を得るよう努めます。
414	淑徳大学短期大学部						
415	女子栄養大学短期大学部						
416	女子美術大学短期大学部			①ほぼ全員理解	本学の令和4年度の授業方針については、令和3年11月段階で全学生に配信、HPに掲載した。在学生に対しては、日東的のクラス担任教員、助手がきめ細やかに授業サポートをするなかで説明し、理解を促している。また新入生に対しては大学方針を理解した上で入学手続きを行えるように、合格時の手続書類に併せてより平易な表現にて大学方針を封入、あらかじめ告知している。		個別の保護者・学生よりの問合せに対しては全学的に回答内容を統一化し、都度丁寧に理解いただけるよう対応していく。
417	杉野服飾大学短期大学部						
418	星美学園短期大学						
419	帝京大学短期大学						
420	帝京短期大学						
421	戸板女子短期大学	設問16回答のとおり、食物栄養科については資制的な運用としている。		①ほぼ全員理解	既に、前年度の授業形態について方針を学生に伝えている。現1年生(新2年生)は、令和3年度もハイブリッド授業(機材等々の授業)を継続することをメール、classroom(学生とのコミュニケーション)等で伝えている。新入生については、入学前に全入生を対象としたZOOM説明会(プレレクシ)にて、説明している。方針を伝えたのち、学生から質問、異議の連絡はないため、学生は理解・納得いただいていると理解している。		新学期に向け、オリエンテーションを実施するが、改めて方針、運営方法を説明し、学生の理解を得る予定である。また、自宅学習で登録することが半分以上となり、友達づくりに影響があると懸念されるため、本年度よりキャンパスアドバイザー制度を導入し、全職員が1人20名の学生を受け持ち、交流会や導入面談を行い、友達づくりの機会を作っていく。また、地方出身者の集まり、一人暮らし会等課外活動も充実させていく。
422	東京家政大学短期大学部						
423	東京交通短期大学						
424	東京成徳短期大学						
425	新渡戸文化短期大学						
426	東京立正短期大学						
427	東京音楽短期大学						

No.	学校名	学師・キャンパスによって割合に差がある場合の理由	学師・キャンパスによって割合に差がある場合の今後の対応策	学生の理解	学生の理解状況について調査理由	学生の理解状況について一部の理由で異なる状況となっている場合があればその状況・理由	学生の理解・納得を得るために予定している取組
457	横浜商科大学						
458	情報セキュリティ大学院大学			①ほぼ全員理解	在学生に対しては日常的に閲覧している学内ポータルサイトに、新入生に対してはバブルリンクサイトで令和4年度の授業開講情報について掲載・周知していることに加え、在学生、新入生とも、授業開始前にオリエンテーションで説明を行い、かつ、各学生の指導教員の責任において履修指導、履修登録を行なった。		全学的な丁寧かつタイムリーな情報発信と、研究室単位によるきめ細かいフォローの継続。
459	横浜薬科大学			②大多数が理解	学業開講の取組と感染拡大防止の両立を図るものとしてガイダンスで主旨を周知し、大多数の学生の理解を得ている。		必要に応じ、授業方針等について周知を図る。
460	麻布大学			①ほぼ全員理解	学生が意見を提出できる専用のメールアドレスを設置しているが、学生からの意見がない。(ハイブリット授業の取組を行った)		特になし
461	神奈川歯科大学			①ほぼ全員理解	新入生、在学生ともにホームページ、ポータルサイト、LMSによって周知しているため。		充分理解されていると考えるが、引き続きオリエンテーション、ホームページ等で説明を続ける。
462	鎌倉女子大学			①ほぼ全員理解			
463	湘南工科大学						
464	相模女子大学			②大多数が理解	・全科目シラバスに、面接授業・遠隔授業(オンデマンド/リアルタイム)の回数をはっきりと明記 ・オンライン授業のガイドラインと面接授業の留意事項を配付および公開している		LMSでの周知
465	洗足学園音楽大学						
466	神奈川工科大学	全学的に共通基盤教育科目(1~2年)を中心に遠隔授業形式として実施する方針のため、共通基盤教育科目の配当が少ない学科は、面接授業の比率が極端に少なくなっている学部はない。業の比率が高くなっている。		②大多数が理解	在学生および保護者に向けては、2月下旬に大学HPで次年度の授業実施方針を公開すると共に、全学部に対してメール配信することで周知しており、特にクレームは発生していない。また、新入生に対しても合格者ポータルサイト内で同様の方針を周知しており、こちらもクレームは発生していない。	特定の学部、学年において、理解、納得の度合いに差はない。	引き続きポータルサイトを活用し、積極的に情報を発信する。また、保護者ポータルサイトの充実を図り、理解・納得を得るための保護者への情報提供も積極的に行う。
467	昭和音楽大学						
468	桐蔭横浜大学			①ほぼ全員理解	授業開講の方針は、学生に示しており、問い合わせなどがあれば窓口で対応を行っており、これまで授業形態に対する問い合わせが少ないため、情報・納得していると考えられている。 なお、通学困難な学生に対しては遠隔を併用するなど柔軟に対応している。		都度、授業開講の方針を示しつつ、特別な場合には柔軟に対応していく。
469	東洋英和女学院大学	なし。		①ほぼ全員理解	本学ホームページ(2021年12月1日付)「2022年度授業形態の本学方針について」の中で「年度を通し可能な限り対面授業を推進する方針」としているため。	なし。	学生が十分に納得できるよう、丁寧な説明・情報提供に努める。
470	松蔭大学						
471	田園調布学園大学			①ほぼ全員理解	学内のポータルサイトを通じて、開講方法を告知しているが、学生等からの意見はでていない。		ポータルサイト等を通じて、さらなる周知をはかる。
472	横浜美術大学			④把握していない	既に令和4年度の授業方針を通知済みですが、学生からの意見は寄せられていない。		ガイダンスやWebポータルにて、改めて周知する。
473	日本映画大学						
474	横浜新英大学						
475	湘南医科大学						
476	湘南鎌倉総合大学						
477	和泉短期大学						
478	鶴見大学短期大学部	無回答	無回答	④把握していない	無回答	無回答	無回答
479	横浜女子短期大学						
480	昭和音楽大学短期大学部						
481	小田原短期大学	通信教育課程においては、面接授業のための通学が長期、長期間におよぶことから、実習・実技等を除いた科目を遠隔授業にて実施する。	地域の感染者数や行政の感染対策に係る方針を踏まえ、総合的に判断する。	①ほぼ全員理解	入学時から遠隔授業と面接授業の併用による授業であることを周知し、ミスマッチが起こらないよう配慮している。		引き続き、学生および保護者への周知に取り組み、理解を求めていく。
482	鎌倉女子大学短期大学部			①ほぼ全員理解	新入生、在学生ともにホームページ、ポータルサイト、LMSによって周知しているため。		充分理解されていると考えるが、引き続きオリエンテーション、ホームページ等で説明を続ける。
483	相模女子大学短期大学部			②大多数が理解	・全科目シラバスに、面接授業・遠隔授業(オンデマンド/リアルタイム)の回数をはっきりと明記 ・オンライン授業のガイドライン/面接授業の留意事項を配付・公開している		LMSでの周知
484	洗足こども短期大学						
485	神奈川歯科大学短期大学部			②大多数が理解	アンケート実施の結果		委員会にて検討中
486	湖北短期大学			①ほぼ全員理解	面接授業を原則としていること、感染予防対策を施し感染状況を踏まえた対応を行なっていることから、学生は授業の形態等について理解・納得していると思われる。		ガイダンスやポータル等で授業の実施方針や感染予防対策を説明・周知し、より学生の理解や納得が得られるよう取り組んでいく。
487	聖マリアンナ医科大学						
488	上智大学短期大学部						
489	新潟大学	令和4年度前期は、授業実施方針として対面授業を基本とする科目(英語、英検・英音・英習等)を掲げ、他の授業科目についても、感染防止対策を講じつつ、可能な限り対面による授業を実施するとしている。ただし、150人を超える授業は非対面型または対面と非対面の併用により実施する。また、授業の特性や学生の状況に基づき授業担当教員の判断を交え、各学部各専攻の判断で対面授業から非対面へ、逆に非対面から対面へ変更することも可能にしている。この方針は全学的に周知・共有されているが、2~5回着した理由により医学部医学部等のため構成されているキャンパスは、主要なキャンパスよりも面接授業が多くなっている。	主要キャンパスの面接授業50%台という数値について、非対面授業の中にも一部の授業回を対面で実施する科目もあるため、対面で授業を受ける機会が数字以上のものがある。この点も含めて、感染者の増えなどがない中で、4月の開始当初の半数字数としては妥当であると考えている。さらに対面の機会を増やす対策として、県内の感染者数の減少がみられた場合には、本学の感染症対策本部に諮ったうえで、当初非対面授業として設定された科目のうち、感染者が少ないなど教室容量で感染症対策を適切に講じられる科目については対面方式に変更するよう授業開講学部を通じて科目担当者に依頼する。	②大多数が理解	令和3年の7月にオンライン授業に関する調査を実施し、およそ3,000人の学生から回答を得た。調査時期の授業実施方針と令和4年度の授業実施方針はほとんど同一であるため、調査結果は令和4年度前期の方針についての学生の理解・納得の状況を推定する材料になると考えられる。調査の結果、「納得するほどに学習できること」「履修が何回もできること」、「教材がわかりやすいこと」、「自分のペースで学習ができること」、「授業を委ねながら調べものができること」、「他学部の授業も受けやすいこと」は、70%以上の学生がメリットである回答した。さらに、70%以上の学生は、オンライン授業の実施状況について、「授業の目的、目標、計画及び課題の評価基準が適切に示されている」、「学生に対する指導やツールの使い方の技術的な支援が十分に提供されている」、「履修制約の対応がはさまれている」、「1回が効果的に活用されている」と回答した。一方、70%以上の学生がデメリットであると思ったり負担に感じていることは、「授業を画面で長時間受けることに慣れること」、「課題の数が多いため、「一つ一つの授業を内容が濃い」という点であった。さらに、コロナ禍の感染状況、どの程度の割合でオンライン授業が実施されることを希望するかという質問について、個々の学生の回答を平均すると、大規模(100人以上の授業)は7割程度、中規模(50人程度の授業)は9割程度、小規模(10人程度の授業)が約9割であった。授業の規模に比べると、語学は5割弱、講義は5割半ば、実録・実習は3割弱といった結果であった。調査によると、本学の学生は、オンライン授業の特長やメリットとデメリット等について理解しており、コロナ禍感染を想定した場合でもオンライン授業の実施を希望していた。この結果から、多くの学生は令和4年度前期の授業方針について納得しているものと考えた。		・オンライン授業に関する調査の結果を学生にわかりやすい形式でフィードバックする。 ・感染者数の減少がみられる場合は、対面授業の機会をさらに増やす。 ・ハイブリット等の柔軟な授業運営をするための取組を強化する。
490	長岡技術科学大学			①ほぼ全員理解	新入生を含む全学生に対し、授業の形態等をメール、HPで十分に説明している。		引き続き、学生への周知を徹底するとともに、アクセシビリティリーダーの活用を図る等、授業について不安を見る学生への支援体制を強化している。
491	上越教育大学						

No.	学校名	学部・キャンパスによって割合に差がある場合の理由	学部・キャンパスによって割合に差がある場合の今後の対応策	学生の理解	学生の理解状況について回答理由	学生の理解状況について一部の箇面で異なる状況となっている場合があればその状況・理由	学生の理解・納得を得るために予定している取組
492	新潟県立看護大学			①ほぼ全員理解	学生に対しては年度初めのガイダンスや掲示板、大学ホームページ等で授業の方針を説明しているが、学生から授業の方針について質問を受けたことはない。		授業の方針は新型コロナウイルス感染症の拡大状況により変更される可能性があるが、学生に対しては丁寧な説明と情報提供を行う予定である。
493	新潟県立大学			①ほぼ全員理解	長期間に及ぶ感染拡大防止策の実施過程でその習熟度が増したことを踏まえ、原則対面形式（一部授業のみオンライン）とすることを共有し、学生から大学の令和4年度授業実施方針に対しての疑問や不安の訴えがないため。		自由記述
494	長岡造形大学			①ほぼ全員理解	令和4年度前期に在学する金学生（1年生を除く）を対象に、当該学期の授業実施方針に関する調査を実施した結果、回答者の約7割の学生が「方針に納得している」、残りの約3割の学生が「社会状況から仕方ないと納得している」と回答したため。		学生ポータルサイトを適して、学生へ大学の方針を周知しており、今後個別に問い合わせ等があれば随時対応していく。また、実態調査や授業評価アンケート等を通して学生の声に積極的に耳を傾け、学内での学修環境の整備や、先々の方針決定の参考としていく。
495	三上市立大学						
496	長岡大学						
497	新潟医療福祉大学		学部の特性で、学生の入構が少ない場合は、週に1日程度は面接授業を実施して入構するような体制を整えている。	②大多数が理解	本学では、コロナ禍における大学運用の在り方や危機管理を検討する専門委員会を設け、大学の授業方針の検討を行い、その検討結果を踏まえた方針を全学生および教職員へ周知し、共通認識を醸成している。ほか、対面授業においては、又専全体および各学科で授業運用に掛かるガイドラインを作成し、それに基づき運用を行うことで感染予防にも配慮した授業運営が行える組織的な体制のもと、授業形態に掛かる検討および情報発信の対応も図るようになっている。また、学科特性や学年に応じて、授業や科目運用の在り方が異なるところから、実際の授業運用や現場において、調整が継続するケースも生じ、結果的にそれが学生の授業にも影響する場合も想定されるため。	本学では、2020年度より、「対面授業」「オンライン授業」に関する満足度のアンケート調査を例年実施し、一定の満足度は確認された。しかし、特定の学科や学年で、満足度や不満足の原因が浮き彫りとなったことから、一部の範囲において、授業の形態について納得している学生もいれば、そうでない学生も見受けられたため。	全体的な取組みとしては、各学科・学年ごとのオリエンテーションなどをはじめ、学生へ授業運用に関する方針について、説明する場を設ける。また、コロナ禍の状況で方針変更が生じる場合は、適宜、学生へのアプデや研修等を通じて適切な情報提供を行なえる様、体制づくりを図る。ほか、学生へ向け満足度アンケート調査を継続して実施することで、学生の納得度を継続的に把握できるよう取り組む予定である。
498	新潟青陵大学			②大多数が理解	在学生は、これまでも学期オリエンテーションで説明しており、これまでの授業で遠隔授業・対面授業の双方を体験しており、十分理解していると思われる。新入生は、入学後に対面と遠隔する新年度オリエンテーションにおいて十分に説明する。また、ノートPCを無償貸与し、実際の操作方法も含めて説明します。		特になし。
499	新潟工科大学	比率に差異なし	面接授業の比率は少なくなっていない	①ほぼ全員理解	大学HPとポータルサイトにより学生に周知している。また、遠隔授業を実施の際は担当教員が教育効果を確認し、課題や出欠の取り方について学生に丁寧な説明をしたうえで、最適な方法となるようにしている。遠隔授業においては、ネット環境の不具合等、対面授業では想定されない状況が起きる可能性があるため、学生の訴え（受講場所、欠席、レポート未提出等について）は丁寧に対応している。	学部、学年に差異なし	図20の内容を継続する
500	新潟経営大学						
501	新潟国際情報大学						
502	敬和学園大学			①ほぼ全員理解	昨年度、一昨年度は学生、保護者から様々な意見が寄せられたが、今年度は特に意見が出ていない。		特記事項なし。
503	新潟薬科大学						
504	国際大学			①ほぼ全員理解	学生には随時授業実施方針と現状について説明している		遠隔授業は縮小していく方針であることを説明する
505	新潟産業大学						
506	事業創造大学院大学			①ほぼ全員理解	在学生については説明会、面談等で伝え、新入生についてはオンライン面談とオリエンテーションで話しているため。		個別面談、説明会開催予定
507	新潟リハビリテーション大学	全体の授業の実施比率と異なる学部や学年はない。		①ほぼ全員理解	授業形態の検討に当たり、大学が考慮した事項に関する学生への説明・情報提供に努めており、学長・学部長メッセージの発信等の取組を実施している。		個別の問合せ等は都度対応している。
508	新潟食料農業大学						
509	開志専門職大学						
510	長岡崇徳大学						
511	新潟青陵大学短期大学部			②大多数が理解	在学生は、学期ごとのオリエンテーションで説明しており、これまでの授業で遠隔授業・対面授業の双方を体験しているため十分理解していると思われる。新入生については、入学後の対面形式で新年度オリエンテーションを実施し、ノートPCを無償貸与し、実際の操作方法も含めて説明します。		特になし
512	新潟工業短期大学						
513	新潟中央短期大学						
514	日本歯科大学新潟短期大学			②大多数が理解	学生授業アンケート結果に基づく		・オリエンテーションやホームページ等での説明 ・学生授業アンケート上の実施
515	明倫短期大学			①ほぼ全員理解	Webを利用した授業を行う場合、時間前表に表記するため。		授業や学生生活に関するアンケートの実施
516	長岡工業高等専門学校						
517	富山大学						
518	富山県立大学			②大多数が理解	令和4年度前期授業の実施方針については、学生に対し、Eメールやオリエンテーションで周知しており、学生からの問合せについても答えってきたところである。		
519	高岡法科大学			①ほぼ全員理解	令和3年度度の授業評価アンケートの結果、授業の満足度、授業形態の感想・意見を総合的に纏めて回答した	特定の学年において、理解・納得の度合いに違いがあるとは考えられないと認識している	修学支援システムの機能面の強化により、更に充実した学習環境を構築する予定である。また、授業評価アンケートを半期2回、年に合計4回実施しPDAサイトを回るように組織的に取り組む。
520	富山国際大学						
521	明朋学園大学院大学						
522	富山短期大学			①ほぼ全員理解	4月のオリエンテーション時に全学生全学科に周知する予定であるため。		学内のコロナ対策本部方針などの情報発信
523	富山福祉短期大学						
524	富山高専専門学校						
525	金沢大学						
526	北陸先端科学技術大学院大学	該当なし	該当なし	②大多数が理解	令和3年度末に学生を対象に実施した授業等に関する満足度調査アンケート結果を踏まえ、授業の形態等について令和4年度において採用することとした。	該当なし	学生を対象にした授業等に関する満足度調査アンケートの実施等について検討する。
527	公立小松大学						
528	石川県立大学			①ほぼ全員理解	ほとんどの学生が自分の履修科目に出席しており、コロナに関連することを理由に欠席する学生が少ない。		後期の開始前にオリエンテーションを行い、時間前や履修要領について丁寧に説明する。

No.	学校名	学部・キャンパスによって割合に差がある場合の理由	学部・キャンパスによって割合に差がある場合の今後の対応策	学生の理解	学生の理解状況について調査理由	学生の理解状況について一部の範囲で異なる状況となっている場合があればその状況・理由	学生の理解・納得を得るために予定している取組
529	金沢美術工芸大学			①ほぼ全員理解	ほぼすべての授業を対面で行う予定としており、遠隔授業とするものは教室の収容定員の関係であるため。		年度当初のガイダンス（金生学向け）における丁寧な説明及びオンライン実施時に改めての説明を実施予定。
530	石川県立看護大学	該当なし	該当なし	①ほぼ全員理解	各学年ガイダンスや面談など、様々な機会を通じて、コロナ対策のための方針であることを説明・周知している。	特になし	引き続きコロナ対策の重要性を説明していく。
531	金沢星稜大学			②大多数が理解	学生への周知・連絡を徹底しており、大きな問題は起こっておりません。		コロナの状況を見ながら判断していきます。
532	金沢工業大学						
533	金沢医科大学			②大多数が理解	学生との懇談会や学生アンケートの回答状況から、上記のとおりと認識しています。	わずかではあります。学生が多い低学年では遠隔授業の実施を希望する声があります。	年度冒頭や学期休み明け等の機会を活用してオリエンテーションや説明会を開催し、対面授業の意義とそのための感染対策の重要性について繰り返し説明していく予定です。
534	北陸大学	原則、全学部で面接授業を実施するが、特定学部の1クラスあたりの受講生数が一定数を超える授業や遠隔授業の方が授業効果の高い科目については遠隔授業を行う。また、米入国の外国人留学生に対しては、入国までの期間は遠隔授業を行う。	感染状況に鑑みて検討は、入国までの期間は遠隔授業を行う。	①ほぼ全員理解	・授業の方針は大学ホームページに掲載し、学生のほか保護者、入学予定者へ周知を行った。 ・授業の方針は教務システムで学生へ案内した。 ・シラバスに授業方法を明記した		2021年度に実施した事項を継続して行う。 ・授業の方針を大学ホームページに掲載し、学生のほか保護者、入学予定者へ周知を行う ・授業の方針を教務システムで学生へ案内する ・シラバスに授業方法を明記する
535	金沢学院大学						
536	金城大学						
537	北陸学院大学						
538	かなざわ看護マネジメント専門学校						
539	金沢学院短期大学						
540	北陸学院大学短期大学部						
541	金城大学短期大学部						
542	金沢星稜大学女子短期大学部						
543	石川工業高等専門学校						
544	国際高等専門学校						
545	福井大学	医学部（松岡キャンパス）においては、全ての授業を対面授業としている。理由としては、松岡キャンパスには、医学科が主に使用する講義室の他、看護学科にも講義室があり、大講義室の収容も多く、感染防止対策のために設けている講義室の収容定員も全ての授業を対面で実施することが可能なため。	医学部（松岡キャンパス）においては、面接授業の比率が多くなっている。	②大多数が理解	令和4年度前期授業の実施方針について、在学生に周知しているが、特に問合せ等はない。また、学生アンケートや学生との懇談会等において学生の意見を聞く機会を設けているが、授業形態への批判的意見はなかった。		学生・教職員協働教育改善小委員会や学部で毎年開催している学部長と学生代表との懇談会において、授業や学生生活及び授業実施方針等に対する意見や要望を直接学生から聞く機会を継続的に設けることに、新入生オリエンテーションや在学生には学芸主任等によるオリエンテーション等を実施し、更なる学生の理解を深める取り組みを行う予定である。
546	福井県立大学			①ほぼ全員理解	授業開始前のオリエンテーション、ホームページ等で実施方針を周知している。		後期のオリエンテーション等においても引き続き周知を図るほか、適宜ホームページや一斉メール等による情報発信に努める。
547	敦賀市立看護大学						
548	福井工業大学			①ほぼ全員理解	本学ホームページや学生への連絡ツール等で令和4年度の授業方針を通知している。		特段予定はしていない。
549	仁愛大学			①ほぼ全員理解	令和4年度前期の授業方針については、令和4年2月にホームページ及びメール（入学予定者へは郵送）で周知し、異議の問合せ等はきていない。		今後もしもできるだけ早く方針等を周知するとともに、ガイダンス等で説明を行っている。
550	福井医療大学						
551	仁愛女子短期大学			①ほぼ全員理解	既に授業形態については新入生及び在学生に対し通知・連絡している。通知・連絡後の問合せ等は受けていない。		対面授業になった場合でも、LMSを利用した授業の補助は続けていく。
552	福井工業高等専門学校						
553	山梨大学	医学部においては、5.6年生の実習が多いため、対面授業の割合が少くなる	少なくなっている状況にはなっていない	①ほぼ全員理解	ガイダンス時に、大学からの連絡はキャンパスネットワークシステム（ONS）に提示を行うことを指導しており、授業実施方針は、ONS及び大学HPに掲載を行い周知している	異なる状況はない	特に予定はしていない
554	都留文科大			①ほぼ全員理解	主に1,2年次に履修する教養科目の中で、遠隔授業として実施する科目をポータルサイト及び履修ガイダンスで学生に周知し、特に学生からの意見は出ていないため。		授業の実施形態が変更になる場合はその都度学生に周知していく。
555	山梨県立大学			②大多数が理解	大学で定めている授業対応方針をホームページで公表すると共に、学生に対してはメール等を通じて周知を行っている。今のところ、特に不満の声などは寄せられていない。		引き続き大学で定めている授業対応方針を周知するとともに、変更が生じた場合には速やかに学生へ通知・説明を行う 修学に不安のある学生については学生相談窓口などを通じて相談を受け付ける。
556	大月短期大学						
557	山梨学院大学			②大多数が理解	授業実施方針を策定し、ホームページ、LMS、シラバス等を通じて、学生に周知を図っている。		特に予定はなし。
558	身延山大学						
559	山梨英和大学	1学部1学科1キャンパスのためなし	なし	②大多数が理解	2021年12月に実施したオンラインアンケート（回答率31%）では、オンライン授業のメリット・デメリットに相当数の自由記述があった。	対面授業の経験がある3年生以上は、オンライン授業のメリットとデメリットを比較しやすいが、賛否が分かれる。	可能な限り対面授業を行い、やむを得ずオンライン授業とする場合も理由及び基準を出来るだけ明確に説明を行う。
560	健康科学大			①ほぼ全員理解	授業形態に対するクレームや履修放棄をする学生はおらず、また、それらを理由として退学・休学しな者はいなかったため。		新年度ガイダンスや履修指導で引き続き学生へ説明を行う。
561	山梨学院短期大学						
562	常宗学園短期大学						
563	信州大学	該当なし。		①ほぼ全員理解	本学では、随時更新される学内対策本部通知を本学中に掲載するだけでなく、その都度学生全員にメールで連絡している。また、質問があれば大学に問い合わせることができ、回答によっては該当する学生全員に連絡する体制が整っているため。	該当なし。	学内において新型コロナワクチン追加接種（職域接種）を実施しており、同ワクチン接種が進むことによる感染対策の充実により、「授業は原則対面で実施」という方針への理解や納得を得ることにつなげている。

No.	学校名	学部・キャンパスによって割合に差がある場合の理由	学部・キャンパスによって割合に差がある場合の今後の対応策	学生の理解	学生の理解状況について調査理由	学生の理解状況について一部の範囲で異なる状況となっている場合があればその状況・理由	学生の理解・納得を得るために予定している取組
564	公立諏訪東京理科大学			②大多数が理解	学生に対しては学修支援システムを利用して使用し、大学の対応内容について周知をしている（個人宛にメールが送られる仕組みがあり）。さらに、大学への意見や質問を常に（24時間体制で）受付できる仕組みも学修支援システム内に構築しており（コロナ禍以降に設置）、今までもこれを利用し、大学の方針等に対する学生からの意見を聞き、学生の考えを知る機会としていた。令和4年度前期の対応に関しては特に年度初めの迅速の変更内容等の周知を実施したばかりであるので、その状況は明らかではないが、今までの対応についても学生からの特段の意見等はなかったことからこの回答とした。		今までどおり大学の対応を決定した経緯や考え方などについてできる限り丁寧に説明することによって考えている。
565	長野県立大学			②大多数が理解	早期に授業方針を周知、理解につとめているため。		ガイダンス等で授業方針を周知、理解につとめる。
566	長野県看護大学			①ほぼ全員理解	新型コロナウイルス感染症のまん延防止のための行動基準を定めて周知している。長野県が発する感染警戒レベルに応じて行動基準に基づき大学の方針を決定し、その都度周知している。		現状の対応を継続
567	長野大学	該当なし	該当なし	②大多数が理解	ガイダンス等において、授業運営方針について学生に周知している。	該当なし	学生に対して、HPやポータルサイトを通じて地域の感染状況等に応じ、教育活動基準に基づく授業運営方針を伝える。
568	松本歯科大学						
569	松本大学			②大多数が理解	(1)授業形態について、大学が設置・運営する「新型コロナウイルス感染症対策本部」から大学全体の方針を説明し、また、教務委員会からオリエンテーション等、実際の授業形態について案内をすることで、理解を得られていると考えている。 (2)授業アンケート等、学生に依頼するアンケートの回答から、授業形態について納得していると考えている。		質問20の回答(1)に記載した対応を継続してすすめていく。
570	清泉女学院大学						
571	佐久大学						
572	長野保健医療大学						
573	松本看護大学						
574	飯田女子短期大学	1キャンパスのみ		①ほぼ全員理解	各学科にアドバイザーがおり丁寧に説明している	該当なし	該当なし
575	長野女子短期大学						
576	上田女子短期大学						
577	松本大学松高短期大学部			②大多数が理解	(1)授業形態について、大学が設置・運営する「新型コロナウイルス感染症対策本部」から大学全体の方針を説明し、また、教務委員会からオリエンテーション等、実際の授業形態について案内をすることで、理解を得られていると考えている。 (2)授業アンケート等、学生に依頼するアンケートの回答から、授業形態について納得していると考えている。		質問20の回答(1)に記載した対応を継続してすすめていく。
578	松本短期大学						
579	清泉女学院短期大学						
580	信州豊南短期大学			①ほぼ全員理解	4月のガイダンス時においてコロナの状況等を説明し、感染拡大地域からの教員の授業のみ当分の間（5月13日まで）遠隔で行うことを説明している。なお、5月16日以降については5/11（水）までに状況等を改めて判断（遠隔、対面、ハイブリッドのいずれか）することとしている。また本学の遠隔授業対応授業形態に関するアンケートのこくわすかな科目となっており、教室に履修者が集まり、補助者がついて画面越しに授業を行う形を実施している。		引き続き状況を見ながら、学生の安全面を考えたながら行っていく計画であり、ごくわずかな授業を遠隔で行っているが、状況にもよるが可能な限り対面に移行したいと考えており、これらの状況については行って実学生に伝えていくこととしている。また、遠隔授業についてのアンケートも取ることにしている。
581	佐久大学信州短期大学部						
582	長野工業高等専門学校						
583	岐阜保健大学短期大学部	特定のキャンパスにおいて異なる状況はございません。	面接授業の比率が少なくなっていることはありません。	①ほぼ全員理解	新型コロナウイルス感染予防を第一に考えている為です。	特にございません。	新型コロナウイルス感染状況を踏まえながら、面接授業とオンライン授業の併用を図っていきます。
584	岐阜大学	特定の学部等において全体と異なる状況になるとは見込んでいない。		①ほぼ全員理解	現在まで、授業実施方針に係る学生から特段の意見等が寄せられていないため	一部の範囲で全体と異なる状況となっている場合はない。	大学の方針の変更などの際は、きめ細やかな情報発信に努めてまいります。
585	岐阜薬科大学						
586	岐阜県立看護大学	なし。	面接授業の比率が少なくなっている状況はない。	①ほぼ全員理解	授業の実施方針について学生に周知したところ、特段の意見はなかった。	なし。	なし。
587	情報科学芸術大学院大学	特になし	特になし	①ほぼ全員理解	学内メールにて、随時、授業の形態を連絡して理解してもらっている。	特になし	特になし
588	岐阜市立女子短期大学			①ほぼ全員理解	学生アンケートの回答による		授業による学生からの意見「学生の声」を受け付けている。
589	岐阜医療科学大学						
590	中京学院大学			②大多数が理解	令和3年度後期の授業評価アンケートの結果、各学部とも8割程度の学生が授業の満足度において「大変満足している」「満足している」と回答している。	特定の学部で大きく異なっているとは認識していません。	これまで行ってきましたが、新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて、学生にその時々授業形態について丁寧に説明していき予定で。
591	岐阜協立大学						
592	岐阜女子大学						
593	新日本大学						
594	岐阜聖徳学園大学						
595	東海学院大学						
596	中部学院大学						
597	岐阜保健大学	特定のキャンパスにおいて異なる状況はございません。	面接授業の比率が少なくなっていることはございません。	①ほぼ全員理解	新型コロナウイルス感染予防を第一に考えている為です。	特にございません。	新型コロナウイルス感染状況を踏まえながら、面接授業とオンライン授業の併用を図っていきます。
598	中部学院大学短期大学部						
599	岐阜聖徳学園大学短期大学部						
600	正信短期大学						
601	中京学院大学短期大学部			①ほぼ全員理解	2年次については、昨年度のコロナ禍の授業形態とかわらないことから全員が理解・納得している。 1年次についても入学後の新生人がガイダンスでしっかりと丁寧に説明を行い、履修登録を行う際にも再度説明をおこなうことにより理解・納得を得られると考えている。	特定の学科で大きく異なっていない。	令和4年度前期ガイダンス丁寧に説明を行う。
602	東海学院大学短期大学部						

No.	学校名	学師・キャンパスによって割合に差がある場合の理由	学師・キャンパスによって割合に差がある場合の今後の対応策	学生の理解	学生の理解状況について調査理由	学生の理解状況について一部の理由で異なる状況となっている場合があればその状況・理由	学生の理解・納得を得るために予定している取組
603	中日本自動車短期大学						
604	大垣女子短期大学						
605	高山自動車短期大学						
606	平成医療短期大学		特定の学科・キャンパスにおいて、面接授業の比率が少なくなっていることはない。	①ほぼ全員理解	事前に全学生に「新型コロナウイルス感染防止に係る遠隔授業の実施について」の文書を配付し説明を行っている。		学期前のオリエンテーションにおいて、教員から授業方針の説明を行う。
607	岐阜工業高等専門学校						
608	静岡社会健康医学大学院大学						
609	静岡大学	面接（対面）授業を導入する授業科目は、各部署長の判断に委ねられているため。	各部署長には、令和4年度前期（通年を含む。）に開講する授業科目の授業形態（オンライン授業科目と対面授業科目の別）を決定する。令和4年4月7日を期日として遠隔（オンライン）授業を実施する授業科目名等を報告するよう依頼しているため、面接（対面）授業と遠隔（オンライン）授業比率は、上記期日以降に判明する見込みである。	②大多数が理解	学生を対象に実施した以下のアンケートにおいて、遠隔（オンライン）授業について一定の理解は得られていることが確認できた。（令和3年度後学期における遠隔（対面）授業と遠隔（オンライン）授業の実施割合は約9割であった。） ○アンケート名：令和3年度後学期学生授業アンケート ○アンケート実施期間：令和4年1月17日（月）～1月28日（金）（後期前半の授業科目については令和3年11月5日（金）～11月24日（水）） ○アンケート実施対象授業科目：本学で実施する講義・演習形式の授業科目 ○延べ回答者数：15,026名（回答率：41.0%） ○全授業科目の集計結果 説明：授業の方法全般（声の大きさ、資料、板書の見やすさなど（内容を除く））で満足が得られた学生比率は、4.0% 全学年共通：4.0% 全教員：総合的に判断して、この授業は満足できる授業であった。 ①：とても満足、2：満足、3：どちらとも言いえない、4：あまり満足しない、5：とても満足、6：少し満足、7：少し満足、8：どちらとも言いえない、9：あまり満足しない、10：全く満足しない。 なお、アンケートの自由記述欄においては、遠隔（オンライン）授業について以下のような肯定的な意見が寄せられた。 ・授業資料・動画がとても分かりやすく、非常に授業が受けやすかった。 ・資料を印刷して、見ながら授業動画を観て、書かれていないことを書き加えたりしながら授業を受けやすいスタイルであったが、授業資料がどれも書けなかったため、学習・復習しやすかった。 ・授業動画を視聴することで、知識を定着させることができた。 ・オンラインでの授業であったが、不便なことではなく、オンラインの方が効率的・満足度の授業であった。 ・オンデマンドの動画でも、対面の授業のように確認しながら話してくださったので、楽しく学習できた。 ・独自の授業スライドも明確で、それに加えて音源ファイルがあったのも理解の一助になりました。		令和2年度及び令和3年度と同様、令和4年度においても、アンケートを実施し、授業の実施方法等の改善等に努めている。
610	浜松医科大学			①ほぼ全員理解	ガイダンスにて授業形態等について説明しており、質問にも丁寧に答えるようにしている。		大学方針が更新された際には、現在と同様に、随時学生へ配信を行う。
611	静岡県立森林環境専門職大学						
612	静岡県立大学	特になし	特になし	①ほぼ全員理解	R3授業に関するアンケートを実施した。※コロナが原因ではなく、授業が実施できることがわかり、遠隔の授業形態を望む声も多い。	特になし	R4授業に関するアンケートを継続して実施する。
613	静岡文化芸術大学						
614	静岡県立森林環境専門職大学短期大学部						
615	静岡県立大学短期大学部			②大多数が理解	年度当初のガイダンス（対面）で学生に説明している。		元来対面が不可欠な実習科目の多い短大であり、対面授業の科目が9割を超えているため、追加の取組は考えていない。
616	光産業創成大学院大学						
617	静岡福祉大学						
618	浜松学院大学						
619	静岡英和学院大学			②大多数が理解	なし	なし	
620	常葉大学			④把握していない	令和4年3月22日に、令和4年度前期の授業方針を学生に示したばかりであり、理解、納得の状況を把握していない。ただし、本学は原則、面接授業を実施することとしている。		学生の代表者との面談や授業アンケート結果により対応する。 なお、本学は、原則、面接授業を主としている。
621	静岡理工科大学	1キャンパスの為該当なし	全学統一して基準を設けているため該当なし	①ほぼ全員理解	授業単位で、遠隔授業と対面授業を一貫させており、時間割表に反映させている。また、履修や出席において混乱している状況は見られないため。		ガイダンスにおいて感染防止策の方針や遠隔授業について説明を行う。
622	聖隷クリストファー大学						
623	静岡産業大学	該当なし。（異なる状況となっていないため。）	該当なし。（面接授業の比率が少なくなっていないため。）	①ほぼ全員理解	学生に対するアンケート調査（2020・2021年度実施）の結果に基づく。	該当なし。（異なる状況となっていないため。）	大学がコロナ禍や教育のDX化に対応し、授業方法などに関する教員向けガイドラインをより一層、整備するとともに、各教員がそれに基づき、授業方法をより改善すること。
624	日本大学短期大学部	なし	なし	①ほぼ全員理解	学生ポータル及びホームページにおいて説明をしているため。	なし	引き続き、学生ポータル及びホームページにおいて説明を行う。
625	静岡英和学院大学短期大学部			②大多数が理解	なし	なし	
626	常葉大学短期大学部			④把握していない	令和4年3月22日に、令和4年度前期の授業方針を学生に示したばかりであり、理解、納得の状況を把握していない。ただし、本学は原則、面接授業を実施することとしている。		学生の代表者との面談や授業アンケート結果により対応する。 なお、本学は、原則、面接授業を主としている。
627	浜松学院大学短期大学部						
628	沼津工業高等専門学校						
629	総合研究大学院大学	授業の内容により、対面授業の必要性が高い（実験や図物の資料を扱う等）授業比率が高い専攻については面接授業の比率が高くなっているが、対面授業の必要性が高い授業が少ない専攻については遠隔授業の比率が高い傾向がある。いずれの場合でも受講者数は少ないため、講義重視について学生・教員の間で決定している場合もある。	各キャンパス毎に状況が異なるため、学生・教員の意見を反映し、適切に対応する。	①ほぼ全員理解	学生アンケートの結果や、学生と教員（指導教員・授業担当教員）との話し合いの内容等を基に回答。		学生や教員の意見を取り入れ、専攻や授業単位で授業の実施方法を個別に調整する。
630	名古屋大学			②大多数が理解	学生への周知に際しては、学習情報システムを活用した学生個々への一括メール送信等により丁寧な情報提供に努めており、併せて、個々の授業実施について担当教員からLMSを通じて詳細な情報提供を行っているため。		令和3年度と同様に丁寧な情報提供に努め、大学が決定した事項については、学生個々への一括メール送信等により情報発信を継続する。さらに、3月22日付け事務連絡「令和4年度の大学等における学修者本位の授業の実施と新型コロナウイルス感染症への対応の徹底等に係る留意事項について（告知）」を踏まえ、授業形態や質問の方法について受講生に丁寧に説明するなど、より一層学生に寄り添った対応に努める予定である。
631	名古屋工業大学	該当なし	該当なし	②大多数が理解	2021年度後期にハイブリッド授業のあり方について、学生との意見交換を実施したが否定的な意見はなかったこと。また、現在はハイブリッド形式を原則とする科目についても、感染状況が落ち着いた段階で、面接授業に切り替える旨周知していることから、2022年度前期の授業の実施方針を周知した際に学生からの意見や問い合わせはなかったこと。	該当なし	教員・学生等に関して現行の授業実施方法についてアンケートを行い、その結果を元に意見交換会を実施する。アンケート・意見交換会の結果（特に学生からの意見）、元来授業のあり方を見直すとともに、真保証の担保及び授業への理解度向上を目指し後期又は次年度における授業の実施方法を改めて検討する。

No.	学校名	学部・キャンパスによって割合に差がある場合の理由	学部・キャンパスによって割合に差がある場合の今後の対応策	学生の理解	学生の理解状況について備考理由	学生の理解状況について一部の理由で異なる状況となっている場合があればその状況・理由	学生の理解・納得を得るために予定している取組
632	愛知教育大学			①ほぼ全員理解	問2-3で回答したとおり、本学が令和4年度に「メディア授業」として開講する授業科目は、全ての授業科目（約1,300科目）のうち13科目に限定し、ほぼ全ての授業科目について、感染症対策を十分に講じた上で面接授業を実施することとし、この方針を本ホームページ上に掲載するとともに学生個別に対しても通知したところである。 また、面接授業の実施にあたっては、新型コロナウイルス感染症に罹患した場合の重症化リスクが高い学生など、面接授業の実施について不安を有する学生に対しては、令和2-3年度同様、可能な限り、履修上の配慮を行うこととしている。 以上のとおり、本学は、コロナ禍以前とほぼ同じ範囲で面接授業を実施しつつ、コロナ不安を抱える学生にも配慮した授業運営を行う方針であることから、「① ほぼ全ての学生が、授業の形態等について理解・納得している。」とした。		新年度の履修に向けた各種ガイダンス等の場を通じて、令和4年度の授業実施方針の周知徹底を図るとともに、令和2-3年度に引き続き、専用メールアドレスを設置して、履修上の不安を抱える学生からの相談・質問等に応じた取組を継続する。
633	豊橋技術科学大学	本学は単科大学であり、複数のキャンパスはありません。		①ほぼ全員理解	それぞれの授業の実施形態等については、シラバスにおいて毎回の授業ごとに明確に記載されており、感染状況に応じて大学の活動基準が変更となった場合は、授業担当教員からメールおよび随時で行っている学生に直接、連絡が届けられ十分に周知されている。前期授業開始前に全学生に対して、大学全体の授業実施方針として面接授業と遠隔授業を組み合わせて実施する旨を周知している。これらの連絡、周知内容については、コロナ禍のために来日することができない留学生についても十分に理解、納得されている。なお、学生からの授業実施についても問い合わせはコロナ禍前に比較しても少数であった。	本学は単科大学であり、複数のキャンパスはありません。	現在の方法で特に大きな問題が生じていない状況であり、基本的には引き続き現在の方法にて学生の理解が十分に得られるように考えている。過度な連絡になりすぎないよう、学生が容易に理解できるように配慮はしたい。
634	名古屋市立大学	本学では、面接授業実施の際には、空を回避するため、受講人数を教定員の一定割合以下に抑えるという制限をおこなっています。本学 可能な限り面接授業の確保に努めています。特に、ゼミナール、実習はキャンパスが分散しており、抽籤の相互利用が難しく、また各学部 実習、フィールドワークなど対面での実施が効果的な授業について活用できる教室などの施設面のキャパシティに差がありま ては積極的に対面で実施し、学生同士のコミュニケーションの機会をす。学生数も学部ごとに大きく異なっています。以上の理由から、学 確保します。指導教員を選んだ継続的な関わり合いを通じ、学生だけでなく面接授業と遠隔授業の実施比率に差が出る状況が一部存在す べく教職員との人的交流も確保してまいります。		①ほぼ全員理解	本学ウェブサイトにおいて、授業実施方針を掲載しており、文部科学省からお示しただいたいては遠隔授業等が実施可能な場合についても触れつつ、遠隔授業が行われる場合について留意しています。コロナ禍が始まって以降、文部科学省の各種通知に沿って一貫した考え方により、授業実施方針を決定していることを示すことができ、多くの学生の理解・納得を得る上で大きな助力をいただいていると示しております。全学的にも面接授業の実施割合が高く、授業実施方法等への意見は極めて少ないものと認識しております。		今後も感染状況等によって、遠隔授業等の活用が考えられるため、優れた遠隔授業等についての取組みを全学的に集約し共有する印活動も実施しております。遠隔授業等の質を高めることにより、面接授業の実施割合が低下する局面でも、学生の理解や納得を得るよう努めてまいりたいと考えております。
635	愛知県立芸術大学			②大多数が理解	昨年度末とほぼ同じ方針で授業を行っており、対面・遠隔授業の実施形態を学内ウェブサイトで公表しているから。		対面授業主体で行っているため、（遠隔授業実施についての）学生の理解や納得を得る取り組みは該当しない。
636	愛知県立大学	情報科学部や看護学部においては、実習や実験など、遠隔授業では教育効果が特に低下すると想定される授業が多いため、これらの学部で 特定の学部等やキャンパスにおいて、面接授業の比率が少なくなっている。「ほとんど（9割以上）の授業を面接授業で行う予定である」と いる状況にない。		①ほぼ全員理解	大学の電子掲示板などを活用して、遠隔授業や対面授業の意義や理由などを十分に説明するとともに、第1回目の授業において、授業の実施方法や進め方、評価方法を教 員から学生に説明を行っている。また、授業アンケートを実施することで、学生の声を直接聞き取っているが、授業形態に対して、特にすべき不満の声は出していない。		引き続き、大学の電子掲示板や担当教員などを通じて周知し、学生の理解・納得を得る。
637	愛知工科大学						
638	名古屋産業大学						
639	人間環境大学						
640	名古屋文理大学						
641	愛知みずほ大学						
642	愛知学院大学						
643	愛知工業大学						
644	金城学院大学						
645	相山女子園大学						
646	大同大学	特になし	特になし	①ほぼ全員理解	HP掲載やガイダンスを通じて説明しているが、特に大きなクレーム等もない為。	特になし	遠隔授業の改善（より学習成果を高めるための工夫など）
647	中京大学			①ほぼ全員理解	令和4年度の授業実施方針は令和3年度と同じであるため。		HPやガイダンス等で周知を図っていく。
648	同朋大学			①ほぼ全員理解	面接授業の実施に伴い、特別な事情等があり、面接授業の実施が困難な学生について、相談を受け付ける旨の周知を行っているが、本年度は、特に相談はなかったため。		新型コロナウイルスに感染した場合など、登校ができない学生に対し、個別に遠隔授業等の対応を行っている。
649	名古屋学院大学	リハビリテーション学部とスポーツ健康学部については、使用する建物（キャンパス）が異なり、対象学生が非常に少ないため、また実習科目が多いためすべて対面授業とした。		②大多数が理解	2020年度、2021年度に比べて、学生や保護者からの質問、意見、苦情等がかなり少なくなっているから。		新入生オリエンテーションなどにおいて、遠隔授業の受講方法などについてのレクチャーを実施し、教務課や学術情報センターに相談できる体制を整えている。
650	名古屋商科大学						
651	名古屋女子大学						
652	南山大学			②大多数が理解	本学の方針について各クォーターごと、さらには緊急事態宣言発令、解除ごとに、学長名および教務部長名の文章を発出しているため、一定の理解を得られていると考えている。		大学としての対応方針や対応方法を感染状況に応じて、適宜説明、発信していく。
653	日本福祉大学						
654	名城大学	特になし（強いて言えば、実習がある学部は遠隔での実施が困難なため、感染状況によっては、面接授業の割合が高くなる可能性が（ある。）	なし	④把握していない	なし	なし	HP等での継続的な情報公開や、学生へのメッセージ配信、年度はじめに実施するガイダンス等で学生には丁寧な説明をすることで理解に努める。
655	名古屋音楽大学			①ほぼ全員理解	前期授業の実施方針を公開した際の学生及び保護者からの問い合わせ件数をもとに回答しました。		現在検討中です。
656	豊田工業大学						

No.	学校名	学部・キャンパスによって割合に差がある場合の理由	学部・キャンパスによって割合に差がある場合の今後の対応策	学生の理解	学生の理解状況について調査理由	学生の理解状況について一部の箇所で見える状況となっている場合があればその状況・理由	学生の理解・納得を得るために予定している取組
657	名古屋外国語大学			①ほぼ全員理解	本年度授業実施方針を令和3年12月下旬に発表したが、その後、問い合わせ、意見などが全くないため。		大学の授業実施に対する方針、考え方を出来る限り詳しく、早い段階で説明、周知していく。
658	名古屋造形大学			①ほぼ全員理解	ガイダンスやWEBで周知している。		学年別のガイダンスを実施する
659	愛知産業大学						
660	東海学園大学	特定の学部やキャンパスにおいて異なる状況はない。		②大多数が理解	昨年度の授業評価アンケートの集計結果	特になし	学生に向けての迅速な情報提供
661	豊橋創造大学						
662	愛知東邦大学	該当なし	該当なし	②大多数が理解	授業評価アンケート等で、学生から特に異論がないため。	該当なし	今のところなし
663	星城大学						
664	愛知文教大学						
665	桜花学園大学						
666	愛知大学			④把握していない	令和4年度春学期においても、対面授業と遠隔授業を併用することになっていますが、この点について学生の理解・納得の状況を把握するための措置は講じておりません。対面授業を望む声、遠隔授業を望む声、それぞれが存在する状況下において、対面授業を原則としながら安全面を配慮して遠隔授業を実施する、基礎疾患を有する学生に対しては対面授業であっても遠隔授業を実施する等の措置を講ずることで、多くの学生の理解・納得を得たいと考えています。		現時点で特に学生の理解や納得を得るために取り組み予定の事項はございませんが、状況に応じて必要な説明等をいたします。
667	愛知学泉大学						
668	聖学院大学						
669	中部大学			①ほぼ全員理解	学期開始以前に授業実施方針について周知したが、方針に対して特段問い合わせや意見がないため。		授業実施方針に変更が生じる際には速やかに学生へ周知を図るとともに、学生からの要望や相談に対しては必要に応じて前向きに配慮する。
670	藤田医科大学	該当なし	特定の学部等やキャンパスにおいて面接授業の比率が少なくなっている状況はない。	①ほぼ全員理解	学生にはガイダンス等で説明し、質疑の時間及びフィードバックの時間を設けた。	該当なし	現在は考えていないが、学生からの意見があった場合は個別対応する。
671	名古屋芸術大学			①ほぼ全員理解	すべての学生に対し、年度当初に当該年度の授業実施方針について、ポータルサイトを適じ配信しているため。		引き続き、ポータルサイト等を通じ、必要な情報を配信する。
672	愛知淑徳大学						
673	名古屋経済大学			①ほぼ全員理解	本学の学生に関しては、全ての授業が原則、面接授業で行われることを理解して入学していると考えられているから。		必要に応じて、アンケートを実施したい。また、学生からの要望には、誠実に対応していきたい。
674	名古屋学芸大学	キャンパスによる差は無い。	学部等による差はない。	②大多数が理解	学生掲示板やガイダンス等で丁寧に周知している。	学部や学年により異なる状況とはなっていない。	特に必要に応じて検討
675	日本赤十字看護大学						
676	修文大学						
677	岡崎女子大学						
678	一言研神大学			④把握していない	授業形態の理解・納得における調査を行っていないため。		なし
679	名古屋柳城女子大学			②大多数が理解	オリエンテーション等で周知しているため		教員にも協力いただき、学生への周知を徹底していく。
680	愛知医科大学	特になし		②大多数が理解	保護者を含め学生への通知を随順に実施したり、ガイダンスやホームページで説明を行っているが、反対意見の要望や質問は少数であるため。	特になし	継続的に適切な情報提供と説明に取り組む。
681	名古屋国際工科専門職大学						
682	愛知学院大学短期大学部						
683	愛知学院大学短期大学部						
684	名古屋文理大学短期大学部						
685	名古屋女子大学短期大学部						
686	名古屋短期大学						
687	愛知みずほ短期大学						
688	名古屋柳城短期大学			②大多数が理解	オリエンテーション等を通じて周知している。		教員にも協力していただき、授業等で周知をしていただく。
689	名古屋文化短期大学						
690	愛知工科大学自動車短期大学						
691	愛知大学短期大学部	差はない。	差はない	④把握していない	令和4年度春学期においても、対面授業と遠隔授業を併用することになっていますが、この点について学生の理解・納得の状況を把握するための措置は講じておりません。対面授業を望む声、遠隔授業を望む声、それぞれが存在する状況下において、対面授業を原則としながら安全面を配慮して遠隔授業を実施する、基礎疾患を有する学生に対しては対面授業であっても遠隔授業を実施する等の措置を講ずることで、多くの学生の理解・納得を得たいと考えています。		現時点で特に学生の理解や納得を得るために取り組み予定の事項はございませんが、状況に応じて必要な説明等をいたします。
692	愛知学泉短期大学						
693	修文大学短期大学部						
694	愛知文教女子短期大学						
695	岡崎女子短期大学						
696	聖学院大学短期大学部						
697	名古屋経営短期大学						
698	愛知江南短期大学						
699	愛知医療学院短期大学	該当なし	該当なし	④把握していない	正規課程でのオンライン授業以外については1割未満となっており、登校してサテライト教室で受講することを基本としており、学習環境の質の担保ができていると認識している為。	該当なし	授業評価アンケートならびに毎年実施する「学生満足度調査」で確認する予定である。
700	豊田工業高等専門学校						
701	三重大学	特定の学部やキャンパスにおいて異なることはない。	特定の学部やキャンパスにおいて異なることはない。	②大多数が理解	面接授業と同等の教育効果を有する遠隔授業を一部残しながらも、全ての学部・学年においてほとんどの授業（8割以上）を面接授業で実施するため。また、基礎疾患等を有し、感染による重症化のリスクが高い学生等においても配慮を行っているため。		面接授業と同等の教育効果を有する遠隔授業を一部残しながらも、全ての学部・学年において面接授業を継続していく。
702	三重県立看護大学						
703	三重短期大学						
704	四日市大学						

No.	学校名	学部・キャンパスによって割合に差がある場合の理由	学部・キャンパスによって割合に差がある場合の今後の対応策	学生の理解	学生の理解状況について調査理由	学生の理解状況について一部の範囲で異なる状況となっている場合があればその状況・理由	学生の理解・納得を得るために予定している取組
705	皇學館大学			②大多数が理解	対面授業に対して、特段の不満が出ていない。	特になし	引き続き、学生ポータルサイト・メール配信等を活用し、周知を行っていく。
706	鈴鹿医科大学			①ほぼ全員理解	情勢に変化があり次第、その都度、学内掲示板システムで、学生及び保護者等に案内しています。不明な点は、問い合わせを受け、回答し納得して頂いております。新入生に関しましては、入学手続き中に説明資料を交付し、不明な点の問い合わせについて、回答し納得して頂いております。		情報に合わせた案内をすぐに提供。 現時点では、大学拠点ワクチン接種の案内や、ワクチン接種副反応に対しては公欠扱いに補講対応するなど。
707	鈴鹿大学						
708	四日市看護医療大学						
709	鈴鹿大学短期大学部						
710	高田短期大学						
711	ユマニティ短期大学						
712	鈴鹿工業高等専門学校						
713	鳥羽商船高等専門学校						
714	近畿大学工業高等専門学校						
715	滋賀大学			①ほぼ全員理解	学部の所属学生全員に対し授業方針を示している。 また、学生への生活実態調査や令和3年度在学生に対するアンケート調査においても、ほぼ全ての学生が授業形態について理解・納得している。		令和4年度新入生オリエンテーションで、新入生に対して説明を行う予定である。
716	滋賀医科大学	本学は医学部だけの単科大学であるため該当しない。	17.の回答と同様の理由により該当しない。	①ほぼ全員理解	本学が独自で実施した「第2回 学部学生への遠隔授業に関するアンケート」結果のうち「オンライン授業の恵かった点を教えてください」において、「授業形態について十分な説明がなかった」との回答が全国調査結果では21.9%のところ、本学では9.6%の回答に留まったこと。		今後も適宜遠隔授業について情報提供を行う。また、4月初旬に実施する全学年対象の学年別オリエンテーションにおいて、令和4年度の授業の実施について説明を行う。
717	滋賀県立大学						
718	成安造形大学			①ほぼ全員理解	遠隔で実施することで教育効果があると判断した一部の科目を除き、コロナ以前同様に面接授業で実施するため。		今年度同様に学生実態・満足度調査や授業評価アンケートなどで授業の実施方法について意見を聞ける体制をとる。
719	聖泉大学						
720	長浜バイオ大学			①ほぼ全員理解	学生には事前のガイダンスで告知・説明をしている。		既に20で回答したように、学生には理解・納得を得ていると考えている。
721	びわこ成蹊スポーツ大学			②大多数が理解	学生に対し、説明を行った際、特段の質問、問い合わせがないため	特になし	検討中
722	びわこ学院大学						
723	びわこリハビリテーション専門職大学						
724	滋賀文教短期大学						
725	滋賀短期大学						
726	びわこ学院大学短期大学部						
727	京都大学						
728	京都教育大学						
729	京都工業繊維大学	該当なし	該当なし	①ほぼ全員理解	学生に対しては、3月7日に令和4年度前期学期授業の方針について通知を行ったが、以後、特に批判的な意見等は寄せられていない		新入生向けオリエンテーションなどで、あらためて授業実施形態等の周知を行う
730	京都市立芸術大学	回答なし	回答なし	①ほぼ全員理解	本学は学生と教職員の垣根が低い風土があるところ。2020年度のコロナ禍当初は学生からの不満や不安の声も多くあったが、現状の授業形態によって以前同様に聞かれなくなったため。		現在のところ特に予定していない。
731	京都府立大学	該当なし	該当なし	①ほぼ全員理解	時間割の公表と同時に各開講科目毎に授業形態を大学HPで公表・周知している。 また、授業形態に対する苦情がないことから、納得していると理解している。	該当なし	できるだけ早期に時間割及び授業形態を公表すること。
732	京都府立医科大学	異なる状況はない。	異なる状況はない。	②大多数が理解	医科大学の特性上、附属病院を運営していることから、感染対策を充分に実施した上で、対面授業を行う必要があり、HPやメール等の手段で説明していることから、理解や納得している。	理解・納得の度合いにほぼ違いはない。	実施方法等について変更する場合、これまでと同様に、その都度説明を行う。
733	樟樹山公立大学						
734	平安女学院大学						
735	大谷大学						
736	京都外国語大学	特定の学部における面接（対面）授業の比率に差はない。	該当なし	①ほぼ全員理解	2022年度春学期については、3月初旬にHPに日本語・英語のガイドラインを掲載した。 在学生、新入生、保証人等に周知徹底をおこなっている。 また、2020年からは、(a)基礎疾患や軽症のために重症コロナウイルスの感染に対して高いリスクがある。(b)出入国管理規制により日本に入国できない。(c)通学や対面授業の中で新型コロナウイルスに感染する危険性について、精神的に強い不安を抱えている。また(b)その他、通学の確保が難しいが、重症コロナウイルスの感染拡大に伴って生じた理由によって、対面での授業出席が難しい。のいずれかに該当する学生は、事前に配慮申請のうえ、実習やフィールドワークを含む授業科目を除き、オンラインにて受講できるまようになっている。また、学期の途中で、上述の理由が解消した場合は、面接（対面）での授業を履修できるようにしている。学修者本位の教育活動の実施に努めている。	特定の学部において、理解・納得の度合いに差はない。	20.で回答したオンラインで受講している「配慮学生」と、教室内で面接（対面）で受講している学生に対して、ハイフレックス授業ができるよう学内の全教室の設備を、昨年度改修した。また、オンラインの学生が取り残されることのないよう、授業担当教員への指導を徹底している。特に、新入生には、年度初めの細かい説明会・オリエンテーション等をオンデマンド型で実施し、学科別の就学前指導は面接（対面）で行っている。
737	京都産業大学			②大多数が理解	令和3年度に実施した「在学生生活に関するアンケート調査」結果に基づく。また、令和4年度に向けて、全学部・全学年を対象に、対面でのガイダンス（オリエンテーション）を実施し、学長より令和4年度授業等の実施方針について（動画を用いて）説明を行い、さらに、各学部からも授業の形態等の具体的な説明を行っている。なお、ガイダンス（オリエンテーション）の出席者に対しては、これからの動画配信等を行うことで対応している。		・秋学期始めに、対面でのガイダンスを実施し、各学部から授業の形態等の具体的な説明をあらためて行う。 ・授業アンケートを実施し、学部でのFD等に活用する。
738	京都女子大学						

No.	学校名	学師・キャンパスによって割合に差がある場合の理由	学師・キャンパスによって割合に差がある場合の今後の対応策	学生の理解	学生の理解状況について調査理由	学生の理解状況について一部の理由で異なる状況となっている場合があればその状況・理由	学生の理解・納得を得るために予定している取組
739	京都薬科大学			②大多数が理解	事前にLMSを通じて在学生に周知し、その閲覧状況により回答している。		大学での学びが初めてとなる1年次生に向けて、対面でのガイダンスを開催して説明を行う。
740	京都光華女子大学	特記事項なし	特記事項なし	②大多数が理解	学生満足度調査の回答結果より、②であると考える。ただし対面授業の再開に伴い、感染不安等の理由によりオンライン授業を希望する声も一部見受けられた。	特記事項なし	特記事項なし
741	種智院大学						
742	京都橋大学			①ほぼ全員理解	本学では2020年度後期から直接授業の重要性をとらえ、一貫してこの方針により授業を開講している。また、各期開始時に授業実施形態等についての方針をHPやポータルサイトを通じて周知している。	回答なし	引き続きHPやポータルサイトを通じて周知徹底していく。
743	同志社大学	特定の学部等やキャンパスにおいて異なる状況にはなっていない	特定の学部等やキャンパスにおいて、直接授業の比率が少なくなっている状況はない	④把握していない	これまで本学では、学生の理解を得られるよう、以下の様な取組みを継続して実施している。 ・学費のメッセージをホームページに掲載しており、このメッセージの中で授業形態や大学としての対応について触れ、理解を求める。 ・学生の学修活動に混乱を生じさせないよう、授業形態、教室利用の運用基準、受講機会確保のための配慮、自習室等について説明した「2022年度春学期授業について」や授業に関する案内をまとめた「受講の手引き」を作成し、ガイダンスとして各学期の開始前に大学ホームページに掲載する。 ・入学予定者に対して、新入生向けに特化したページを設け、あらかじめ本学の授業形態や「教育について詳しく説明する」。 ・遠隔授業の質的向上のため、これまでに得た知見を踏まえて、既存のガイドラインを改訂し教員に周知する。 ・「理解」や「授業収録環境の充実等、目に見る形で遠隔授業実施のための教育環境の整備を進める。 ・換気機能を備えた空調設備の段階的整備や二酸化炭素濃度測定機の設置等、教室における感染予防策を講じる。 理解・納得の状況の把握について、本学では従来から学生調査を実施し、学生意見の把握に努めているが、令和4年度の調査は未実施である。学生調査の回答率を向上させ、学生からの意見を教職員間で共有し改善につなげることができるよう、引き続き努力する。	■令和4年度前期に向けて実施している以下の取組みについて、今後も随時更新しながら取組みを継続する。 ・学費のメッセージをホームページに掲載しており、このメッセージの中で授業形態や大学としての対応について触れ、理解を求める。・学生の学修活動に混乱を生じさせないよう、授業形態、教室利用の運用基準、受講機会確保のための配慮、自習室等について説明した「2022年度春学期授業について」や授業に関する案内をまとめた「受講の手引き」を作成し、ガイダンスとして大学ホームページに掲載する。・入学予定者に対して、新入生向けに特化したページを設け、あらかじめ本学の授業形態や「教育について詳しく説明する」。 ・学生調査を実施し、教職員間で調査結果を共有し改善につなげるとともに、学生へのフィードバックを行う。 ■遠隔授業の質的向上のため、これまでに得た知見を踏まえて、既存のガイドラインを改訂し教員に周知する。 ■11-17環境の拡充、授業収録環境の充実、換気機能を備えた教室の空調設備の段階的整備、二酸化炭素濃度測定機の増設等により、目に見る形で教育環境の整備を進め、学生の受講機会の確保や遠隔授業の質的向上を図る。 ■令和4年度前期は、感染拡大予防に努めつつ、教室収容定員を適切に確保した試験定員に実定員することで直接授業の機会を増やし、キャンパスでの学びを積極的に提供する。	
744	同志社女子大学			④把握していない	授業の実施方法について、(学生の理解・納得の状況)に照る大学全体としての調査等は実施していないが、学生から問い合わせ等があった場合には、個別に丁寧に説明をしたうえで、理解を得ようとしている。		学生からの個々の問い合わせ等に対して、大学の考え方を丁寧に説明し、理解や納得が得られるよう努める。
745	京都ノートルダム女子大学						
746	花園大学						
747	佛教大学			②大多数が理解	コロナ禍における学習実態調査や授業アンケートから、遠隔授業の受講方法や利点についてもおおむね理解を得ていると考えるため		①学生・教員・職員参加型の研修やFDにおいて授業アンケートで好評だった授業方法を紹介するなど、授業のあり方の検証。新たな授業の導入によって学習効果を高めるための授業展開が可能となるよう、教育設備の改修を進める
748	立命館大学						
749	龍谷大学	学部により若干の差はあるものの、特定の学部やキャンパスにおいて直接授業の比率が少なくなっている状況にはない。		②大多数が理解	学生を対象としたオンライン授業および対面授業に関する学習状況アンケートを実施し、7割以上の学生がオンライン授業に満足し、8割以上の学生がオンライン授業に意欲的に参加している状況である。	同アンケートにおけるオンライン授業の学年別満足度では、1年次が最も高く、4年次が最も低い結果であった。	同アンケートの回答では、オンライン授業で困っていることとして、「集中力が続かない」「課題が多い」などの回答が率っており、アンケート結果を参考に授業改善等に取り組み予定である。
750	京都先端科学大学	教育効果を担保するため、実験、実習、演習科目は優先的に対面授業とするため、当該科目を占める割合の多い学部は対面率が高くなる。		①ほぼ全員理解	授業実施においては、大学としての方針を周知徹底し、問い合わせがあった場合は個別に説明して理解を得ている。		大学としては、感染防止対策に努め、施設設備を最大限に活用している。また、今後も国や京都府の方針を鑑み、さらなる対面授業拡大の可能性を模索していくことを周知徹底していく。
751	京都精華大学	差異なし	なし	②大多数が理解	すべての科目のシラバスにて授業実施形態を明示しており、学生はその情報に基づき履修科目を選択している。また、必修科目となる学部のゼミや実習科目においては2020年度後期より対面の指導を実施しており、コロナ禍でも授業の質保証には最大限に注力している。	なし	これまで同様、決定された事項については迅速に学内ポータルサイト等で学生に情報を公開していく
752	明治国際医療大学			④把握していない	令和4年度の授業運営方針について、ホームページ上に掲載し、周知しているが、学生の理解・納得が得られているかはわからない。		遠隔授業を実施した後の理解度の確認について、厳格に行っていく必要があると考えます。
753	京都芸術大学			②大多数が理解	2020年度前期に行った学生アンケートの結果から、オンライン授業について一定の理解は得られているものと判断している。		オンライン授業の質的向上を図るため、FD等を充実させる。
754	京都文教大学			①ほぼ全員理解	12月、3月にHP、メール等で周知の他、オリエンテーションでも説明しており、特に意見はない。		3-2に記載、現状通りの取り組み予定。
755	嵯峨美術大学			②大多数が理解	授業評価アンケート		本学の方針を引き続き丁寧に説明
756	京都情報大学院大学			①ほぼ全員理解	在学生ガイダンス、および新入生オリエンテーションで説明している。個別の質問や相談に対しても、随時対応している。		引き続き、丁寧に説明するとともに、個別の質問や相談に対応。
757	京都医療科学大学			①ほぼ全員理解	学生アンケート、設置などの学費見直しなどの集約によるものが特に、問題ないと感じたため。		医療技術職種を目指すため、校医からの啓蒙や教養会ではあり、その事項に準じて各科目担当から、学生へ情報供給している。
758	京都華頂大学						

No.	学校名	学部・キャンパスによって割合に差がある場合の理由	学部・キャンパスによって割合に差がある場合の今後の対応策	学生の理解	学生の理解状況について調査理由	学生の理解状況について一部の箇面で異なる状況となっている場合があればその状況・理由	学生の理解・納得を得るために予定している取組
759	京都芸術工芸大学						
760	京都看護大学	該当なし	該当なし	②大多数が理解	オリエンテーション等で説明しており、特に問合せ等がないため	該当なし	授業実施形態に変更がある時は都度説明する
761	池坊短期大学						
762	京都経済短期大学			④把握していない	状況の把握はしていないが対面での授業実施を希望する声が多く、教育効果も高いことから授業形態を決定した。また遠隔授業についてはガイダンス等を実施し、学生の理解が得られるように努めている。		ガイダンスの実施
763	華頂短期大学						
764	京都外国語短期大学	1学科のため学科による、面接（対面）授業の比率に差はない。	該当なし	①ほぼ全員理解	2022年度春学期については、3月初旬にHPに日本語・英語のガイドラインを掲載した。在学生、新入生、保護人等に周知徹底をおこなっている。また、2020年度から、(a)基礎疾患や既往症のために新型コロナウイルスの感染に対して高いリスクがある。(b)通学や対面授業の中で新型コロナウイルスに感染する危険性について、精神時に強い不安を抱えている。または(c)その他、通学の状況では生じないが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴って生じた理由によって、対面での授業出席が難しい、のいずれかに該当する学生は、事前に配慮申請のうえ、実習やフィールドワークを伴う授業科目等を抜き、オンラインにて受講できるようにしている。また、学期の途中で、上述の理由が解消した場合は、面接（対面）での授業を履修できるようにしている。学修者本位の教育活動の実施に努めている。	1学科のため、特定の学部において、理解・納得の度合いに差はない。	20で回答したオンラインで受講している「配慮学生」と、教室内で面接（対面）で受講している学生に対して、ハイフレックス授業ができるよう学内の全教室の設備を、昨年度改修した。また、オンラインの学生が取り残されることのないよう、授業担当教員への指導を徹底している。特に、新入生には、年度初めの個別ガイダンス・オリエンテーション等をオンデマンド室で実施し、学科別の就学指導は面接（対面）で行っている。
765	京都光華女子大学短期大学部			②大多数が理解	学生満足度調査の回答結果より、②であると考える。ただし、対面授業の再開に伴い、感染不安等の理由によりオンライン授業を希望する声も一部見受けられた。		感染拡大防止に配慮した対面機会（交流の機会含む）の確保やオンライン上でのサービス向上（チャットボット導入等）
766	龍谷大学短期大学部	学部により若干の差はあるものの、特定の学部やキャンパスにおいて面接授業との比率が少なくなっている状況にはない。		②大多数が理解	学生を対象としたオンライン授業および面接授業に関する学習状況アンケートを実施し、7割以上の学生がオンライン授業に満足し、8割以上の学生がオンライン授業に意欲的に参加している状態である。	同アンケートにおけるオンライン授業の学年別満足度では、1年次が最も高く、4年次が最も低い結果であった。	同アンケートの回答では、オンライン授業で困っていることとして、「集中力が続かない」「課題が多い」などの声が挙がっており、アンケート結果を参考に授業改善等に取り組み予定である。
767	京都文教短期大学			①ほぼ全員理解	全学生にメール配信にて周知している。特に納得できない等の意見、申し入れはない。		本学HPに掲載、全学生へのメール配信等、現在の取り組みと同様に実施する。
768	京都西山短期大学						
769	嵯峨美術短期大学			②大多数が理解	授業評価アンケート		本学の方針を引き続き丁寧に説明
770	舞鶴工業高等専門学校						
771	大阪電気通信大学			②大多数が理解	授業形態については、履修前にシラバスや時間割で周知されている。また、学生からの意見があった場合は、科目担当者より本人への丁寧な説明を行っている。		授業形態については、履修前にシラバスや時間割で周知する。また、学生からの意見があった場合は、科目担当者より本人への丁寧な説明を行う。
772	大阪大学			④把握していない	現時点では令和4年度の授業実施方針について、学生アンケート等を行っていないため。なお、令和3年度は、前期（春・夏学期）及び後期（秋・冬学期）の終了時に学生アンケートを実施した。		学生自らが大学や各学部が行っている措置の妥当性を理解し納得できるよう、新入生オリエンテーション全学級の機会を活用し、新型コロナウイルス感染症に関する最新のデータやこれまでの知見に基づく正しい知識を大学が説明することで、学生が感染症に対する正しい理解を得ることに努める。
773	大阪教育大学	なし		①ほぼ全員理解	令和4年度授業実施方針を大学ウェブページに掲載するとともに、学生ポータルサイト及び個別メール配信により周知している。	該当なし	4月に履修に関するオリエンテーション等で説明を行う予定である。
774	大阪市立大学			②大多数が理解	学生アンケートの結果による		学生への周知として、学内ポータルやウェブサイトへの掲載を他、学生向けアンケート等の実施によって改善すべき課題の把握や改善対応等を予定している。
775	大阪府立大学	同じ方針の下に実施するため、キャンパス間で大きな差はない		②大多数が理解	授業方針については、学内ポータル及び大学ウェブサイトで、学生・保護者・受験者向けに広く周知しており、併せて各科目をどのような実施方法で行うかについても、学生に時間割上で周知している。これらの内容に対する意見があった場合は、学生の納得が得られるように丁寧に方針に至った経緯や対応等を説明していること、基礎疾患のある学生に対してはオンラインでの対応等の配慮を行うことから上記の方針に対して大きな反対意見は受けていないため、理解・納得を得られているものと考えている。		大阪府立大学として取り組む予定事項はない（令和4年4月1日より、大阪府立大学は大阪市立大学と統合し大阪公立大学となるため、大阪公立大学の方針に準ずる）。
776	大阪公立大学	1年生は2キャンパスに分かれて授業を行うが、両方針の下に実施するため、キャンパス間で大きな差はない。	該当なし	④把握していない	本学は令和4年4月開学のため、現時点で在学生がいない。入学予定者への発信として、大阪公立大学ウェブサイト上で2022年度前期授業の実施方針について掲載している。		学生への周知として、学内ポータルやウェブサイトへの掲載を他、学生向けアンケート等の実施によって改善すべき課題の把握や改善対応等を予定している。
777	常磐会短期大学			②大多数が理解	履修のオリエンテーションで説明し、理解・納得を得ている。在籍生については、アンケートで理解度・満足度を把握した。		履修のオリエンテーションでの丁寧な説明、学生の満足度調査の実施
778	大阪経済大学			①ほぼ全員理解	窓口ならびにメール等で意見・質問が寄せられるが、方針を理解していない意見や疑念をもった意見は無い。講義に履修登録も完了している。		（自由記述）
779	大阪工業大学						
780	大阪歯科大学						
781	相愛大学						
782	桃山学院大学	異なる学部はありません。		①ほぼ全員理解	授業の方針について、事前に通知を行い、またOAの作成など、適切に情報発信している。現段階において学生からの問い合わせはほとんどないことから適切に対応ができており、理解・納得していると判断した。	なし	授業を開始するまでの間に新入生についてはガイダンスを実施し、在学生には必要に応じて相談できる窓口を随時設置する。
783	摂南大学						
784	桃山学院教育大学			②大多数が理解	学生による授業評価で、面接授業と遠隔授業についての意見も記述してもらっており、ほとんどの授業を面接授業で行う本学の方針に、大多数の学生が理解・納得していると考えられるため。		年度初めの履修ガイダンス等で、授業方針について周知する。
785	大阪医科大学						
786	大阪音楽大学	（該当なし）	（該当なし）	①ほぼ全員理解	ポータルシステムを通じて学生に情報を配信しているから	（該当なし）	ガイダンスにおける新入生への周知

No.	学校名	学部・キャンパスによって割合に差がある場合の理由	学部・キャンパスによって割合に差がある場合の今後の対応策	学生の理解	学生の理解状況について調査理由	学生の理解状況について一部の範囲で異なる状況となっている場合があればその状況・理由	学生の理解・納得を得るために予定している取組
767	大阪学院大学						
768	大阪芸術大学						
769	大阪産業大学						
790	大阪樟蔭女子大学			②大多数が理解	在学生ガイダンスにて周知しているため。		本学の方針は、適宜学生及び保護者へ周知を行う。質問等があれば、学生の理解・納得を得るために丁寧に説明を行う。
791	大阪商業大学	特になし	特になし	①ほぼ全員理解	面接授業実施について感染不安などの訴えは一部に限られるので、ほぼ全ての学生が理解・納得していると考える。	特になし	ポータルサイトでの情報発信の継続
792	大阪体育大学	異なる状況はない		①ほぼ全員理解	令和4年度（前期）授業方針公表後、質問やクレームが皆無である	そのような状況はない	学生個人宛メールと添付書類を送付し、ポータルサイト及び大学ホームページ内にも授業に関する情報を掲載し、より多くの学生が目につくよう周知徹底する。その際、問い合わせ先を表示し、問い合わせ内容を集約して都度検討していく。
793	大阪大谷大学			①ほぼ全員理解	オリエンテーション時に授業形態を周知。学生に配付する時間割表にも、すべての科目掲載している。		特になし
794	追手門学院大学						
795	関西大学			①ほぼ全員理解	授業に関する基本方針について周知しており、それに対して混乱や学生からの問合せ、異議等もなく円滑に授業を実施できているため。		現時点で予定しているものはない。
796	関西医科大学						
797	関西外国語大学						
798	近畿大学	全15学部中、「②7割程度」とした学部が薬学部と医学部の2学部、「③6割程度」とした学部が情報学部の1学部となっている。 7割程度とした学部、特に医学部については、本学では講義・演習等について使用教室の試験定員までを収容の目安と定めており、条件を満たす教室が足りないことから全体と比べ面接授業の比率が少なくなっている。 5割程度とした学部の情報学部は、学部の特性からオンデマンド講義やオンライン講義などの遠隔授業を多く取り入れることを方針に定めているため。	条件を満たす教室数の不足や学部の方針を理由とするため、特別の対応は考えていない。しかし、感染状況によっては使用教室の目安を「試験定員」から「収容定員」に換すなどして、極力面接授業を行うことを本学の方針としている。	④把握していない	学生の理解・納得の状況について調査はしていないため、把握していないと回答した。しかし、限られた年数しか在籍できない学生からは、対面授業を望む声も多く、本学は大学における教育は豊かな人間性を涵養する上で、学内で教員と学生、学生同士が人的な交流等を行うことが重要であると考えている。感染拡大が完全に収束したとは考えない状況であり、再度の感染拡大も想定されるため、すべての授業を対面授業とするのではなく遠隔授業を併用して授業運営を行うという本学の方針に理解・納得いただけたと考えている。	なし	今後新たに取組む事項は予定していないが、引き続きセルフプロテクションを徹底するよう学生に啓発するとともに、自身の感染確認のためにも、抗原検査（キャンパス内で無料実施）の定期的な活用を推奨し、安心して学生が入構できるキャンパスづくりを行う。そのうえで、対面授業に不安のある学生に対しては、メディア授業による受講を認めるなどの教育的配慮も継続して行うことで、本学の授業実施方針に対して学生の理解を得られるよう努める。
799	四天王寺大学			②大多数が理解	令和3年度冬学期、学生の「授業アンケート」の「授業の資料・スライドの分かりやすさ」「パソコン・スマホ等のICTの活用」についての満足度が上がった。（総合評価5段階において4.34）ことを基に「②」として回答した。そのため、令和4年度の前期も同様と想定している。なお、令和4年度前期については授業アンケートにより確認する。		新入生に対してはオリエンテーション（情報機器の操作ガイダンス含む）、教務履修ガイダンス、その他各種資格の説明会を実施し、また初年次教育科目の授業内で説明していく。
800	帝塚山学院大学	該当なし	該当なし	②大多数が理解	在学生には2022年度の授業方針を2月に通知したが、学生からの問い合わせや意見、苦情等は特になかったため。		本学の方針や決断の決まりごとを記載した学生用ガイドラインを作成し、学期ごとのガイダンスにおいて丁寧に説明を行う。授業アンケートとは別に授業受講に関する学生アンケートを半期に一度実施するとともに、学生FDメンバーとの意見交換を通して、学生の生の意見、要望をくみ取り、提案を受け付け、対応や改善の検討を行う。
801	梅花女子大学						
802	阪南大学	本キャンパス・南キャンパスともに同比率です。		①ほぼ全員理解	面接授業、遠隔授業とともに、なぜその形態で授業を実施するのかを学生に示すとともに、授業形態をシラバスに記載し、必要に応じて授業担当者から受講生に対して説明を行っている。	特になし。	特になし。
803	大阪経済法科大学	異なる状況となっていない。		①ほぼ全員理解	ホームページで授業実施方針を公開していることに加え、在学生に対して、令和4年3月に実施した履修ガイダンスにあたり、令和4年度授業の実施方針について説明した動画の公開及び演習ごとのクラスミーティングでの説明を行い、全学生に授業実施方針を説明している。 新入生に対しては、令和4年4月に実施する新入生セミナーにおいて、令和4年度授業の実施方針について説明する計画である。	一部の範囲で異なる状況となっていない。	3-2で回答したとおり、在学生に対する説明を十分に実施していることに加えて、秋学期の開始にあたって令和4年9月に実施する予定の履修ガイダンスで、改めて授業の実施方針について説明した動画の公開及び演習ごとのクラスミーティングでの説明を行う計画である。
804	大阪国際大学	特定の学部等で異なる状況ではない。	特定の学部等で面接授業の比率が少なくなることはない。	②大多数が理解	全学生を対象とした遠隔授業に関するアンケート調査を実施し、77%以上の学生が3割以上を遠隔授業としてほしいとの希望結果を得た。（すべて面接授業を希望し17.3%）	前述のアンケート調査において、特定の学部等で違いは見られない。	既にホームページやセミナー等において、理解を得るための説明を行っている。
805	関西福祉科学大学						
806	太成学院大学			②大多数が理解	授業実施の方針の公表及び授業実施に際しての相談窓口の設置による		アンケート調査などにより学生の授業実施についての意見が考え方を聴取する
807	常磐会学園大学						
808	大阪観光大学			②大多数が理解	授業形態どおりに授業に参加している。		学内の感染対策の徹底
809	大阪人間科学大学						
810	羽衣国際大学						
811	大阪成蹊大学			①ほぼ全員理解	遠隔授業は履修人数が多い大規模授業（全体の5%）に限定しており、密を避けるという理由が明確であるため。		該当なし
812	関西医療大学	特に無し。	特に無し。	①ほぼ全員理解	大学HP及びポータルサイトを利用し、学生、保護者に授業形態について本学の考え方を公開している。 これに対して、学生、保護者から異議・意見が無いため、理解を得ていると考えている。	特に無し。	各学科のオリエンテーション及びガイダンス等で改めて授業形態について説明を行う。
813	千里金蘭大学						
814	東大阪大学						
815	大阪学院大学						
816	豊野大学			③大多数とは言えない	昨年度の遠隔授業についてのアンケート実施や、随時担任教員が行っている個別面談で学生の意見は聞いているが、令和4年度前期の授業に関しアンケートなどの方法での把握は出来ていないため。		引き続き定期的なアンケート実施と情報発信に努める。
817	大阪青山大学						
818	西條学園大学						

No.	学校名	学部・キャンパスによって割合に差がある場合の理由	学部・キャンパスによって割合に差がある場合の今後の対応策	学生の理解	学生の理解状況について調査理由	学生の理解状況について一部の範囲で異なる状況となっている場合があればその状況・理由	学生の理解・納得を得るために予定している取組
819	大阪総合保育大学			①ほぼ全員理解	ほぼすべての科目で対面授業を行っているため。		ガイダンス等で学生への情報発信を増やしていく。
820	森ノ宮医療大学						
821	大阪保健医療大学			①ほぼ全員理解	チューターから資料を配布し、丁寧に説明しており、学生から特に不満などの声が無いため。		なし
822	大阪物産大学						
823	温帯医療科学大学						
824	大阪行田医療大学						
825	大和大学						
826	大阪国際工科専門職大学						
827	大阪信愛学院大学						
828	大阪府崎リハビリテーション大学						
829	大阪キリスト教短期大学						
830	大阪城南女子短期大学						
831	大阪夕陽丘学園短期大学						
832	大阪信愛学院短期大学						
833	大阪成珠短期大学						
834	大阪女子学院短期大学						
835	関西外国語大学短期大学部						
836	堺女子短期大学						
837	大阪音楽大学短期大学部	(該当なし)	(該当なし)	①ほぼ全員理解	ポータルシステムを通じて学生に情報を配信しているから	(該当なし)	ガイダンスにおける新入生への周知
838	大阪学院大学短期大学部						
839	大阪千代田短期大学			①ほぼ全員理解	対面授業を遠隔授業に変更せざるを得ない時勢になった場合に対応できるよう、情報関係の授業の中で説明をこない、一部の授業でライブ授業等実施しているため		特になし
840	関西女子短期大学						
841	近畿大学短期大学部						
842	西條学園短期大学						
843	四天王寺大学短期大学部			②大多数が理解	令和3年度冬学期 学生の「授業アンケート」の「授業の資料・スライドの分かりやすさ」「パソコン、スマホ等のITの活用」についての満足度が高かった(総合評価5段階において4.7)ことを基に「②」として留意した。そのため令和4年度の前期も同様と想定している。なお、令和4年度前期については授業アンケートにより確認する。	なし	新入生に対してはオリエンテーション(情報機器の操作ガイダンス含む)、教務履修ガイダンス、その他各種■の説明会を実施し、また初年次教育科目の授業内で説明していく。
844	大阪国際大学短期大学部	特定の学部で異なる状況はない。	特定の学部で対面授業が少なくなることはない。	②大多数が理解	全学生を対象とした遠隔授業に関するアンケート調査を実施し、77%の学生が3割以上の遠隔授業受講を希望している。(全て対面授業を希望した割合は17.3%であった)	上記のアンケート結果に、特定の学部等の違いは見られない。	既にホームページやセミナーを通じて理解を求めると説明している。
845	東大阪大学短期大学部						
846	鹿野大学短期大学部						
847	大阪健康福祉短期大学						
848	大阪公立大学工業系等専門学校						
849	神戸大学			①ほぼ全員理解	令和4年度の授業実施方針は1月に本学の学生向けポータルサイトにおいて公表しており、十分な参加期間を設けたことから、学生は十分理解していると考えられる。また、各部署においても対面による授業実施のための準備を行うとともに所属学生に対して周知を図っている。		各部署で年度当初に実施する学生へのガイダンスを通じて周知徹底を図る。
850	兵庫教育大学			②大多数が理解	令和4年度授業等の実施方針について、本学HPで在学生、入学予定の学生や保護者に対して公表しており特に意見等は無い。		学生が対面受講か遠隔受講かを選択できるハイフレックス型授業の実施を今後も継続する。また、授業満足度アンケートの実施や教員研修・物品・マニュアル等が必要に応じて改善していくこととしている。
851	神戸市外国語大学			②大多数が理解	基本的に学生が受講方法を選択でき、その方針発表後、特に不満の声は寄せられていないため		検討中
852	神戸市看護大学						
853	兵庫県立大学						
854	芸術文化観光専門職大学						
855	甲南大学	取組定義が大きく、大規模授業が多い学部については遠隔授業の割合が多少増加するが、全ての学部で割合以上が対面となっている。	そのような状況はない。	①ほぼ全員理解	学生向けポータルサイトや大学HPを通じて、授業形態についての全体方針を伝えており、個別の授業形態についてもポータルサイト上で周知している。また、シラバスで開講前に授業形態を周知している。8割以上対面実施できていることから、学生からの異議申し立て等はほとんどなく、理解・納得されていると判断した。	特に差が無い。	従前から丁寧に周知しているため、これを継続していく。
856	甲南女子大学		特定の学部等やキャンパスにおいて、対面授業の比率が少なくなっている状況はない。	①ほぼ全員理解	大学Webページ、教学システム、LMS等多数の媒体から学生へ通知し、学科ごとのオリエンテーションやゼミ等の授業でも個別の教員から丁寧に説明しているため。また、その通知や説明に対して、クレーム等も特に無い。		3-2(20.)に記載の取り組みを、今後も丁寧に継続していく。
857	神戸海星女子学院大学						
858	神戸学院大学	16で回答した通り、薬学部5、6年生については異なる状況となっている。	特になし。	②大多数が理解	「遠隔授業アンケート」の結果、対面と遠隔(原則オンデマンド形式)との併用による授業形態に対して、「不満である」、「とても不満である」と回答した学生の割合は全体の13.4%であったため。	学部による大きな結果に差異はない。	特段の予定なし。
859	神戸女子大学	なし	なし	①ほぼ全員理解	授業の概要についてHP上で公開している。また、授業形態についてほとんど問い合わせがないため	なし	現時点で特になし
860	神戸薬科大学						
861	神戸松蔭女子学院大学						
862	神戸親和女子大学	なし	なし	④把握していない	3月24日に学生へオンライン開講科目を公開したばかりのため。	なし	なし

No.	学校名	学部・キャンパスによって割合に差がある場合の理由	学部・キャンパスによって割合に差がある場合の今後の対応策	学生の理解	学生の理解状況について調査理由	学生の理解状況について一部の範囲で異なる状況となっている場合があればその状況・理由	学生の理解・納得を得るために予定している取組
863	神戸国際大学			①ほぼ全員理解	ホームページ、学生向けポータル、保護者向けポータル、LINEなどを通知している。新入生については郵送・対面（オリエンテーション）にて通知している。		従来同様複数のチャネルとともにゼミ教員等からの説明も加え、丁寧に周知し理解を得る。
864	兵庫大学						
865	神戸常盤大学	該当なし	該当なし	①ほぼ全員理解	履修ガイダンス等で説明を行った際、質問や意見が出ないため。	該当なし	学内オリエンテーションや学部のガイダンス等で繰り返し丁寧な説明を行う。
866	宝塚医療大学						
867	芦屋大学						
868	大手前大学						
869	関西学院大学						
870	甲子園大学						
871	神戸女学院大学			①ほぼ全員理解	令和4年度前期授業方針について、学生にたいわいに説明し周知している。		授業方針については、たいわいに説明し周知していきます。
872	園田学園女子大学						
873	武庫川女子大学	薬学部において、健康生命薬科学科2年生は多人数の講義科目が遠隔授業となるため、面接授業の割合が割程度になります。経営学部において、各学年ともインターンシップ科目による実践学習を行うことから遠隔授業と面接授業が概ね半々となっています。	新型コロナウイルスの状況が未だ不透明な前期は遠隔授業を併用する予定だが、後期については全面的に面接授業を行いたいと考えている。	②大多数が理解	3月初旬に実施方針についてホームページ等で公表しているが、現時点までに反対意見をいただけていないため。	カリキュラム構成上、講義科目の比率が高い学部においては、3密を回避する必要があることから、遠隔授業の比率が高くなっている。	後期については全面的に面接授業を実施することを計画している。
874	兵庫医科大学						
875	姫路獨協大学			①ほぼ全員理解	新入生ガイダンスや学部ガイダンスで学生に周知している。	最初の授業で教員から授業方針内容を直接話していた。	出来る限りコロナ対策を徹底し、対面授業の率を今以上にUPする。
876	流通科学大学			④把握していない	学生の理解・納得の状況を把握するためのアンケートや調査は行っていないため		感染症対策を講じつつ、ポータル等を通じて情報公開をする
877	神戸芸術工科大学	特定の学部等や特定のキャンパスにおいて異なる状況とない。	該当なし。	②大多数が理解	授業の実施方針については、部、学生向けにも大学ポータルサイト及び大学ホームページで周知を行っているため。	異なる状況はない。	特になし。
878	関西福祉大学	ほぼ同様。	ほぼ同様。	①ほぼ全員理解	コロナ禍においても対面を基本として実施しており、学生も授業に理解し参加している。	特になし。	現在、対面を基本とし、実習等も含め実施している。引き続き授業評価アンケート等の分析を含め、学生の理解を得たうえで授業を実施していく。
879	関西国際大学						
880	神戸医療未来大学	経営福祉ビジネス学科では他の学科に比べて実技や演習、実習等の科目が削減される割合が少なく、結果として面接授業の比率が低いものとなっている。	経営福祉ビジネス学科の面接授業の割合の低さは開講科目の違いに起因するものではあるが、結果として人的交流の機会の減少につながるものであるため、他の交流の機会を積極的に設けることが必要であると認識している。	②大多数が理解	令和3年度前期および後期に比べて面接授業の割合を増やす方向での方針を決定し、学生および保護者に通知した。その後、授業の開始時期などに関する問い合わせを受けることがあるが、授業の実施方針そのものに関する意見は特に寄せられていない。そのため、概ね次年度の方針については理解を得ていると推察できる。		大学の実施の方針について理解を得るためには、方針を社会情勢の変化などを考慮して適切に定め、変更が生じた場合はできるだけ速やかに公表することが必要と考える。
881	神戸情報大学院大学			④把握していない	調査は行ってない		特になし
882	関西看護医療大学						
883	姫路大学						
884	大阪芸術大学短期大学部						
885	大手前短期大学						
886	神戸女子短期大学						
887	神戸常盤大学短期大学部	該当なし	該当なし	①ほぼ全員理解	履修ガイダンス等で説明を行った際、質問や意見が出ないため。	該当なし	学内オリエンテーションや学部のガイダンス等で繰り返し丁寧な説明を行う。
888	道栄短期大学						
889	豊田短期大学						
890	甲子園短期大学						
891	神戸教育短期大学						
892	聖和短期大学						
893	園田学園女子大学短期大学部						
894	産業技術短期大学						
895	東洋食品工業短期大学						
896	兵庫大学短期大学部						
897	淡川短期大学						
898	武庫川女子大学短期大学部	心理・人間関係学科において、講義科目が多いため面接授業の割合が4割程度となっています。	新型コロナウイルスの状況が未だ不透明な前期は遠隔授業を併用する予定だが、後期については全面的に面接授業を行いたいと考えている。	②大多数が理解	3月初旬に実施方針についてホームページ等で公表しているが、現時点までに反対意見をいただけていないため。	カリキュラム構成上、講義科目の比率が高い学部においては、3密を回避する必要があることから、遠隔授業の比率が高くなっている。	後期については全面的に面接授業を実施することを計画している。
899	姫路日ノ本短期大学						
900	明石工業高等専門学校						
901	神戸市立工業高等専門学校						
902	奈良教育大学			②大多数が理解	同様の方針のもと実施した令和3年度後期の授業について大多数の学生が理解・納得していたため。また、すでに令和4年度前期の授業に関する方針を示しているが、特に問合せ等がないため。		特になし
903	奈良女子大学			①ほぼ全員理解	本学HPにおいて新型コロナウイルス感染症拡大防止のための本学行動指針を公表し、また学生個人宛にも同内容を個別に周知しているため		今のところ新たに何かを行う予定はなし
904	奈良先端科学技術大学院大学						
905	奈良県立医科大学			②大多数が理解	不満の声がほぼないため。	特になし	これまでどおり、文書や口頭で学生に説明するとともに、医学部及び看護学部の会学生の代表が集まるキャンパスミーティングやカリキュラムモニタリングワークショップで学生の意見も聴取し、反映する。
906	奈良県立大学						
907	帝塚山大学						
908	天理大学	特になし	特になし	②大多数が理解	大学のHP、掲示や学務システム等で周知徹底している。	特になし	特になし
909	奈良大学	異なる状況にはなっていません。		①ほぼ全員理解	大学のHP、学生用WEBポータルサイトで周知しており、特に問い合わせもありません。	異なる状況にはなっていません。	引き続き、大学HP、学生用WEBポータルサイトで情報提供を行います。

No.	学校名	学部・キャンパスによって割合に差がある場合の理由	学部・キャンパスによって割合に差がある場合の今後の対応策	学生の理解	学生の理解状況について調査理由	学生の理解状況について一部の箇所で異なる状況となっている場合があればその状況・理由	学生の理解・納得を得るために予定している取組
910	奈良学園大学			②大多数が理解	学生及び保護者への説明を丁寧に行った結果、大学に対し、授業形態のご意見をいただく件数が少なくなったため。		説明文書の配布。保護者懇談会で現状報告及び説明を実施。
911	畿央大学			①ほぼ全員理解	学生を対象に実施した「授業に関するアンケート」においては直接授業と遠隔授業の効果的な開立を望む声をもっとも高く、それも念頭に置く形で授業運営方針を定めたため。		遠隔授業については収録機器の充実や使用方法の説明等を通じて、ブラッシュアップを図っていく。
912	天理医療大学	単独学部であるため、該当せず。		②大多数が理解	入学時ガイダンス、学年初めの学年別ガイダンスで、その時々感染拡大状況に基づき、感染防止の基本的な感染防止対策(手洗い、換気)について、繰り返し提示している。また、学生、教職員感染状況について、ポータルサイトにより随時情報提供し、対応に協力するようにしている。当初は登校できないことへの不満や、逆に、登校することへの不安が聞かれたが、昨年の学生との意見交換の会での学生の反応から、理解と納得は得られていると受け止めている。	単独学部であるため、該当せず。	前掲20への回答のとおりだが、新生を迎えるに当たり、改めて本学の「新型コロナウイルス感染症予防ガイドライン」を再提示し、新入生を含む学生・教職員全体に感染予防対策、及び、感染が疑われる場合の対応について、ガイダンスを行う。
913	奈良芸術短期大学						
914	奈良佐保短期大学						
915	白鳳短期大学						
916	奈良工業高等専門学校						
917	和歌山大学	特に異なっていません。		①ほぼ全員理解	前年度に引き続き、ガイダンスでは授業形態、授業計画、履修方法を説明し、履修相談として学生相談の時間も十分に確保しています。また、在学生に対しては、Web掲示等で案内し、さらに、お問い合わせフォームを設け、全学体制で学生の質問等へ丁寧な対応を行っています。	特に異なっていません。	(再掲) 前年度に引き続き、ガイダンスでは授業形態、授業計画、履修方法を説明し、履修相談として学生相談の時間も十分に確保しています。また、在学生に対しては、Web掲示等で案内し、さらに、お問い合わせフォームを設け、全学体制で学生の質問等へ丁寧な対応を行っています。
918	和歌山県立医科大学			①ほぼ全員理解	オリエンテーションで学生に説明しているため。		なし
919	高野山大学						
920	和歌山信愛大学						
921	和歌山リハビリテーション専門学校						
922	和歌山信愛女子短期大学						
923	和歌山工業高等専門学校						
924	鳥取大学			②大多数が理解	学生の理解、納得状況の調査をしていないが、大学Webページにて令和4年度前期の授業実施方法を掲載したところ、学生から意見・問合せ等は来ていないため、理解・納得しているものと理解している。		・感染状況を把握しながら、本学の感染症タスクフォースで授業の実施方針を決定し、早めに大学ホームページやメール等で学生に発信する。また、各種オリエンテーション、ガイダンスで学生の理解を得るよう説明する。
925	公立鳥取環境大学			①ほぼ全員理解	令和4年度前期の授業の形態等について、予め学生に対して十分に周知している。これまで(令和3年度以降)も、感染状況により授業形態等を変更しているため、学生は理解・納得をしていると考えている。		感染状況により授業形態等の変更が必要な場合は、これまでと同様、複数の媒体による周知を徹底する。
926	鳥取看護大学						
927	鳥取短期大学						
928	米子工業高等専門学校						
929	鳥取大学	なし。		②大多数が理解	令和3年度前期授業評価アンケート結果から、「意欲的に取組んだ」92.4%、「総合的に判断してこの授業に満足した」97.9%(そう思う、少しそう思うの合計)など比較的高い回答を得ている。	なし。	少数でのオリエンテーションでの授業実施方針の丁寧な説明、アンケートの実施
930	鳥取県立大学			①ほぼ全員理解	学生に対して学生情報システムや時間割などで常に最新の情報を示しており、授業の実施方法に関する問い合わせ等もほとんどないため。		・これまでと同様、学生への丁寧な説明・周知 ・感染に不安を感じる学生への配慮・支援
931	鳥取県立大学短期大学部			①ほぼ全員理解	2年間という短い学修期間の中で、これまでは感染対策のために多くの制約があった。感染対策は継続して行いが、学生の学びや学生生活充実のために直接授業を主として実施する。	特になし。	・学生への丁寧な説明 ・感染に不安を感じる学生への配慮及び支援
932	松江工業高等専門学校						
933	岡山大学	特になし	特定の学部やキャンパスにおいて、直接授業の比率における差は生じていない。	②大多数が理解	大学HP、一斉メール及び各学部等における説明において、新型コロナウイルス感染症拡大状況、それに伴う大学の対応について周知しており、学生は状況を理解していると考えられる。また、令和4年度前期は、対面授業を増やすこととしているが、オンライン授業を行う方が教育効果が高いと考えられる場合オンライン授業を実施することとし、体調不良の学生、基礎疾患を持つなど感染症リスクが高い学生や、感染リスクを懸念する学生は、対面授業において欠次の扱いや、オンラインでの受講を可能としているので、大多数の学生の希望に対応することができていると考える。	特になし	原則として、これまでの取り組みを継続するとともに、必要に応じて、アンケート調査等で実態やニーズを把握し、今後の取り組みを検討する予定である。
934	岡山県立大学	デザイン学部は学修の内容上、直接授業の割合が高くなっている	全体の中で特定の学部で直接授業の比率が少なくなっている状況ではありません	②大多数が理解	適宜、情報発信を行っているため		特になし
935	新見公立大学						
936	倉敷市立短期大学						
937	吉備国際大学						
938	岡山商科大学						
939	岡山理科大学			①ほぼ全員理解	大学公式のホームページやポータルサイト上で、授業の実施方法について周知している。		大学公式のホームページやポータルサイト上で、授業の実施方法等について大学の方針を通知する。
940	くらき作陽大学						
941	ノートルダム清心女子大学						
942	川崎医科大学						

No.	学校名	学部・キャンパスによって割合に差がある場合の理由	学部・キャンパスによって割合に差がある場合の今後の対応策	学生の理解	学生の理解状況について調査理由	学生の理解状況について一部の範囲で異なる状況となっている場合があればその状況・理由	学生の理解・納得を得るために予定している取組
943	就実大学			①ほぼ全員理解	周知のためHPにて公表予定（・オンデマンド対応科目）	・2022年度前期授業方法について	遠隔授業受講方法等に関するWeb上での説明の更新
944	川崎医療福祉大学						
945	山陽学園大学			②大多数が理解	授業については、これまでもMoodle等を利用して周知しているため。		4月のオリエンテーションにて、履修指導とともに説明を行う予定。
946	倉敷芸術科学大学						
947	岡山学院大学						
948	中国学園大学						
949	理化学院大学						
950	岡山医療専門学校						
951	美作大学						
952	就実短期大学			①ほぼ全員理解	周知のためHPにて公表予定（・オンデマンド対応科目）	・2022年度前期授業方法について	遠隔授業受講方法等に関するWeb上での説明の更新
953	岡山短期大学						
954	作陽短期大学						
955	中国短期大学						
956	美作大学短期大学部						
957	山陽学園短期大学			②大多数が理解	授業については、これまでもMoodle等を利用して周知しているため。		4月のオリエンテーションにて、履修指導とともに説明を行う予定。
958	川崎医療短期大学						
959	津山工業高等専門学校						
960	広島大学	ほぼすべての学部で対面を含む科目が9割を超えているが、情報科学部情報科学部では、対面的を含む科目の割合は令和2年度（67.7%）か部のみ76.9%とやや少ない。これは、特に講義系の科目において、オンラインの活用により教育効果が得られることが一因と思われる。	情報科学部では、対面的を含む科目の割合は令和2年度（67.7%）から増加している。引き続き、各科目の特性や内容に応じて対面とオンラインとの併用を図り、それぞれの特長を活かした授業を実施する。	④把握していない	令和4年度の授業等の実施に関する方針の公開後、学生・保護者等からの問合せや不満の意見等はなく、ほぼ理解を得られているものと思われるが、大学として「理解・納得」の度合いを調査している訳ではないため、上記回答（把握していない）とした。		授業期毎に実施している「授業改善アンケート」の自由記述等から学生の意見（特にオンラインの活用方法）を収集し、授業の実施方法・授業内容の充実の観点から他の教員にも参考になる取組について教員間での情報共有を行い、学生の満足度の向上を図る。
961	県立広島大学			④把握していない	令和4年度の授業方針について学生への周知はこれからの予定であるため		令和4年度の授業方針について学生への周知を徹底し、授業に関するアンケート調査を実施することにより学生の状況を把握する
962	尾道市立大学			②大多数が理解	令和3年12月ごろから学内ポータルサイトで授業に関する情報を提示し、学生の理解・周知に努めているため。また、オンラインを希望する学生には個別に事情を伺い、可能な範囲で対応を実施しているため。		引き続き早期の情報提供、周知に努める。
963	広島市立大学			②大多数が理解	令和4年2月14日に本学ウェブサイト等において、『2022年度前期の授業実施方針について』を公表し、これについて特設の質問や意見は寄せられていないことから、大多数の学生は、授業の形態等について理解・納得しているものと考えています。		授業の実施方針等については、その考えも含め、引き続きウェブサイト等を通じて学生や保護者に対し随時お知らせすることとしています。
964	福山市立大学			①ほぼ全員理解	授業の形態等を学期が始まる前に教員に照会し、集計したものを一覧表にして学生周知しているほか、教員からも随時、学生に周知している。		特になし
965	厳密大学						
966	エリザベト音楽大学						
967	広島経済大学						
968	広島工業大学						
969	広島修道大学						
970	広島学院大学						
971	広島国際学院大学						
972	広島文教大学						
973	安田女子大学						
974	福山大学			②大多数が理解	令和2年度前期に実施した遠隔授業に対するアンケート調査において学生から出た不満に対応する措置を行ったこと、毎年度前・後期に実施している授業評価アンケート調査において、令和元年度以前と比べて令和2年度の遠隔授業の導入後に全体として授業に対する評価が改善していること、及び同アンケート調査の自由記述欄に遠隔授業に対する不満を述べた学生は少なかったことから判断した。		令和2、3年度と同様に、大学ホームページ、ならびに学生全員へのメール配信等により、大学の授業実施方針や、周辺地域での感染拡大状況に対応した授業に関する活動指針のレベル変更等について丁寧な説明を行う。
975	比治山大学						
976	福山平成大学	学生数の多い学部（学科）の授業は他の学部（学科）に比べて面接授業の比率は少ないが、各学部（学科）とも面接授業比率は8割以上であるため、今後の対応等は検討していません。	特定の学部（学科）において面接授業の比率が大きき異なっていないため、今後の対応等は検討していません。	①ほぼ全員理解	県の感染レベルに対応した授業実施基準を設け学生に周知しているほか、LMSを活用して授業形態等の説明・連絡を発信しているため、ほぼ全ての学生は授業形態等について理解・納得していると判断します。		現状においては特に検討していません。
977	広島文化学園大学						
978	広島国際大学	なし。	なし。	①ほぼ全員理解	時間割表ならびにシラバスに授業形態を記載している。	なし。	感染症感染拡大等により、授業形態が変更する場合は授業担当者からその都度連絡する。
979	日本赤十字広島看護大学	該当なし	該当なし	①ほぼ全員理解	シラバス及びガイダンス、学部ポータル等で学生に周知します。	該当なし	学生へのアンケート調査や、学生自治会との意見交換会を実施します。
980	広島都市学園大学			②大多数が理解	ガイダンス実施等により説明しています。		ガイダンス実施等により授業実施方法等の判断理由を説明予定です。
981	山陽女子短期大学						
982	比治山大学短期大学部						
983	広島文化学園短期大学						
984	安田女子短期大学						
985	呉工業高等専門学校						

No.	学校名	学部・キャンパスによって割合に差がある場合の理由	学部・キャンパスによって割合に差がある場合の今後の対応策	学生の理解	学生の理解状況について調査理由	学生の理解状況について一部の理由で異なる状況となっている場合があればその状況・理由	学生の理解・納得を得るために予定している取組
986	広島商船高等専門学校						
987	山口大学	該当なし	該当なし	①ほぼ全員理解	本学では、面接授業を行うことを原則としており、感染症対策のためやむを得ない場合に遠隔授業を実施することを周知しており、理解は得られていると考える。一方で面接授業への出席に不安がある者は申し出るようにしており、その場合は代替措置を講ずるようになっている。	該当なし	授業の実施方針や感染対策方法について、WEBページ及びメールによる学生への周知。各学部・研究科において対面授業に出席することについての不安などを相談できる体制。
988	下関市立大学			②大多数が理解	2022年度授業実施方針を全年度より公表するなど、遠隔授業を実施する理由や必要性について学生等に対して説明や情報提供に努めた。		今後も継続的に情報提供を行う予定である。
989	山口県立大学			②大多数が理解	令和4年度前期の授業方針を2月25日にホームページ及び全学生へのポータルシステム（メール配信を含む）で周知したが、特に意見や問合せはないため。		これまでと同様に授業方針を決定・変更した際には、事前に全ての学生に確実に届く方法で周知する。また、方針の説明については、経路だけでなく、背景にある考え方や、方針に従った場合の行動指針等も合わせて丁寧に説明することで、不安や迷いがないようにする。
990	山陽小野田市立山口東京理科大学						
991	周南公立大学						
992	福光学院大学						
993	東亜大学	なし	なし	②大多数が理解	来年度のアンケート結果次第	なし	ガイダンスの実施
994	聖隷総合大学	現状では、全体の面接授業と遠隔授業の実施比率において、キャンパス間で大きな差はみられない。	特記事項なし	②大多数が理解	現在、授業評価アンケートや教務に寄せられる学生の声からは、面接・遠隔に関する授業方針についての批判はあまりない。ただし、急な遠隔対応等に不満のある学生の声もあるため、①ではなく②とした。		・学生がどう行動すればよいのか、視覚的にわかりやすいようにホームページを改善する ・初年次において授業方針の具体的な説明やLMS・オンライン授業についての説明の機会を継続してもつ。
995	宇部フロンティア大学			②大多数が理解	特になし		特になし
996	山口学芸大学			②大多数が理解	特になし		特になし
997	宇部フロンティア大学短期大学部			②大多数が理解	特になし		特になし
998	下関短期大学						
999	山口短期大学						
1000	山口芸術短期大学						
1001	岩国短期大学						
1002	徳山工業高等専門学校						
1003	宇部工業高等専門学校						
1004	大島商船高等専門学校						
1005	徳島大学	BCPレベルに応じた対応を原則とするが、実習や実験を必須とする学部等においては、面接授業の比率が大きくなる可能性がある。		②大多数が理解	BCPレベルに応じて授業を実施しているため。		学生の意見を集約し、改善に取り組むため、アンケートの実施を検討している。
1006	山口教育大学	該当なし	該当なし	①ほぼ全員理解	本学では、本学ウェブページの掲載や教務事務システムによる電子提示板等により、随時、授業実施方針の変更等をわかりやすく周知しており、令和4年度前期の授業方針については、併時に学生に周知予定である。 また、令和3年度前期の遠隔授業に関するアンケートを実施した結果、回答者中8割近くの学生が遠隔授業を肯定的にとらえていること、一方でキャンパスに滞留して学ぶ機会や対面での交流機会を学生は重要視していること、遠隔授業のみでは対応が難しい課題等があることが明らかになった。これらのアンケート結果を踏まえ、令和4年度前期の授業は面接授業と遠隔授業を併用して実施する予定としている。 上記のように、丁寧な周知やアンケート結果を踏まえた対応を行うことで、学生の理解を得ていると認識している。	該当なし	オンライン授業に関するアンケート調査
1007	四国大学						
1008	徳島文理大学						
1009	四国大学短期大学部						
1010	徳島文理大学短期大学部						
1011	徳島工業短期大学						
1012	阿南工業高等専門学校						
1013	香川大学	特になし。	特になし。	①ほぼ全員理解	2021年2月に「遠隔授業に関するアンケート調査」を実施した結果、遠隔授業に対して7～8割の学生から「満足」「ある程度満足」との回答を得られた。その後も、特設授業方針に対する苦情等はききていない。	特になし。	特になし。
1014	香川県立保健医療大学	1学部1キャンパスであり、異なる状況はない。		①ほぼ全員理解	授業の形態等については、令和3年度前期・後期に引き続き、実施するものであり、このことについて、学生にホームページ等で周知を図ることとしている。		授業の形態や新型コロナウイルス感染症対策等について、適宜、適切に周知徹底を図る。
1015	四国学院大学						
1016	高松大学						
1017	香川短期大学						
1018	高松短期大学						
1019	せとらち観光専門職短期大学						
1020	香川高等専門学校						
1021	愛媛大学						
1022	愛媛県立医療技術大学			①ほぼ全員理解	授業形態等については、変更が生じる毎に周知・説明を徹底しており、それを受けて学生から不満の声はほとんどあがっていないため。		今までどおり、最新情報の周知・説明を徹底する。
1023	松山大学	該当せず	該当せず	②大多数が理解	オフィシャルサイト及び学内ポータルにて周知しているが、ほぼ全ての学生が確認しているわけではない。	特になし	特になし

No.	学校名	学師・キャンパスによって割合に差がある場合の理由	学師・キャンパスによって割合に差がある場合の今後の対応策	学生の理解	学生の理解状況について調査理由	学生の理解状況について一部の理由で異なる状況となっている場合があればその状況・理由	学生の理解・納得を得るために予定している取組
1024	聖カタリナ大学			②大多数が理解	今までも面接授業を原則としており、次年度においても同様の方針である。学生の理解・納得に関するアンケート等を実施しているわけではないが、今まで特に大きな問題は発生していないため、学生の理解を得られていると考えている。		年度（状況によっては学期）の始めに履修ガイダンス資料とともに「新型コロナウイルス関連の留意事項」を学生に通知しているが、今後も継続する。
1025	松山東雲女子大学						
1026	今治明德短期大学						
1027	聖カタリナ大学短期大学部			②大多数が理解	今までも面接授業を原則としており、次年度においても同様の方針である。学生の理解・納得に関するアンケート等を実施しているわけではないが、今までに特に大きな問題は発生していないため、学生の理解を得られていると考えている。		年度（状況によっては学期）の始めに履修ガイダンス資料とともに「新型コロナウイルス関連の留意事項」を学生に通知しているが、今後も継続する。
1028	松山東雲短期大学						
1029	松山短期大学						
1030	新居浜工業高等専門学校						
1031	弓削高輪高等専門学校						
1032	高知大学	本部（新倉）キャンパスでは、教室収容定員を削減している関係で、共通教育などの大人数講義は遠隔授業とせざるを得ないため、7割程度の面接授業実施率となっている。依に削減した教室収容定員を受講者数の上限とした場合、学生が希望する授業を受講できないだけでなく、4（6）年間の履修計画全体に影響を及ぼすため、遠隔授業も活用しながら授業を実施することとしている。 なお、森林海洋科学部のある物部キャンパスでは、面接授業に対応できる少人数の専門科目授業が多いため、9割程度の授業で面接授業を実施する予定である。	特定のキャンパスや学部等において、面接授業の実施率が低いという実態はない。	②大多数が理解	学生に対しては、本学のコロナ対策ガイドラインにより、丁寧な説明とその決定に至った理由、根拠等を示し、周知徹底を図っている。また、各学期に全学生を対象に実施している「オンライン少人数授業に関するアンケート」調査によれば、遠隔授業への満足度は学期が進むにつれて上昇し、現在では8割以上の学生が満足しているという結果が示された。	特になし	後期の授業に向けては、教室定員の削減率を緩和し、収容定員を増やすことで面接授業の実施率を上げていきたい。そのためにも、学生には感染対策のさらなる徹底を啓発する。
1033	高知県立大学						
1034	高知工科大学			①ほぼ全員理解	授業の実施形態等に関する苦情が寄せられることが少ないため、ほぼ全ての学生から理解・納得を得られていると判断した。	令和2年度入学生については、新型コロナウイルスの影響で、入学直後に行われるオリエンテーション等が十分に実施できておらず、また授業についても年間オンラインでの実施となった。これらのことが直接関連しているかは不明であるが、他の学部に対比、学部についてわからない学生や各種制度を理解できていない学生の割合が多いように感じている。	オリエンテーション等において、引き続き丁寧に説明していく。
1035	高知リハビリテーション専門学校						
1036	高知学園大学						
1037	高知学園短期大学						
1038	高知工業高等専門学校	本校は該当しない。		①ほぼ全員理解	在校生は、令和2年度及び令和3年度に対面授業と遠隔授業の併用を経験しており、令和4年度前期に実施する予定の授業形態に十分理解している。新入生には、入学時に全員にノートPCを貸与し、4月中に遠隔授業での使用方法等を周知徹底する。また、全学生による授業評価アンケートを行った結果、遠隔授業を併用するようになってから評価が明らかに上がっていることから、学生の理解・納得が得られていると考えている。	本校は該当しない。	令和3年度からの継続として、新入生には、1年間ノートPCを貸与し、1年生研修や情報系の授業を通して、遠隔授業への対応方法（授業の受け方、課題の提出方法等）を理解させていく予定。また、令和4年度からは2年生にもノートPC貸与し、1年生から引き続き、自前のPCを用意しなくても遠隔授業に対応できるようにする予定。
1039	九州工業大学	本学では、キャンパス間での差異も設けず基本面接授業中心とする方針である。	該当しない	②大多数が理解	学生向けに授業方針や実施に関する意見箱を設けている。意見箱の回答結果からは、特段反対意見は見受けられないため	意見箱の回答結果からは、特定の学部等・学年において、理解・納得の度合いは異なっていない。	意見箱に、授業アーカイブの充実の要望があったため、整備を検討したい。
1040	福岡教育大学	該当なし		②大多数が理解	授業評価アンケート結果等を見る限り、遠隔授業に関する否定的な意見は見られなかった。	授業評価アンケート結果等では、特定の学年で異なる状況が見られなかったため。	授業評価アンケートや学生の意識調査等を実施する予定である。
1041	九州大学			②大多数が理解	本学の行動指針等については、全ての学生の個別アドレス宛にメールを送信するなどにより、定期的に説明をしており、また、授業の実施についても、各期毎に部局等において周知し、学生が理解できるように努めている。		今後も引き続き、現在と同様の取組により、学生への周知等を行っていく予定。
1042	北九州市立大学	特になし	特になし	②大多数が理解	面接授業を基本とし、一部遠隔授業とする令和4年度の授業実施方針について、学生から事前の問合せ等はほとんどなく、コロナ禍での授業形態がある程度定着しているものと考えられるため。	特になし	特になし
1043	九州歯科大学			②大多数が理解	これまでも大多数の学生が問題なく授業に参加していた。授業の形態については、令和4年度も今年度の考え方を踏襲しており、また、あらゆる機会をとらえて周知に努めているため、大多数の学生の理解・納得が得られていると判断した。		学生への一斉メール、キャンパス・ライブ・ガイダンスでの周知等
1044	福岡女子大学			④把握していない	学生の理解・納得の状況に関する調査等を実施していないため把握していない。		大学全体の授業実施形態等については、その都度全学生、教職員にメールにて周知している。
1045	福岡県立大学						
1046	中村学園大学短期大学部	学科による差はありません。	なし。	④把握していない	短大の方針について学生からの情報は殆ど無いため理解していると考ええる。但し、学生の納得に関するアンケートは実施していないため、納得しているかどうかは不明である。	なし。	HP及び学内ポータルサイトによる告知の他、オリエンテーションの際に学生へ説明予定。
1047	九州共立大学						
1048	九州女子大学						
1049	九州国際大学			②大多数が理解	各学期前に「授業開始に向けた基本方針」を作成し、学生、保護者、教職員に配信し、理解と協力をお願いしている。		遠隔授業をする理由や必要性等について、学生が十分に納得できるよう丁寧な説明・情報提供に努めていく。
1050	福岡歯科大学						

No.	学校名	学部・キャンパスによって割合に差がある場合の理由	学部・キャンパスによって割合に差がある場合の今後の対応策	学生の理解	学生の理解状況について調査理由	学生の理解状況について一部の理由で異なる状況となっている場合があればその状況・理由	学生の理解・納得を得るために予定している取組
1051	九州産業大学			①ほぼ全員理解	令和4年度の授業形態について、学生への周知を行った後、学生からの特段の問い合わせやSNS等への書き込みもないため。		学内や、市中の感染状況を具体的に伝え、取り組みに対する理解を求める。また、可能な限り早めに決定し、学生等に周知し、理解を求める。
1052	久留米大学						
1053	西南学院大学			①ほぼ全員理解	学内ポータル、大学HPを通じて、西南学院大学学長 兼 新型コロナウイルス感染症対策本部長名で学生・保証人に向けて周知している。また、感染レベルに応じた行動指針も大学HPに公表している。		特になし
1054	第一薬科大学						
1055	中学院大学	全体としては①(8割以上)であるが、一部の学部において②(7割程度)に該当する。実技や実習科目数に差があるためであり、また差もなし1割程度であるため大きな差ではないと考える。		④把握していない	大学の方針について学生からの情報は殆どない為、理解していると考えられる。但し、学生の納得に関するアンケートは実施していないため、納得しているかどうかは不明である。		HP及び学内ポータルサイトによる告知の他、オリエンテーションの際に学生へ説明する予定。
1056	西日本工業大学						
1057	福岡大学						
1058	福岡工業大学			②大多数が理解	本学は、2021年度も対面授業をベースに一部遠隔方式を取り入れる形で授業を展開し、保護者、学生から理解を得たと認識している。2022年度も授業実施方針を認識しているため大多数の学生は授業の形態等について理解・納得していると考えている。		大学ホームページ及び学内掲示板で授業実施方針を発信し理解・納得を得ることを予定している。
1059	日本経済大学		留学生も多い為新型コロナウイルス感染の状況、学生の入国状況を勘案しながら、直接授業の実施比率を高めていく予定。	②大多数が理解	各授業で実施する授業評価アンケートの回答において、理解し、本学の実施方法に対し肯定的に受け入れている学生の割合が高い。		大学ホームページでの情報公開、1年から4年生までの必修ゼミ(1年:SPゼミナー、2年:基礎ゼミ、3年生:専門ゼミ1、4年生:専門ゼミ2)における福やなよしゆほう共有と説明並びに意見交換等
1060	久留米工業大学	特になし	特になし	①ほぼ全員理解	授業形態については変更が生じた場合、学内メール・HP・LMS(Moodle)・配布時間割等により学生への周知を図っている	特になし	従来の周知方法を継続
1061	産業医科大学	特になし	特になし	②大多数が理解	学生からの意見・要望を十分に取り入れたうえで実施しているため。	特になし	特になし
1062	筑業学園大学			①ほぼ全員理解	遠隔授業に該当する授業を公表したが、学生からは特にクレームや質問も出ていない。		学生の授業アンケートの回答や、学生自治会(学友会)との協議により、授業に関する理解や納得を得る予定
1063	福岡女子学院大学						
1064	西南女子学院大学						
1065	九州情報大学						
1066	九州栄養福祉大学	特記事項なし。	特記事項なし。	②大多数が理解	一部外部講師の希望で遠隔授業となった科目があるものの、当該科目以外は本学の専任教員が担当している。オンライン授業は学生の出校の便を考え、学年ごとに特定曜日を取り替えている。学生は、通常、直接授業を受講しており、質問や課題の提出等が特段の支障なく行っているため。	上記の通り、やむを得ずオンライン授業となっている外部講師がいる。一部受講者から直接授業を望む声があり、学修効果を高めるため、資料準備や教室の環境整備に留意している。	権力面授業の実施に努めるが、オンライン授業が不可避となった場合に備え、機材や授業の工夫等により授業の質を高めるための環境整備を継続して執り行いたい。
1067	日本赤十字九州国際看護大学						
1068	聖マリア学院大学			③大多数とは言えない	令和3年度後期と大きく変わらない授業方針であり、学生による授業評価の総合的満足度を指す回答では学部全体の平均で低評価中4.8を越える結果であったことから、多くの学生の理解・納得が得られているのではないかと考えているが、令和4年度前期の授業方針について特段の調査を実施していないため③とした。		感染の増減は一定期間は繰り返すことを前提に、昨年度より、感染状況の授業方針変更ではなく、中期的な基本方針に基づき対応することとした。令和4年度前期についても基本的には現在の方針を認識するものと考えており、年度始めのオリエンテーションやホームページ等周知し、理解や納得を得られるようにしていきたい。
1069	福岡女子学院看護大学	該当なし	該当なし	②大多数が理解	以前実施した学生の自治組織によるアンケート調査で授業の形態について理解を示す結果を確認している。また問い合わせはメールの対応で内容を振り分ける工夫をし、個別にメールで回答し納得を得るよう努めている。さらにアドバイザー制度等により学生の状況は直接的に把握できているものと考えている。	該当なし	新年度オリエンテーションで各学年で授業の実施方法について説明を行う予定である。引き続き、状況の変化に応じて授業の実施方法等も明示し説明する。
1070	保健医療経営大学						
1071	純真学園大学						
1072	福岡看護大学			①ほぼ全員理解	対面授業として、授業日程を学内に公表しているが、特に学生からの要望や問い合わせができていない。		現状で不都合がないことから、特に措置する予定がない。
1073	福岡国際医療福祉大学						
1074	折尾愛真短期大学			①ほぼ全員理解	在校生は今年度の経験があるから。		新入生に対して丁寧な説明が必要と考える。
1075	九州女子短期大学						
1076	西南女子学院大学短期大学部						
1077	東京紫短期大学						
1078	福岡女子短期大学			①ほぼ全員理解	新入生にはオリエンテーションにて説明予定		特になし
1079	近畿大学九州短期大学						
1080	久留米信愛短期大学						
1081	香蘭女子短期大学						
1082	純真短期大学						
1083	精華女子短期大学						
1084	西日本短期大学						

No.	学校名	学部・キャンパスによって割合に差がある場合の理由	学部・キャンパスによって割合に差がある場合の今後の対応策	学生の理解	学生の理解状況について調査理由	学生の理解状況について一部の範囲で異なる状況となっている場合があればその状況・理由	学生の理解・納得を得るために予定している取組
1085	福岡工業大学短期大学部	特になし		①ほぼ全員理解	オリエンテーションで通知	特になし	新年度オリエンテーションやゼミ等での説明を実施
1086	福岡女学院大学短期大学部						
1087	九州産業大学造形短期大学部			①ほぼ全員理解	令和4年度の授業形態について、学生への周知を行った後、学生からの特段の問い合わせやSNS等への書き込みもないため。		学内や、市中の感染状況を具体的に伝え、取り組みに対する理解を求める。また、可能な限り早めに決定し、学生等に周知し、理解を求める。
1088	九州大谷短期大学						
1089	福岡こども短期大学			①ほぼ全員理解	新学年のオリエンテーション時に、全学生へ説明した。		定期的に、遠隔授業に関する情報を発信していく。
1090	福岡医療短期大学						
1091	令和健康科学大学						
1092	久留米工業高等専門学校						
1093	有明工業高等専門学校						
1094	北九州工業高等専門学校						
1095	佐賀大学	該当なし	該当なし	②大多数が理解	令和3年度に実施した授業アンケートの結果、授業に関する満足度は、およそ8割の学生が肯定的な回答をしていることから、大多数の学生は、授業の形態等について理解・納得していたと見える。令和4年度授業方針は令和4年3月上旬にIPで公表したが、これまでに特段の問題点は寄せられていない。授業アンケートについては令和4年度も引き続き実施し、学生の意見・理解の状況を取り入れていく。	該当なし	引き続き、授業アンケートの内容から、学生の理解・納得の状況を確認し、学生に寄り添った対応を行う。また、授業の形態等に関する方針等を定め公表するにあたっては、判断の理由や根拠等について、学生一人一人に伝わるような形で発信する。
1096	西九州大学			③大多数とは言えない	通学時における新型コロナウイルス感染に敏感な学生も多少なりとも存在する		世の流れに沿って、コロナウイルスとの共生を目指していくしかない
1097	佐賀女子短期大学						
1098	西九州大学短期大学部			①ほぼ全員理解	授業評価アンケート結果		IP等への掲載やオリエンテーション・ガイダンス等での説明
1099	九州龍谷短期大学						
1100	長崎大学			④把握していない	学生に対しては、前期の授業実施に関する大学の方針をメール、LMS、アプリ等のツールにて丁寧に説明しているものの、現時点ではアンケートを実施してあらず、理解・納得しているか等については把握できていない。		学生に対して、授業終了後に授業に対するアンケートを実施しており、回答内容を分析の上、改善が必要な事項については全体で共有し、検討する。
1101	長崎県立大学			①ほぼ全員理解	令和4年度第1学期の授業実施方法について、学生に対して3月上旬に周知を行い、それに対して学生からの意見は特にないため。	特定の学部、学年等で理解、納得の度合いに違いはない。	特になし
1102	長崎総合科学大学						
1103	活水女子大学						
1104	長崎純心大学			①ほぼ全員理解	本学が2021年度に実施した「『遠隔授業』実施に関する調査(学生対象)」において、学生から遠隔授業に対する不満等は少なく、今後も遠隔授業が必要だという意見が多く出されており、また、同調査において概ね遠隔授業と変わらない理解度・負担感であったことが報告されたため、今回の方針については理解・納得が得られていると考える。		学生に対して、随時、お知らせ等を配信し、学生生活等に関する調査の結果を基に改善等を行っていく予定である。
1105	長崎国際大学	異なる状況とはなっておりません。	特定の学部等やキャンパスにおいて遠隔授業の比率が少なくなっております。	②大多数が理解	大学内外の感染対策については、国内の感染状況の変化にあわせホームページや学内ポータルサイトにおいて常に発信し、それに伴い授業実施方法についても同様に通知している。コロナ禍となり3年目を迎える今期については、過去2年の学内アンケート等を充分に確認したうえで、最終的に学長の判断で実施している。	特にございません。	今後も本学のコロナ対策や大学の運用方針については、ホームページや学内ポータルサイトを活用し、迅速及び丁寧に説明します。また、学生が安心・安全に大学生活をおくれるよう、クラブの職種接種や学内にある診療所を積極的に活用していきます。
1106	長崎外国語大学						
1107	県立学院大学						
1108	長崎女子短期大学						
1109	長崎短期大学						
1110	佐世保工業高等専門学校						
1111	熊本大学			①ほぼ全員理解	以前実施したアンケートで7割以上の学生が時間や場所にとらわれず、自分のペースで学習できることを遠隔授業のメリットと感じ、早期の対面授業開始を希望する学生が2割ほどだったことから。		新入生ガイダンスの実施等
1112	熊本県立大学			②大多数が理解	学生アンケートの結果		感染防止の取り組み、重要性の説明
1113	崇城大学		特定の学部等やキャンパスにおいて、遠隔授業の比率が少なくなっている状況ではない。	②大多数が理解	コロナ禍における学務に関するアンケートを実施しており、遠隔授業、遠隔授業ともに改善に役立つ旨の説明を行っているため。		授業アンケートを継続的に実施し、その結果を印委員会等で共有し、様々な面から改善を行っていく。
1114	熊本学園大学	遠隔授業を実施するにあたっては、履修者数により人数制限を行っており、学生数の多い学部学科ほど履修者数が制限を超える授業が多くなることから、遠隔授業の比率が高くなるため。	遠隔授業を増やすために、1クラスの受講者数を減らすなどの対応方策について該当学部学科と検討していく予定である。	③大多数とは言えない	本学では、令和4年度はこれまでより遠隔授業を増やす方針であるが、学生アンケートの結果では約2割の学生が遠隔授業の増加を希望していたため。		定期的な情報発信及びアンケート調査等を予定している。
1115	尚朋大学						
1116	九州ルーテル学院大学			①ほぼ全員理解	授業評価アンケートの回答内容を参考とした。		遠隔授業において、ハイブリッド授業を取り入れ、対面授業の機会を確保している。
1117	九州看護福祉大学						
1118	平成音楽大学						
1119	熊本保健科学大学	なし。	なし。	①ほぼ全員理解	遠隔授業においては学内でPCR検査を行うなどし、安心して授業に臨めるようになっている。また、新入生オリエンテーションや在学生ガイダンスにおいて、授業方針について説明を行っている。	なし。	学務行動調査(全学生を対象としたアンケート調査)に基づき、学生との意見交換の場を設ける。

No.	学校名	学師・キャンパスによって割合に差がある場合の理由	学師・キャンパスによって割合に差がある場合の今後の対応策	学生の理解	学生の理解状況について調査理由	学生の理解状況について一層の掘り下げが必要な状況となっている場合があればその状況・理由	学生の理解・納得を得るために予定している取組
1120	尚絅大学短期大学部						
1121	中九州短期大学						
1122	熊本高等専門学校						
1123	大分大学			②大多数が理解	令和4年度前期の授業の実施形態について、全学生にメールを送信するとともに、ホームページに掲載し、周知を図っているが、学生から理解・納得ができないという意見等は届いていない。		・学生へのガイダンス等において、授業実施形態について、理解が得られるよう丁寧に説明を行う。 ・授業実施形態に変更がある場合は、全学生に対してメールを送信するとともに、ホームページに掲載し、周知を図る。 ・学生からの意見については、WEBページの意見箱で、随時受付を行い、回答を行う。
1124	大分県立看護科学大学			②大多数が理解	オンライン授業における調査を実施したが、理解を得られていないと考えられる回答が見当たらなかったことや、看護実習を実施するために感染予防の徹底が必要な課程の特性上、おおむね理解が得られていると考えられる。		メール等により、学生の理解を得られるよう働きかけを行う。学生アンケートにより、学生の要望などを収集し対応を検討する。
1125	大分県立芸術文化短期大学			①ほぼ全員理解	学生からの意見がないため		引き続き新型コロナウイルス感染症の状況を注視し、状況に応じて柔軟に対応していく
1126	日本文理大学			②大多数が理解	昨年度実施した学習や学生生活に関する調査を行い、授業に対する満足度を確認しているが、大多数の学生が「とても満足している」「まあ満足している」と回答しているため。		学生に対して授業方針について丁寧な説明を行い、学生に対する調査を継続していく予定。
1127	別府大学						
1128	立命館アジア太平洋大学			②大多数が理解	1度も入国できていない国際学生が概算で20年度入学生に210名、21年度入学生に540名、合計750名程度存在している。また留学ビザ有効期限切れから約370名程度の国際学生が日本へ再入国できていないと試算しており、合計約1120名の国際学生が日本へ入国できていないと理解している。1回生の約40%の在学生が日本へ入国できていない現状があり、学年において理解・納得の度合いが異なる主要因となっている。今後岸田内閣における外国人入学生の入国緩和と政策によって、同状況が改善されていくことを期待している。	1度も入国できていない国際学生が概算で20年度入学生に210名、21年度入学生に540名、合計750名程度存在している。また留学ビザ有効期限切れから約370名程度の国際学生が日本へ再入国できていないと試算しており、合計約1120名の国際学生が日本へ入国できていないと理解している。1回生の約40%の在学生が日本へ入国できていない現状があり、学年において理解・納得の度合いが異なる主要因となっている。今後岸田内閣における外国人入学生の入国緩和と政策によって、同状況は改善されていくことを期待している。	九州大学と進めているIssue-based Collaborative Online International Learning (I-COIL)の具体化を通してコロナ禍における新たな教育手法の開発に取り組み、また非同期型授業実施に向けたシステム (Panopto) を導入し、個別学習と多文化協働学習を織り交ぜた有機的なカリキュラム設計を検討する予定である。
1129	大分短期大学						
1130	東九州短期大学						
1131	別府清道学園短期大学						
1132	別府大学短期大学部						
1133	大分工業高等専門学校						
1134	宮崎大学						
1135	宮崎公立大学	本学はあてはまらないため未回答	本学はあてはまらないため未回答	②大多数が理解	これまでと同様に、学生には、履修ガイダンス等で丁寧な説明を行う予定である。	本学はあてはまらないため未回答	引き続き、ガイダンス等の機会を設け、丁寧な説明を心掛けていく。
1136	宮崎県立看護大学						
1137	南九州大学						
1138	宮崎産業経営大学	なし	なし	①ほぼ全員理解	過去も含めて全学生へEメールでの事前通知を行う予定である	なし	なし
1139	宮崎国際大学						
1140	九州保健福祉大学						
1141	南九州短期大学						
1142	宮崎学園短期大学						
1143	都城工業高等専門学校						
1144	鹿児島大学	該当なし	該当なし	②大多数が理解	授業アンケートにおいて対面授業、遠隔授業双方とも肯定的な回答が見られるため。	該当なし	ホームページ等において授業方針について周知済みである。
1145	鹿児島体育大学			②大多数が理解	令和3年度において、ほとんどの授業を対面で実施し、授業実施方針についても周知しているが、特設学生からの不満も生じていないため。		オンラインテーションやガイダンス等において学生へ周知するほか、必要に応じてアンケート調査を実施する予定である。
1146	鹿児島県立短期大学						
1147	鹿児島国際大学						
1148	第一工科大学	なし	なし	②大多数が理解	ホームページ、mojle等を活用して学生に周知している。	なし	ホームページ等に加えて、学生オリエンテーション等を通じて周知。
1149	志尊館大学						
1150	鹿児島純心女子大学						
1151	鹿児島純心女子短期大学						
1152	鹿児島女子短期大学						
1153	第一幼児教育短期大学						
1154	鹿児島工業高等専門学校						
1155	琉球大学	教育学部・医学部は、感染対策を講じた少人数ゼミや、対面で実施する必要がある実習を行うため、直接授業の実施が多い傾向となっており、該当なし。		②大多数が理解	本学では授業評価アンケートにおいて遠隔授業に関する調査項目を設け、満足度や学習の状況について調査しており、それらアンケート結果で概ね好意的な回答が寄せられていることから②と判断した。一方、課題があることから、学習効果を最大化するための引き続き対面授業と遠隔授業のベストミックスを目指していくこととしている。		授業評価アンケートで得られた課題をもとに、FDガイド（遠隔授業編）を作成し、オンデマンド型授業の授業デザインやオンライン型授業の留意点、ビデオ会議サービスの比較、シラバスで明示すべき事項、遠隔授業の好事例、成績評価の考え方、障がいを持つ学生への配慮等、様々な情報を集約している。引き続き授業実態にあたっては、学生の学習環境の確保と新型コロナウイルス感染症対策の徹底の両立を行い、学生が安心して学習できる機会・環境の確保のため、上記FDガイドに基づき工夫を行いながら、更なる学習効果を最大化するための遠隔授業・対面授業のベストミックスを目指していくこととしている。

No.	学校名	学部・キャンパスによって割合に差がある場合の理由	学部・キャンパスによって割合に差がある場合の今後の対応策	学生の理解	学生の理解状況について回答理由	学生の理解状況について一層の追問で異なる状況となっている場合があればその状況・理由	学生の理解・納得を得るために予定している取組
1156	名桜大学			②大多数が理解	面接授業と遠隔授業を同時に実施していくことについて、新入生ガイダンスや在学生オリエンテーションにおいて、説明した。また令和3年度学生の授業満足状況、そして令和2年度遠隔授業受講に関する実態調査のアンケート結果を参考にしました。		面接授業と遠隔授業を同時に実施していることについて、4月上旬の対面における新入生ガイダンスや在学生オリエンテーションにおいて、説明指導することとしている。
1157	沖縄県立芸術大学	該当なし	該当なし	②大多数が理解	学生アンケート調査による。その際、学生の要望を記述してもらうなど、対話に努めた。	学生の要望の中でも、面接授業であっても音楽学部のオーケストラやアンサンブル授業においては、本来の人数による実技を望む声も多いことから、県内の感染状況を見つつ、学生の満足度を下げないよう適切に対応を検討したい。	授業等で、教員より丁寧に授業の進め方等について説明する。
1158	沖縄県立看護大学						
1159	沖縄科学技術大学院大学			①ほぼ全員理解	苦情は出ておらず、学生もコロナによる事情を理解している。		特になし
1160	沖縄国際大学						
1161	沖縄大学	比率に差なし		①ほぼ全員理解	授業方針をホームページで公表している。また、大学独自の活動制限レベルを設け、全学生にメールで周知し、問題なく進めているため。		特になし
1162	沖縄キリスト教学院大学						
1163	沖縄キリスト教短期大学						
1164	沖縄女子短期大学						
1165	沖縄工業高等専門学校						

No.	学校名	新入生等への配慮 新入生等への配慮（自由記述）	学内施設の利用状況	図書館の感染対策 図書館の感染対策（自由記述）	図書館の利用制限に対する代替手段
1	北海道大学	①②③④⑤ 令和4年度入学者を対象とする入学式及びオリエンテーション・ガイダンスについては、新入生同士の交流を育めるよう、収容人数を制限する等の感染対策を講じて対面形式により実施する予定である。また、在学生への対応として、令和3年度卒業・修了者の学位記授与式については、分散方式等の感染対策を講じた上で対面により実施した。	②一部利用制限	①②③	電子資料の拡充、オンライン講習会の実施、郵送サービスの実施
2	北海道教育大学	①②③④⑤	①全面的に可能	①②③	・図書館利用に関する動画コンテンツの提供 ・リモートアクセス可能なコンテンツの紹介
3	室積工業大学	②③④⑤	②一部利用制限	①③	電子ブック（サブスクリプションパッケージなど）の導入
4	小樽商科大学	①②⑤	②一部利用制限	①②③	・学外からも利用可能な電子ブックを拡充した。 ・オンデマンド形式の図書館講習会資料をLMSで公開した。
5	帯広畜産大学	⑤	①全面的に可能	②③	
6	北見工業大学	②⑤	①全面的に可能	①③	電子ブックの充実をはかる。
7	旭川医科大学	⑤	①全面的に可能	①②③	特になし
8	札幌医科大学		①全面的に可能	①	VPNを利用した情報提供
9	公立ほこだて未来大学	①④⑤	①全面的に可能	①②③	郵送による圖書の貸し出し。
10	釧路公立大学	③④⑤	②一部利用制限	③	学外者の利用をお断りしている。
11	名古屋市立大学	①②③④⑤	②一部利用制限	①②③	
12	札幌市立大学	②④⑤	①全面的に可能	①②③	図書、文献複写の郵送
13	公立千歳科学技術大学		②一部利用制限	①③	
14	星城造形大学		①全面的に可能	①②③⑤	
15	釧路短期大学		①全面的に可能	①③	
16	札幌大学	④⑤	①全面的に可能	①②③	なし。
17	札幌学院大学	②③④⑤	①全面的に可能	①	
18	函館大学		①全面的に可能	①	
19	藤女子大学	①③④⑤ 学科教員による履修相談を実施予定	①全面的に可能	①	ラーニング・コモンズは個別学習スペースとして活用（開放）している。感染防止のため閲覧席は間引きしている。文献複写・資料貸借の無料化、各種オンライン図書館ガイダンスの実施、データベースの学外リモートアクセスの実施（非対面授業時のみ）
20	北星学園大学	②⑤	②一部利用制限	①②③	
21	北海学園大学	②④⑤	①全面的に可能	①③	
22	北海道科学大学	①④	①全面的に可能	①③	オンラインで申し込んでもらいたい希望圖書の郵送貸出を実施しています。
23	酪農学園大学		②一部利用制限	①②③	
24	旭川大学	④⑤	①全面的に可能	①	
25	北海道医療大学	②③④⑤ 新入生に対し、遠隔授業を受講する際に必要となるICT機器の使用方法についてのガイダンスを実施している。	②一部利用制限	①②③	
26	北海道商科大学		①全面的に可能	①③	
27	北海道情報大学		②一部利用制限	①③	・郵送貸出 ・電子資料を充実させ、学外からもアクセスできるようにしている。
28	札幌国際大学	①②④⑤	①全面的に可能	①	
29	北洋大学		①全面的に可能		
30	日本赤十字北海道看護大学		②一部利用制限	①③	
31	北海道文教大学		①全面的に可能		

No.	学校名	新入生等への配慮	新入生等への配慮（自由記述）	学内施設の利用状況	図書館の感染対策	図書館の感染対策（自由記述）	図書館の利用制限に対する代替手段
32	天徳大学	①②③④⑤		①全面的に可能	①③		○緊急事態宣言下であっても利用時間を短縮せず、平日は21時まで閉館する。 ○土・日曜日は閉館、祝日も開館日と定期試験期間中は閉館する。
33	南英館大学	①		①全面的に可能	②		該当なし
34	札幌大谷大学	①②③④⑤		①全面的に可能	①		特になし
35	札幌保健医療大学			①全面的に可能	①		
36	日本医療大学			①全面的に可能	①③		
37	北海道千歳リハビリテーション大学			①全面的に可能	①		
38	北翔大学	②④⑤		①全面的に可能	①②		
39	旭川大学短期大学部	④⑤		①全面的に可能	①		
40	帯広大谷短期大学	②		②一部利用制限	①②③⑤		
41	光塩学園女子短期大学	③		①全面的に可能	①③		特になし
42	札幌大谷大学短期大学部			①全面的に可能	①		特になし
43	函館大谷短期大学			①全面的に可能	①③		
44	函館短期大学			②一部利用制限	①③		換気の励行と座席の利用制限により利用者同士の距離を確保する
45	北星学園大学短期大学部	②⑤		②一部利用制限	①②③		
46	北翔大学短期大学部			①全面的に可能	①②		
47	拓殖大学北海道短期大学	⑤		①全面的に可能	①		
48	北海道武蔵女子短期大学	③		①全面的に可能	①③		
49	札幌大学女子短期大学部			①全面的に可能	①②③		なし。
50	札幌国際大学短期大学部			①全面的に可能	①		
51	開学院大早北海道短期大学部			②一部利用制限	①②③		
52	函館工業高等専門学校			①全面的に可能	①②③		
53	苫小牧工業高等専門学校			②一部利用制限	①		利用制限なし
54	釧路工業高等専門学校			①全面的に可能	①③		
55	旭川工業高等専門学校			①全面的に可能	①③		
56	弘前大学			①全面的に可能	①③		座席の引き等々の利用制限を行っているが、書架の閲覧制限は行っていないので、「図書館利用の制限の代わりに行う取組」については特に行っていない。
57	青森公立大学			①全面的に可能	①②③		
58	青森県立保健大学			①全面的に可能	①③		電子資料の活用
59	青森大学			①全面的に可能	①		
60	柴田学園大学			①全面的に可能	①③		
61	弘前学院大学	①②③④		②一部利用制限	①②③		
62	八戸工業大学			①全面的に可能	①③		
63	八戸学院大学			①全面的に可能	①		
64	青森中央学院大学			②一部利用制限	①②③	一般の利用を制限している	コロナ前までは、空き教室の無断使用などは原則禁止していたが、学生の居場所（自主的に勉強する時間含む）として開放している。
65	弘前医療福祉大学			②一部利用制限	①②③		
66	青森朝の星短期大学			①全面的に可能	①		
67	柴田学園大学短期大学部			①全面的に可能	①		
68	青森中央短期大学			②一部利用制限	①②③	一般の利用を制限している	コロナ前までは、空き教室の無断使用などは原則禁止していたが、学生の居場所（自主的に勉強する時間含む）として開放している。
69	八戸学院大学短期大学部			①全面的に可能	①		
70	弘前医療福祉大学短期大学部			②一部利用制限	①②③		
71	八戸工業高等専門学校			①全面的に可能	①③		なし
72	岩手大学			①全面的に可能	①③		
73	岩手県立大学			①全面的に可能	①③		
74	岩手県立大学盛岡短期大学部			①全面的に可能	①③		
75	岩手県立大学宮古短期大学部			①全面的に可能	①③	入退館時間の把握	特になし
76	岩手医科大学			②一部利用制限	①	・入館時の手指消毒 ・館内の注意喚起の掲示（ソーシャルディスタンス保持、マスク着用、吸エチケット、会話を慎む、ごみ放置禁止） ・ラーニングコモンズは席数を減らして使用可としている	特になし
77	富士大学			②一部利用制限	①③		
78	盛岡大学			①全面的に可能	①②③		
79	岩手保健医療大学	②③		①全面的に可能	①		
80	修紅短期大学			①全面的に可能	①		
81	盛岡大学短期大学部			①全面的に可能	①②③		
82	一関工業高等専門学校			①全面的に可能	①②③		
83	東北大学	①②③④⑤		②一部利用制限	①②③	来校できない利用者向けに郵送での貸出を行っている。	オンラインで利用できる資料（電子ブック等）の拡充と「自宅から利用できる電子資料のご案内」等のWebによる広報を行っている。
84	宮城教育大学			①全面的に可能	①		
85	宮城大学			①全面的に可能	①②		電子ジャーナルなど自宅からもアクセスできる環境を一部強化している。
86	仙台大学	①②④⑤		②一部利用制限	①②③		

No.	学校名	新入生等への配慮 新入生等への配慮（自由記述）	学内施設の利用状況	図書館の感染対策 図書館の感染対策（自由記述）	図書館の利用制限に対する代替手段
87	東北学院大学	①②③④⑤	①全面的に可能	①③	特に現在想定していない
88	東北工業大学	①②③④⑤	①全面的に可能	①③	図書館の他にも自学自習の空き教室等を開放している。
89	東北福祉大学	③④⑤	①全面的に可能	①	
90	東北医科薬科大学	①②③④⑤	②一部利用制限	①②③④	新型コロナウイルス感染防止の観点から、紙質利用については制限を行っているが、電子書籍、電子ジャーナル及びデータベース等の電子情報については、全利用対象者に対して、リモートアクセス機能による提供を可能とし、サービスの充実を図っている。
91	東北生活文化大学		①全面的に可能	①	
92	宮城学院女子大学		①全面的に可能	①③	
93	石巻専修大学		①全面的に可能	①	
94	仙台白百合女子大学		①全面的に可能	①	
95	東北化学圏大学		①全面的に可能	①③	
96	尚絅学院大学	①②③④⑤	①全面的に可能	①②③⑤	感染拡大時には②、⑤を講じる場合がある。入館の際は学生の体調確認を行っている。 郵送による図書資料等の貸出し・返却を実施
97	宮城誠真短期大学		①全面的に可能	①	
98	聖和学園短期大学		②一部利用制限	①	
99	東北生活文化大学短期大学部		①全面的に可能	①	
100	仙台青葉学院短期大学	②③④⑤	①全面的に可能	①③	
101	仙台赤門短期大学		①全面的に可能	①	
102	仙台高等専門学校		①全面的に可能	①③	
103	秋田大学	①②③④⑤	②一部利用制限	①②③④⑤	学生が自宅から図書館の電子リソースを利用しやすいよう図書館HPの利便性UPと電子ブック等の充実。
104	秋田県立大学		②一部利用制限	①	
105	国際教養大学	①②③④⑤	②一部利用制限	①②	遠隔で利用できるデジタル教材の充実と利用方法の案内、オンラインレファレンスサービスの提供、郵送貸出
106	秋田公立美術大学		①全面的に可能	①②③	通常よりも貸出上限冊数を増やした長期貸出を実施
107	ノースアジア大学		①全面的に可能	①	
108	秋田看護福祉大学		①全面的に可能	①②	
109	日本赤十字秋田看護大学	①②③⑤	①全面的に可能	①②③	
110	秋田東洋短期大学		①全面的に可能	①	
111	聖徳学園短期大学		①全面的に可能	②	
112	聖愛女子短期大学		①全面的に可能	③	
113	日本赤十字秋田短期大学		①全面的に可能	①③	
114	秋田工業高等専門学校		①全面的に可能	③	
115	山形大学		②一部利用制限	①③	
116	山形県立保健医療大学	④	①全面的に可能	①③	
117	山形県立米沢栄養大学		①全面的に可能	①②③	文献複写やレファレンスサービスについて、メールでの対応も可能としている。
118	山形県立米沢女子短期大学		①全面的に可能	①②③	文献複写やレファレンスサービスについて、メールでの対応も可能としている。
119	東北芸術工科大学	①②③④⑤	①全面的に可能	①	
120	東北公益文科大学	②③④⑤	②一部利用制限	①③	図書館外からアクセスできる電子書籍数を引き続き増やしながら、学生が必要ときに利用できるようにしている。
121	東北文科大学		①全面的に可能	①②	閉館時間を1時間短縮しているが、申し出があった場合は、通常の閉館時間まで利用できるようにしている。
122	羽根学園短期大学		②一部利用制限	①②③	
123	東北文科大学短期大学部		①全面的に可能	①②	閉館時間を1時間短縮しているが、申し出があった場合は、通常の閉館時間まで利用できるようにしている。
124	鶴岡工業高等専門学校		①全面的に可能	①	
125	福島大学	①②③④⑤	①全面的に可能	①②③	特になし
126	福島県立医科大学		①全面的に可能	①②③	
127	会津大学		①全面的に可能	①③	リモートアクセス可能な電子資料の拡充とその利用促進に取り組んでいる。
128	会津大学短期大学部		①全面的に可能	①③	
129	郡山女子大学	①④	①全面的に可能	①③	空気衛生機（6台）の設置、ドアノブ、机・椅子、トイレ等の光触媒施工、ダスキンのレンタルマットによる玄関マットの定期的（月1回）に交換。
130	奥羽大学	①②	②一部利用制限	①②	なし
131	医療衛生大学	④	②一部利用制限	①③	
132	東日本国際大学		①全面的に可能	①②③	
133	福島学院大学		①全面的に可能	①②③⑤	特に無し
134	郡山女子大学短期大学部	①④	①全面的に可能	①④	空気衛生機（6台）の設置、ドアノブ、机・椅子、トイレ等の光触媒施工、ダスキンのレンタルマットによる玄関マットの定期的（月1回）に交換。
135	桜の聖母短期大学		②一部利用制限	②	
136	いわき短期大学		①全面的に可能	①②③	

No.	学校名	新入生等への配慮	新入生等への配慮（自由記述）	学内施設の利用状況	図書館の感染対策	図書館の感染対策（自由記述）	図書館の利用制限に対する代替手段
137	福島学院大学短期大学部			①全面的に可能	①②③⑤		特に無し
138	福島工業高等専門学校			①全面的に可能	②③		利用時間の短縮を行っているが、電子書籍の学外アクセス方法の検討および電子書籍の拡充を検討している。
139	茨城大学	③④⑤	初年次学生に大学教育への円滑な導入を促す科目である「大学入門ゼミ」（全学部学生がコースや選修等の少人数に分けて開講）について対面を実施し、教員と学生、学生同士の人間関係の構築に大いに役立っている。	①全面的に可能	①③		
140	筑波大学	①②③④⑤		①全面的に可能	①②③		・自宅等からのリモートアクセスが可能な電子コンテンツを拡充。 ・来館が困難な学生・教員へ、自宅への郵送による貸出・複写サービスを実施。 ・オンラインでの講習会の開催や講習会動画の提供。 ・図書館の利用や文庫調査等について、従来から実施しているメールでの相談受付のほか、オンラインチャットによる相談を実施。
141	筑波技術大学			①全面的に可能	①②③		○電子ジャーナル・電子ブックの学外アクセスを可能にしている。 ○遠隔地でオンライン授業を受けている学生に対して郵送貸出や学外資料の複写を郵送している。 ○資料の貸出を希望する学生や教員に対して、学内メールボックスへ届ける配送サービスやカウンターでの資料の取り置きをしている。
142	茨城県立医療大学			②一部利用制限	①③		座席の利用制限（減数）をしているが、席が不足する事例がないため、代わりの取組は行っていない（不足する場合は、時間ごとの交代制などが考えられる）。
143	茨城キリスト教大学			①全面的に可能	①②③		電子資料の整備と学外からのアクセスの充実 図書館ガイダンスにかかる動画の提供
144	つくば国際大学	①②③④		①全面的に可能	①②③		
145	筑波学院大学			①全面的に可能	②		
146	日本ウェルネススポーツ大学			①全面的に可能		特に制限は設けず全面的に利用可能である	
147	常盤大学	②⑤		①全面的に可能	①③		利用制限は特になし。席数は減らしているが、利用者に影響なし。
148	アール医療専門学校			①全面的に可能			
149	茨城女子短期大学			②一部利用制限	①③		
150	つくば国際短期大学			①全面的に可能	①③		
151	常盤短期大学	②⑤		①全面的に可能	①③		利用制限は特になし。席数は減らしているが、利用者に影響なし。
152	茨城工業高等専門学校			①全面的に可能	①②③		
153	宇都宮大学			①全面的に可能			
154	足利大学	③④⑤		①全面的に可能	①②③		新型コロナウイルス対策により大学構内への学生の立入りが制限された場合などには、図書館資料の貸出期限の延長などの措置をとり、学生の利用に配慮した措置を講じている。
155	白鷲大学			①全面的に可能	①		
156	作新学院大学	⑤		①全面的に可能	①③		
157	国際医療福祉大学			①全面的に可能	①③		
158	宇都宮共和大学			②一部利用制限			
159	文星芸術大学			①全面的に可能	①②③		
160	自治医科大学	①②③④⑤		①全面的に可能	①③		座席については座数を減らしているが、40%利用可能であるので、時間制限などなく自由に利用できる。
161	徳島医科大学			②一部利用制限	③		特になし
162	佐野日本大学短期大学			②一部利用制限	①		
163	宇都宮短期大学			①全面的に可能	①③		
164	国際医療福祉大学			①全面的に可能	③		
165	作新学院大学女子短期大学部	⑤		①全面的に可能	①③		
166	足利短期大学	②③⑤		①全面的に可能	③		該当なし
167	宇都宮文星短期大学			①全面的に可能	①②③		
168	小山工業高等専門学校			①全面的に可能	①②③		閉館時間の短縮及び座席数の削減を実施しているが、全面的な利用制限ではないため、特段の取組は行っていない。
169	群馬大学	①②③④⑤		②一部利用制限	①②③		
170	高峰経済大学			①全面的に可能	①②③		
171	群馬工科大学			①全面的に可能	①		
172	群馬県立女子大学			①全面的に可能	①③		
173	群馬県立県民健康科学大学			①全面的に可能	①③		
174	育英大学			①全面的に可能	①③		
175	桐生大学			①全面的に可能	①③		
176	群馬パース大学			①全面的に可能	①②③⑤		電子ブック、電子ジャーナル等の電子リソースの学内及び学外での有効活用
177	群馬医療福祉大学			①全面的に可能	①②③		
178	高崎医科大学	②③④⑤		①全面的に可能	①②③		
179	上武大学	②		②一部利用制限	①②③		
180	関東学園大学			①全面的に可能	①②③		
181	共愛学園前橋国際大学	②④		②一部利用制限	①		
182	高崎医科大学短期大学部	②③④⑤		①全面的に可能	①②③		
183	群馬医療福祉大学短期大学部			①全面的に可能	①②③		
184	新島学園短期大学			①全面的に可能	①②③		

No.	学校名	新入生等への配慮 新入生等への配慮（自由記述）	学内施設の利用状況	図書館の感染対策 図書館の感染対策（自由記述）	図書館の利用制限に対する代替手段
185	高崎健康福祉大学		①全面的に可能	①②③	
186	桐生大学短期大学部		①全面的に可能	①③	利用時間の延長
187	共愛学園前橋国際大学短期大学部		①全面的に可能	①	
188	青英短期大学		①全面的に可能	①③	
189	群馬工業高等専門学校		①全面的に可能	①②③	
190	人間総合科学大学	②③④	①全面的に可能	①③	座席のみの利用制限であるが、電子図書、電子ジャーナルの利用を促進していく。
191	埼玉大学	①②③④⑤	①全面的に可能	①②	
192	埼玉県立大学	②④⑤	①全面的に可能	①	
193	埼玉医科大学短期大学		①全面的に可能	①④	
194	ものつくり大学	①②③④⑤	①全面的に可能	①③	大学会館の一部をPC利用可能スペースに改修し、図書館のPCスペースを補完する対策を講じた。
195	日本医療科学大学	④	①全面的に可能	①	
196	日本薬科大学	①②③④	①全面的に可能	①②③	
197	武蔵野学院大学		①全面的に可能	①②	
198	浦和大学		①全面的に可能	①②③	
199	共栄大学	①②③④⑤	①全面的に可能	①③	
200	埼玉学園大学	②④	②一部利用制限	①②③	
201	尚美学園大学	②③④⑤	①全面的に可能	①	(制限なし)
202	西武文理大学	①②③④⑤	①全面的に可能	①	
203	十文字学園女子大学		①全面的に可能	①	
204	平成国際大学		①全面的に可能	③	
205	東京国際大学	①②③④⑤	①全面的に可能	①②③	対面による図書館利用ガイダンスの中 ・電子ジャーナル、電子書籍、データベースの学外アクセス利用の試験的提供 ・各種オンラインデータベースの無料トライアル実施 ・少人数(10名以下)での図書館ツアーの実施 ・非常態サービスの一環として「図書館利用ガイダンスに相当する資料(日/英版)」の作成および提供
206	城西大学	②④⑤	①全面的に可能	①③	2021年度から電子リソースのリモートアクセスサービスを導入し、学修・研究支援を行っている。
207	東邦音楽大学		①全面的に可能	①②③	
208	橘協大学	②③④⑤	①全面的に可能	①②③	該当なし
209	日本工業大学	③④⑤	①全面的に可能	①②③	学生を対象に蔵書の郵送貸出サービス(郵送・返送料は無料)を実施している。
210	埼玉医科大学	①②③④⑤	②一部利用制限	①	
211	埼玉工業大学	①②③④⑤	②一部利用制限	①②	なし
212	駿河台大学	①②③④⑤	①全面的に可能		
213	女子栄養大学		①全面的に可能	①③	座席を指定制とし、利用記録を取っている。(感染者が発生した場合に確認するため)
214	日本保健医療大学		①全面的に可能	①	

No.	学校名	新入生等への配慮 新入生等への配慮（自由記述）	学内施設の利用状況	図書館の感染対策 図書館の感染対策（自由記述）	図書館の利用制限に対する代替手段
215	聖学院大学	①②③④⑤	①全面的に可能	①②③	
216	文教大学	①②④⑤	①全面的に可能	①③	来館困難者に対し、郵送による資料提供や返却方法の便宜、オンラインによるレファレンスやガイダンスによる情報提供を実施
217	大東文化大学		①全面的に可能	①③	
218	武蔵野短期大学		①全面的に可能	①②	
219	埼玉純真短期大学		①全面的に可能	①③	特にごさいません
220	城西短期大学	②④⑤	①全面的に可能	①③	2021年度から電子リソースのリモートアクセスサービスを導入し、学修・研究支援を行っている。
221	国際学院埼玉短期大学	②③④⑤	②一部利用制限	①②③	図書館利用規程を見直し、1回の貸出冊数を増やしたほか、スマートフォンからの図書検索や手続きが可能となるなどの対応を講じた。
222	秋草学園短期大学		①全面的に可能	①	
223	川口短期大学	②④	②一部利用制限	①②③	
224	埼玉女子短期大学		①全面的に可能	①③	
225	山村学園短期大学		①全面的に可能	①	
226	武蔵丘短期大学	令和2年度の後期以降、9割以上が面接授業を実施しているため、特段の配慮は行っていない。	②一部利用制限	①	外部の方は入館、使用を制限している。
227	埼玉東萌短期大学		①全面的に可能	①③	学生への使用制限は設けていないが、電子書籍の導入を始めている。 図書館内のパソコンが不足する場合は、パソコン室の利用を案内する。
228	千葉大学	①②③④⑤	①全面的に可能	①	
229	千葉県立保健医療大学	②	①全面的に可能	①③	文献を学外から閲覧可能にしている。
230	流通経済大学	②④⑤	①全面的に可能	①③	特になし
231	明治大学		①全面的に可能	①②③	
232	東都大学		②一部利用制限	①②	郵送サービスの実施
233	千葉科学大学		②一部利用制限	①②③	
234	愛国学院大学		①全面的に可能	①	
235	開智国際大学		①全面的に可能	②③	
236	清和大学	②③④	①全面的に可能	①②	なし
237	城西国際大学	②	アドバイザー教員によるオンライン個別面談、対面またはオンラインによる学生相談を実施	①全面的に可能	①③
238	淑徳大学		①全面的に可能	①②③⑤	学内限定利用のデータベース・電子書籍の学外利用を可能とするため、提供先に学外アクセス用のID・パスワードの発行を申請し学外での利用を可能とした。併せて、図書の宅配を実施し、乃至しながら図書の貸出を行えるようにした。
239	敬愛大学	①②	①全面的に可能	①	
240	千葉工業大学	①②③④⑤	②一部利用制限	①②③	・返却ボックスを建物入口に設置し、用件が資料返却のみの場合は図書館への入館をなくできるようにしている。・入口に消毒液を設置している。・返却本、机の消毒を行っている。 ・図書館の外、自宅等からでも資料を閲覧できるよう、図書館の際に電子図書の購入を増加させた。
241	千葉商科大学	②③④⑤	①全面的に可能	①②③	・学外からアクセスできるデジタル資料の提供 ・レポート作成支援サービスについては各講座オンライン形式で実施。また、個別相談も学生の希望に合わせて、オンラインまたは、対面で実施 外部データベースへの学外アクセス期間の延長 学業に向けた郵送貸出
242	中央学院大学		②一部利用制限	①②③	
243	麗澤大学		①全面的に可能	③	
244	和洋女子大学	②③⑤	①全面的に可能	①②③⑤	貸出期限の制限解除（予約が入ったら返却依頼をする）
245	国際武道大学		①全面的に可能	①③	
246	神田外語大学		①全面的に可能	①	
247	千葉経済大学	②④	②一部利用制限	①③	
248	秀明大学		①全面的に可能	①②③	
249	川科学園女子大学		①全面的に可能	①③	外部アクセス可能な電子書籍システム・データベースの導入。
250	東京情報大学	②⑤	①全面的に可能	①③	
251	東京基督大学		①全面的に可能	①②	
252	聖徳大学	①②③④⑤	②一部利用制限	①	
253	江戸川大学	②⑤	②一部利用制限	①③	図書館ガイダンスのオンライン化、郵送による図書貸出、ILLサービスの実施、オンラインでの図書予約、リクエスト受付、VPN活用による自宅からの電子ジャーナル利用促進

No.	学校名	新入生等への配慮 新入生等への配慮（自由記述）	学内施設の利用状況	図書館の感染対策 図書館の感染対策（自由記述）	図書館の利用制限に対する代替手段
254	了徳寺大学		①全面的に可能	①②③	
255	橘草学園大学	②③④⑤	①全面的に可能	①②③	ICTの活用による電子書籍の利用、実習や卒業研究を控えた高学年の学生が優先的に利用する機会を確保するために配慮を行う。
256	亀田医療大学	①②③④⑤	②一部利用制限	①②③	電子資料（図書・映像配信の購入）
257	東邦大学	②③④⑤	②一部利用制限	①	
258	千葉明德短期大学		①全面的に可能	①②③	なし
259	昭和学院短期大学		①全面的に可能	①	
260	聖徳大学短期大学部	①②③④⑤	②一部利用制限	①	
261	清和大学短期大学部	②③④	①全面的に可能	①②	なし
262	千葉敬愛短期大学		①全面的に可能	①②③⑤	
263	千葉経済大学短期大学部		①全面的に可能	①③	
264	東京経営短期大学	②③⑤	①全面的に可能	①③	
265	橘草学園短期大学	②③④⑤	①全面的に可能	①②③	ICTの活用による電子書籍の利用、実習や卒業研究を控えた高学年の学生が優先的に利用する機会を確保するために配慮を行う。
266	木更津工業高等専門学校		①全面的に可能	①②	特になし
267	東京学芸大学	①②③④⑤	②一部利用制限	①③	
268	東京大学	②③④⑤	②一部利用制限	①③	<ul style="list-style-type: none"> ・来館が困難な本学在籍者のために、郵送による総合図書館資料の貸出及び複写物提供サービスを実施している。 ・学内に複数ある図書館・室間の図書館配送サービスについて、従来、離れたキャンパス間のみで実施していたが、同一キャンパス内でも実施することとし、所属部局の図書館・室に加えて拠点図書館での取り寄せ資料の受取、返却を可能にすることにより、利便性を向上させた。
269	東京医科歯科大学	①②③④	②一部利用制限	①③	インターネットで利用可能な電子書籍をより充実させる。なお、本学図書館においては従来から、電子書籍・電子ジャーナル・学術情報データベース他各種ネットワークツールを導入しており、自宅や研究室から学修・研究を継続できる環境を整えているが、通信速度や容量などの面において情報基盤環境が十分と書えないため、これらを改善するための支援をぜひお願いしたい。
270	東京外国語大学	②③④⑤	①全面的に可能	①③	<ul style="list-style-type: none"> ・来学困難者を対象とした宅配による資料の貸出 ・学内アクセス限定オンライン資料の、VPN・「学認」を利用した学外からの利用促進 ・シラバス掲載資料を中心に、電子書籍等オンライン資料の購入・整備
271	東京芸術大学	④⑤	②一部利用制限	①②③	オンライン授業等のため次回の来校まで一週間以上ある場合や、自宅から大学までの所要時間が1時間30分程度かかる場合には、図書資料の宅配サービス（送料無料）を利用することができる。
272	東京工業大学	①②③④	②一部利用制限	①③	郵送による資料貸出サービス、郵送等による資料の返却を継続して受け付ける。電子資料の導入など利用環境の整備を進める。
273	お茶の水女子大学	②③④⑤	①全面的に可能	①②③	平日の開館時間については当面制限を行う（通常は21時閉館だが当面は19時閉館）が、授業期間中の土曜日および日曜日の開館を再開する（令和2年度及び令和3年度は閉館せず） なお、平日の開館時間についても月1日は障は制限の解除を予定している。また、豊校が困難な学生に対して図書の郵送貸出を実施している（往路送料を大学で負担）。
274	東京農工大学		①全面的に可能	①③	来館が困難な利用者向けに、学修・研究に必要な資料を指定された住所へ郵送します。
275	電気通信大学	①③④⑤	②一部利用制限	①②③	郵送貸出の実施、電子ブックの整備と拡充、WEBによる現在の入館者数の公開
276	一橋大学	①②③④⑤	②一部利用制限	①③	

No.	学校名	新入生等への配慮 新入生等への配慮（自由記述）	学内施設の利用状況	図書館の感染対策 図書館の感染対策（自由記述）	図書館の利用制限に対する代替手段
277	政策研究大学院大学	②	②一部利用制限	①②③	・図書や図書館資料複写物の郵送サービス ・電子ジャーナル等の電子リソースへの学外アクセスサービス
278	東京海洋大学		①全面的に可能	①③	・資料（図書、文庫複写物）の郵送サービス ・オンラインでのガイダンス、利用相談・質問受付 ・電子書籍のタイトル検索 ・電子書籍のタイトル検索 ・余額可能なエリアに限り、ソーシャルディスタンスを確保するための座席数を通常の6割程度とするが、会話禁止等の制限はないため、その座席利用に関する取組を行う予定はない。
279	東京都立大学		①全面的に可能	①③	図書の貸出及び返却の郵送サービス
280	東京都立産業技術大学院大学	③④⑤	①全面的に可能	①③	
281	ルーテル学院大学	②③④	②一部利用制限	①②③	
282	東京富士大学		①全面的に可能	①②③	利用状況に応じて、適切にそして柔軟に対応している。例えば、利用人数を総枠に決めるのではなく、館内の状況によって制限している。
283	三育学院大学	①	①全面的に可能		マスク着用と席の間隔を開けることで利用制限はない
284	東京福祉大学短期大学部	④⑤	②一部利用制限	①②③⑤	
285	跡見学園女子大学	③⑤	①全面的に可能	①③	契約データベース、電子ブックの学外からのアクセスを可能としている。
286	文京学院大学		①全面的に可能	①②③	貸出希望図書の自宅配達サービスを実施している。（配達料大学負担）。
287	目白大学	③④⑤	①全面的に可能	①	
288	東京成徳大学		①全面的に可能	①③	コロナウイルス感染拡大以前には利用を認めていた卒業生を含む学外者については利用禁止とする。
289	東洋学園大学	②④⑤	①全面的に可能	①②③	下記の「来館しなくても利用できるサービス」を提供している。 1. 図書の郵送貸出 2. 複写物の郵送 3. 電話、又は Microsoft Teams や Forms によるレファレンス受付
290	帝京平成大学		①全面的に可能	①②③	アルコール消毒液の設置と消毒の励行
291	青山学院大学		①全面的に可能	①③	
292	上野学園大学		①全面的に可能	②	特になし
293	大妻女子大学	②③④⑤	①全面的に可能	①③	ソーシャルディスタンスを保つことができない閲覧席のみ利用制限をするが、アクリル板の設置、座席の移動等措置し、十分な閲覧席を確保している。
294	学習院大学	②④⑤	①全面的に可能	①②③	・電子資料の学外アクセスの拡大 ・新型コロナウイルス感染症の感染を避けるために来校していない学生向けに、図書の郵送貸出し、自館資料（論文）複写サービスの提供
295	共立女子大学		①全面的に可能		
296	慶應義塾大学		①全面的に可能	①④⑤	4-2で回答した④、⑤については、一部読書系キャンパスの図書館のみで実施している。 また、全キャンパスにおいて、図書館情報サービスへのオンライン化をさらに充実させることにより、従来以上に、学生の図書館情報の利活用環境を向上させている。 このほか、様々な事情によりキャンパスに来ることが困難な学生に対しては、以下の対応を引き続き実施している。 ・郵送による資料の貸出・返却 ・文献複写物の郵送 ・オンライン（メール、Zoom、Line等）による、レファレンス、セミナー、オンラインセッションの実施 ・学外、自宅から使える電子資料（電子ブック、電子ジャーナル、データベース）の充実、ガイド作成、提供 等
297	工学院大学	②③④⑤	②一部利用制限	①③	
298	國學院大学	①②③④⑤	①全面的に可能	①	
299	国士館大学		①全面的に可能	①③⑤	感染症対策としてソーシャルディスタンスを保つために閲覧席の制限（座席の間引き）を実施しているが、自宅など学外から利用できる代替サービスを提供している。 ・契約データベース・電子資料の学外端末からの利用（Ezroxy導入など） ・オンラインでのレファレンス対応 ・図書館資料の郵送貸出 ・資料の複写・郵送サービス
300	駒澤大学		①全面的に可能	①③	令和3年度に引き続き、座席数を減らしているが、自宅から利用できるwebサービス（データベース、オンラインレファレンス、電子ブック等）を令和4年度前期も引き続き実施する。
301	実践女子大学	①②③④⑤	①全面的に可能		
302	芝浦工業大学	③	①全面的に可能	①	

No.	学校名	新入生等への配慮 新入生等への配慮 (自由記述)	学内施設の利用状況	図書館の感染対策 図書館の感染対策 (自由記述)	図書館の利用制限に対する代替手段	
303	雨天堂大学	①②③④⑤	②一部利用制限	①②③④⑤	【スポーツ健康科学部】 ・電子ジャーナル・電子書籍等への学外アクセスや蔵書検索、図書の予約・文庫複写依頼を学外から出来るようにしており、前年度と同様に図書の配達貸出サービス、文献検索ガイダンスのオンライン開催などを行う。 【医療看護学部】 ・遠隔キャンパス学習メディアセンターにおいては、制限の代わりに取り取り組みは特になし。また、上記4-2に記載の利用制限を付しているが、学生の利用に際して特段支援はしていない。 【保健看護学部】 ・座席数の制限、閉館時間の短縮を行っているが、座席数の制限により利用できない学生は発生していない。閉館時間については感染拡大状況を踏まえ通常運用に戻すことを検討する。	
304	上智大学	③④⑤	①全面的に可能	①		
305	昭和薬科大学	②③④⑤	①全面的に可能	①②③	・2週間以上登録できない期間、図書配達貸出サービスを実施(図書館より発送分、片道のみ無料) ・令和4年4月より学術データベース、電子ジャーナル等の利用について、学外からのリモートアクセス導入予定	
306	昭和女子大学		①全面的に可能	①	利用人数を制限している。閲覧席1~2名/1机(通常4~6名)、グループスタディールーム3室仕切りなしで15席(通常45席)、仕切りありで1室最大5席(通常15席)、視聴覚ブース1名/1ブース(通常2名)、研究個室1名/1室(通常2名)	
307	杉野服飾大学		①全面的に可能	①②		
308	成城大学		②一部利用制限	①③	送料大学生負担による図書の貸出。	
309	聖心女子大学	②③④⑤	①全面的に可能	①②③	1. 図書館資料配達貸出(送料大学生負担)の継続 2. 資料複写物の郵送を継続(送料大学生負担) 3. オンライン・データベース・学外からのアクセス保証 4. オンラインによるレファレンス継続 5. 利用者用カードの準備(貸出希望図書の効率的収集をサポート)	
310	清泉女子大学	②④⑤	①全面的に可能	①		
311	聖路加国際大学	①②③④	①全面的に可能	①③	手指消毒剤を設置し入館時の使用を勧行。PCIは消毒できるようカバーをかけた状態にし、除菌用ワイブを提供 施設の利用は特設制限していないが、来館せずに図書館サービスを利用できるよう、自宅に資料の送付、web会議システムを用いた模索相談を継続して実施している。	
312	大正大学		①全面的に可能	①		
313	高千穂大学		①全面的に可能	①③	座席の利用人数について制限を行うが、過去の利用状況から判断して、学修や研究に影響が生じない範囲としている。	
314	拓殖大学	①②③④⑤	①全面的に可能	①②③	・データベース学外アクセスサービス拡充 ・図書館ガイダンス動画提供 ・図書配達貸出サービス実施	
315	多摩美術大学	②④	①全面的に可能	①②③④⑤	電子系資料体の導入を推進	
316	中央大学	③④⑤	コロナ禍による急激な資料悪化により授業料の納入に困難を抱えている新入生・在学生に対しては、「経済援助給付奨学金」をより広く支給できるようにしている。	①全面的に可能	①③	図書館の座席については、閲覧席の利用について座席数の50%以下に制限しているほか、共同学習スペースについては、感染防止対策をどうした上で一部のみ利用可としており、制限を付すことによって図書館としての基本的な機能が失われているという状況にはないものと思料する。ただし、学生の事情により、キャンパスに通うことが困難な場合にも対応すべく、郵送貸出しや複写サービスを実施している。
317	東京医科大学	①②	①全面的に可能	①②	閉館後、閲覧席のアルコール消毒作業を実施している。	
318	東京家政大学		①全面的に可能	①②③	・事情により入籍できない学生に対し申請による郵送サービス(図書・文庫複写の郵送)を行っている。 ・従来のカウンターでのレファレンスの他、電話、メール、申請フォームによる受付を行っている。 ・学術情報リテラシー支援として学生の自己学習で活用可能な目的別オンデマンド資料を学生がアクセスできるmanabiiに掲載し提供している。 ・自宅からアクセスできる電子ブック等の充実を図っている。	
319	東京家政学院大学	③⑤	②一部利用制限	①③	本学では、新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、 ・学外からアクセスできるようデータベースの環境を整える。 ・OPACからの申し込みによる資料の配達貸出を行う。(学生は、送料を大学負担。) ・OPACからの申し込みによる文庫複写の受付及び自宅へ郵送を行う。(学生は、送料を大学負担。) ・メールによるレファレンス対応 大学に来ることなく自宅にいながら、図書館資料の提供が出来るような取り組みをおこないながら、利用者の希望により図書館でできる範囲で対応を行っている。	
320	東京歯科大学		②一部利用制限	①②③	特になし	
321	東京慈恵会医科大学	②③④⑤	②一部利用制限	①②③⑤	回答不要事前予約としているが、当日でも空きがあれば利用可能としている	
322	東京女子大学	②③④⑤	①全面的に可能	①②③	制限は「同時在館者数200名まで」のみのため、代替の取組がなくても支障なく利用される見込み。	
323	東京女子医科大学	①②③④⑤	①全面的に可能	①②③④⑤		
324	東京電機大学		②一部利用制限	②③	図書配達貸出サービスの実施、電子図書館サービス、VPNを活用した電子ジャーナルの利用	
325	東京農業大学	①②③④⑤	①全面的に可能	①③		
326	東京薬科大学	①④⑤	②一部利用制限	①②		
327	東京理科大学		①全面的に可能	①②③	電子系コンテンツの充実と遠隔地から使えるリモート環境を整備した。 ・電子ブック 52,466 ・電子ジャーナル 9,963 ・データベース 28種 (2021年5月1日現在)	

No.	学校名	新入生等への配慮 新入生等への配慮（自由記述）	学内施設の利用状況	図書館の感染対策 図書館の感染対策（自由記述）	図書館の利用制限に対する代替手段
328	東洋大学	②③④⑤	①全面的に可能	③	次に示す取組みを行っている。 ①図書館が実施するガイダンス動画の公開 ②学習・研究を行ううえで必要な文献や情報の入手に関する相談を受け付けるオンラインレファレンスの実施 ③電子資料（データベース・電子ジャーナル・電子ブック等）の充実を図り、学外からでも接続できるように情報提供
329	東京音楽大学		①全面的に可能	①②③⑤	オンラインレファレンスや郵送貸出サービス等の継続。オンラインデータベースや、電子書籍等のリモート利用方法の提供。
330	二松学舎大学		①全面的に可能		
331	日本大学	①②③④⑤	①全面的に可能	①②③⑤	QRコードやトレーサビリティによる着席位置の記録 電子ジャーナルの学外閲覧を可能にする等、利便性を向上する。
332	日本医科大学	②③④⑤	②一部利用制限	①②③	
333	日本歯科大学	②③④⑤	②一部利用制限	③	
334	日本社会事業大学	②③④⑤	①全面的に可能	①②③	学生・教職員・一般登録者以外の利用を制限 図書宅配サービス実施
335	日本女子大学	①②③④⑤	②一部利用制限	②	・入口に非接触型体温計・消毒液を設置・PC近辺や閲覧室に自由に使える消毒シートを配置 ・学外から利用できる電子資料の充実 ・学外からのリモートアクセスシステムの機能向上。
336	日本女子体育大学	②③④	①全面的に可能	①	
337	文化学園大学		①全面的に可能	①②③	以下のオンラインで利用・申込できるサービスを実施する。 ●オンライン・レファレンスサービス ●電子書籍の拡充と利用促進 ●オンライン・ジャーナル、データベースへの学外からのアクセス方法（VPN）の提供
338	法政大学	②③④⑤	②一部利用制限	①③	ラーニングコモンズについて、用途を変更し、オンライン授業の受講スペースとして提供している。 図書資料の郵送貸出、オンラインデータベースや電子ブック・ジャーナルの学外からの利用、オンラインレファレンス、ガイダンスのオンライン実施などの取組をおこなっている。
339	星薬科大学	①②③④⑤	②一部利用制限	①②③	郵送貸出の実施、電子ブックの購入と学外からも利用できるリモートアクセスサービスの導入
340	武蔵大学	②③⑤	②一部利用制限	①②③	在館者数の制限を設けているが、通常利用時でも年に数回程度しか達しない数値のため、実質的には人数制限はない。また、閲覧席も半分程度に制限しているが、通常利用にはほとんど影響しない。よって、特に代替措置は行っていない。
341	東京都立大学		②一部利用制限	①	入口に「現在の入館者数」を表示、除菌BOXの設置（2台）
342	武蔵野音楽大学	③④	①全面的に可能	①②③	資料の宅配をおこなっている
343	明治大学		①全面的に可能	①③	コロナ禍の状況に対応して、図書館では下記の取り組みを行っています。ただし、これらは「図書館利用の制限の代わり」として行っているわけではなく、登校できない/登校を控えたいという学生のために行っているという意味合いが強いものになります。 ・自宅から見える電子資料（電子ブック、電子ジャーナル、データベース等）の増強 ・オンラインで受講できる図書館関連のガイダンス/講習会/イベントの開催 ・レファレンスサービスのオンライン（メール/フォーム）による受付（以下は在宅受講特別対応認定者のみへのサービス） ・図書の郵送貸出サービス ・視覚論文の複写郵送サービス
344	明治学院大学	②③④⑤	①全面的に可能	①③	対面授業の受講がなく、キャンパスへの通学が困難な事情がある方へ、郵送サービス（図書・文献複写）を継続します。
345	明治薬科大学		①全面的に可能	①③	
346	立教大学	①②③④⑤	①全面的に可能	①③	オンラインジャーナル、オンラインデータベースの拡充、郵送による図書返却、大学院生によるオンライン学習サポートサービスの実施
347	立正大学		②一部利用制限	①②③	
348	早稲田大学	①②③④⑤	①全面的に可能	①③	
349	国際仏教学大学院大学		①全面的に可能	①②⑤	一回の図書貸出冊数を増やしたり、貸出期間を延長したりしている。
350	学習院女子大学	③④⑤	②一部利用制限	①②③	学外アクセスによる電子書籍の利用や郵送貸出によって、図書館に来館しなくても図書を利 用できるようにする。
351	東京国際工科大学	①②③④⑤	①全面的に可能	①	現状、アクリル板などの設置による感染対策を講じているが、利用時間などの制限は一切行っていない。よって、コロナ前後で運用が変わっていないため、現状、代替えの取り組み実施予定はない。

No.	学校名	新入生等への配慮	新入生等への配慮（自由記述）	学内施設の利用状況	図書館の感染対策	図書館の感染対策（自由記述）	図書館の利用制限に対する代替手段
352	東京保健医療専門職大学			①全面的に可能	①③		
353	情報経営イノベーション専門職大学			①全面的に可能	①		
354	大学院大学至善館	①③		②一部利用制限	①③		本学では図書館内の座席数を減らして運営するが、利用したくても座席が空いていないという学生がいた場合は、使用していない教室を開放する。
355	国際ファッション専門職大学	②③④⑤		①全面的に可能	①③		図書館について利用制限を付していない。
356	駒沢女子大学			①全面的に可能	①		
357	薬研科大学			②一部利用制限	①③		
358	桜美林大学	②③④⑤		①全面的に可能	①②③⑤		図書館の自宅等への配送貸出（貸出時の送料は図書館負担） 電子書籍の積極的な選書・購入と提供 電子ジャーナル、等の学外アクセス環境構築と広報 オンラインレクレーションサービスの提供
359	国立音楽大学			①全面的に可能	①	・閲覧席の椅子を間引いて座席間隔を広げている。 ・定期的に使用済座席の消毒を実施している。	
360	国際基督教大学	①⑤		①全面的に可能	①②③		宅配便による本の貸し出しサービス、複写物送付サービス、メール・Zoom等での相談受付
361	白百合女子大学	①②③④⑤		①全面的に可能			
362	成蹊大学	③④⑤		①全面的に可能	②	換気の發行は当然であるが、構造的に換気の難しいエリアの利用を禁止している。また、館内で食事ができるリフレッシュエリアの利用を禁止している。	設問25(4-2)(4-3)で回答した「利用人数の制限」「(一部エリアの)利用禁止」といっても、館内の二酸化炭素濃度などを考慮したもので、通常開館時の利用人数は入館できる想定である。したがって、学生の学修・研究の継続を妨げるような利用制限ではなく、代替措置の必要性はないと認識している。
363	玉川大学			②一部利用制限	①②③⑤		1. 電子書籍配信システム(BookLocker)による電子書籍の貸出 2. 学内専用接続可能な新聞記事DB、電子ジャーナル・電子ブック等の学外からのVPN接続開放 3. ガイダンス動画のオンライン配信、図書館HPの見直しによる利用促進
364	津田塾大学			①全面的に可能	①		
365	帝京大学			①全面的に可能	①②③	・一部の電子リソース（電子ブック・データベース等）について、学外からも利用可能となる。 ・一部の学習室をZoom対応スペースとして提供。	資料の貸出期間を通常より延長、および返却遅滞の際のペナルティ免除の実施
366	東京経済大学	①②③④⑤		②一部利用制限	①③		
367	東京女子体育大学			①全面的に可能	①②⑤		
368	東京神学大学			②一部利用制限	①②③	入館時に手指消毒とマスク着用を厳守するよう指導する。朝・昼・夕の館内消毒を毎日行う。共用備品の利用サービスを一部停止する。ラーニングコンパスの利用を停止する。	利用相談や資料相談などレファレンスは、メールか人数制限をして事前予約制で行う。
369	東京造形大学	③⑤		①全面的に可能	①③		なし。
370	桐朋学園大学			①全面的に可能	①②		
371	日本獣医生命科学大学	①③④⑤		②一部利用制限	①②③		-
372	武蔵野大学	①②③④⑤		①全面的に可能	①②③		リモートアクセスできる資源の拡充、郵送貸出、オンライン展示等
373	武蔵野美術大学	②④⑤		②一部利用制限	①②③		昨年、緊急事態宣言が発出され図書館が臨時休館した際、図書館の郵送による貸出を行った。
374	明星大学			①全面的に可能	①		
375	和光大学			②一部利用制限			
376	杏林大学			②一部利用制限	①②③		
377	創価大学	①②③④⑤		①全面的に可能	①③		・図書館の宅配貸出（既存のサービス） ・各種ガイダンスやイベントをオンラインで開催
378	日本文化大学			①全面的に可能	①③		座席を1つ空けるなどの措置のため、通常通りの利用となっている。
379	東京工科大学	①②③④		①全面的に可能	①③		
380	日本赤十字看護大学	②④⑤		①全面的に可能	①		
381	恵泉女子学園大学	①②③④⑤		①全面的に可能	①②③		郵送貸出、図書購入、資料取り寄せなどメールによる受付。
382	多摩大学			①全面的に可能	①		
383	東京純心大学			①全面的に可能	①②		
384	嘉悦大学	①②⑤		②一部利用制限	①③		
385	LEO東京リーガルマインド大学院大学	②③		②一部利用制限	①②③		インターネットを活用した図書館サービスを整備していく。
386	デジタルハリウッド大学	②③⑤	デスクトップPCの無料貸出	①全面的に可能	①③	基礎疾患を持っている方、もしくは基礎疾患を持っている方と同居している方など、国内居住者で来院が難しい学生については、郵送での貸出を行う。	2021年4月より、電子書籍の貸出対応を開始した。
387	白梅学園大学			①全面的に可能	①②③		・郵送貸出サービス（送料大学生負担） ・郵送文庫貸出サービス（送料大学生負担） ・多数の学外利用データベース臨時ID・PASSの発行 ・長期貸出サービス

No.	学校名	新入生等への配慮 新入生等への配慮（自由記述）	学内施設の利用状況	図書館の感染対策 図書館の感染対策（自由記述）	図書館の利用制限に対する代替手段
388	東京医療保健大学	①②③④⑤	②一部利用制限	①②③⑤	電子図書、電子ジャーナルの導入及び学外からの利用を可能とした。
389	東京聖栄大学		②一部利用制限		
390	グローバルビジネス経営大学院大学		②一部利用制限	①	
391	文化ファッション大学院大学	②④	①全面的に可能	①②	
392	大原大学院大学		①全面的に可能	①③	
393	東京未来大学		①全面的に可能	①③	
394	ハリウッド大学院大学		①全面的に可能	①	
395	こども教育宝仙大学	①②③④⑤	①全面的に可能	①②③	事務執務室を新たな図書閲覧室・自習室に改修した。座席利用の制限に伴い、事務執務室を新たに図書閲覧室・自習室に改修し座席確保を図った。また図書のオンライン貸出などにも対応している。
396	東京有明医療大学		①全面的に可能	①	
397	東京工芸大学	②③⑤	①全面的に可能	①③	必要とする書籍等を自宅まで配送するサービス（配送貸出サービス）、予約した書籍等を取り置きしておくサービス（自館資料取り置きサービス）を、継続して実施する。
398	産業能率大学	①②	②一部利用制限	①③	
399	ヤマザキ動物看護大学		①全面的に可能	①③	
400	東京医療学院大学	③⑤	②一部利用制限	①②③	リモート検索などを利用できるようにしたり、図書の貸し出しなどをメールで受け付けられるようにしている。
401	事業構想大学院大学	②③④	①全面的に可能	①②⑤	
402	社会構想大学院大学	②③	①全面的に可能		
403	帝京科学大学		①全面的に可能	②③	
404	昭和大学	②③④	①全面的に可能	①③	自宅等から利用可能な検索ツールと電子ジャーナルについて図書館ホームページにて情報を適宜更新している。
405	宝塚大学		①全面的に可能	①②③⑤	閲覧に関しては、利用希望者が制限人数を超えた場合、15分の制限の元で入れ替えを行っており待ち時間は短い。現在までは、この利用制限をしなければならぬ人数になったことはない。自習等に関しては、90分単位の利用で予約をさせており、制限を超える人数の場合は、空き教室を利用してもらうことにしている。次年度より、この度整備したラーニングコモンズや自習室の利用も可能とされている。
406	東京福祉大学	④⑤	②一部利用制限	①②③⑤	
407	愛国学院短期大学		①全面的に可能	①③	
408	上野学園大学短期大学部		①全面的に可能	②	特になし
409	大妻女子大学短期大学部	②③④⑤	①全面的に可能	①③	ソーシャルディスタンスを保つことができない閲覧席のみ利用制限をするが、アクリル板の設置、座席の移動等措置し、十分な閲覧席を確保している。
410	共立女子短期大学		①全面的に可能		
411	国際短期大学		①全面的に可能		
412	駒沢女子短期大学		①全面的に可能	①	
413	実践女子大学短期大学部	①②③④⑤	①全面的に可能		
414	淑徳大学短期大学部		②一部利用制限	①②③⑤	現在は特になし
415	女子栄養大学短期大学部		②一部利用制限	①③	
416	女子美術大学短期大学部	③④	①全面的に可能	①③	・配送貸出 ・電子図書館のサービス開始 ・学外からのオンラインコンテンツの利用支援 ・学外からのオンライン講習会の実施利用の取組
417	杉野服飾大学短期大学部		①全面的に可能	①②	
418	星美学園短期大学		①全面的に可能	①②③	館外に貸出している書籍が返却された時は、消毒するようにしている。
419	帝京大学短期大学		①全面的に可能	①②③	一部の電子リソース（電子ブック・データベース等）について、学外からも利用可能となる。一部の学習室を200対応スペースとして提供。
420	帝京短期大学		①全面的に可能	①②	特になし
421	戸板女子短期大学	②④⑤	①全面的に可能	①②	
422	東京家政大学短期大学部		①全面的に可能	①②③	・事情により入構できない学生に対し申請による郵送サービス（図書・文献複写の郵送）を行っている。 ・従来のカウンターでのレファレンスの他、電話、メール、申請フォームによる受付を行っている。 ・学術情報リサーチ支援として学生の自己学習で活用可能な目的別オンデマンド資料を学生がアクセスできるmanabitoに掲載し提供している。 ・自宅からアクセスできる電子ブック等の充実を図っている。
423	東京交通短期大学		①全面的に可能	①②	
424	東京成徳短期大学		①全面的に可能	①③	コロナウイルス感染拡大以前には利用を認めていた卒業生を含む学外者については利用禁止とする
425	新渡戸文化短期大学		①全面的に可能	①③	
426	東京立正短期大学		①全面的に可能	①	
427	東邦音楽短期大学		①全面的に可能	①②③	

No.	学校名	新入生等への配慮	新入生等への配慮（自由記述）	学内施設の利用状況	図書館の感染対策	図書館の感染対策（自由記述）	図書館の利用制限に対する代替手段
428	目白大学短期大学部	③④⑤		①全面的に可能	①		
429	創価女子短期大学			①全面的に可能	①③		
430	白梅学園短期大学			①全面的に可能	①②③		・郵送貸出サービス（送料 دانشگاه負担） ・郵送文庫貸出サービス（送料 دانشگاه負担） ・多数の学外利用データベース臨時ID・PASSの発行 ・長期貸出サービス
431	東京女子体育短期大学			①全面的に可能	①②③⑤		
432	フェリス学院短期大学	①②③④⑤		①全面的に可能	①		
433	桐朋学園芸術短期大学			①全面的に可能	①		
434	山形美術芸術短期大学			①全面的に可能	①		
435	日本歯科大学東京短期大学	②		①全面的に可能	①		
436	東京歯科大学短期大学			②一部利用制限	①②③		特になし
437	ヤマザキ動物看護専門学校短期大学			①全面的に可能	①		
438	有明教育芸術短期大学	③④⑤		①全面的に可能	①②③		
439	貞静学園短期大学			①全面的に可能	①		
440	東京工業高等専門学校	①③④⑤		①全面的に可能	①②③		回答なし
441	東京都立産業技術高等専門学校			①全面的に可能	①		
442	サレジオ工業高等専門学校			①全面的に可能	①②③		
443	横浜国立大学	①②③④⑤		①全面的に可能	①③		本学附属図書館では感染対策と通常は制限するが、それ以外の制限は設けず、閲覧等は自由である。また、資料の貸し出しも制限していないため、代替措置の必要はないと考えている。
444	川崎市立看護大学			①全面的に可能	①③	密を避けるため利用できる座席数を半数程度に削減。視聴覚ブースのヘッドフォン貸出中止（利用者が待機）。	
445	横浜市立大学	①②③④⑤		②一部利用制限	①③		オンラインカンファレンス、ガイダンスの動画配信、郵送貸出
446	神奈川県立保健福祉大学			①全面的に可能	①		
447	川崎市立看護短期大学			①全面的に可能	①③	密を避けるため利用できる座席数を半数程度に削減。視聴覚ブースのヘッドフォン貸出中止（利用者が待機）。	
448	北里大学	②④⑤		①全面的に可能	①②③		図書館資料の郵送による貸出・返却
449	女子美術大学	③④		①全面的に可能	①③		・郵送貸出・電子図書館のサービス開始・学外からのオンラインコンテンツの利用支援・学外からのオンライン講習会の実施利用の取組
450	専修大学	②③④⑤		①全面的に可能	①②③		非常態型サービスの提供 ・電子リソースの充実（アクセス方法をまとめたサイトの開設、電子ブックのリクエストサービスの開始） ・図書郵送貸出サービス ・文献複写物の郵送サービス ・オンラインプラットフォーム ・各種データベースの使い方を学べるオンライン形式の講習会（図書館ランチャイムセミナー）
451	東海大学	①②③④⑤		②一部利用制限	①③		
452	日本体育大学			①全面的に可能	①②		電子書籍の積極的購入により、非常態型利用を推進する。
453	神奈川大学	②③④⑤		①全面的に可能	①	一部座席の閉引きのほか、利用制限はなし、ただし座席確保のため学生や教職員以外の一一般公開は見合わせる	利用制限は行わないが、基礎疾患等のある要配慮学生に対しては大学費用負担で図書の配送を行う
454	関東学院大学	②③④⑤		①全面的に可能	①②③		非常態型サービスとして本の郵送サービス、電子ブック、電子ジャーナル、データベースの活用を実施。
455	鶴見大学	③④		①全面的に可能	①③		配送貸出サービス、論文複写郵送サービス、VPN接続による学外からの電子書籍等へのアクセス確保
456	フェリス学院大学	②③④⑤		①全面的に可能	①		

No.	学校名	新入生等への配慮 新入生等への配慮 (自由記述)	学内施設の利用状況	図書館の感染対策 図書館の感染対策 (自由記述)	図書館の利用制限に対する代替手段
457	横浜商科大学		①全面的に可能	①②③	長期休暇期間中(学生が定期的に来学しない期間)、 ・郵送貸出サービス(本を自宅まで郵送するサービス) ・コピー取り寄せサービス(他大学図書館からの取り寄せた資料のコピーを自宅まで郵送するサービス)を実施している。 また、電子書籍の購入数を増やすことで、図書館外(学外)からも利用できる資料の収集力を入れる。
458	情報セキュリティ大学院大学	③⑤	①全面的に可能	①	
459	横浜薬科大学	③⑤	②一部利用制限	①②③	
460	麻布大学		①全面的に可能	①③	
461	神奈川歯科大学	①③④	①全面的に可能	①②③	特になし
462	鎌倉女子大学	②③④⑤	①全面的に可能	①	
463	湘南工科大学		②一部利用制限	①③	
464	相模女子大学	②③	①全面的に可能	①③	開校において③を選択しているが(産原の利用制限のみ該当)、大学の教室定員の8割を履修者数の上限とする方針に合わせ、図書館内施設の座席数についても8割の利用としている。この利用制限に対し、新型コロナウイルス感染症が発症する以前の利用状況やコロナ禍により利用者数が減少していることから、座席数の不足には及ばないと判断したため、代わりとなる取り組みは行わない。
465	洗足学園音楽大学		①全面的に可能	①	
466	神奈川工科大学	②③④⑤	①全面的に可能	①②③	・非未館で利用できる資料(電子書籍、オンライン図、オンラインジャーナル等)、サービス(電子図書館システム、図書館送貸サービス等)の提供。また、オンラインで視聴できる図書館講座ガイダンスプログラム(開所感の悪い方・情報の選び方・資料の探し方などの説明)や、各種データベース関連資料の配信。 ・オンラインで図書館のVR画像を閲覧できる「神奈川工科大学附属図書館3Dビュー・VRマップ」を作成し、実際に未館した際の利用ガイドとする。
467	昭和音楽大学		①全面的に可能	①③	・学外から利用できるデータベースの充実 ・貸出資料無数の増加・期間の延長 ・郵送での資料の返却 ・e-bookの導入 ・電子楽譜の導入
468	桐蔭横浜大学	①②③④⑤	①全面的に可能	②	所属書籍の郵送による貸出を行っている。
469	東洋英和女学院大学	②③④⑤	①全面的に可能	①③⑤	貸出資料郵送サービス、オンラインレファレンス、リモートアクセスサービスの提供
470	松蔭大学		①全面的に可能		
471	田園調布学園大学	②⑤	①全面的に可能	③	空き教室などを自習スペースとして、開放している。
472	横浜美術大学	②③④⑤	①全面的に可能	①③	郵送貸出しの併用
473	日本映画大学		①全面的に可能	①	
474	横浜創英大学		①全面的に可能	①③	
475	湘南医療大学		①全面的に可能	①③	
476	湘南鎌倉音楽大学		①全面的に可能	①③	
477	和泉短期大学		①全面的に可能	①②	
478	鶴見大学短期大学部	②③④	①全面的に可能	①③	配送貸出サービス、論文複写郵送サービス、VPN接続による学外からの電子書籍へのアクセス確保
479	横浜女子短期大学		①全面的に可能	①②③⑤	・学外から利用できるデータベースの充実 ・貸出資料無数の増加・期間の延長 ・郵送での資料の返却 ・e-bookの導入 ・電子楽譜の導入
480	昭和音楽大学短期大学部		①全面的に可能	①③	・学外から利用できるデータベースの充実 ・貸出資料無数の増加・期間の延長 ・郵送での資料の返却 ・e-bookの導入 ・電子楽譜の導入
481	小田原短期大学	②③④⑤	②一部利用制限	①	
482	鎌倉女子大学短期大学部	②③④⑤	①全面的に可能	①	
483	相模女子大学短期大学部	②③	①全面的に可能	①③	開校において③を選択しているが(産原の利用制限のみ該当)、大学の教室定員の8割を履修者数の上限とする方針に合わせ、図書館内施設の座席数についても8割の利用としている。この利用制限に対し、新型コロナウイルス感染症が発症する以前の利用状況やコロナ禍により利用者数が減少していることから、座席数の不足には及ばないと判断したため、代わりとなる取り組みは行わない。
484	洗足こども短期大学		①全面的に可能	①	
485	神奈川歯科大学短期大学部	④⑤	②一部利用制限	②③	
486	湘北短期大学	②③	①全面的に可能	①	
487	聖マリアナ医科大学		②一部利用制限	①③	〇入館者へ、以下3点を周知し実施 1. 入館前にアルコールによる手指消毒 2. 利用者自身が使用する机等を、アルコール消毒で各自消毒・換装 3. 館内におけるマスク着用義務 特段の制限を行っていないため、無し
488	上智大学短期大学部		①全面的に可能	①②③	実際には人数制限を行ったことはない。またソーシャルディスタンスを取るために座席数は減らしているが、満席になることもほとんどない。空き教室や倉庫を自習場所として開放している。
489	新潟大学	①②③④⑤	①全面的に可能	①③	
490	長岡技術科学大学	②③④⑤	②一部利用制限	①③	
491	上越教育大学		①全面的に可能	①②③	入館時における検温と手指消毒 学生の利便性を損わない範囲で対策を講じることとしているため、代替措置は予定していない。

No.	学校名	新入生等への配慮 新入生等への配慮（自由記述）	学内施設の利用状況	図書館の感染対策 図書館の感染対策（自由記述）	図書館の利用制限に対する代替手段
492	新潟県立看護大学	⑤	①全面的に可能	学外者に対して利用時間に制限を設けている。	
493	新潟県立大学	③④⑤	②一部利用制限	①③	
494	長岡造形大学	①②③④⑤	①全面的に可能	①③	メールでの申請による「図書等送付サービス」「文献番号の送付サービス」の実施
495	三上市立大学		①全面的に可能	①	
496	長岡大学		①全面的に可能	①③	
497	新潟医療福祉大学	①②③④⑤	②一部利用制限	①②③	・入構できない学生を対象に図書の郵送貸出、図書館資料の複写物送付サービスの実施 ・電子ブック受入の推進・学外からの電子コンテンツ利用可能な環境整備、利用促進
498	新潟青陵大学	②③④⑤	②一部利用制限	①②	
499	新潟工科大学	②③④⑤	②一部利用制限	①	制限なし
500	新潟経営大学		②一部利用制限	①	
501	新潟国際情報大学		①全面的に可能	①③	密を避けるため閲覧の利用制限をしていますが、それに代わる特別な取り組みは行っていません。試験期など図書館が混雑する時期に、様子を見ながら利用制限している閲覧席の一部開放を検討します。
502	敬和学園大学		①全面的に可能		
503	新潟薬科大学		②一部利用制限	①②③	図書館の開館時間について、若干の短縮は行っているが、大きな影響は出ておらず、学生からの要望もないため、特に行っていない
504	国際大学	③④⑤	①全面的に可能	①	
505	新潟産業大学		①全面的に可能	①②③	
506	事業創造大学院大学	②③④	①全面的に可能	①②③	とくになし
507	新潟リハビリテーション大学	①②③④⑤	①全面的に可能	①②③	アクティブ・ラーニングエリア、アクティブ・プラクティスエリアの利用
508	新潟食料農業大学		①全面的に可能	①②③	郵送による貸し出し対応を行う。
509	開志専門職大学		①全面的に可能	①②③	学生図書購入リンクエスト
510	長岡崇徳大学		①全面的に可能	①	
511	新潟青陵大学短期大学部	②③④⑤	②一部利用制限	①②	
512	新潟工業短期大学		①全面的に可能	①	
513	新潟中央短期大学		②一部利用制限	①	
514	日本歯科大学新潟短期大学	②③④	②一部利用制限	①②③	
515	明倫短期大学	①③④⑤	①全面的に可能	①③	
516	長岡工業高等専門学校		①全面的に可能	①②③	特に無し。
517	富山大学		②一部利用制限	①②③⑤	・学外からの電子リソースへのアクセスを可能としている。 ・オンラインでのレファレンスを実施している。 ・電子ブックの積極的な購入を進めている。
518	富山県立大学	②③④⑤	①全面的に可能	①③	
519	高岡法科大学	②③④⑤	②一部利用制限	①②③	貸出図書の返却期限を延長
520	富山国際大学		②一部利用制限	①③	
521	明朋学園大学院大学		①全面的に可能	①	
522	富山短期大学	①②	①全面的に可能	①③	
523	富山福祉短期大学		①全面的に可能	①	
524	富山高専専門学校		②一部利用制限	①②	制限の代わりに行う取組は特になし、制限の緩和を段階的に進めている。
525	金沢大学		①全面的に可能	①③	
526	北陸先端科学技術大学院大学	②③④⑤	①全面的に可能	①	「3密」を避けるため、閲覧席数を減らす。サービスカウンター業務を縮小する（利用客からの質問等は出来るだけメール等を活用、カウンターに職員が常駐せず必要な場合のみ対応する等）。
527	公立小松大学		①全面的に可能	①③	②～⑥に該当するような利用制限は実施しておらず、「⑦その他」として「3密」を避けるため、閲覧席数を減らす。』と記載したが、減席したのは館内のごく一部、グループ学習コーナーの移動式貸出テーブル等のみであり、時間制限や属性（学年等）による制限等も一切行っていないことから、館内全体で見ると、特に代替措置を講じるほどの利用制限には該当しないと判断している。
528	石川県立大学	③④⑤	②一部利用制限	①②③	メールでの図書の貸し出し依頼に応じ、図書の貸し出し・返却の郵送での対応も行っている。経費は大学が負担している。

No.	学校名	新入生等への配慮	新入生等への配慮（自由記述）	学内施設の利用状況	図書館の感染対策	図書館の感染対策（自由記述）	図書館の利用制限に対する代替手段
529	金沢美術工芸大学	②③④⑤		①全面的に可能	①③		
530	石川県立看護大学	②		①全面的に可能	①		特になし
531	金沢星稜大学			②一部利用制限	①②③		
532	金沢工業大学			①全面的に可能	①③		
533	金沢医科大学	①②③④⑤		①全面的に可能	①		
534	北陸大学	①②③⑤		②一部利用制限	①③		1. 学外からアクセス可能な電子書籍、データベース、電子ジャーナル、オープンアクセス誌等の案内 2. オンラインによる個別データベース・電子ジャーナル講習等の案内及び実施 3. 学生の用途に応じた図書及び文献郵送サービスの実施 4. 図書の予約（取り置き）の実施 5. 貸出図書の返却期限日の延長
535	金沢学院大学			①全面的に可能	①③		
536	金城大学			①全面的に可能	①		
537	北陸学院大学			①全面的に可能	①		
538	かなざわ看護マネジメント専門学校			①全面的に可能	①		特になし
539	金沢学院短期大学			①全面的に可能	①③		
540	北陸学院大学短期大学部			①全面的に可能	①		
541	金城大学短期大学部			①全面的に可能	①		
542	金沢星稜大学女子短期大学部			②一部利用制限	①②③		
543	石川工業高等専門学校			①全面的に可能	①③		
544	国際高等専門学校			①全面的に可能	①③		
545	福井大学	①②③⑤		①全面的に可能	①		
546	福井県立大学	②③④⑤		①全面的に可能	①②		
547	敦賀市立看護大学			①全面的に可能	①②③		
548	福井工業大学	③④⑤		①全面的に可能	①③		
549	仁愛大学	③④⑤		①全面的に可能	①②③		
550	福井医療大学			②一部利用制限	①②③		
551	仁愛女子短期大学	②③④⑤		①全面的に可能	①		
552	福井工業高等専門学校			①全面的に可能	①③		
553	山梨大学	②		①全面的に可能	①③		
554	都留文科大学	①②③④⑤		①全面的に可能	①②③		学外からアクセス可能な電子書籍やデータベース等の充実をはかっていく。
555	山梨県立大学	②③④⑤		①全面的に可能	①②		
556	大月短期大学			①全面的に可能	①③		
557	山梨学院大学	④⑤		①全面的に可能	①③	・当面の間、グループ学習室は授業やゼミ、講習会、ガイダンス等、教職員管理下での利用に限定する。・当面の間、学外者の図書館利用を禁止する。	・学外から一部の電子ジャーナル、電子図書が利用できるサービスを継続して実施する。 ・図書館の活用方法や資料の探し方についてのオンラインコンテンツを公開する。
558	身延山大学			①全面的に可能	①		
559	山梨英和大学	④⑤		①全面的に可能	①②③⑤		来学しなくても一部のサービス（レファレンス、資料貸借、文献複写）をメールで対応可能です。
560	健康科学大学	①②③④⑤		②一部利用制限	①②⑤		
561	山梨学院短期大学			①全面的に可能	①		
562	常葉学園短期大学			①全面的に可能	①②		
563	信州大学	①②③④⑤		②一部利用制限	①	利用者間の距離を確保するため、座席数を減らしている。	・電子資料の拡充。 ・オンラインでの学習支援の実施

No.	学校名	新入生等への配慮 新入生等への配慮（自由記述）	学内施設の利用状況	図書館の感染対策 図書館の感染対策（自由記述）	図書館の利用制限に対する代替手段
564	公立諏訪東京理科大学	①②③④⑤	②一部利用制限	①③	電子書籍等の充実
565	長野県立大学	①②③⑤	②一部利用制限	②③⑤	
566	長野県看護大学	①②③④⑤	②一部利用制限	①②③⑤	
567	長野大学	①②⑤	①全面的に可能	①②③	特になし
568	松本歯科大学		①全面的に可能		
569	松本大学	④	①全面的に可能	①②③⑤	
570	清泉女学院大学		①全面的に可能	①	
571	佐久大学		①全面的に可能	①②	
572	長野保健医療大学		①全面的に可能	①	
573	松本看護大学		①全面的に可能	①	
574	飯田女子短期大学	①	①全面的に可能	①	警戒レベルが高い場合の入館制限、入館記録
575	長野女子短期大学		②一部利用制限	①	
576	上田女子短期大学		①全面的に可能	①③	
577	松本大学松高短期大学部	④	①全面的に可能	①②③⑤	
578	松本短期大学		①全面的に可能	①	
579	清泉女学院短期大学		①全面的に可能	①	
580	信州豊南短期大学		②一部利用制限	①	
581	佐久大学信州短期大学部		①全面的に可能	①②	
582	長野工業高等専門学校		①全面的に可能	①②③	
583	岐阜保健大学短期大学部	①⑤	②一部利用制限	①②③	学習支援ツールの提供を行います。
584	岐阜大学	⑤	①全面的に可能	①②③	
585	岐阜薬科大学		①全面的に可能	①②	別段取組は行わない。
586	岐阜県立看護大学	①	②一部利用制限	①	利用制限なし。
587	情報科学芸術大学院大学	④⑤	①全面的に可能	①	特になし
588	岐阜市立女子短期大学	③⑤	①全面的に可能	①	
589	岐阜医療科学大学		①全面的に可能	①②③	電子書籍を学外でも使用できるようにする。
590	中京学院大学	②③⑤	①全面的に可能	①③	
591	岐阜協立大学		①全面的に可能	①②	
592	岐阜女子大学		①全面的に可能	①③	
593	新日本大学		②一部利用制限	①	
594	岐阜聖徳学園大学		②一部利用制限	①②③	電子書籍を購入したり、データベースのリモートアクセスや学認認証により、学外からも資料を利用できるようにしている。
595	東海学院大学		①全面的に可能	①	・返却資料の検干し ・入館の際に入館者情報を記録 ・AV機器利用後のアルコール消毒 ・館内各所にアルコール消毒装置 ・図書館協議会ほかで提供された注意喚起のポスター掲示
596	中部学院大学		①全面的に可能	①③	
597	岐阜保健大学	①⑤	②一部利用制限	①②③	学習支援ツールの提供を行います。
598	中部学院大学短期大学部		①全面的に可能	①③	
599	岐阜聖徳学園大学短期大学部		②一部利用制限	①②③	電子書籍を購入したり、データベースのリモートアクセスや学認認証により、学外からも資料を利用できるようにしている。
600	正殿短期大学		①全面的に可能		在学生が少なく、過密になる恐れはないため、制限しない。
601	中京学院大学短期大学部	①②③④⑤	①全面的に可能	①③	
602	東海学院大学短期大学部		①全面的に可能	①	・返却資料の検干し ・入館の際に入館者情報を記録 ・AV機器利用後のアルコール消毒 ・館内各所にアルコール消毒装置 ・図書館協議会ほかで提供された注意喚起のポスター掲示

No.	学校名	新入生等への配慮 新入生等への配慮（自由記述）	学内施設の利用状況	図書館の感染対策 図書館の感染対策（自由記述）	図書館の利用制限に対する代替手段
603	中日本自動車短期大学		①全面的に可能	①	入場者に記名を依頼① アクリル板の設置や換気の励行などによる感染対策を講じる。
604	大垣女子短期大学		②一部利用制限	①②③	特になし
605	高山自動車短期大学		①全面的に可能		
606	平成医療短期大学	①②④⑤	①全面的に可能	①③	学術書籍の電子版を学外やスマホからでも閲覧可能とし、また電子講読できる書籍の冊数を増加する。
607	岐阜工業高等専門学校		①全面的に可能	①②	返却図書等は、全て除菌処理を行っている。 感染防止のため利用座席数を減らしているが、利用時間の短縮は請じていない。
608	静岡社会健康医学大学院大学		①全面的に可能		該当なし
609	静岡大学	①②③④⑤	①全面的に可能	①②③	・在宅学習用のコンテンツの増加（自宅等からオンラインで読むことができる本や雑誌等を増やす。） ・図書に関するデータベースや電子ジャーナルの活用方法等のオンラインセミナーの開催
610	浜松医科大学	①⑤	②一部利用制限	①③	
611	静岡県立森林環境専門職大学		①全面的に可能	①③	
612	静岡県立大学	③④	①全面的に可能	①	通常通り利用
613	静岡文化芸術大学		①全面的に可能	①③	利用制限をしていない
614	静岡県立森林環境専門職大学短期大学部		①全面的に可能	①③	
615	静岡県立大学短期大学部	⑤	①全面的に可能	①③	
616	光産業創成大学院大学		①全面的に可能	①	
617	静岡福祉大学		①全面的に可能	①②③	
618	浜松学院大学		①全面的に可能	①⑤	
619	静岡英和学院大学	①②③④⑤	①全面的に可能	①	
620	常葉大学	④ 全学的にできる限り、面接授業を実施している。	①全面的に可能	①②	学外からデータベースへのアクセスを可能にした。
621	静岡理工科大学	①②③④⑤	②一部利用制限	①③	・館外・自宅から利用できる電子資料の充実と利用範囲の拡大を図り、学生の自宅学習を支援する。 ・館外から利用可能な電子ブックや電子ジャーナルの充実を行っている。
622	聖隷クリスティーア大学		①全面的に可能		
623	静岡産業大学	①②③④⑤	①全面的に可能	①②③	「データベース拡充」「郵送貸出の実施」「図書館キャンパスツアー・バーチャル美術館の動画公開」
624	日本大学短期大学部	②③④⑤	①全面的に可能	①②③⑤	電子ジャーナルの学外閲覧を可能にする等、利便性を向上する。
625	静岡英和学院大学短期大学部	①②③④⑤	①全面的に可能	①	
626	常葉大学短期大学部	④ 全学的にできる限り、面接授業を実施している。	①全面的に可能	①②	学外からデータベースへのアクセスを可能にした。
627	浜松学院大学短期大学部		①全面的に可能	②	
628	沼津工業高等専門学校		②一部利用制限	①③	
629	総合研究大学院大学	③④⑤	②一部利用制限	①②③⑤	電子ジャーナルのキャンパス外からのリモートアクセス
630	名古屋大学	①③④⑤	①全面的に可能	①③	入館時に自動検温マスクチェックシステムによるチェックを実施。館内巡回時に、目視による図書館利用者の体調把握。 オンライン授業等に対応できるように、持ち込みPCを利用した発着可能な個人スペースを提供。 ウェブ会議システムを活用したオンラインの利用相談・学習相談の受付。 自宅への貸出図書・文献複製物の無料配達。
631	名古屋工業大学	①②③④⑤	②一部利用制限	①③	以下の感染対策を講じる。 ・入館ゲート前に検温機を設置 ・図書館内各所に消毒液を設置 ・読書机に共用設備を消毒 ・返却図書を24時間別置してから配架

No.	学校名	新入生等への配慮 新入生等への配慮（自由記述）	学内施設の利用状況	図書館の感染対策 図書館の感染対策（自由記述）	図書館の利用制限に対する代替手段
632	愛知教育大学	②④⑤	①全面的に可能	①②③ ・図書館内に除菌セット（消毒用アルコール、ビニール手袋、ペーパーふきん、ウェットおしぼり）を数ヶ所設置し、閲覧室及びPC席は利用者各自で除菌を実施するよう呼びかけ、職員も定期的に除菌を実施している。・入ロウラウンジに手指消毒液付きの消毒液センサーを設置している。・換気機能がない共有スペースを閉鎖。	
633	豊橋技術科学大学	①②③	①全面的に可能	①②③	・電子ブック・電子ジャーナル・データベースなど電子資料の学外からの利用方法を周知。また電子ブック・電子ジャーナル資料を拡充。 ・図書館利用ガイダンス・文献情報ガイダンスをWeb（Moodle）動画配信・Web上にスライド資料掲載等）で実施。 ・ILL文献複写到着物のカウンターでの受渡しに代わる学内便送付を実施。 ・図書返却方法は、カウンターでの返却に代わる常時ブックポストへの返却が利用可。 ・資料による定時的および館内施設等利用後の消毒作業を実施し、一部座席数を減らしているが、ミーティングルーム等の部屋、配架資料・雑書・物品等はほぼ以前と同様に使用可。また学内者向けの24時間閉館（職員無人時間等もIDカード入館可）を実施。 ・コロナ対応により臨時休館等になった場合、また来学が難しい利用者には、自宅への図書の郵送貸出を実施。学内所蔵資料の複写物やILL文献複写到着物についても自宅への送付を実施。（送付費用は大学負担）
634	名古屋市立大学	①②③④⑤	①全面的に可能	①③⑤	令和4年度前期現在、本学にて実施予定の利用制限については、新型コロナウイルス感染症の感染者が学内で発生した際に感染者の足跡を確認するため、利用者が保証した際に氏名や利用目的等を利用者に記入してもらったり、座席の指定を行っているものもあり、学生は閲覧席やパソコンを利用できるため、これらの制限措置に関しては学生の学習・研究の継続には影響がないと考えている。また、現在土日を休館としているが、今後は感染拡大状況を注視しながら、閉館時間を新型コロナウイルス感染症流行前と同程度まで戻していく予定である。
635	愛知県立芸術大学	④⑤	②一部利用制限	②⑤	
636	愛知県立大学	①②③④⑤ ①に近いが、最低でも週に1回は大学に登校するように、対面授業のカリキュラムを構成することで、教員と学生および学生相互などのコミュニケーションが図れるようにしている。	①全面的に可能	①②③	・貸出期間の拡大 ・図書館オンラインエンターテインメント、文献検索についての動画作成提供
637	愛知工科大学		①全面的に可能	①	
638	名古屋産業大学		①全面的に可能	①③	
639	人間環境大学		①全面的に可能	①③	
640	名古屋文理大学		①全面的に可能	①③	
641	愛知みずほ大学		②一部利用制限	①	
642	愛知学院大学		①全面的に可能	①	利用者、閲覧室、閉館時間などの制限はなく通常とおり開館している。また、電子リソースの利用促進のため、VPN接続の案内を始め、電子ブックを積極的に購入し2022年3月の時点で17,000点以上所蔵し、さらにリファラ認証を導入し利便性を高めた。
643	愛知工業大学		②一部利用制限	①②③	特に無し
644	金城学院大学		①全面的に可能	①③	
645	椋山女子園大学		①全面的に可能	①	・図書貸出の郵送サービス実施 ・文献複写の郵送サービス実施 ・学外から利用可能な電子書籍の購入
646	大同大学	①③④⑤	①全面的に可能	①②③	・学生に対して郵送による図書の貸出・返却を継続実施する。 ・図書館利用ガイダンス用の説明資料PDFを図書館ホームページに掲載し公開中。 ・図書館で契約している電子書籍を学外からも閲覧・ダウンロード・印刷することができるようにしている。 ・学生・教員が学外からも利用できる建築系データベース「新建築データ」を新規契約し、令和4年4月1日から提供を開始する。
647	中央大学	①②④⑤	①全面的に可能	①②③	コロナ禍の始まった2020年度から図書館ホームページ上にメールレファレンスの窓口を開設し、来館時間が縮小されている不利益や閲覧席の縮小の不便さを補うため、承認せずともできるメールでの資料検索支援、資料内容調査等の参考業務を充実させている。また電子ブック、電子ジャーナル等のオンラインで利用できる電子資料をより充実させ、遠隔利用の向上に努めている。さらには利用指導演としてのゼミ別図書館ガイダンスを従来の対面からオンラインでもできるように企画・実行している。以上のようにコロナの状況下でも利用者の学習・研究の便宜を継続的に図るよう努めている。以上、令和4年度前期も引き続き、上記の対応を継続する予定である。
648	同朋大学	⑤	①全面的に可能	①③	
649	名古屋学院大学	②⑤	①全面的に可能	①②	
650	名古屋商科大学		①全面的に可能	①	以前から各席に木製のついたたてがあるデザインとなっている。
651	名古屋女子大学		②一部利用制限	①②③	ノートPC貸出等を行い、図書館学内施設での分散利用を誘導する措置等を講じた。
652	南山大学	①③④⑤ 新入生、在学生の区別はせず、演習・実験、語学科目は原則面接授業とし、次に学科科目等の専門科目を可能な限り面接授業としている。教室の収容定員を50%に制限しているため、教室を用意出来ない授業のみを遠隔授業としている。	②一部利用制限	①②③	当日の利用者がわかるようにリストを作成している。 ・産席については、職員による消毒作業の後、繰り返し利用可能な産席として提供 ・Webからのセルフ貸出更新サービスの実施 ・メール、24時間によるレファレンスサービスやWebからのILL受付の実施 ・学外からの電子リソース接続サービスおよび関連する利用ガイドのWeb公開
653	日本福祉大学		①全面的に可能	①②③	
654	名城大学	①③④⑤	②一部利用制限	①③	・産席の利用制限をも十分に確保できる。 ・産席は出納で対応している。 ・換気防止策を講じた上で、グループ学習室を開放した。
655	名古屋音楽大学	②③④⑤	②一部利用制限	③	
656	豊田工業大学		①全面的に可能	①②③	学内に学習可能なスペースを増設しており、コロナ対策による図書館の閲覧席数減への代替としている

No.	学校名	新入生等への配慮 新入生等への配慮（自由記述）	学内施設の利用状況	図書館の感染対策 図書館の感染対策（自由記述）	図書館の利用制限に対する代替手段
657	名古屋外国語大学	③⑤	①全面的に可能	①③	
658	名古屋造形大学	②	①全面的に可能	①	
659	愛知産業大学		①全面的に可能	①	
660	東海学園大学	④⑤	①全面的に可能		
661	豊橋創造大学		①全面的に可能	①③	
662	愛知芸術大学	②③⑤	①全面的に可能	①②③	郵送による貸し出しを行っている。
663	星城大学		①全面的に可能	①②	
664	愛知文教大学		①全面的に可能	①	
665	桜花学園大学		①全面的に可能	①	
666	愛知大学	①	①全面的に可能	①③	利用制限の代わりに行う取組みは、以下の通りです。 ・学生対象にした、図書館の郵送サービス ・音声付き動画によるオンラインガイダンスの実施 ・オンライン選書ツアー ・電子図書館サービスへのログイン
667	愛知学泉大学		①全面的に可能		
668	聖学院大学		①全面的に可能	①	
669	中部大学	①②③④⑤	①全面的に可能	①②③	
670	藤田医科大学	①④⑤	①全面的に可能	①③	
671	名古屋芸術大学	芸術大学ということもあり、これまでもほぼすべての学生が担当教員から感染防止対策を講じつつ対応において直接、指導を受ける機会があったので、引き続き同様の対応をしていく予定。	①全面的に可能	①	
672	愛知淑徳大学		①全面的に可能	①②③	
673	名古屋経済大学	②③④⑤	①全面的に可能	①②③	オンラインサービスの拡充 ・臨時休館の措置を講じた場合に、文献コピーの自宅郵送サービスを実施。 ・在宅利用可能な電子コンテンツについてホームページで公開。
674	名古屋学芸大学	②	①全面的に可能	①③	
675	日本赤十字看護大学		②一部利用制限	①③	
676	修文大学		①全面的に可能	①②③	
677	岡崎女子大学		①全面的に可能	①	
678	一宮研神大学		②一部利用制限	①②③	
679	名古屋柳城女子大学	②④	②一部利用制限	①②	
680	愛知医科大学	③⑤	②一部利用制限	①②③④	・来館を伴わない郵送による図書の出貸、複写物の提供（郵送料、複写料金は図書館負担） ・閉館短時間における貸出資料返却用ポストの館外設置 ・オンライン動画教材、電子ジャーナル、電子書籍、データベース等への自宅等学外アクセスの環境整備
681	名古屋国際工科専門職大学		①全面的に可能	①	
682	愛知創造大学短期大学部		①全面的に可能	①③	
683	愛知学院大学短期大学部		②一部利用制限	①②③	
684	名古屋文理大学短期大学部		①全面的に可能	①	
685	名古屋女子大学短期大学部		②一部利用制限	①②③	ノートPC貸出等を行い、図書館が学内施設での分散利用を誘導する措置等を講じた。
686	名古屋短期大学		①全面的に可能	①	
687	愛知みずほ短期大学		②一部利用制限	①	
688	名古屋柳城短期大学	①②③	②一部利用制限	①	
689	名古屋文化短期大学		①全面的に可能		
690	愛知工科大学自動車短期大学		①全面的に可能	①	
691	愛知大学短期大学部	①	①全面的に可能	①③	利用制限の代わりに行う取組みは、以下の通りです。 学生対象にした、図書館の郵送サービス 音声付き動画によるオンラインガイダンスの実施 オンライン選書ツアー 電子図書館サービスへのログイン
692	愛知学泉短期大学		①全面的に可能		
693	修文大学短期大学部		①全面的に可能	①②③	
694	愛知文教女子短期大学		①全面的に可能	①	学外利用者は制限している
695	岡崎女子短期大学		①全面的に可能	①	
696	聖学院大学短期大学部		①全面的に可能	①	
697	名古屋経営短期大学		①全面的に可能	①③	
698	愛知江南短期大学		①全面的に可能	①	利用制限は行っていない
699	愛知医療学院短期大学	②③④⑤	①全面的に可能	①③	閲覧席・グループワーク用の座席を制限している為、別の教室を自習室として開放することで対応している。
700	豊田工業高等専門学校		①全面的に可能	①③	
701	三重大学	①②③④⑤	②一部利用制限	①②③	座席数を減らして運用しているが、令和3年10月より隣接する環境・情報科学館の学修スペースの提供も再開した。また、希望する学生向けに貸出図書や複写物の自宅配送を行っている。
702	三重県立看護大学		②一部利用制限	①	
703	三重短期大学		①全面的に可能	①③	・サイトを適した学習方法の提案 ・電子書籍の提供 ・講義、ゼミ単位での遠隔授業案内
704	四日市大学		①全面的に可能	①	来館者記入表の記入、マスクの着用、検温。

No.	学校名	新入生等への配慮 新入生等への配慮（自由記述）	学内施設の利用状況	図書館の感染対策 図書館の感染対策（自由記述）	図書館の利用制限に対する代替手段
705	皇学院大学	②③④⑤	①全面的に可能	①	
706	鈴鹿医療科学大学	①②④⑤	②一部利用制限	①②③	
707	鈴鹿大学		①全面的に可能	①②	体調を記録した申告書の提示や入館時の体温チェックを実施
708	四日市看護医療大学		①全面的に可能		
709	鈴鹿大学短期大学部		①全面的に可能	①②	体調を記録した申告書の提示や入館時の体温チェックを実施
710	高田短期大学		①全面的に可能	①③	
711	ユマニティ短期大学		①全面的に可能	①	
712	鈴鹿工業高等専門学校		②一部利用制限	①	なし
713	鳥羽商船高等専門学校		①全面的に可能	①②	
714	近畿大学工業高等専門学校		①全面的に可能	①③	
715	滋賀大学	①②⑤	①全面的に可能	①②③⑤	来館が難しい学生を対象に、各種資料（図書や文献複写等）を自宅に郵送するサービスを実施している。
716	滋賀医科大学	②③④⑤	②一部利用制限	①③	自宅での学修をサポートするため、電子ブックの充実を図る。
717	滋賀県立大学		①全面的に可能	①③	リモートアクセスサービスの実施や、電子書籍の整備、郵送貸出による在宅学習支援。
718	成安造形大学	④⑤	②一部利用制限	①③	
719	聖泉大学		②一部利用制限	①②④⑤	
720	長浜バイオ大学	①③⑤	①全面的に可能	①	
721	びわこ成蹊スポーツ大学	②④⑤	②一部利用制限	①	
722	びわこ学院大学		②一部利用制限	①	
723	びわこリハビリテーション専門職大学		①全面的に可能	②	
724	滋賀文教短期大学		②一部利用制限	①	なし
725	滋賀短期大学		①全面的に可能	①	
726	びわこ学院大学短期大学部		①全面的に可能	①	
727	京都大学		②一部利用制限	①②③④⑤	
728	京都教育大学		①全面的に可能	①③	・本学学生に対する郵送貸出 ・自宅からアクセスできる、オンライン資料の購入・整備
729	京都工芸繊維大学	③④⑤	①全面的に可能	①②③	図書の郵送貸出の実施、電子ブックの導入促進
730	京都市立芸術大学	②④⑤	①全面的に可能	①②③	特にありません。
731	京都府立大学	②④	①全面的に可能	①②③	該当なし
732	京都府立医科大学	②③④	①全面的に可能	①②③	
733	嵯峨山公立大学		①全面的に可能	①	
734	平安女学院大学		①全面的に可能	①③	
735	大谷大学		②一部利用制限	①③	状況に応じて郵送での貸出にも対応している。
736	京都外国語大学	①②③④⑤	①全面的に可能	①	該当なし
737	京都産業大学	②③④⑤	①全面的に可能	①②③	学内外からアクセスできるデータベースや電子書籍の既存のコンテンツの利用促進を案内するとともに、2021年度からは、資料の購入申込時等において電子書籍購入希望有無を確認し、積極的に電子書籍の購入を進めている。
738	京都女子大学		①全面的に可能	①②③	

No.	学校名	新入生等への配慮 新入生等への配慮（自由記述）	学内施設の利用状況	図書館の感染対策 図書館の感染対策（自由記述）	図書館の利用制限に対する代替手段
739	京都薬科大学	①②③④⑤	②一部利用制限	①②③	
740	京都光華女子大学	①③④⑤	②一部利用制限	①②	
741	種智院大学		①全面的に可能	③	特になし
742	京都橋大学	②③④⑤	①全面的に可能	①③	なし
743	同志社大学	①④⑤	①全面的に可能	①③	基礎疾患を有するなど新型コロナウイルス感染症に罹患した場合の重症化リスクが高い学生や重症化リスクが高い高齢者等と同居している学生、入国制限措置によって日本に入国できない学生に対して、受講・受験機会確保の配慮を行う。
744	同志社女子大学	②⑤	①全面的に可能	①②③	図書館送貸サービス及び複写物送付サービスの取組を整備し、未読せずに資料を入手することができるようにしている。
745	京都ノートルダム女子大学		①全面的に可能	①②③	貸出・文献複写送付サービスの継続 メール等でのリファレンス対応 VTR視聴などのデータベース等外からの利用の周知
746	花園大学		①全面的に可能	①③	要望に応じて図書館に送付して届ける場合がある。
747	佛教大学	②③④⑤	①全面的に可能	①②③	郵送による資料の貸出、文献複写物の郵送、オンラインで利用できる電子コンテンツの充実
748	立命館大学		①全面的に可能	立命館大学図書館は、立命館大学が2021年12月15日に定めた「新型コロナウイルス感染症に対する立命館大学の行動指針（BSP）」に対応し、コロナ禍における図書館サービスについて定めている（「2022年度コロナ禍における図書館サービスについて」2022年3月14日図書館委員会）。感染拡大防止策を十分に講じた上で、具体的に出入りの措置を講じることが原則的な取り扱いとなる。BSPレベル0の場合・・・通常開館 BSPレベル1・4の場合・・・通常閉館（ただし、感染状況をふまえて使用できる座席の制限を行う場合がある）。BSPレベル0の場合・・・入館可（ただし、図書館スタッフが出勤できない場合は休館）。閉館の場合、閉館時間は短縮して平日の午前9時～午後5時までとする。専断予約による図書の高架、カウンター取り置きサービス、館内複写サービス利用、情報機器の一時利用、書架利用のみ対応する。	BSPレベル3の場合、一部授業のWEB等への移行や入館制限が行われるため、入館できない学生のために図書館の郵送（返却）サービスを実施する。BSPレベル4・5の場合も同サービスは実施する（図書館スタッフが出勤できる場合に限る）。また、リファレンスサービスについても、入館できない学生のために、WEB等によるリモート対応を実施する。
749	龍谷大学	①②③④⑤	①全面的に可能	①②③	・自宅（学外）から利用できる図書館サービス（各種データベース、ebook）の拡充 ・貸出図書送付サービス、複写物送付サービスの継続
750	京都先端科学大学	②③④⑤	①全面的に可能	①②③	学修、研究には支障のない範囲で制限している。
751	京都精華大学	④⑤	②一部利用制限	①②③	・メールでの、相互利用（ILL）やリファレンスの相談を受け付ける。 ・各種オンライン資料（データベース、電子図書、電子ジャーナル）の利用促進を行なう。
752	明治国際医療大学	①②③④⑤	①全面的に可能	①	郵送による貸し出しを行っている。
753	京都芸術大学	②③④⑤	①全面的に可能	①②③	学外オンライン講座の案内、動画教材の提供
754	京都文教大学	②③④⑤	①全面的に可能	①②③⑤	
755	嵯峨美術大学	④⑤	①全面的に可能	①	
756	京都情報大学院大学	③④⑤	①全面的に可能	①	コロナ禍以前より、ACM電子図書館等への加入をされており、学生に案内している。新たにIEEE Computer Society Digital Libraryも学生に案内している。
757	京都医療科学大学	②	②一部利用制限	①	
758	京都華頂大学		①全面的に可能	①③	特になし

No.	学校名	新入生等への配置	新入生等への配慮（自由記述）	学内施設の利用状況	図書館の感応対 策	図書館の感応対 策（自由記述）	図書館の利用制限に対する代替手段
759	京都芸術工芸大学			①全面的に可能	①		
760	京都看護大学	①②		①全面的に可能	①③		該当なし
761	池坊短期大学			①全面的に可能	①		
762	京都経済短期大学	②③⑤		②一部利用制限	①		
763	華頂短期大学			①全面的に可能	①③		特になし
764	京都外国語短期大学	①②③④⑤		①全面的に可能	①		該当なし
765	京都光華女子大学短期大学部			②一部利用制限	①②		
766	龍谷大学短期大学部	①②③④⑤		①全面的に可能	①②③		・自宅（学外）から利用できる図書館サービス（各種データベース、eBook）の拡充 ・貸出図書郵送サービス、複写機郵送サービスの継続
767	京都文教短期大学	②③④⑤		①全面的に可能	①②③⑤		
768	京都西山短期大学			①全面的に可能	①		
769	嵯峨美術短期大学	④		①全面的に可能	①		
770	舞鶴工業高等専門学校			①全面的に可能	①②③		
771	大阪電気通信大学	②③⑤		①全面的に可能	①		
772	大阪大学	①②③④⑤		①全面的に可能	①③		
773	大阪教育大学	②③④⑤		②一部利用制限	①②③		
774	大阪市立大学	①②⑤		②一部利用制限	①③		・貸出図書や文献複写物の郵送対応。 ・密集して座らないよう座席の利用制限は設けているが、座席が不足しないように配慮している。 ・グループ学習・アクティブラーニング用施設の利用制限をしているが、事前相談により、教員の同席など一定条件を付す等し、柔軟な対応に努めている。
775	大阪府立大学	①③⑤		②一部利用制限			
776	大阪公立大学	①②⑤		②一部利用制限	①③		・貸出図書や文献複写物の郵送対応。 ・密集して座らないよう座席の利用制限は設けているが、座席が不足しないように配慮している。 ・グループ学習・アクティブラーニング用施設の利用制限をしているが、事前相談により、教員の同席など一定条件を付す等し、柔軟な対応に努めている。
777	常磐会短期大学	②③④		②一部利用制限	①		
778	大阪経済大学	③		①全面的に可能	①③		
779	大阪工業大学			①全面的に可能	①③		貸出し希望図書のカウンター受取予約サービスを昨年度から継続実施。
780	大阪歯科大学			①全面的に可能	①②③④		
781	相愛大学			①全面的に可能	①		
782	桃山学院大学	③④⑤		①全面的に可能	①②③		学外からもアクセス可能なデータベースや電子書籍を増やし、学生の学修・研究に支障が出ないように取り組む。
783	摂南大学			①全面的に可能	①③		学外からもアクセスできる電子資料をアナウンスしている。
784	桃山学院教育大学	②③④⑤		①全面的に可能	①②③		
785	大阪医科大学			①全面的に可能	①②		
786	大阪音楽大学	③		①全面的に可能	①②③		教室を学生の自習スペースとして開放する場合がある

No.	学校名	新入生等への配慮 新入生等への配慮（自由記述）	学内施設の利用状況	図書館の感染対策 図書館の感染対策（自由記述）	図書館の利用制限に対する代替手段	
787	大阪学院大学		①全面的に可能	①		
788	大阪芸術大学		①全面的に可能	①③		
789	大阪産業大学		②一部利用制限	①		
790	大阪樟蔭女子大学	②⑤	①全面的に可能	①③	ソーシャルディスタンスの確保の観点から、閲覧室等の座席の一部を使用禁止としているが、その結果、座席を確保できない学生は発生していないため、特設の代替措置は行っていない。	
791	大阪商業大学	①②③④⑤	①全面的に可能	①③		
792	大阪体育大学	①	①全面的に可能	①②③⑤	学外者の閲覧利用を中止している 資料複写の郵送サービスを一時期実施していた	
793	大阪大谷大学	①②③④⑤	全学生にアドバイザー（ゼミ担当教員）をつけ、学習面・生活面で学生の相談に	①全面的に可能	②	電子ジャーナル及び電子書籍の一部を学外から閲覧できるようにした。
794	追手門学院大学		①全面的に可能	①	入り口に体温測定器ならびに手指の消毒液を設置している。	
795	関西大学	②③④⑤	①全面的に可能	①③		
796	関西医科大学		①全面的に可能	①		
797	関西外国語大学		①全面的に可能	①③		
798	近畿大学	①②③④⑤	①全面的に可能	①③	現在（2022年3月時点）も閲覧席の閉引き利用を継続しているが、図書館に加え、アカデミックシアター（ビブリオシアター）の閲覧席や自習室を利用することで、座席の不足は生じていない。また、データベース、電子ブックの充実も進めていく予定。	
799	四天王寺大学	②③④⑤	①全面的に可能	①②③		
800	帝塚山学院大学	①②③④⑤	①全面的に可能	①③	電子ブックを導入した。	
801	梅花女子大学		①全面的に可能	①		
802	阪南大学	①②③	①全面的に可能	①		
803	大阪経済法科大学	①②③④⑤	①全面的に可能	①②③	図書貸出及び複写の郵送サービス 電子ブックの拡大 電子ジャーナル及びデータベースの学外アクセスの拡大 貸出期間の延長	
804	大阪国際大学	③④⑤	学外で実施する面接授業も行っていく。	①全面的に可能	①②	電子資料について、学外からもアクセスできるようにしている。
805	関西福祉科学大学		①全面的に可能	①	特になし	
806	太成学院大学	②④⑤	①全面的に可能	①		
807	常盤会学園大学		①全面的に可能	①③		
808	大阪観光大学	③④⑤	①全面的に可能	②	座席間隔を空けるための一部座席の利用制限であり、学修・研究に影響はない。	
809	大阪人間科学大学		①全面的に可能	①③	図書に郵送による貸し出し	
810	羽衣国際大学		①全面的に可能	①	特になし	
811	大阪成蹊大学	②③④⑤	①全面的に可能	①②③		
812	関西医療大学	①②③④⑤	②一部利用制限	①②③⑤	電子書籍、文献検索等のデータベースのリモート利用の推進 新蔵データベース導入の検討（2022年4月）	
813	千里金蘭大学		①全面的に可能	①		
814	東大阪大学		①全面的に可能	①		
815	大阪学院大学		①全面的に可能	①③		
816	豊野大学	②③④⑤	①全面的に可能	①②③		
817	大阪青山大学		②一部利用制限	①③		
818	四梅園学園大学		①全面的に可能	①③		

No.	学校名	新入生等への配慮 新入生等への配慮（自由記述）	学内施設の利用状況	図書館の感染対策 図書館の感染対策（自由記述）	図書館の利用制限に対する代替手段	
819	大阪総合保育大学	④	①全面的に可能	①		
820	森ノ宮医療大学		①全面的に可能	①		
821	大阪保健医療大学	①②③④⑤	①全面的に可能	①③		
822	大阪物産大学		②一部利用制限	①②③	電子書籍を積極的に購入している。	
823	滋慶医療科学大学		①全面的に可能			
824	大阪行田医療大学		①全面的に可能	①		
825	大和大学		①全面的に可能	①		
826	大阪国際工科専門職大学		②一部利用制限	③		
827	大阪信愛学院大学		①全面的に可能	①③		
828	大阪河崎リハビリテーション大学		①全面的に可能	①	図書返却、座席の消毒	
829	大阪キリスト教短期大学		①全面的に可能	①		
830	大阪城南女子短期大学		①全面的に可能	①		
831	大阪夕陽丘学園短期大学		①全面的に可能	①		
832	大阪信愛学院短期大学		①全面的に可能	①③		
833	大阪成蹊短期大学		①全面的に可能	①②③		
834	大阪女子学院短期大学		①全面的に可能	①③		
835	関西外国語大学短期大学部		①全面的に可能	①③		
836	堺女子短期大学		②一部利用制限	①③		
837	大阪音楽大学短期大学部	③	①全面的に可能	①②③	教室を学生の自習スペースとして開放する場合がある	
838	大阪学院大学短期大学部		①全面的に可能	①	密を避けるため、図書館所蔵のビデオ・DVDを視聴できるメディアアPLICATIONを開発している。 学修・研究に関わる利用制限ではないので、特別な取組は行っていない。	
839	大阪千代田短期大学	③⑤	①全面的に可能			
840	関西女子短期大学		①全面的に可能			
841	近畿大学短期大学部		①全面的に可能	①③	現在（2022年5月時点）も閲覧席の預引き利用を継続しているが、図書館に加え、アカデミックシアター（ピリオシアター）の閲覧席や自習室を利用することで、座席の不足は生じていない。また、データベース、電子ブックの充実も進めていく予定。	
842	西條観学園短期大学		①全面的に可能	①		
843	四天王寺大学短期大学部	②③④⑤	①全面的に可能	①②③	なし	
844	大阪国際大学短期大学部	③④⑤	学外での授業も面接授業で実施する。	①全面的に可能	①②	電子資料を学外からもアクセス可能として対応している。
845	東大阪大学短期大学部		①全面的に可能	①		
846	鹿野大学短期大学部		①全面的に可能	①②③		
847	大阪健康福祉短期大学		①全面的に可能	①		
848	大阪公立大学工業系等専門学校		①全面的に可能	①②③	感染対策のため座席数を一部減らしているが図書館以外のスペースの使用を案内して対応している。	
849	神戸大学	①②④⑤	②一部利用制限	①②③	・非求給サービスとして、郵送貸出、チャットレファレンスの実施 ・電子ジャーナル、電子ブック、オンラインデータベースの充実	
850	兵庫教育大学	②③④⑤	①全面的に可能	①③		
851	神戸市外国語大学	⑤	①全面的に可能	①③		
852	神戸市看護大学		①全面的に可能	①②	図書を依頼した学生に発送した。	
853	兵庫県立大学		①全面的に可能	①		
854	芸術文化観光専門職大学		①全面的に可能	①		
855	甲南大学	①②④⑤	①全面的に可能	①②③	電子書籍の拡充、郵送貸出・文献複写物の送付サービス、貸出延長回数増加、オンラインレファレンスサービス、オンラインガイドの充実等を行っている。	
856	甲南女子大学	②③⑤	①全面的に可能	①③		
857	神戸海星女子学院大学		②一部利用制限	①②③		
858	神戸学院大学	①③⑤	学生が学内でもオンライン・オンデマンド等の授業を受講できるように、学内ネットワークの増設、教室及び公共施設にWi-Fi環境の整備を行った。	②一部利用制限	①②③	コロナ禍で閉鎖した際に行っていた業務で、現在閉鎖状態が平時に近づきつつあるが継続して行っている業務は、①郵送貸出及び郵送複写※但し、学生のみ、送料自己負担②図書館ツアー、情報探索講座などのオンライン形式で行える教材の提供。
859	神戸女子大学	②④⑤	②一部利用制限	①②③⑤	特になし	
860	神戸薬科大学		①全面的に可能	①③	特に明確な取組は行っていないが、文献など電子化が進んでいるため学生から苦情等の申し出はない。	
861	神戸松蔭女子学院大学		①全面的に可能	①②③		
862	神戸親和女子大学	⑤	①全面的に可能	①③	なし	

No.	学校名	新入生等への配慮 新入生等への配慮 (自由記述)	学内施設の利用状況	図書館の感染対策 図書館の感染対策 (自由記述)	図書館の利用制限に対する代替手段
863	神戸国際大学	②③④⑤	①全面的に可能	①	
864	兵庫大学		①全面的に可能	①	
865	神戸常盤大学	①②③④⑤	②一部利用制限	①③	閲覧席を一部閉引き、座数は減少しているが、電子書籍やデータベース、電子ジャーナルを大幅に増加し、すべての電子資料の学外からのアクセスを可能な状態にし学修・研究環境の維持向上に努めている。また、資料の貸出延長や予約、文献複写の依頼、購入希望リクエストのWebを通じての手続きの機能強化や図書館機能の利用についての案内も追加するなどの取組を行っている。
866	宝塚医療大学		①全面的に可能	①③	
867	芦屋大学		①全面的に可能	①③	
868	大手前大学		①全面的に可能	①③	
869	関西学院大学		①全面的に可能	①②③	自動貸出機の設置
870	甲子園大学		①全面的に可能	①	
871	神戸女学院大学	①②③④⑤	①全面的に可能	①	
872	園田学園女子大学		①全面的に可能	①③	閉館時間の短縮 (コロナ以前は8時50分～19時のところ、現在は9時～18時) ・学外から利用できる電子書籍や電子ジャーナルの整備と利用促進 ・入構できない場合の郵送貸出・返却対応
873	武庫川女子大学	②③④⑤	①全面的に可能	①②	
874	兵庫医科大学		②一部利用制限	③	電子資料への学外からのアクセス
875	姫路獨協大学	修学に関しては各学科の教務委員が相談に乗っていただいている。	①全面的に可能	①	
876	流通科学大学	①③⑤	②一部利用制限	①②	
877	神戸芸術工科大学	③④⑤	①全面的に可能	①②③	学外から利用できる電子書籍の導入・提供について検討している。
878	関西福祉大学	②③④⑤	①全面的に可能	①③	特になし。
879	関西国際大学		②一部利用制限	①②	大規模な制限は行わないため、特に代替措置は取っていない。ただ、コロナ禍以前より導入していた、電子書籍が閲覧可能なシステムを学生の学修に役立てている。
880	神戸医療未来大学	②④⑤	②一部利用制限	②	
881	神戸情報大学院大学	②③④⑤	①全面的に可能	①②③⑤	
882	関西看護医療大学		①全面的に可能	①③	
883	福都大学		①全面的に可能	①②③⑤	
884	大阪芸術大学短期大学部		①全面的に可能	①	
885	大手前短期大学		①全面的に可能	①③	
886	神戸女子短期大学		①全面的に可能	①②③⑤	図書資料の貸出及び文献複写物の無料郵送サービスを実施している。 (但し、遠隔授業期間中に限る)
887	神戸常盤大学短期大学部	①②③④⑤	②一部利用制限	①③	閲覧席を一部閉引き、座数は減少しているが、電子書籍やデータベース、電子ジャーナルを大幅に増加し、すべての電子資料の学外からのアクセスを可能な状態にし学修・研究環境の維持向上に努めている。また、資料の貸出延長や予約、文献複写の依頼、購入希望リクエストのWebを通じての手続きの機能強化や図書館機能の利用についての案内も追加するなどの取組を行っている。
888	近畿短期大学		②一部利用制限	①③	メールや電話によるレファレンスと郵送による貸し出しサービスを実施。
889	豊田短期大学		①全面的に可能	③	郵送による資料貸出、返却を認めている。
890	甲子園短期大学		②一部利用制限	①②③	
891	神戸教育短期大学		①全面的に可能	①	
892	聖和短期大学		①全面的に可能	①	
893	園田学園女子大学短期大学部		①全面的に可能	①③	閉館時間の短縮 (コロナ以前は8時50分～19時のところ、現在は9時～18時) ・学外から利用できる電子書籍や電子ジャーナルの整備と利用促進 ・入構できない場合の郵送貸出・返却対応
894	産業技術短期大学		①全面的に可能	③	
895	東洋食品工業短期大学		①全面的に可能	①②	
896	兵庫大学短期大学部		①全面的に可能	①	
897	湊川短期大学		①全面的に可能		
898	武庫川女子大学短期大学部	②③④⑤	①全面的に可能	①②	
899	姫路日ノ本短期大学		①全面的に可能	①②③	
900	明石工業高等専門学校		②一部利用制限	①	
901	神戸市立工業高等専門学校		①全面的に可能	①②③	閲覧については、座数を減らして密運用を避けているが、貸し出しについては制限を行っていない。登校に制限が掛かった場合であっても登校時に図書を借りることは可能。
902	奈良教育大学	⑤	①全面的に可能	①	
903	奈良女子大学	②③④⑤	②一部利用制限	①②	
904	奈良先端科学技術大学院大学		②一部利用制限	①②③	隣接する産業の利用制限、小スペースで利用する部屋について人数制限を行っているが、閲覧制限はない。リモートアクセスによる資料の利用を勧め、柔軟なく資料を活用できるようにしている。
905	奈良県立医科大学	①②③④⑤	②一部利用制限	①②③	特になし
906	奈良県立大学		①全面的に可能	①③	
907	密着山大学		①全面的に可能	①	
908	天理大学	③④	①全面的に可能	①③	・座席の利用制限のみで、そのための支障は極めて限定的である。 ・郵送や宅配を利用した館外貸出・返却を可能としている (送料は利用者負担) ・電子ブックや電子ジャーナル等学外から閲覧可能なコンテンツを紹介しよう努めている。
909	奈良大学	①②⑤	①全面的に可能	①②③	学外からのデータベース利用を可能としています。

No.	学校名	新入生等への配慮 新入生等への配慮（自由記述）	学内施設の利用状況	図書館の感染対策 図書館の感染対策（自由記述）	図書館の利用制限に対する代替手段
910	奈良学園大学	②④⑤	①全面的に可能	①③	閉館時間の延長を実施。
911	畿央大学	①②③⑤	①全面的に可能	①②	
912	天理医療大学	①②③④⑤	②一部利用制限	①	
913	奈良芸術短期大学		①全面的に可能	①	
914	奈良佐藤短期大学		①全面的に可能	①②③	・令和2年度に契約した丸善雄松堂（株）の「Maruzen ebook Library」により、電子書籍による資料の提供サービスを行う。丸善雄松堂（株）から、現在、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う期間限定サービス「外部アクセス共通 ID・PW発行（本学学生・教職員のみ）」の提供を受けているが、継続申請予定である。 ・令和2年度に実施したとおり、出版各社が無料で公開した電子書籍等を「期間限定含む無料で利用できる電子書籍等サイト」及び「読書学習に活用できるサイト」としてまとめた。ウェブサイトで公開することで、送達作業の一部となるよう努める。 ・実技科目など対面授業で来校する必要のある学生に対しては、その際に、教員と相談の上、人数を制限しながら、短時間で図書館のサービス提供を行う。 ・学内倉庫に対して、グループフォームによる貸出・返却・複写の限定利用を事前予約制で行う。
915	白鳳短期大学		①全面的に可能	①	
916	奈良工業高等専門学校		①全面的に可能	①②③	特に代替の取組は行っていない。
917	和歌山大学	①②③④⑤	①全面的に可能	①	
918	和歌山県立医科大学	②④⑤	②一部利用制限	①②③⑤	大学の活動制限指針に基づき、利用制限を付す場合は、電子リソースのリモートアクセスツールについて周知し、学外からの学術情報データベースや電子書籍の利用促進を図っている。
919	高野山大学		①全面的に可能	①	
920	和歌山信愛大学		①全面的に可能	①②	なし
921	和歌山リハビリテーション専門学校		①全面的に可能		
922	和歌山信愛女子短期大学		①全面的に可能	①②③	
923	和歌山工業高等専門学校		①全面的に可能	①③	手指消毒の設置、設備の消毒の実施 定期試験期間中は、閲覧室を学生の自習用に開放しているが、座席の利用を制限していることもあり、別建物の大講義室を自習として開放し、学生の学習スペースを確保している。
924	鳥取大学	①②③④⑤	①全面的に可能	①②③	・キャンパス外でも利用可能な電子書籍の整備を進める。 ・図書館が行う講習会の動画を作成公開する。
925	公立鳥取環境大学	④⑤	①全面的に可能	①②③⑤	(1) 借受希望資料（図書）の事前取り置きサービスを実施。 メールにより希望する資料の交付をし、貸出の可否について返信。 貸出可能な図書については、来館または郵送で対応している。 (2) メールによるレファレンスサービス及び館からの資料取り寄せサービスを実施。 館から取り寄せた資料の受け渡しは、来館のみで対応している。
926	鳥取看護大学		①全面的に可能	①③	
927	鳥取短期大学		①全面的に可能	①	休憩、利用制限などはなかったが、対面で行っていた講習会を動画配信にて対応した。
928	米子工業高等専門学校		②一部利用制限	①③	図書館2階の教室を自習スペースとして開放（2022年度より実施予定）
929	鳥取大学	①②③④⑤	①全面的に可能	①②③	・オンラインで利用できる資料（電子ブック等）やチュートリアル充実 ・オンラインや動画を活用した情報検索講習会の実施 ・バーチャルツアー（VR図書館ツアー）のHPでの公開 ・感染状況の悪化に伴い臨時休館となった際、貸出図書及び文献複写物を自宅へ配達
930	鳥取県立大学	①②③④⑤	①全面的に可能	①③	自宅等、学外から利用できる電子資料（新聞・雑誌）の導入を実施。電子書籍（図書）についても検討中。
931	鳥取県立大学短期大学部	①②③④⑤	①全面的に可能	①	
932	松江工業高等専門学校		①全面的に可能	①②③	
933	岡山大学	①②③④⑤	②一部利用制限	①②	岡山県への緊急事態宣言発出等により、図書館が休館した場合には、郵送による資料貸出や複写物送付を実施する。また、事前予約で取り寄せた資料を図書館窓口で対面提供する。
934	岡山県立大学	③⑤	①全面的に可能	①③	
935	新見公立大学		①全面的に可能	①	
936	倉敷市立短期大学		①全面的に可能	①③	
937	吉備国際大学		①全面的に可能	①③	大学に発付できない学生について、文献複写や図書の貸し出しの郵送サービスを行っている。また、座席数減により座席が不足する際には、ラーニング commons やラーニングサポートセンター等の他の学務スペースを利用するよう勧めている。
938	岡山商科大学		①全面的に可能		
939	岡山理科大学	③④⑤	①全面的に可能	①③	
940	くらき作陽大学		①全面的に可能	①③	
941	ノートルダム清心女子大学		①全面的に可能	①③	
942	川崎医科大学		②一部利用制限	①②③	グループ学習室を個人利用として開放し座席の確保に努め、また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための特別措置によるデータベースの臨時リモートアクセスや無料公開コンテンツを積極的に利用している。

No.	学校名	新入生等への配慮 新入生等への配慮（自由記述）	学内施設の利用状況	図書館の感染対策 図書館の感染対策（自由記述）	図書館の利用制限に対する代替手段	
943	就実大学	④⑤	①全面的に可能	①②③⑤	貸出冊数の増減、返却期限日の延長、複写物や図書の郵送、ポータルサイトやキャンパスメールを利用した文献複写依頼、貸借依頼、参考文献、図書購入リクエストの受付を実施。 また、契約しているデータベースについては、契約業者と協議し、学外から利用できるよう、ID/パスワードの発行やポータルサイト内のURL設定等を行った。 電子ブックについても、同様に、学外から利用できるよう臨時ID/パスワードの発行を依頼した。 これらの内容が学生に伝わるよう、e-learningシステムWebClassに図書館ガイダンスコースを設定し、図書館の利用案内教材を掲載した。 電子ブックやデータベース等、電子資料の拡充を図った。	
944	川崎医療福祉大学		①全面的に可能	①③		
945	山陽学園大学	③⑤	①全面的に可能		集団でミーティング等を行う場合は、密にならないように声掛けをしている。	
946	倉敷芸術科学大学		①全面的に可能	①③		
947	岡山学院大学		①全面的に可能	①③		
948	中国学園大学		①全面的に可能			
949	理化学院大学		①全面的に可能	①③		
950	岡山医療専門学校		①全面的に可能	①②		
951	秀作大学		①全面的に可能	①		
952	就実短期大学	④⑤	①全面的に可能	①②③⑤	貸出冊数の増減、返却期限日の延長、複写物や図書の郵送、ポータルサイトやキャンパスメールを利用した文献複写依頼、貸借依頼、参考文献、図書購入リクエストの受付を実施。 また、契約しているデータベースについては、契約業者と協議し、学外から利用できるよう、ID/パスワードの発行やポータルサイト内のURL設定等を行った。 電子ブックについても、同様に、学外から利用できるよう臨時ID/パスワードの発行を依頼した。 これらの内容が学生に伝わるよう、e-learningシステムWebClassに図書館ガイダンスコースを設定し、図書館の利用案内教材を掲載した。 電子ブックやデータベース等、電子資料の拡充を図った。	
953	岡山短期大学		①全面的に可能	①③		
954	作陽短期大学		①全面的に可能	①③		
955	中国短期大学		①全面的に可能			
956	秀作大学短期大学部		①全面的に可能	①		
957	山陽学園短期大学	③⑤	①全面的に可能		集団でミーティング等を行う場合は、密にならないように声掛けをしている。	
958	川崎医療短期大学		①全面的に可能		アルコール消毒機の設置や換気の励行、職員による定期的な消毒業務などの感染対策を講じる。	
959	津山工業高等専門学校		①全面的に可能	①		
960	広島大学	①②③④⑤	①全面的に可能	①②③	利用状況把握のため、入退館時にICカード（学生証・職員証・利用登録証）による認証を行っている。 オンライン授業を受講できるスペースとして、各学部の講義室を開放している。	
961	県立広島大学	①②③④⑤	②一部利用制限	①③	一部サービス（図書館備付パソコンの利用、貸出ルーム、A/Vコーナー及び飲食コーナーの利用等）については3密対策等の感染対策が困難なため利用を制限している。 学外からの検索端末の利用や、PCが利用できる教室等を開放している。	
962	尾道市立大学	②③④⑤	②一部利用制限	①②③	大学構内への入館制限を行った際には図書館の貸し出しを郵送により行った例があるため、今後同様の事態にあれば検討する。	
963	広島市立大学	③④⑤	①全面的に可能	①		
964	福山市立大学	②④⑤	②一部利用制限	①		
965	厳密大学		②一部利用制限	①②③	図書の宅配貸出を実施することで、図書館の利用人数や座席の制限に伴う学生の学修に支障がないよう取り組んでいる。	
966	エリザベト音楽大学		①全面的に可能	①③		
967	広島経済大学		②一部利用制限	①③		
968	広島工業大学		①全面的に可能	①		
969	広島修道大学		②一部利用制限	①③		
970	広島女学院大学		①全面的に可能	①③	学生が集合し発声を伴う利用形態の館内施設（ラーニング・コモンズ及びグループ学習室）は、利用停止としている。	
971	広島国際学院大学		②一部利用制限	①③		
972	広島文教大学		①全面的に可能	①③		
973	安田女子大学		①全面的に可能	①		
974	福山大学	令和4年度には令和2、3年度よりも教室内の学生間の距離を若干縮めた座席配置とする（ただし、0.5m以上は確保）ことで各教室の収容人数を増やし、在籍学生数が多い（学年100名以上）ために令和2、3年度に遠隔授業の割合が他学科よりも多かった学科に優先的に広い教室を割り当てることにより、それらの学科でも多くの授業で面接授業を実施できるようにする。	①②③④⑤	②一部利用制限	①②③	・座席利用業により、座席使用者、使用日時の把握・使用座席の消毒（1時間に1回巡回） ・図書搬送貸出返却サービス（送料は大学負担） ・返却期限延長措置 ・図書ガイダンス動画作成・配信 ・データベース・電子ジャーナル・電子書籍について、学外からの利用（リモートアクセス）可能措置（令和2年度学術認証フェデレーション参加） ・電子書籍導入拡大 ・オンラインでのイベント等の実施（読書会、ブックハンティング、データベース利用講習会）
975	比治山大学		①全面的に可能	①②③	電子書籍の購入。本来、学内での利用のみであった電子書籍・データベースを学外からも利用できるようにした。	
976	福山平成大学	②③⑤	①全面的に可能	①		
977	広島化学工業大学		①全面的に可能	①③		
978	広島国際大学	①⑤	①全面的に可能	①②③⑤	図書貸出および返却のみ認め、貸出図書の閲覧や自習等は認めない。貸出図書の閲覧や自習等は、ラーニングコモンズや図書館外に設置された学習スペースにおいて認められている。 データベース・電子図書・電子ジャーナルにおけるリモートアクセス、学認の利用促進。	
979	日本赤十字広島看護大学	②③④⑤	②一部利用制限	①③	なし	
980	広島都市学園大学	①②③	②一部利用制限	①②		
981	山陽女子短期大学		①全面的に可能	①②		
982	比治山大学短期大学部		①全面的に可能	①②③		
983	広島化学工業短期大学		①全面的に可能	①③	電子書籍の購入。本来、学内での利用のみであった電子書籍・データベースを学外からも利用できるようにした。	
984	安田女子短期大学		①全面的に可能	①		
985	呉工業高等専門学校		①全面的に可能	①②③	放課後及び休日の自学自習空間の提供	

No.	学校名	新入生等への配慮 新入生等への配慮（自由記述）	学内施設の利用状況	図書館の感染対策 図書館の感染対策（自由記述）	図書館の利用制限に対する代替手段
986	広島商船高等専門学校		①全面的に可能	①	学外の利用者への制限を行っている。
987	山口大学	②③④⑤ 感染対策のためすべての学生をひとつの講義室に集めて面接授業が実施出来ない場合でも、複数講義室に分けて同時授業を実施するなど、遠隔の手法を取り入れながら、面接授業の機会が最大限になるようにする。	①全面的に可能	①③	シラバス掲載図書や参考図書などのうち、電子版があるものは電子ブックを購入し、来館しなくても利用できる資料の充実を図っている。
988	下関市立大学	①②③④⑤	②一部利用制限	①②③	・利用のあった座席や返却図書は全て消毒してから使用している。 ・館内で利用できる端末の数を制限している。 ・市民の方の利用はお断りしている。 ・2022年度から、学外からでもアクセスできる電子図書を導入する予定である。 ・学術論文やデジタル資料の探し方についてのガイダンスを図書館ホームページに掲載している。
989	山口県立大学	①③⑤	①全面的に可能	①	
990	山陽小野田市立山口東京理科大学		①全面的に可能	①③	
991	周南公立大学		①全面的に可能	①	
992	福光学院大学		①全面的に可能	①	
993	東亜大学	②③④⑤	①全面的に可能	①②③	学習、演習室の充実化
994	聖隷館大学	②③④	①全面的に可能	③	図書館の利用を希望する学生が利用できないレベルの制限は行っていない。
995	宇都フロンティア大学	①⑤	①全面的に可能		
996	山口学芸大学		①全面的に可能	①	
997	宇都フロンティア大学短期大学部	①⑤	①全面的に可能		
998	下関短期大学		②一部利用制限	②③	
999	山口短期大学		①全面的に可能	③	
1000	山口芸術短期大学		①全面的に可能	①	
1001	岩国短期大学		②一部利用制限	①	
1002	徳山工業高等専門学校		①全面的に可能	①②③	
1003	宇都工業高等専門学校		①全面的に可能	①②③	・消毒液や除菌シートを配置し、利用者によるクリーニングを可能にしている。 ・利用者が使用できる除菌用紙を設置している。 ・利用者の把握のために従事者を雇込させている。
1004	大島商船高等専門学校		①全面的に可能	①③	感染対策として座席等の間隔を確保するための座席数を制限し、利用人数を制限しているが、学生への図書貸出は通常通り行っている。 なお従来から同一フロアに学修用スペースを設けており、学生は適宜利用することができるようになっているため、座席制限に伴う代替措置は取っていない。 本校図書館では、引き続き、座席の利用制限を実施するが、制限により利用ができなくなる学生は想定されないため、特に取組みを行う予定はない。
1005	徳島大学	③⑤	①全面的に可能	①③	現在は座席数の制限を行っているが、今後感染状況により制限を追加する場合は、自宅から利用できる電子コンテンツ（電子ジャーナル、電子書籍、データベース）等の情報について周知を図る。
1006	山口教育大学	①②④⑤	①全面的に可能	①②③	自宅から利用できるデータベースや図書館の案内、使い方の解説の動画を作成し、図書館ホームページで紹介しています。
1007	四国大学		①全面的に可能	①③	一部施設の利用制限のみであり、図書館資料提供面での制限は行っていないため、学生の学修・研究への影響はないものと考えている。
1008	徳島文理大学		①全面的に可能	①②	レターパックを利用し貸出配送サービスを実施。
1009	四国大学短期大学部		①全面的に可能	①③	一部施設の利用制限のみであり、図書館資料提供面での制限は行っていないため、学生の学修・研究への影響はないものと考えている。
1010	徳島文理大学短期大学部		①全面的に可能	①	
1011	徳島工業短期大学		①全面的に可能	②③	グループ学習、自習については一般教室の利用を勧める。
1012	阿南工業高等専門学校		①全面的に可能	①③	
1013	香川大学	①③④⑤	①全面的に可能	①②③	入館者の体温測定、マスク着用、アルコールによる手指消毒の徹底。毎日、開館時に閲覧室の机、ドアノブ、手すり、エレベーターのボタン等の清掃を実施。 電子ブックの整備、ガイダンス等利用方法に関するWebコンテンツの作成。
1014	香川県立保健医療大学	②③	①全面的に可能	①②③	
1015	四国学院大学		②一部利用制限	①③	
1016	高松大学		①全面的に可能	①②③	特に制限なし
1017	香川短期大学		①全面的に可能	①	
1018	高松短期大学		①全面的に可能	①②③	特に制限なし
1019	せとうち観光専門職短期大学		①全面的に可能	①	
1020	香川高等専門学校		①全面的に可能	①③	香川高専図書館では、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための対策として、館内座席の1/2を着席不可として制限しているが、館内待借数、座席利用者数を十分に上回っており、学生の学修・研究の継続に支障はない。 試験期間中等、利用希望者の増加が見込まれる時期には、臨時に座席を増設するなどして対応し、学生の学修の拠点でもある図書館の役割を果たしている。 （学生への）宅配による図書の貸出サービスや、研究室所属図書の借用手続きを図書館で代行するなどの取組を行っている。
1021	愛媛大学		②一部利用制限	①②③	
1022	愛媛県立医療技術大学	②③④⑤	①全面的に可能	①③	
1023	松山大学	②③④	①全面的に可能	①③	座席数を減じる以外は、特段の制限はしないが、図書館に来ることが困難な学生への図書の郵送サービス（2020年8月開始）は継続する。

No.	学校名	新入生等への配慮	新入生等への配慮（自由記述）	学内施設の利用状況	図書館の感染対策	図書館の感染対策（自由記述）	図書館の利用制限に対する代替手段
1024	聖カタリナ大学	②③④⑤		②一部利用制限	①②③		制限の代わりに行う取組について具体的に実施しているものはないが、空間としては余裕があるので、学生の利用者が多くなる時間帯は、密にならないよう館内の別の閲覧スペースに移動してもらうなどの工夫をしながら、利用者が不便のないように可能な限り配慮している。
1025	松山東雲女子大学			①全面的に可能	①③		
1026	今治明德短期大学			①全面的に可能	①		
1027	聖カタリナ大学短期大学部	②③④⑤		②一部利用制限	①②③		制限の代わりに行う取組について具体的に実施しているものはないが、空間としては余裕があるので、学生の利用者が多くなる時間帯は、密にならないよう館内の別の閲覧スペースに移動してもらうなどの工夫をしながら、利用者が不便のないように可能な限り配慮している。
1028	松山東雲短期大学			①全面的に可能	①③		
1029	松山短期大学			①全面的に可能	①③		座席数を減じる以外は、特段の制限はしていない。ただし、図書館に来ることが困難な学生への図書館の郵送サービス(2021年8月開始。郵送料は学生負担)は継続する。
1030	新居浜工業高等専門学校			①全面的に可能	①③		
1031	弓削高輪高等専門学校			①全面的に可能	①②		
1032	高知大学	①②③④⑤		②一部利用制限	①③		学外から利用できる電子書籍のリスト及びアクセス方法並びに電子ジャーナル・データベース等への学外からのアクセス方法等の周知を図っている。
1033	高知県立大学			②一部利用制限	①②③		
1034	高知工科大学	②③④⑤		①全面的に可能	①③	学外利用者の利用を不可とした。	本学の附属情報図書館では、電子ブック（各科目教材、授業参考本含む）や国内外の電子ジャーナルを数多く取扱い、オンラインでも利用可能な環境を整えている。
1035	高知リハビリテーション専門職大学			①全面的に可能	①		
1036	高知学園大学			①全面的に可能	①		
1037	高知学園短期大学			①全面的に可能	①		
1038	高知工業高等専門学校	①②③④⑤	新入生には、1年間ノートPCを貸与し、1年生研修や情報の授業を通して、遠隔授業への対応方法（授業の受け方、課題の提出方法等）を理解させていく予定。	①全面的に可能	①		
1039	九州工業大学	①②③④⑤	令和2年度から実施であるが、新型コロナウイルスの影響により経済的困難した学生等に対し、本学独自の経済支援を行っている。	①全面的に可能	①③		電子資料やWEBサービス、オンラインイベントの充実を積極的に行っている。
1040	福岡教育大学	②③④⑤		②一部利用制限	①②③		特に代替措置を行っていない。
1041	九州大学	①②③④⑤		②一部利用制限	①		
1042	北九州市立大学	②③④⑤		①全面的に可能	①③		該当なし
1043	九州歯科大学	①②③④⑤		①全面的に可能	①③		
1044	福岡女子大学	①⑤		②一部利用制限	①③		感染防止拡大の観点から、閲覧座席数の削減やグループ学習室等（窓が無く換気が難しいため）の利用制限を行っている。現在のところはコロナの影響により学生の利用が減っているため、閲覧座席数が不足する状況になっていないが、今後閲覧座席数が不足する場合には、閲覧座席数を増やす等の対策を講じる予定である。
1045	福岡県立大学			②一部利用制限	①		
1046	中村学園大学短期大学部	①②④⑤		①全面的に可能	①②③		
1047	九州共立大学			①全面的に可能	①③		
1048	九州女子大学			①全面的に可能	①③		
1049	九州国際大学	②③④⑤		①全面的に可能	①		
1050	福岡歯科大学			②一部利用制限	①③		

No.	学校名	新入生等への配慮	新入生等への配慮 (自由記述)	学内施設の利用状況	図書館の感染対策	図書館の感染対策 (自由記述)	図書館の利用制限に対する代替手段
1051	九州産業大学	②③④		①全面的に可能	①②③⑤		図書館利用の制限の代わりに行う取組については、次のとおりである。 ①学外(自宅)から利用できるデジタル資料・コンテンツの情報収集・随時学内用知 ②図書資料貸出・文献等物の郵送サービス 対象者: 学部学生・大学院生(福岡市内在住者で受講科目がすべて遠隔授業等により直接の受け取りが困難な方、福岡市外在住者) 貸出冊数: 5冊まで(郵送貸出1回につき) 貸出冊数(上限): 10冊(学部学生)、30冊(大学院生) 貸出期間: 2週間(学部学生)、3ヵ月(大学院生) ※資料の送料・返送料は大学が負担する。 ※大型図書、教科書等の除却出資料、指定図書等、資料により貸出できない場合もある。 ③資料の貸出予約サービス(本学学生・教員のみ) オンラインまたはメールによる申込みを受け、資料を準備し、来館時に手渡しするサービスである。
1052	久留米大学			①全面的に可能	①③		
1053	西南学院大学	①②③⑤		①全面的に可能	①②③		・資料郵送貸出 ・動画コンテンツの提供 ・オンライン授業に関する著作権や資料利用のサポート ・電子資料の拡充と学外アクセスの提供 ・図書館利用説明会等のオンラインでの実施 ・メール等での学修相談
1054	第一薬科大学			①全面的に可能	①		
1055	中村学園大学	①②④⑤		①全面的に可能	①②③		
1056	西日本工業大学			①全面的に可能	①③		
1057	福岡大学			①全面的に可能	①③		
1058	福岡工業大学	①②③④⑤	4月、学習支援センターを開校する。脱着傾向にある学生を早期発見し、学習習慣の確立、自己調整学習が可能となるように関与していく。	②一部利用制限	①③		
1059	日本経済大学	②③④		①全面的に可能	①②	学外の方の利用不可。	少人数グループでの学習・交流会の実施。
1060	久留米工業大学	④⑤		②一部利用制限	①		特になし
1061	産業医科大学	①②③④⑤		①全面的に可能	①		学外から学内専用のデータベース、電子ジャーナルへのアクセスが可能となるシステムを介して文献検索をしてもらう。 電子メールにより希望する図書等のリクエストをしてもらい、図書館員が館外で貸出を行う。また、返却のためのブックポストを設置している。
1062	筑紫学園大学	④⑤		①全面的に可能	①		
1063	福岡女子学院大学			①全面的に可能	①③		
1064	西南女子学院大学			①全面的に可能	①③		
1065	九州情報大学			①全面的に可能	①		
1066	九州栄養福祉大学	①②③		①全面的に可能	①③		
1067	日本赤十字九州国際看護大学			①全面的に可能	①②③⑤		その他、以下の対策を講じている。 ・利用者へのマスク着用義務、入館時の手指消毒、カウンターでの検温。 ・使用後の扉扉、パソコン、マウスの除菌シートによる清掃。 ・返却された資料の除菌シートによる清掃。
1068	聖マリア学院大学	①②③④⑤		②一部利用制限	①②③		①長期間貸出サービスの実施—図書の貸出冊数を増やし、返却期限を延長する ②オンラインサービスの充実 ・LMS(WebGLASS)を活用した学修資料の提供 ・卒業研究論文提供支援 ・インターネット予約貸出サービス ・予約図書及び文献複写物の郵送サービス ・電子リソースの学外利用促進 ・文献検索ガイダンスのオンライン講習会
1069	福岡女子学院看護大学	②③		②一部利用制限	①②③		電子書籍の整備をおこない、学外からの閲覧を可能としている。
1070	保健医療経営大学			②一部利用制限	①		
1071	純真学園大学			①全面的に可能	①②③		
1072	福岡看護大学	②③		②一部利用制限	①②③		
1073	福岡国際医療福祉大学			①全面的に可能	①②③		
1074	折尾愛真短期大学	②③④		①全面的に可能	③		
1075	九州女子短期大学			①全面的に可能	①③		
1076	西南女子学院大学短期大学部			①全面的に可能	①③		
1077	東京紫短期大学			①全面的に可能	①③		
1078	福岡女子短期大学	②③④⑤		②一部利用制限	①③		
1079	近畿大学九州短期大学			①全面的に可能	①②③		
1080	久留米信愛短期大学			①全面的に可能	③		座席の利用制限のみなので、特段の取り組みは講じていない。
1081	香蘭女子短期大学			①全面的に可能			
1082	純真短期大学			①全面的に可能	①②③		
1083	精華女子短期大学			①全面的に可能	①③		電子書籍の利用促進
1084	西日本短期大学			①全面的に可能	①		

No.	学校名	新入生等への配慮 新入生等への配慮（自由記述）	学内施設の利用状況	図書館の感染対策 図書館の感染対策（自由記述）	図書館の利用制限に対する代替手段
1085	福岡工業大学短期大学部	①②③	①全面的に可能	①③	
1086	福岡女学院大学短期大学部		①全面的に可能	①③	
1087	九州産業大学造形短期大学部	②③④	①全面的に可能	①②③⑤	図書館利用の制限の代わりに行う取組については、次のとおりである。 ①学外（自宅）から利用できるデジタル資料・コンテンツの情報収集・随時学内用知 ②図書館資料貸出・文献複写物の郵送サービス 対 象 者：学部学生・大学院生（福岡市内在住者で受講科目がすべて遠隔授業等により直接の受け取りが困難な方、福岡市外在住者） 貸出冊数：5冊まで（郵送貸出1回につき） 貸出冊数（上級）：10冊（学部学生）、30冊（大学院生） 貸出期間：2週間（学部学生）、3ヵ月（大学院生） ※資料の送料・返送料は大学が負担する。 ※大正図書、教科書等の除却貸出資料、指定図書等、資料により貸出できない場合もある。 ③資料の貸出予約サービス（本学学生・教員のみ） オンラインまたはメールによる申込みを受け、資料を準備し、来館時に手渡しするサービスである。
1088	九州大谷短期大学		①全面的に可能	①	
1089	福岡こども短期大学	②③④⑤	①全面的に可能	①③	
1090	福岡医療短期大学		①全面的に可能	①②③	
1091	令和健康科学大学		①全面的に可能	①③	
1092	久留米工業高等専門学校		①全面的に可能	①	通常より席数を減らし、感染対策を講じている。
1093	有明工業高等専門学校		①全面的に可能	①②	授業に必要な座席数は確保し、それ以外の座席について半分としている。開館時間を本来はPM9:00までとしているがPM7:30に閉館し30分でアルコール消毒を行っている。
1094	北九州工業高等専門学校		①全面的に可能	①②③	利用制限で現在も継続しているのは学習机に設置された椅子の数と開館時間のみで、図書の貸出は通常どおり実施している。学修・研究面で特に支障が起きていないことから、特別に行っている取組はない。
1095	佐賀大学	②③④⑤	①全面的に可能	①②③	特になし
1096	西九州大学	③⑤	①全面的に可能	①	
1097	佐賀女子短期大学		①全面的に可能	①③	座席の制限（間隔を空けて着席）のみのため、代わりに行う取組みは特になし
1098	西九州大学短期大学部	②③④⑤	①全面的に可能	①③	
1099	九州龍谷短期大学		①全面的に可能	①	
1100	長崎大学	①②③④⑤	②一部利用制限	①③	図書館内の一部の施設利用に関して、利用人数制限及び申請制を用いている。 ・キャンパス外（自宅等）からでも利用できる電子ブックの購入を増やし、また、学生から電子ブックの図書購入リクエストも受け付けるようにしている。 ・貸出図書の延滞ペナルティ（延滞日数分貸出停止）を停止している。 ・キャンパス外から利用できる電子ジャーナル等の利用方法について、改めて周知を行っている。
1101	長崎県立大学	①②⑤	①全面的に可能	①②③	
1102	長崎総合科学大学		①全面的に可能	①	
1103	活水女子大学		①全面的に可能	①③	
1104	長崎純心大学	①②③④	①全面的に可能	①③	
1105	長崎国際大学	①②③④⑤	②一部利用制限	①②③	職場図書館の利用制限は限られており、特に代替処置等は講じていない。
1106	長崎外国語大学		②一部利用制限	①③	
1107	長崎学院大学		①全面的に可能	①	
1108	長崎女子短期大学		①全面的に可能	①	
1109	長崎短期大学		①全面的に可能	③	e-bookの種類・冊数を増やし、時間や場所に限定されない図書館利用を促進している
1110	佐世保工業高等専門学校		①全面的に可能	①③	
1111	熊本大学	①②③④⑤	②一部利用制限	①③	
1112	熊本県立大学	④⑤	②一部利用制限	①②③	
1113	崇城大学	①②③④⑤	①全面的に可能	①②③	未だせずに利用できる電子ブック・電子ジャーナル等の電子コンテンツの図書資料の充実、および講習会（対面・オンラインセミナー）の実施による利用促進を図る。
1114	熊本学園大学	②③④⑤	①全面的に可能	①②③	図書館では、前年に引き続きコロナ禍における感染拡大防止の対策を行っている。入館制限や開館時間の短縮、提供サービスの一部制限が今後も続くことから、電子資料のコンテンツを増やし、学外からのアクセス方法や動画によるサービス紹介などの情報発信を強化することで、環境変換の充実と学修及び教育研究の向上を目指しているところである。
1115	尚絅大学		①全面的に可能	①	
1116	九州ルーテル学院大学	②③④⑤	①全面的に可能	①②③	
1117	九州看護福祉大学		①全面的に可能	①③	
1118	平成音楽大学		①全面的に可能	①③	
1119	熊本保健科学大学	①②③④⑤	①全面的に可能	①②③	なし。

No.	学校名	新入生等への配慮 新入生等への配慮（自由記述）	学内施設の利用状況	図書館の感染対策 図書館の感染対策（自由記述）	図書館の利用制限に対する代替手段
1120	尚絅大学短期大学部		①全面的に可能	①	
1121	中九州短期大学		①全面的に可能		
1122	熊本高等専門学校		①全面的に可能	①②③	
1123	大分大学	①②③④⑤	①全面的に可能	①②③	・電子書籍の整備・充実 ・利用案内動画をホームページに公開 ・レポート講習会等のオンライン教材をホームページに公開
1124	大分県立看護科学大学	①④⑤	②一部利用制限	感染ステージによって利用制限をしている	
1125	大分県立芸術文化短期大学	②④⑤	①全面的に可能	①②③	
1126	日本文理大学	①③④⑤	①全面的に可能	①②	
1127	別府大学		①全面的に可能	①	
1128	立命館アジア太平洋大学	②③④⑤	①全面的に可能	①③	
1129	大分短期大学		①全面的に可能	②③	
1130	東九州短期大学		①全面的に可能	①	
1131	別府清誠学園短期大学		①全面的に可能	①	外部の人の利用休止
1132	別府大学短期大学部		①全面的に可能	①	
1133	大分工業高等専門学校		①全面的に可能	①②③	一部利用を制限しているが、夜間開館及び試験期間の日曜日開館も実施するため、学生の図書館利用には大きな支障は生じていない。
1134	宮崎大学		①全面的に可能	①②③④	館内での会話は控えるよう制限した。退館時に利用冊を提出し、利用時間や使用した座席番号を報告するようにした。（分館のみ） 特にありません。
1135	宮崎公立大学	②③④⑤	学期始めのガイダンスとは別に、履修相談会を対面で開催し、学生の不安や疑問の解消に努める予定。	①全面的に可能	①③
1136	宮崎県立看護大学		①全面的に可能	①	
1137	南九州大学		①全面的に可能	①③	
1138	宮崎産業経営大学	①②③④	①全面的に可能	①②③	
1139	宮崎国際大学		①全面的に可能	①②③	
1140	九州保健福祉大学		①全面的に可能	①	特別な利用制限は付さない。
1141	南九州短期大学		①全面的に可能	①③	
1142	宮崎学園短期大学		①全面的に可能	①	特になし
1143	都城工業高等専門学校		①全面的に可能	①②③	図書館の郵送貸出
1144	鹿児島大学	①②③④⑤	遠隔授業に関するアンケート結果をリーフレットにして配布し、学生の疑問に応えた。	②一部利用制限	①③ ・図書館への来館を必要とせず自宅等から利用可能な学生用基本図書や参考図書の電子書籍の充実 ・Zoomを用いたレファレンスサービス
1145	鹿児島体育大学	②③④⑤	①全面的に可能	①②③	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、座席制限をしているが、学生の学修・研究の環境を確保するため、学外者の利用を休止している。
1146	鹿児島県立短期大学		①全面的に可能	①③	
1147	鹿児島国際大学		①全面的に可能	①②③⑤	閲覧室の座席数を3割程度減らしたが、それに代わる取組は行っていない。
1148	第一工科大学	①②③⑤	①全面的に可能	①③	なし
1149	志摩短大		①全面的に可能	①③	特になし
1150	鹿児島純心女子大学		①全面的に可能	①③	学外の方の利用を制限している。
1151	鹿児島純心女子短期大学		①全面的に可能	①	
1152	鹿児島女子短期大学		①全面的に可能	①③	
1153	第一幼児教育短期大学		①全面的に可能	①②③	
1154	鹿児島工業高等専門学校		②一部利用制限	①②③	特になし
1155	琉球大学	②③④⑤	①全面的に可能	①③	該当な電子書籍の利用環境充実や学修教材の電子公開、オンラインセミナーなど、オンラインでの図書館サービスの充実を図り学費利用環境の整備・促進について積極的に取り組んでいる。

No.	学校名	新入生等への配慮 新入生等への配慮（自由記述）	学内施設の利用状況	図書館の感染対策 図書館の感染対策（自由記述）	図書館の利用制限に対する代替手段
1156	名桜大学	①②③④⑤	①全面的に可能	①	
1157	沖縄県立芸術大学	②③④⑤	①全面的に可能	①②③ 入館時の検温、手袋着用、入館記録票の記入	貸出冊数の引き上げを実施している。 学部学生・研究生・科目等履修生5冊→10冊 大学院生10冊→15冊
1158	沖縄県立看護大学		①全面的に可能	①③	
1159	沖縄科学技術大学院大学	③④	①全面的に可能	①	
1160	沖縄国際大学		①全面的に可能	①③	次の非来観型サービスに取替む予定です。 ・契約しているデータベースを学外より利用できるサービス ・オンライン・レファレンスサービス ・図書館の各種機能や利用方法を動画コンテンツでご案内
1161	沖縄大学	②	②一部利用制限	①②③	特になし
1162	沖縄キリスト教学院大学		①全面的に可能	①③	返却日の延長
1163	沖縄キリスト教短期大学		①全面的に可能	①③	返却日の延長
1164	沖縄女子短期大学		①全面的に可能	①②③	
1165	沖縄工業高等専門学校		②一部利用制限	①②③ 1. 図書貸出しは、原則自動貸出機を利用する。2. 図書返却はブックポストを利用し直接入職員と相対しない。3. 返却図書は24時間以上滞留させ運送配達を行う。4. 補助が必要な利用者には常時同行せず、必要時に職員を呼び出すことができるよう無線プザーボタンを貸与する。	1. 図書館送貸サービスを提供する 2. オンラインによる図書リクエストを行えるようにする